

# 第2次 岩沼市

2019～2023年度

# 健康づくり市民計画

～すこやか・しあわせ 岩沼プラン～

中間評価

## 基本理念

市民一人ひとりが生きがいを持ち、  
ともに支え合い、いつまでも元気に  
生活できる健幸な**いわぬま**にしよう

## 基本方針1

健康寿命を延ばそう

## 基本方針2

生活習慣病の発症と  
重症化を予防しよう

## 基本方針3

健康を支え合う  
地域社会をつくろう



岩沼市



# 目 次

I 「第2次岩沼市健康づくり市民計画」について.....	1
1. 計画の趣旨 .....	1
2. 計画の性格・位置づけ .....	1
3. 計画の基本的な考え方 .....	2
4. 計画の期間と進行管理並びに中間評価 .....	2
II 中間評価について .....	3
1. 評価指標の中間評価方法 .....	3
2. 第2次計画での評価指標 .....	4
3. 中間評価の結果（総括的評価） .....	4
4. 目標達成状況一覧.....	7
5. 計画最終年度の目標達成の見込み.....	45
6. 基本方針の取組状況.....	46
7. 中間評価による課題.....	50
8. 重点的に取り組む分野.....	51
III ライフステージ別進捗状況.....	52
1. 子どもの健康づくり（0～19歳） .....	52
2. 子育て世代の健康づくり（20～39歳） .....	84
3. 働き盛り世代の健康づくり（40～64歳） .....	114
4. 高齢期の健康づくり（65歳以上） .....	141
IV 健康意識調査結果概要.....	166
1. 調査の概要 .....	166
2. 一般市民調査結果.....	167
3. 中学2年生の保護者調査結果.....	205
4. 小学5年生の保護者調査結果.....	216
5. 3歳6か月児の保護者調査結果.....	228



# I 「第2次岩沼市健康づくり市民計画」について

## 1. 計画の趣旨

「岩沼市健康づくり市民計画（第1次）」は、近年のがん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病などの生活習慣病の増加及び認知症や寝たきりによる要介護者の増加にともない、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むとともに、その取り組みを支援する仕組みを展開することを目的として、平成20年度に策定されました。

その後、計画推進委員会を設置し、さまざまな分野にわたり、各関係機関や市民活動団体との協働のもと、計画の推進に取り組んできました。

平成24年度には、市民の健康状態や生活習慣の状況及びこれまでの計画の推進や達成状況を把握するため、市民健康意識調査を実施し、その結果を基にさらに重点的に推進に取り組む項目について確認し、健康づくり活動を展開してきました。

平成26年度、第1次計画の期間終了を受け、現在の市民の健康課題解決とこれからの10年間の市民の健康づくりを見据えた取り組みの指針として第2次計画が策定されました。

## 2. 計画の性格・位置づけ

「第2次岩沼市健康づくり市民計画」は、健康増進法第8条第2項に規定されている「市町村健康増進計画」に位置づけられます。また、本市においては、「いわぬま未来構想」「岩沼市地域福祉計画」を上位計画とし、さらに関連計画の「岩沼市障害者計画・障害福祉計画」「岩沼市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」「岩沼市子ども・子育て支援事業計画」並びに国の計画である「健康日本21（第二次）」、及び県の計画である「第2次みやぎ21健康プラン」などの関係する既存の計画と整合性を図りながら推進していくものです。

また、本計画は、第1次計画の最終評価において更なる取り組みが必要と判断される健康課題、及び平成26年度に実施した健康調査において明らかになった健康課題の改善に向け、「自助」「共助」「公助」の考え方にもとづき、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むこと（自助）を基本とし、それを市民同士が支え合う（共助）ための仕組みや体制を整え（公助）、市民と協働で健康づくりを推進することを目指した総合的な計画となっています。

### 3. 計画の基本的な考え方

#### 【基本理念】

市民一人ひとりが生きがいを持ち、ともに支え合い、いつまでも元気に生活できる健幸ないわぬまにしよう

市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組み、その取り組みをみんなで支え合い、さらに健康づくりがしやすい環境を整えることで、市民のだれもがいつまでもからだもこころも健康に、生きがいをもって元気に生活ができることを目指しています。

#### 【基本方針】

- (1) 健康寿命を延ばそう
- (2) 生活習慣病の発症と重症化を予防しよう
- (3) 健康を支え合う地域社会をつくろう

### 4. 計画の期間と進行管理並びに中間評価

本計画の期間は、平成26年度から平成35年度の10年間です。計画5年目にあたる平成30年度に、健康意識調査と中間評価を実施しました。中間評価の結果は、計画の中間時点での各目標の達成状況を把握し、これまでの推進活動や成果について分析を行い、計画の推進や施策の課題を明確化しました。今後は、中間評価結果をふまえ、平成35年度での各目標の達成に向けた事業の見直しや、今後の施策の一層の推進を図ってまいります。

H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
第2次計画策定				健康意識調査	目標の見直し			健康意識調査	目標年度
				中間評価				最終評価	

## Ⅱ 中間評価について

### 1. 評価指標の中間評価方法

#### ■自助・共助

自助・共助の 505 の各指標については、中間時点の評価として、最終年度の目標値の半分を目標中間値として設定し、アンケート調査結果との比較を行いました。

評価値の計算式と評価の区分は以下のようになっています。

$$\text{評価値} = \frac{\text{中間値（H30 年度）と現状値（H25 年度）との差}}{\text{目標中間値（H30 年度）と現状値（H25 年度）との差}} \times 100$$

※中間値（H30 年度）はアンケートによる数値  
目標中間値（H30 年度）は目標値（H35 年度）と現状値の差

評価指標が目指していた方向性と量に対して、何パーセントの進捗状況にあるかを算出し、下記の評価としました。

区分	改善状況	評価値
A	中間目標達成	100%
B	改善	60%以上
C	改善傾向	30%以上
D	ほぼ変化なし	-30%以上
E	悪化傾向	-30%未満

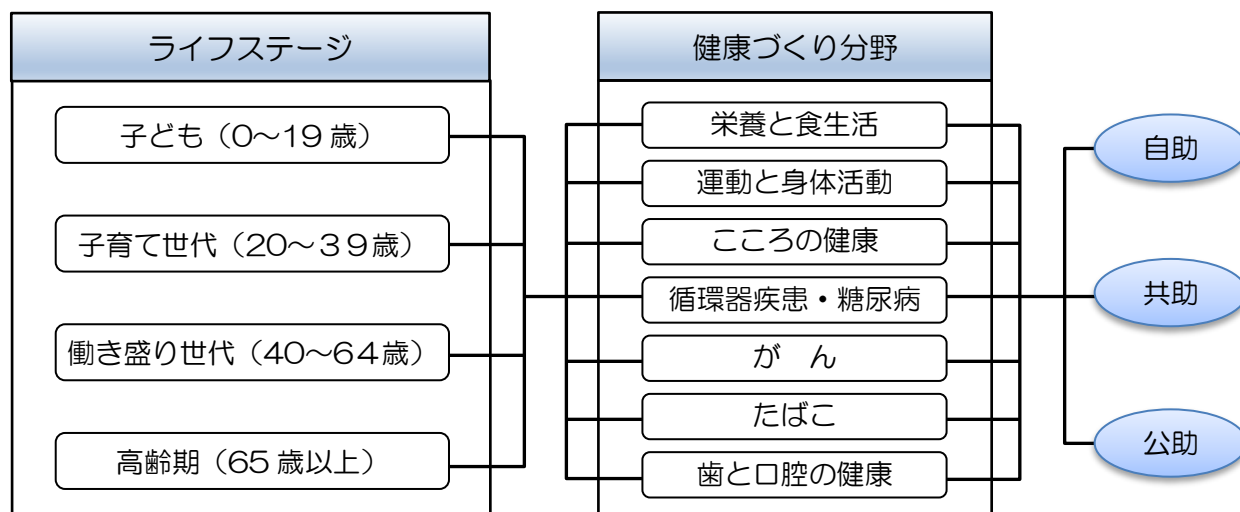
#### ■公助

公助の 250 の各指標については、担当部署（担当者）の評価で進捗状況を把握しています。評価は下記のようになっています。

区分	改善状況
A	十分評価できる
B	評価できる
C	進捗が思わしくない
E	実施無

## 2. 第2次計画での評価指標

第2次岩沼市健康づくり市民計画では、世代毎の健康の現状と課題を基に計画を策定・推進していくことにより、効果的な結果が得られるとの観点から、4つのライフステージについて、それぞれ7つの分野での指標設定を行いました。評価指標は、「自助」「共助」「公助」ごとに設定しています。



## 3. 中間評価の結果（総括的評価）

自助・共助では、「A：中間目標達成」評価の数は20.4%となっており、公助で「A：十分評価できる取組」評価は31.0%となっています。一方、自助・共助では「E：悪化傾向」が47.0%と半数近くにのぼっているのに対して、公助では「C：進捗が思わしくない」が10.9%、「E：実施無」が13.3%と合わせて24.2%が効果が思わしくない結果となっています。

自助・共助でA評価が多かった【歯と口腔の健康】、【循環器・糖尿病】については、公助でもA評価とB評価を合わせた割合が8割以上となっています。

逆に、自助・共助でE評価が多かった【栄養と食生活】と【運動と身体活動】では、公助でのC評価とE評価を合わせた割合が2割を超えており、取組の改善が必要だと思われます。特に【運動と身体活動】では、公助で実施していない取組が21.1%にのぼっているため、取組内容についての検討も重要になってくると考えられます。

【たばこ】については、自助・共助では「D：ほぼ変化なし」が52.0%と半数以上となっており、A評価とB評価がそれぞれ4.0%となっています。公助でも42.9%の取組が実施されていないので、取組項目の設定自体の再検討と実施できる取組内容についての検討が必要です。



## ■自助・共助

第2次岩沼市健康づくり市民計画の評価指標では、計画策定時に不明であった指標については「現状値を把握後に設定」として値が設定されていません。このように値が把握できていない指標については「(評価不能)」という区分に分類してあります。

区分	改善状況	【栄養と食生活】		【運動と身体活動】		【こころの健康】		【循環器・糖尿病】	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
A	中間目標達成	7	7.0%	6	8.1%	5	6.9%	9	8.7%
B	改善	3	3.0%	2	2.7%	3	4.2%	4	3.9%
C	改善傾向	1	1.0%	3	4.1%	1	1.4%	1	1.0%
D	ほぼ変化なし	5	5.0%	3	4.1%	2	2.8%	4	3.9%
E	悪化傾向	28	28.0%	18	24.3%	21	29.2%	20	19.4%
—	(評価不能)	56	56.0%	42	56.8%	40	55.6%	65	63.1%
	合計	100	100.0%	74	100.0%	72	100.0%	103	100.0%

区分	改善状況	【がん】		【たばこ】		【歯と口腔の健康】		合計	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
A	中間目標達成	4	10.0%	1	2.0%	15	22.7%	47	9.3%
B	改善	4	10.0%	1	2.0%	6	9.1%	23	4.6%
C	改善傾向	4	10.0%	6	12.0%	1	1.5%	17	3.4%
D	ほぼ変化なし	5	12.5%	13	26.0%	3	4.5%	35	6.9%
E	悪化傾向	6	15.0%	4	8.0%	11	16.7%	108	21.4%
—	(評価不能)	17	42.5%	25	50.0%	30	45.5%	275	54.5%
	合計	40	100.0%	50	100.0%	66	100.0%	505	100.0%

値が把握できる評価指標の数は230件になります。そのうち今回の中間評価では、「A：中間目標達成」は20.4%と約5分の1が目標を達成しています。「B：改善」を加えると30.4%が改善されています。

逆に「E：悪化傾向」は47.0%と半数近くにはのぼっており、今後の対策が必要となります。

分野別にみると、A評価は【歯と口腔の健康】が最も多く41.7%となっています。次いで【循環器・糖尿病】が23.7%、【運動と身体活動】が18.8%、となっています。

最もA評価が低い分野は【たばこ】の4.0%（1件）となっています。

E評価が最も多かったのは、【こころの健康】で65.6%となっています。次いで【栄養と食生活】が63.6%、【運動と身体活動】が56.3%となっています。

【たばこ】については、「D：ほぼ変化なし」が52.0%と半数以上となっていますが、「C：改善傾向」が24.0%と他分野に比べて最も高く、かつE評価は16.0%と最も低く、ゆっくりですが着実に改善されていますので、長期的な取り組みが重要だと考えられます。

区分	改善状況	【栄養と食生活】		【運動と身体活動】		【こころの健康】		【循環器・糖尿病】	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
A	中間目標達成	7	15.9%	6	18.8%	5	15.6%	9	23.7%
B	改善	3	6.8%	2	6.3%	3	9.4%	4	10.5%
C	改善傾向	1	2.3%	3	9.4%	1	3.1%	1	2.6%
D	ほぼ変化なし	5	11.4%	3	9.4%	2	6.3%	4	10.5%
E	悪化傾向	28	63.6%	18	56.3%	21	65.6%	20	52.6%
	合計	44	100.0%	32	100.0%	32	100.0%	38	100.0%

区分	改善状況	【がん】		【たばこ】		【歯と口腔の健康】		合計	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
A	中間目標達成	4	17.4%	1	4.0%	15	41.7%	47	20.4%
B	改善	4	17.4%	1	4.0%	6	16.7%	23	10.0%
C	改善傾向	4	17.4%	6	24.0%	1	2.8%	17	7.4%
D	ほぼ変化なし	5	21.7%	13	52.0%	3	8.3%	35	15.2%
E	悪化傾向	6	26.1%	4	16.0%	11	30.6%	108	47.0%
	合計	23	100.0%	25	100.0%	36	100.0%	230	100.0%

## ■公助

公助の評価指標では、250 指標中 2 件が評価ができない指標となっています。

区分	取組状況	【栄養と食生活】		【運動と身体活動】		【こころの健康】		【循環器・糖尿病】	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
A	十分評価できる取組	16	27.6%	9	23.7%	12	31.6%	13	31.0%
B	評価できる取組	25	43.1%	13	34.2%	19	50.0%	21	50.0%
C	進捗が思わしくない取組	13	22.4%	8	21.1%	0	0.0%	3	7.1%
E	実施無	3	5.2%	8	21.1%	6	15.8%	5	11.9%
—	(評価不能)	1	1.7%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%
	合計	58	100.0%	38	100.0%	38	100.0%	42	100.0%

区分	取組状況	【がん】		【たばこ】		【歯と口腔の健康】		合計	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
A	十分評価できる取組	15	55.6%	3	14.3%	3	11.5%	71	28.4%
B	評価できる取組	10	37.0%	7	33.3%	22	84.6%	117	46.8%
C	進捗が思わしくない取組	0	0.0%	2	9.5%	1	3.8%	27	10.8%
E	実施無	2	7.4%	9	42.9%	0	0.0%	33	13.2%
—	(評価不能)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.8%
	合計	27	100.0%	21	100.0%	26	100.0%	250	100.0%

評価が可能であった評価指標の数は 248 件になります。248 指標中 71 件の 28.6%が十分評価できる指標となっています。評価できる指標は 47.2%で両者を合わせると 75.8%が評価されています。

逆に進捗が思わしくない指標は 27 件で 10.9%となっています。実施されていない取組が 33 件で 13.3%となっており、今後、計画期間中に実施について検討しなければならない取組となります。

分野別にみると、A評価は【がん】が最も高く 55.6%となっています。次いで【こころの健康】が 32.4%、【循環器・糖尿病】が 31.0%となっています。

最もA評価が低い分野は【歯と口腔の健康】の 11.5%となっています。

区分	取組状況	【栄養と食生活】		【運動と身体活動】		【こころの健康】		【循環器・糖尿病】	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
A	十分評価できる	16	28.1%	9	23.7%	12	32.4%	13	31.0%
B	評価できる	25	43.9%	13	34.2%	19	51.4%	21	50.0%
C	進捗が思わしくない	13	22.8%	8	21.1%	0	0.0%	3	7.1%
E	実施無	3	5.3%	8	21.1%	6	16.2%	5	11.9%
	合計	57	100.0%	38	100.0%	37	100.0%	42	100.0%

区分	取組状況	【がん】		【たばこ】		【歯と口腔の健康】		合計	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
A	十分評価できる	15	55.6%	3	14.3%	3	11.5%	71	28.6%
B	評価できる	10	37.0%	7	33.3%	22	84.6%	117	47.2%
C	進捗が思わしくない	0	0.0%	2	9.5%	1	3.8%	27	10.9%
E	実施無	2	7.4%	9	42.9%	0	0.0%	33	13.3%
	合計	27	100.0%	21	100.0%	26	100.0%	248	100.0%

## 4. 目標達成状況一覧

※中目標番号、取組番号については、計画書を参照してください。

### (1) 自助・共助

#### ■中間目標を達成した評価指標

##### <栄養と食生活>

ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	001	子どもの食事が栄養バランスが悪いと思っている保護者の割合の減少	小5	%	13.5	10.5	A	8.0
		001	子どもの食事が栄養バランスが悪いと思っている保護者の割合の減少	3歳	%	20.0	14.2	A	15.0
		001	朝食で副菜を食べている子どもの割合の増加	3歳	%	38.0	45.3	A	43.0
子育て世代	②	001	朝食を毎日食べない人の割合の減少		%	25.2	18.8	A	20.0
		102	朝食を毎日食べない人の割合の減少		%	25.2	18.8	A	20.0
働き盛り世代	①	005	主食・主菜・副菜を組み合わせている人の割合の増加	昼食	%	29.3	43.4	A	34.0
高齢期	②	001	主食・主菜・副菜を揃えて食べている人の割合の増加	昼食	%	36.5	44.9	A	41.0

##### <運動と身体活動>

ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	006	テレビやゲームを1日2時間以上する子どもの割合の減少	中2	%	37.0	31.9	A	27.0
子育て世代	①	104	家族と一緒に運動をしている人の割合の増加		%	59.2	75.8	A	64.0
働き盛り世代	①	101	一緒に運動する相手がいる人の割合の増加		%	39.3	43.0	A	45.0
		102	一緒に運動する相手がいる人の割合の増加		%	39.3	43.0	A	45.0
		103	一緒に運動する相手がいる人の割合の増加		%	39.3	43.0	A	45.0
高齢期	②	001	自分の歩数を把握している人の割合の増加	女性	%	31.0	43.5	A	41.0

<こころの健康>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子育て世代	①	102	地域の活動に参加している人の割合の増加		%	14.5	23.7	A	19.0
	②	102	一緒に運動している相手（家族・友人）の割合の増加	家族	%	59.2	75.8	A	64.0
高齢期	②	001	ボランティア活動をしている人の増加	男性	%	41.3	53.6	A	46.0
		001	ボランティア活動をしている人の増加	女性	%	36.2	56.5	A	41.0
		101	地域の集まりに参加している人の増加	女性	%	20.7	34.8	A	30.0

<循環器疾患・糖尿病>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	002	朝食を食べない子どもの減少	3歳	%	1.00	0.0	A	0.0
		002	朝食を食べない子どもの減少	中2	%	4.6	1.4	A	0.0
		102	朝食を一人で食べている子どもの割合の減少	中2	%	38.0	11.3	A	33.0
		102	朝食を一人で食べている子どもの割合の減少	小5	%	14.0	8.9	A	9.0
子育て世代	①	006	過去 1 年間に健康診断を受けた人の割合の増加		%	72.0	90.6	A	82.0
		101	過去 1 年間に健康診断を受けた人の割合の増加		%	72.0	90.6	A	82.0
働き盛り世代	①	103	一緒に運動できる相手がいる人の割合の増加		%	39.3	43.0	A	45.0
高齢期	①	002	定期健康診査受診率の増加		%	79.6	88.8	A	85.0
		003	かかりつけ医をもつ人の増加		%	81.2	92.5	A	86.0

<がん>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子育て世代	①	008	男性) 過去 1 年間に大腸がん検診を受けた人の割合の増加 女性) 過去 1 年間に子宮がん検診を受けた人の割合の増加	男性・大腸がん検診)	%	26.5	29.6	A	31.0
		008	男性) 過去 1 年間に大腸がん検診を受けた人の割合の増加 女性) 過去 1 年間に子宮がん検診を受けた人の割合の増加	女性・子宮がん検診)	%	54.0	68.4	A	64.0
		101	過去 1 年間にがん検診を受けた人の割合の増加	子宮がん検診)	%	54.0	68.4	A	64.0
働き盛り世代	①	001	がん検診を受けた人sの割合の増加	子宮がん検診)	%	69.2	77.2	A	75.0

<たばこ>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子育て世代	①	003	市内たばこ売上本数の減少		本	74,277,777	66,078,000	A	74,277,776

<歯と口腔の健康>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	003	仕上げ磨きをしている保護者の増加	3歳	%	85.0	97.2	A	95.0
		004	洗面や歯磨きなどの基本的な生活習慣が身についている子どもの割合の増加	小5	%	84.0	89.1	A	94.0
		103	洗面や歯磨きなどの基本的な生活習慣が身についている子どもの割合の増加	小5	%	84.0	89.1	A	94.0
子育て世代	①	004	デンタルフロスや歯間ブラシを使う人の割合の増加		%	35.0	42.5	A	45.0
		006	かかりつけ歯科医を持つ人の増加		%	30.4	45.5	A	40.4
働き盛りの世代	①	002	定期的に歯科健診を受けている人の割合の増加		%	33.6	43.0	A	43.0
		003	朝食後に歯磨きをしている人の割合、夕食後に歯磨きをしている人の割合、就寝前に歯磨きをしている人の割合（の増加）	夕食後	%	78.6	95.5	A	88.0
		101	定期的に歯科健診を受けている人の割合の増加		%	33.6	43.0	A	43.0
高齢期	①	001	食後の歯みがきを心がけている人の割合の増加	朝食後	%	73.7	80.4	A	79.0

■改善している指標（B）

<栄養と食生活>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	001	子どもの食生活について「悪い」「どちらかといえば悪い」と感じている保護者の割合の減少	小5	%	25.8	23.7	B	20.0
		001	子どもの食事が栄養バランスが悪いと思っている保護者の割合の減少	中2	%	14.2	11.7	B	9.0
子育て世代	②	002	週に食べる朝食回数「6回」と回答した人の割合の増加		%	1.9	3.3	B	5.0

<運動と身体活動>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	006	テレビやゲームを1日2時間以上する子どもの割合の減少	小5	%	38.0	33.9	B	28.0
子育て世代	①	003	自分の1日の歩数を知っている人の割合の増加		%	12.1	15.4	B	22.0

<こころの健康>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	103	日頃から子どもと会話している保護者の増加	中2	%	91.3	93.4	B	96.3
		103	日頃から子どもと会話している保護者の増加	小5	%	90.6	92.6	B	95.6
子育て 世代	②	003	ストレスや悩み、疲労感を自分で解消できている人の割合の増加		%	55.9	58.7	B	65.0
	①	103	自分や周りの人の心の健康を気にかけている人の割合の増加		%	60.3	62.0	B	65.0

<循環器疾患・糖尿病>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	001	起床時間が7時までの子どもの増加	小5	%	95.0	97.4	B	100.0
		001	就寝時間が23時以降減少 ※3歳児は22時以降減少	3歳	%	19.0	14.1	B	9.0
		102	朝食を一人で食べている子どもの割合の減少	3歳	%	4.0	2.8	B	0.0
高齢期	①	001	体調の自己管理をしている人の割合の増加		%	82.9	87.9	B	93.0

<がん>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子育て世代	①	006	現在もタバコを吸っている人の割合の減少		%	48.5	45.1	B	38.0
		101	過去 1 年間にがん検診を受けた人の割合の増加	大腸がん 検診	%	26.5	31.2	B	36.0
高齢期	①	001	がん検診を受けた人の割合の増加	肺がん 検診	%	63.0	66.4	B	70.0
	①	001	がん検診を受けた人の割合の増加	胃がん 検診	%	54.2	59.8	B	70.0

<たばこ>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
高齢期	①	001	たばこが健康に及ぼす影響を正しく知っている人の割合の増加	気管支炎	%	71.6	82.2	B	100.0

<歯と口腔の健康>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	004	洗面や歯磨きなどの基本的な生活習慣が身についている子どもの割合の増加	中2	%	84.0	87.3	B	94.0
		006	おやつ時間を決めている子どもの割合の増加	小5	%	41.0	45.5	B	51.0
		103	洗面や歯磨きなどの基本的な生活習慣が身についている子どもの割合の増加	中2	%	84.0	87.3	B	94.0
子育て世代	①	005	過去 1 年間に歯科健診を受けた人の割合の増加		%	45.8	49.2	B	55.0
働き盛りの世代	①	003	朝食後に歯磨きをしている人の割合、夕食後に歯磨きをしている人の割合、就寝前に歯磨きをしている人の割合（の増加）	朝食後	%	80.4	83.3	B	90.0
高齢期	①	002	過去一年間の歯科健診受診率の増加		%	60.6	63.6	B	70.0

## ■改善傾向にある指標（C）

### <栄養と食生活>

ス テ ー ジ	目標・取組		評価指標等						
	中 目 標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子 ど も	①	002	1日で5皿の野菜料理を食べる子どもの割合の増加	3歳	%	2.0	2.8	C	7.0

### <運動と身体活動>

ス テ ー ジ	目標・取組		評価指標等						
	中 目 標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子 ど も	①	006	テレビやゲームを1日2時間以上する子どもの割合の減少	3歳	%	25.0	22.6	C	15.0
		006	テレビやゲームの時間を決めている子どもの割合の増加	小5	%	54.0	56.5	C	64.0
		104	テレビやゲームの時間を決めている子どもの割合の増加	小5	%	54.0	56.5	C	64.0

### <こころの健康>

ス テ ー ジ	目標・取組		評価指標等						
	中 目 標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
高 齢 期	②	101	地域の集まりに参加している人の増加	男性	%	29.4	32.1	C	40.0

### <循環器疾患・糖尿病>

ス テ ー ジ	目標・取組		評価指標等						
	中 目 標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
働 き 盛 り の 世 代	①	001	過去1年間に健康診断(査)を受けた人の割合の増加		%	86.0	88.7	C	96.0

### <がん>

ス テ ー ジ	目標・取組		評価指標等						
	中 目 標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子 育 て 世 代	①	003	1日の適正塩分量を知っている人の割合の増加		%	27.6	30.1	C	37.0
		004	1回30分以上の運動を週に2回以上、1年間継続している人の増加		%	14.0	16.5	C	24.0
		005	ストレスや悩み、疲労感を自分なりに解消できている人の割合の増加	だいたいできている	%	51.2	53.5	C	61.0
高 齢 期	①	001	がん検診を受けた人の割合の増加	乳がん検診	%	36.6	43.5	C	70.0



<たばこ>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子育て世代	①	001	たばこが影響を与えらると思うもののうち「心臓病」回答数の増加		%	46.7	47.7	C	51.0
働き盛り 世代	①	001	喫煙の健康影響に関する知識の普及	脳卒中	%	51.9	63.8	C	100.0
		001	喫煙の健康影響に関する知識の普及	歯周病	%	41.8	57.2	C	100.0
高齢期	①	001	たばこが健康に及ぼす影響を正しく知っている人の割合の増加	肺がん	%	86.3	89.7	C	100.0
		001	たばこが健康に及ぼす影響を正しく知っている人の割合の増加	脳卒中	%	39.9	50.5	C	100.0
		002	喫煙率の減少		%	28.7	22.9	C	7.0

<歯と口腔の健康>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	005	子どもの食生活について「悪い」「どちらかといえば悪い」と感じている保護者の減少	小5	%	25.8	23.8	C	16.0

## ■ほぼ変化のない指標（D）

### <栄養と食生活>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	002	野菜をよく食べる子どもの割合の増加	小5	%	41.0	40.5	D	46.0
		004	好き嫌いがなくなんでもよく食べる子どもの割合の増加	小5	%	42.6	40.9	D	63.0
子育て世代	①	005	1日1回以上家族の誰かと食事をする人の割合の増加		%	93.9	94.4	D	100.0
		101	1日1回以上家族の誰かと食事をする人の割合の増加		%	93.9	94.4	D	100.0
働き盛りの世代	②	002	適度な飲酒量を知っている人の割合の増加		%	56.7	62.6	D	100.0

### <運動と身体活動>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	005	学校の授業以外で運動している子どもの割合の増加	小5	%	67.6	66.9	D	78.0
子育て世代	①	004	日常生活のなかで、健康のために意識的に体を動かすよう心がけている人の割合の増加		%	16.8	15.4	D	36.0
働き盛りの世代	①	001	自分の1日の歩数を知っている人の割合の増加		%	26.9	27.0	D	36.0

### <こころの健康>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
働き盛りの世代	①	004	地域活動への参加者の割合の増加		%	28.4	28.4	D	33.0
		004	今住んでいる地域でお互いに助け合って生活していると感じている人の割合の増加		%	34.8	34.6	D	39.0

<循環器疾患・糖尿病>

ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	②	004	肥満傾向にある子どもの割合の減少	小学女子	%	10.0	9.9	D	現状より 減少
		006	学校の授業以外で運動している子どもの増加(中2、小5)	小5	%	67.6	66.9	D	77.6
		009	おやつ時間を決めている子どもの割合の増加	3歳	%	72.0	72.1	D	82.0
働き盛り世代	①	104	1日1回以上誰かと食事をしている人の割合の増加		%	91.6	92.0	D	95.0

<がん>

ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子育て世代	①	005	ストレスや悩み、疲労感を自分なりに解消できている人の割合の増加	十分できている	%	4.7	5.2	D	9.0
働き盛り世代	①	001	がん検診を受けた人の割合の増加	胃がん検診	%	54.4	53.5	D	75.0
				乳がん検診	%	69.2	68.4	D	75.0
高齢期	①	001	がん検診を受けた人の割合の増加	大腸がん検診	%	54.7	54.2	D	70.0
		001	がん検診を受けた人の割合の増加	子宮がん検診	%	31.9	34.8	D	70.0

<たばこ>

ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
働き盛り世代	①	001	喫煙の健康影響に関する知識の普及	肺がん	%	97.5	97.3	D	100.0
		001	喫煙の健康影響に関する知識の普及	ぜんそく	%	79.5	78.8	D	100.0
		001	喫煙の健康影響に関する知識の普及	気管支炎	%	81.3	83.5	D	100.0
		001	喫煙の健康影響に関する知識の普及	心臓病	%	58.7	60.9	D	100.0
		001	喫煙の健康影響に関する知識の普及	胃潰瘍	%	28.9	38.9	D	100.0
		001	喫煙の健康影響に関する知識の普及	妊娠による胎児への影響	%	72.7	74.9	D	100.0
		001	喫煙の健康影響に関する知識の普及	COPD(慢性閉塞性肺疾患)	%	52.8	51.9	D	100.0
		002	喫煙率の減少		%	44.1	40.9	D	22.0

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
高齢期	①	001	たばこが健康に及ぼす影響を正しく知っている人の割合の増加	ぜんそく	%	72.1	74.8	D	100.0
		001	たばこが健康に及ぼす影響を正しく知っている人の割合の増加	心臓病	%	48.5	54.2	D	100.0
		001	たばこが健康に及ぼす影響を正しく知っている人の割合の増加	胃潰瘍	%	24.9	25.2	D	100.0
		001	たばこが健康に及ぼす影響を正しく知っている人の割合の増加	歯周病	%	22.3	32.7	D	100.0
		001	たばこが健康に及ぼす影響を正しく知っている人の割合の増加	COPD (慢性閉塞性肺疾患)	%	33.2	24.3	D	100.0

### <歯と口腔の健康>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	006	おやつ時間を決めている子どもの割合の増加	3歳	%	72.0	72.1	D	82.0
子育て世代	①	001	昼食後歯磨きをする人の割合の増加		%	30.4	30.1	D	40.0
働き盛りの世代	①	001	歯磨きの時に歯ブラシだけでなくデンタルフロスや歯間ブラシを使用している人の割合の増加		%	42.7	43.8	D	52.0

■悪化傾向にある指標（E）

＜栄養と食生活＞

ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	001	子どもの食生活について「悪い」「どちらかといえば悪い」と感じている保護者の割合の減少	中2	%	21.9	23.0	E	17.0
		001	子どもの生活について「悪い」「どちらかといえば悪い」と感じている保護者の割合の減少	3歳	%	34.0	39.6	E	30.0
		001	ファーストフードを食事として週1回以上利用している子どもの割合の減少	中2	%	4.1	11.3	E	0.0
		001	ファーストフードを食事として週1回以上利用している子どもの割合の減少	小5	%	9.0	14.0	E	4.0
		001	ファーストフードを食事として週1回以上利用している子どもの割合の減少	3歳	%	10.0	11.3	E	5.0
		001	朝食で副菜を食べている子どもの割合の増加	中2	%	45.7	35.2	E	51.0
		001	朝食で副菜を食べている子どもの割合の増加	小5	%	48.4	42.4	E	53.0
		002	野菜をよく食べる子どもの割合の増加	中2	%	44.3	41.8	E	50.0
		004	好き嫌いがなくなってもよく食べる子どもの割合の増加	中2	%	44.7	41.3	E	63.0
		005	おやつ回数を1日2回までと決めている子どもの割合の増加	中2	%	98.0	97.2	E	100.0
		005	おやつ回数を1日2回までと決めている子どもの割合の増加	小5	%	98.0	97.0	E	100.0
		005	おやつ回数を1日2回までと決めている子どもの割合の増加	3歳	%	79.0	69.8	E	89.0
子育て世代	①	001	成人の1日あたりの野菜の必要量を知っている人の割合の増加		%	35.5	33.8	E	40.0
		003	朝食に主食・主菜・副菜を揃えて食べる人の割合の増加		%	20.1	16.9	E	25.0
		004	1日に食べる野菜料理が「3～4皿」の人の割合の増加		%	24.8	21.8	E	29.0
	②	003	規則正しい生活を送るよう心がけている人の割合の増加		%	29.4	23.3	E	40.0
	①	103	食事や食品の購入時に栄養成分表示を参考にしている人の割合の増加		%	7.5	3.4	E	12.0
	②	101	規則正しい生活を送るよう心がけている人の割合の増加		%	29.4	23.3	E	40.0
働き盛り世代	①	004	野菜の摂取量の増加	3～4皿	%	35.9	22.4	E	45.0
		004	野菜の摂取量の増加	5皿以上	%	4.7	2.1	E	14.0
		005	主食・主菜・副菜を組み合わせている人の割合の増加	朝食	%	32.7	26.5	E	37.0
		005	主食・主菜・副菜を組み合わせている人の割合の増加	夕食	%	90.5	85.8	E	95.0
	②	003	休肝日を設けている人の割合の増加（週に0～6日飲むと答えた人）		%	78.6	72.2	E	88.0

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
高齢期	①	001	毎日朝食を食べる人の割合の増加		%	95.4	91.6	E	100.0
		002	食事を適量とっている人の割合の増加		%	86.0	83.2	E	91.0
	②	001	主食・主菜・副菜を揃えて食べている人の割合の増加	朝食	%	66.2	61.7	E	71.0
		001	主食・主菜・副菜を揃えて食べている人の割合の増加	夕食	%	86.3	82.2	E	91.0
		002	1日に野菜料理を5皿食べている人の割合の増加		%	7.2	0.9	E	17.2

### <運動と身体活動>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	005	学校の授業以外で運動している子どもの割合の増加	中2	%	87.2	80.3	E	92.0
		005	外遊びや散歩の時間が60分以上の子どもの割合の増加	3歳	%	64.0	56.6	E	74.0
		006	テレビやゲームの時間を決めている子どもの割合の増加	中2	%	46.0	42.5	E	56.0
		104	テレビやゲームの時間を決めている子どもの割合の増加	中2	%	46.0	42.5	E	56.0
子育て世代	①	001	健康の知識を得ることを心がけている人の割合の増加		%	18.2	16.2	E	28.0
		107	一緒に運動できる相手(家族以外)の増加		%	40.8	26.5	E	45.0
		108	正しい運動方法を教えてくれる人が「スマイルヘルスサポーター」と答えた人の割合の増加		%	3.1	0	E	8.0
働き盛り世代	①	002	1回30分以上の運動を週に2回以上、1年間継続している人の割合の増加		%	26.2	20.0	E	36.0
		003	正しい運動方法を紹介してくれる人が身近にいる人の割合の増加		%	14.7	12.6	E	20.0
		004	日常生活において、健康のために意識的に体を動かすようにしている人の割合の増加		%	72.6	61.1	E	80.0
		005	運動を中心としたグループや集まりに参加したことがある人の割合の増加		%	34.1	25.5	E	44.0
高齢期	①	001	運動習慣がある人の割合の増加	男性	%	44.4	32.1	E	54.0
		001	運動習慣がある人の割合の増加	女性	%	44.6	30.4	E	54.0
		002	運動習慣がある人の割合の増加	男性	%	44.4	32.1	E	54.0
		002	運動習慣がある人の割合の増加	女性	%	44.6	30.4	E	54.0
		003	日常生活のなかで、意識的に体を動かしている人の割合の増加		%	86.6	81.3	E	96.0
	②	001	自分の歩数を把握している人の割合の増加	男性	%	41.3	34.5	E	51.0
		101	仲間と一緒に、運動を楽しんでいる人の割合の増加		%	42.1	33.6	E	52.1

<こころの健康>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	103	子どもが会話のなかで気持ちや自分の考えを上手に伝えることができると思う保護者の増加	中2	%	67.1	59.6	E	77.1
		103	子どもが会話のなかで気持ちや自分の考えを上手に伝えることができると思う保護者の増加	小5	%	74.2	69.7	E	84.2
	②	003	ストレスや悩み、疲労感を自分で解消できている人の割合の増加	だいたいできている	%	60.7	58.7	E	65.0
子育て世代	①	001	人と気軽に会話している人の割合の増加		%	65.4	63.9	E	70.0
		002	人と気軽に会話している人の割合の増加		%	65.4	63.9	E	70.0
	②	004	この1カ月間、睡眠で休養が十分とれている人の割合の増加	十分とれている	%	24.3	21.1	E	29.0
		101	悩み等を気軽に相談できる相手や支援してくれる人がいる人の割合の増加		%	82.2	80.1	E	87.0
		102	一緒に運動している相手（家族・友人）の割合の増加	友人	%	40.8	26.5	E	45.0
働き盛りの世代	①	001	自分や周りの人の心の健康を気にしている人の割合の増加		%	68.6	63.2	E	78.0
		002	悩み等を気軽に相談できる相手や支援してくれる人がいる人の割合の増加		%	72.7	66.9	E	77.0
		003	ストレスや悩み、疲労感を自分なりに解消できている人の割合の増加		%	65.6	53.9	E	70.0
		004	過去半年以内に趣味やスポーツのサークルや団体の活動への参加者の割合の増加		%	27.1	17.7	E	32.0
		004	生活のなかで人とのつながりは必要と感じている人の割合の増加		%	89.4	84.4	E	94.0
		101	自分や周りの人の心の健康を気に掛けている人の割合の増加		%	68.6	63.2	E	78.0
		102	悩み等を気軽に相談できる相手や支援してくれる人がいる人の割合の増加		%	72.7	66.9	E	77.0
高齢期	①	001	悩み等を気軽に相談できる相手や支援してくれる人がいる人の割合の増加	男性	%	60.0	56.0	E	65.0
		001	悩み等を気軽に相談できる相手や支援してくれる人がいる人の割合の増加	女性	%	74.6	69.6	E	80.0
		101	自分や周りの人の心の健康を気に掛けている人の割合の増加	男性	%	61.3	57.1	E	66.0
		101	自分や周りの人の心の健康を気に掛けている人の割合の増加	女性	%	73.2	69.6	E	78.0
		102	自分や周りの人の心の健康を気に掛けている人の割合の増加	男性	%	61.3	57.1	E	66.0
		102	自分や周りの人の心の健康を気に掛けている人の割合の増加	女性	%	73.2	69.6	E	78.0

<循環器疾患・糖尿病>

ス テ ィ フ ラ イ フ ス テ ィ ジ	目標・取組		評価指標等						
	中 目 標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子 ど も	①	001	起床時間が7時までの子どもの増加	中2	%	95.0	87.6	E	100.0
		001	起床時間が7時までの子どもの増加	3歳	%	58.0	48.3	E	78.0
		001	就寝時間が23時以降減少 ※3歳児は22時以降減少	中2	%	68.0	71.8	E	48.0
		002	朝食を食べない子どもの減少	小5	%	0.0	0.8	E	0.0
	②	004	肥満傾向にある子どもの割合の減少	中学男子	%	9.9	10.6	E	現状より 減少
		004	肥満傾向にある子どもの割合の減少	中学女子	%	8.1	12.4	E	現状より 減少
		004	肥満傾向にある子どもの割合の減少	小学男子	%	9.8	10.7	E	現状より 減少
		004	肥満傾向にある子どもの割合の減少	3歳	%	0.0	6.1	E	現状より 減少
		006	学校の授業以外で運動している子どもの増加（中2、小5）	中2	%	87.2	80.3	E	92.2
		006	外遊びや散歩の時間が60分以上の子どもの増加（3歳）	3歳	%	64.0	56.6	E	74.0
009	おやつのお返しを決めている子どもの割合の増加	3歳	%	79.0	69.8	E	89.0		
子 育 て 世 代	①	001	健康の知識を得ることを心がけている人の割合の増加		%	18.2	16.2	E	28.0
		002	メタボリックシンドロームを知っている人の割合の増加		%	80.4	71.8	E	90.0
		003	規則正しい生活を心がけている人の割合の増加		%	29.4	23.3	E	39.0
		004	ほぼ毎日体重を測る人の増加		%	22.7	19.0	E	32.0
働 き 盛 り 世 代	①	003	かかりつけ医（内科医）がいると答えた人の割合の増加		%	57.6	50.8	E	62.0
		004	自分の血圧値を知っている人の割合の増加		%	82.8	75.3	E	87.0
		004	体重管理をしている人の割合の増加		%	72.7	70.8	E	77.0
		005	日常生活のなかで、歩くように心がけている人の割合の増加		%	67.5	62.8	E	77.0
		006	食事の適量を心がけて食べるようにしている人の割合の増加		%	76.3	67.5	E	81.0

<がん>

ス テ ィ フ ラ イ フ ス テ ィ ジ	目標・取組		評価指標等						
	中 目 標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子 ど も	①	102	規則正しい生活を送るよう心がけている保護者の割合の増加	中2 保護者	%	79.9	76.5	E	85.0
	①	102	規則正しい生活を送るよう心がけている保護者の割合の増加	小5 保護者	%	81.1	76.7	E	86.0
子 育 て 世 代	①	002	朝食に主食・主菜・副菜を揃えて食べる人の割合の増加		%	20.1	16.9	E	30.0
	①	007	お酒を飲む頻度が「毎日」の人の割合の減少		%	9.8	17.7	E	5.0



ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
働き盛りの世代	①	001	がん検診を受けた人の割合の増加	肺がん検診	%	70.2	67.5	E	75.0
	①	001	がん検診を受けた人の割合の増加	大腸がん検診	%	57.8	50.0	E	75.0

<たばこ>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子育て世代	②	003	受動喫煙があったと答えた人の割合の減少		%	57.5	69.2	E	47.0
		102	受動喫煙があったと答えた人の割合の減少		%	57.5	69.2	E	47.0
働き盛りの世代	①	003	受動喫煙の機会を有する人の割合の減少		%	51.7	62.1	E	10.0
高齢期	①	001	たばこが健康に及ぼす影響を正しく知っている人の割合の増加	妊娠による胎児への影響	%	48.5	39.3	E	100.0

<歯と口腔の健康>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	005	好き嫌いがなく何でもよく食べる子どもの割合の増加	中2	%	58.3	53.7	E	68.0
		005	好き嫌いがなく何でもよく食べる子どもの割合の増加	小5	%	57.8	53.3	E	68.0
		005	子どもの食生活について「悪い」「どちらかといえば悪い」と感じている保護者の減少	中2	%	21.9	23.0	E	17.0
		005	子どもの食生活について「悪い」「どちらかといえば悪い」と感じている保護者の減少	3歳	%	34.0	39.6	E	24.0
		006	おやつ回数を1日0回~2回と決めている子どもの割合の増加	中2	%	98.0	97.2	E	100.0
		006	おやつ回数を1日0回~2回と決めている子どもの割合の増加	小5	%	98.0	97.0	E	100.0
		006	おやつ回数を1日0回~2回と決めている子どもの割合の増加	3歳	%	79.0	69.8	E	89.0
子育て世代	①	101	朝食後に歯磨きをする人の増加		%	80.4	75.6	E	90.0
		102	朝食後に歯磨きをする人の増加		%	80.4	75.6	E	90.0
高齢期	①	001	食後の歯みがきを心がけている人の割合の増加	昼食後	%	24.9	21.5	E	30.0
		001	食後の歯みがきを心がけている人の割合の増加	就寝前	%	79.1	54.2	E	85.0

■評価できなかった指標

<栄養と食生活>

ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	002	1 日で 5 皿の野菜料理を食べる子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	3.3	—	現状より増加
		002	1 日で 5 皿の野菜料理を食べる子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	3.1	—	現状より増加
	②	002	料理の手伝いや料理を通して食材に親しんでいる子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	39.9	—	45.0
		002	料理の手伝いや料理を通して食材に親しんでいる子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	62.6	—	67.0
	①	101	家族で食事内容について話し合っている人の割合の増加	中2	%	今後把握	92.5	—	95.0
		101	家族で食事内容について話し合っている人の割合の増加	小5	%	今後把握	93.0	—	95.0
		102	1 日 5 皿の野菜料理を出す家庭の割合の増加	中2	%	今後把握	3.3	—	5.0
		102	1 日 5 皿の野菜料理を出す家庭の割合の増加	小5	%	今後把握	3.1	—	5.0
		102	1 日 5 皿の野菜料理を出す家庭の割合の増加	3歳	%	今後把握	2.8	—	5.0
		104	外食やレトルト食品の利用回数が週 2 回以下の人の割合の増加	中2	%	今後把握	93.9	—	95.0
		104	外食やレトルト食品の利用回数が週 2 回以下の人の割合の増加	小5	%	今後把握	92.6	—	95.0
		104	外食やレトルト食品の利用回数が週 2 回以下の人の割合の増加	3歳	%	今後把握	96.2	—	98.0
		105	品数が少ない家庭で、今より 1 品多く料理を食卓に出すよう心がけている家庭の割合の増加	中2	%	今後把握	3.3	—	5.0
		105	品数が少ない家庭で、今より 1 品多く料理を食卓に出すよう心がけている家庭の割合の増加	小5	%	今後把握	3.1	—	5.0
		105	品数が少ない家庭で、今より 1 品多く料理を食卓に出すよう心がけている家庭の割合の増加	3歳	%	今後把握	2.8	—	5.0
		106	子どもと一緒に会話を楽しみながら食事をしている人の割合の増加	中2	%	今後把握	92.5	—	95.0
		106	子どもと一緒に会話を楽しみながら食事をしている人の割合の増加	小5	%	今後把握	93.0	—	95.0
		106	子どもと一緒に会話を楽しみながら食事をしている人の割合の増加	3歳	%	今後把握	96.2	—	98.0
	107	子どものおやつ回数を 1 日 2 回までと決めている人の割合の増加		%	今後把握	69.8	—	72.0	
	②	101	買い物や料理を通して、体に安心な食品について子どもと一緒に考えている人の割合の増加	中2	%	今後把握	47.4	—	48.0
		101	買い物や料理を通して、体に安心な食品について子どもと一緒に考えている人の割合の増加	小5	%	今後把握	45.5	—	48.0
		101	買い物や料理を通して、体に安心な食品について子どもと一緒に考えている人の割合の増加	3歳	%	今後把握	50.0	—	52.0
		102	家族で子どもと一緒に料理する機会を持ち、手作りの大切さを伝えている人の割合の増加	中2	%	今後把握	33.8	—	35.0
		102	家族で子どもと一緒に料理する機会を持ち、手作りの大切さを伝えている人の割合の増加	小5	%	今後把握	52.5	—	55.0

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目 標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子育て世代	①	002	食材購入時の野菜（野菜料理）の品数		%	今後把握	21.8	－	25.0
		106	家族や友人と調理法を教え合う機会の増加		%	今後把握	21.4	－	23.0
働き盛りの世代	①	001	自分の野菜の摂取量を把握している人の割合の増加		%	今後把握	99.8	－	100.0
		002	野菜料理の情報を積極的に得ている人の割合の増加		%	今後把握	12.1	－	20.0
	②	001	飲酒の健康影響を知っている人の割合の増加（メタボリックシンドローム、肝疾患、精神的影響など）		%	今後把握	98.4	－	98.0
		004	お酒のおつまみには塩分や脂肪分の少ないものや野菜を使ったおつまみを心がけている人の割合の増加		%	今後把握	35.8	－	38.0
		005	飲酒に関する専門相談窓口を知っている人の割合の増加		%	今後把握	10.1	－	12.0
	①	101	家族の野菜の摂取量を把握している人の割合の増加		%	今後把握	36.0	－	25.0
		104	野菜料理についての情報交換をしている人の割合の増加（家庭で、職場で、地域で、上記以外で）		%	今後把握	23.5	－	25.0
	②	101	家族の飲酒量を把握している人の割合の増加		%	今後把握	34.6	－	37.0
		102	職場や家庭において、無理に飲酒を勧められたことのある人の割合の減少		%	今後把握	11.9	－	10.0
	高齢期	①	003	1日3食とっている人の割合の増加		%	今後把握	89.7	－
004			規則正しい食習慣を継続している人の割合の増加		%	今後把握	94.4	－	97.0
②		004	食事でカルシウムやビタミンDを多くとるように気をつけている人の割合の増加		%	今後把握	69.2	－	72.0
①		101	周りの人と食生活についての情報交換をしている人の割合の増加		%	今後把握	46.7	－	48.0
		102	食事摂取の有無について声を掛け合っている人の割合の増加		%	今後把握	46.7	－	48.0
②		101	間食の内容に気をつけている人の割合の増加		%	今後把握	25.9	－	52.0
		102	健康に良いレシピの情報を交換している人の割合の増加		%	今後把握	46.7	－	48.0

<運動と身体活動>

ステージ	目標・取組		評価指標等							
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度	
子ども	①	001	自分の体格の変化に関心を持っている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	63.4	—	65.0	
		001	自分の体格の変化に関心を持っている子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	74.3	—	75.0	
		002	自分の適正体重を知っている子どもの増加	中2	%	今後把握	42.7	—	45.0	
		002	自分の適正体重を知っている子どもの増加	小5	%	今後把握	31.5	—	33.0	
		003	運動の大切さについて理解している子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	86.9	—	90.0	
		003	運動の大切さについて理解している子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	80.2	—	85.0	
		004	週に1回以上体重を測っている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	35.7	—	38.0	
		004	週に1回以上体重を測っている子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	34.6	—	36.0	
	②	001	家族や友達等と一緒に体を動かしている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	75.1	—	77.0	
		001	家族や友達等と一緒に体を動かしている子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	74.3	—	77.0	
		001	家族や友達等と一緒に体を動かしている子どもの割合の増加	3歳	%	今後把握	95.3	—	97.0	
	③	101	家庭内で子どもと一緒に運動に取り組んでいる人の割合の増加	中2	%	今後把握	45.5	—	47.0	
		101	家庭内で子どもと一緒に運動に取り組んでいる人の割合の増加	小5	%	今後把握	70.0	—	72.0	
		101	家庭内で子どもと一緒に運動に取り組んでいる人の割合の増加	3歳	%	今後把握	95.3	—	97.0	
		102	家族で体重・体脂肪を測る習慣がある人の割合の増加	中2	%	今後把握	24.9	—	27.0	
		102	家族で体重・体脂肪を測る習慣がある人の割合の増加	小5	%	今後把握	24.9	—	27.0	
	子育て世代	①	002	何らかの体力測定会に1回以上参加したことがある人の割合の増加		%	今後把握	16.9	—	18.0
			005	何らかの運動講座、レッスンに年2回以上参加したことがある人の割合の増加		%	今後把握	10.5	—	12.0
			103	休日に家族または親子で歩くことを心がけている人の割合の増加	中2	%	今後把握	9.9	—	12.0
			103	休日に家族または親子で歩くことを心がけている人の割合の増加	小5	%	今後把握	13.2	—	15.0
103			休日に家族または親子で歩くことを心がけている人の割合の増加	3歳	%	今後把握	30.2	—	32.0	
105			家族や友人と運動方法を教え合う機会の増加		%	今後把握	75.8	—	78.0	
106			町内会などの地域の集まりの際に軽体操を行う機会の増加		%	今後把握	13.5	—	15.0	
働き盛り世代	①	006	自分の1日の活動量を知っている人の割合の増加		%	今後把握	27.0	—	30.0	
		007	スポーツジムや運動施設を利用している人の割合の増加		%	今後把握	13.8	—	16.0	

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
高齢期	①	004	自分に合った具体的な運動の目標を持っている人の割合の増加		%	今後把握	81.3	—	83.0
	②	002	毎日の歩数目標を決め、歩いている人の割合の増加		%	今後把握	21.5	—	23.0
	①	101	集まり等で運動を取り入れている人の割合の増加		%	今後把握	18.7	—	20.0
		102	周りの人と運動についての情報交換をしている人の増加		%	今後把握	33.6	—	36.0
		103	筋力トレーニングの大切さについて知っている人の割合の増加		%	今後把握	81.3	—	83.0

<こころの健康>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	001	家族やまわりの人にあいさつを心がけている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	93.4	—	95.0
		001	家族やまわりの人にあいさつを心がけている子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	94.6	—	95.0
		001	家族やまわりの人にあいさつを心がけている子どもの割合の増加	3歳	%	今後把握	92.5	—	95.0
		005	まわりの人が困っていたら助けてあげている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	92.0	—	95.0
		005	まわりの人が困っていたら助けてあげている子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	91.8	—	95.0
		006	困った時は家族や友達、先生に相談している子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	86.4	—	90.0
		006	困った時は家族や友達、先生に相談している子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	90.3	—	93.0
		101	家族や周りの人と積極的にあいさつしている人の割合の増加	中2	%	今後把握	93.4	—	95.0
		101	家族や周りの人と積極的にあいさつしている人の割合の増加	小5	%	今後把握	94.6	—	95.0
		101	家族や周りの人と積極的にあいさつしている人の割合の増加	3歳	%	今後把握	92.5	—	95.0
		102	子どもに絵本の読み聞かせをすることを心がけている人の割合の増加		%	今後把握	67.9	—	70.0
		104	まわりに困っている子どもがいたら、相談に乗ってあげている人の割合の増加	中2	%	今後把握	92.0	—	95.0
		104	まわりに困っている子どもがいたら、相談に乗ってあげている人の割合の増加	小5	%	今後把握	91.8	—	95.0
		105	健診結果について子どもと話をする人の割合の増加	中2	%	今後把握	57.7	—	60.0
		105	健診結果について子どもと話をする人の割合の増加	小5	%	今後把握	63.0	—	65.0
105	健診結果について子どもと話をする人の割合の増加	3歳	%	今後把握	62.3	—	65.0		

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子育て世代	②	001	自分のストレスの原因が思い当たる人の割合の増加		%	今後把握	80.1	—	83.0
		002	ストレスチェックしている人の割合の増加		%	今後把握	59.8	—	63.0
	③	001	心の病気に関する知識がある人の割合の増加		%	今後把握	89.1	—	92.0
	①	101	相手に配慮した会話を心がけている人の割合の増加		%	今後把握	91.4	—	94.0
	③	101	心の相談窓口の認知度		%	今後把握	45.5	—	48.0
働き盛り世代	①	005	自分の心の休息をとることを心がけている人の割合の増加		%	今後把握	81.7	—	85.0
		006	飲酒と心の健康の関連について知っている人の割合の増加		%	今後把握	86.4	—	88.0
		007	精神疾患や認知症に関して正しい知識を持っている人の割合の増加		%	今後把握	92.4	—	95.0
		103	家庭や職場でのコミュニケーションは重要と感じている人の割合の増加		%	今後把握	66.9	—	70.0
		104	地域とつながりがあると感じている人の割合の増加		%	今後把握	34.6	—	37.0
		105	スポーツやボランティア、趣味の活動と一緒に参加する仲間がいる人の割合の増加		%	今後把握	25.5	—	27.0
高齢期	①	002	日頃からあいさつを心がけている人の割合の増加		%	今後把握	75.7	—	78.0
		003	積極的に周りの人と交流することを心がけている人の割合の増加		%	今後把握	32.7	—	35.0
		004	気の合う仲間と食事会やお茶飲みなどを楽しんでいる人の割合の増加		%	今後把握	32.7	—	35.0
	②	002	自分の得意なこと、関心のあることを通して周りの人と交流している人の割合の増加		%	今後把握	37.4	—	40.0
		102	同じ趣味を持つ人たちとの交流をしている人の割合の増加		%	今後把握	37.4	—	40.0

<循環器疾患・糖尿病>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	003	食べ物の栄養について理解している子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	66.2	—	68.0
		003	食べ物の栄養について理解している子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	63.8	—	65.0
	②	001	自分の体格の変化に関心を持っている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	63.4	—	65.0
		001	自分の体格の変化に関心を持っている子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	74.3	—	76.0
		002	自分の適正体重の認知率の増加	中2	%	今後把握	42.7	—	45.0
		002	自分の適正体重の認知率の増加	小5	%	今後把握	31.5	—	33.0
		003	定期的に体重を測っている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	35.7	—	38.0
		003	定期的に体重を測っている子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	34.6	—	38.0
		004	肥満ややせによる健康への影響について理解している子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	58.2	—	60.0

ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども		004	肥満ややせによる健康への影響について理解している子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	47.9	—	50.0
		005	日常生活で歩くよう心がけている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	9.9	—	13.0
		005	日常生活で歩くよう心がけている子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	13.2	—	15.0
		007	友達や家族と誘い合って体を動かしている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	75.1	—	77.0
		007	友達や家族と誘い合って体を動かしている子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	74.3	—	77.0
		007	友達や家族と誘い合って体を動かしている子どもの割合の増加	3歳	%	今後把握	95.3	—	98.0
		008	食事をよくかんでゆっくり食べている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	70.9	—	73.0
		008	食事をよくかんでゆっくり食べている子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	64.6	—	67.0
		008	食事をよくかんでゆっくり食べている子どもの割合の増加	3歳	%	今後把握	73.6	—	75.0
		008	食べすぎないように気をつけている人の割合の増加	中2	%	今後把握	70.9	—	73.0
		008	食べすぎないように気をつけている人の割合の増加	小5	%	今後把握	64.6	—	67.0
		008	食べすぎないように気をつけている人の割合の増加	3歳	%	今後把握	73.6	—	75.0
	①	101	家族みんなでそれぞれの生活リズムについて確認している人の割合の増加	中2	%	今後把握	94.4	—	現状より増加
		101	家族みんなでそれぞれの生活リズムについて確認している人の割合の増加	小5	%	今後把握	96.1	—	現状より増加
		103	規則正しい生活の実行をお互いに確認している人の割合の増加	中2	%	今後把握	94.4	—	現状より増加
		103	規則正しい生活の実行をお互いに確認している人の割合の増加	小5	%	今後把握	96.1	—	現状より増加
		105	かかりつけ医を持っている人の割合の増加	中2	%	今後把握	94.4	—	現状より増加
		105	かかりつけ医を持っている人の割合の増加	小5	%	今後把握	97.3	—	現状より増加
		105	かかりつけ医を持っている人の割合の増加	3歳	%	今後把握	91.6	—	現状より増加
	②	101	子どもの肥満や体の変化に気づき、早期の改善を心がけている人の割合の増加	中2	%	今後把握	62.4	—	65.0
		101	子どもの肥満や体の変化に気づき、早期の改善を心がけている人の割合の増加	小5	%	今後把握	68.5	—	70.0
		101	子どもの肥満や体の変化に気づき、早期の改善を心がけている人の割合の増加	3歳	%	今後把握	66.0	—	70.0
		102	家族の体調チェックを心がけている人の割合の増加	中2	%	今後把握	57.7	—	60.0
		102	家族の体調チェックを心がけている人の割合の増加	小5	%	今後把握	63.0	—	65.0
		102	家族の体調チェックを心がけている人の割合の増加	3歳	%	今後把握	62.3	—	65.0
		103	家族の体調チェックを心がけている人の割合の増加	中2	%	今後把握	57.7	—	60.0
		103	家族の体調チェックを心がけている人の割合の増加	小5	%	今後把握	63.0	—	65.0
		103	家族の体調チェックを心がけている人の割合の増加	3歳	%	今後把握	62.3	—	65.0

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目 標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども		104	家族で出かける時はなるべく歩くように心がけている人の割合の増加	中2	%	今後把握	9.9	—	13.0
		104	家族で出かける時はなるべく歩くように心がけている人の割合の増加	小5	%	今後把握	13.2	—	15.0
		104	家族で出かける時はなるべく歩くように心がけている人の割合の増加	3歳	%	今後把握	30.2	—	33.0
		105	運動が続けられるように声がけしあっている人の割合の増加	中2	%	今後把握	75.1	—	77.0
		105	運動が続けられるように声がけしあっている人の割合の増加	小5	%	今後把握	74.3	—	77.0
		105	運動が続けられるように声がけしあっている人の割合の増加	3歳	%	今後把握	95.3	—	98.0
		106	家族みんなで誘い合って運動している人の割合の増加	中2	%	今後把握	75.1	—	77.0
		106	家族みんなで誘い合って運動している人の割合の増加	小5	%	今後把握	74.3	—	77.0
		106	家族みんなで誘い合って運動している人の割合の増加	3歳	%	今後把握	95.3	—	98.0
		107	ゆっくりかんで食べることを声がけし合っている人の割合の増加	中2	%	今後把握	70.9	—	73.0
		107	ゆっくりかんで食べることを声がけし合っている人の割合の増加	小5	%	今後把握	64.6	—	67.0
		107	ゆっくりかんで食べることを声がけし合っている人の割合の増加	3歳	%	今後把握	73.6	—	75.0
		108	おやつは時間・量を決めて出し、食べすぎないよう声がけしている保護者の割合の増加	3歳	%	今後把握	72.1	—	75.0
子育て世代	①	005	機会を見つけて血圧をはかる人の割合の増加		%	今後把握	14.3	—	17.0
		007	健診結果によって、必要な保健指導を受けた人の割合の増加		%	今後把握	34.9	—	45.0
		008	体調不良時は早めに受診するよう心がけている人の割合の増加		%	今後把握	39.8	—	43.0
		102	家族や友人と健康方法を教え合う機会の増加		%	今後把握	27.4	—	30.0
		103	自分や周りの人の健康を気にかけている人の割合の増加		%	今後把握	89.8	—	90.0
働き盛り世代	①	002	健診結果によって、必要な医療機関を受診した人の割合の増加		%	今後把握	73.1	—	75.0
		002	健診結果によって、必要な保健指導を受けた人の割合の増加		%	今後把握	34.1	—	35.0
高齢期	①	005	和食を中心とした食事をしている人の割合の増加		%	今後把握	90.7	—	93.0
		006	よく噛んで食べるよう心がけている人の割合の増加		%	今後把握	72.0	—	75.0
		101	近隣の人々の健康を気にかけている人の割合の増加		%	今後把握	43.9	—	45.0
		102	健診を受けるように声がけし合っている人の割合の増加		%	今後把握	35.5	—	38.0



<がん>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	002	がん発症のリスクや予防法、がんについての正しい知識を持っている子どもの割合の増加	中2 保護者	%	今後把握	40.4	—	42.0
		002	がん発症のリスクや予防法、がんについての正しい知識を持っている子どもの割合の増加	小5 保護者	%	今後把握	31.1	—	33.0
		101	がんについて子どもと話し合う機会を持っている人の割合の増加	中2	%	今後把握	40.4	—	43.0
		101	がんについて子どもと話し合う機会を持っている人の割合の増加	小5	%	今後把握	31.1	—	33.0
子育て世代	①	001	がん予防の知識を得ることを心がけている人の割合の増加		%	今後把握	61.7	—	63.0
		009	乳がん検診受診者のうち自己検診をした人の割合の増加		%	今後把握	60.7	—	62.0
		010	大腸がん検診精密検査受診率		%	今後把握	85.2	—	87.0
		011	体調不良時がまんせずに受診した人の割合の増加		%	今後把握	39.8	—	43.0
働き盛り 世代	①	101	がん検診の受診を勧奨している職場の割合の増加		%	今後把握	83.9	—	85.0
		102	検診のための休暇がとりやすいと答えた人の割合の増加		%	今後把握	77.1	—	79.0
高齢期	①	101	家族や友人同士で、がんについての情報を共有している人の割合の増加		%	今後把握	29.9	—	33.0
		102	検診の大切さを話し合う機会を持つよう心がけている人の割合の増加		%	今後把握	35.5	—	38.0
		103	誘い合って検診に行くよう心がけている人の割合の増加		%	今後把握	35.5	—	38.0

<たばこ>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	001	たばこの健康への影響の理解の認知度の増加	中2	%	今後把握	75.6	—	78.0
		001	たばこの健康への影響の理解の認知度の増加	小5	%	今後把握	67.7	—	70.0
		003	受動喫煙の危険性が高い所を知り、近づかないよう心がけている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	86.9	—	90.0
		003	受動喫煙の危険性が高い所を知り、近づかないよう心がけている子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	84.4	—	88.0
		101	たばこの健康への影響の理解の認知度の増加	中2	%	今後把握	75.6	—	78.0
		101	たばこの健康への影響の理解の認知度の増加	小5	%	今後把握	67.7	—	70.0
		102	子どもがいる場所ではたばこを吸わないよう心がけている人の割合の増加	中2	%	今後把握	83.2	—	85.0
		102	子どもがいる場所ではたばこを吸わないよう心がけている人の割合の増加	小5	%	今後把握	80.5	—	83.0
		103	子どもがいる場所ではたばこを吸わないよう心がけている人の割合の増加	中2	%	今後把握	83.2	—	85.0
		103	子どもがいる場所ではたばこを吸わないよう心がけている人の割合の増加	小5	%	今後把握	80.5	—	83.0

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子育て世代	①	002	禁煙補助用品や禁煙外来の認知度		%	今後把握	91.1	—	93.0
		001	喫煙時に分煙に配慮する人の割合の増加		%	今後把握	58.2	—	75.0
	②	002	喫煙時に分煙に配慮する人の割合の増加		%	今後把握	38.0	—	45.0
		101	身近な人に禁煙をすすめた人の割合の増加		%	今後把握	14.7	—	16.0
	①	102	自分やまわりの人の健康を気にかける人の割合の増加	中2	%	今後把握	75.6	—	78.0
		102	自分やまわりの人の健康を気にかける人の割合の増加	小5	%	今後把握	67.7	—	70.0
		103	仲間と禁煙に取り組む人の割合の増加	中2	%	今後把握	75.6	—	78.0
		103	仲間と禁煙に取り組む人の割合の増加	小5	%	今後把握	67.7	—	70.0
②	101	喫煙時に分煙に配慮する人の割合の増加		%	今後把握	58.2	—	75.0	
働き盛り世代	①	102	禁煙・分煙対策が行われている家庭の増加		%	今後把握	14.9	—	20.0
高齢期	①	101	周りの人とたばこの健康への影響についての情報を話し合う機会がある人の割合の増加		%	今後把握	15.0	—	17.0
		102	禁煙中の人を支える意識を持つ人の増加		%	今後把握	15.0	—	17.0

<歯と口腔の健康>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	②	001	食べ物をよくかんで食べている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	70.9	—	73.0
		001	食べ物をよくかんで食べている子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	64.6	—	67.0
		001	食べ物をよくかんで食べている子どもの割合の増加	3歳	%	今後把握	73.6	—	75.0
	①	102	かかりつけ歯科医を持っている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	86.9	—	90.0
		102	かかりつけ歯科医を持っている子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	87.9	—	90.0
		102	かかりつけ歯科医を持っている子どもの割合の増加	3歳	%	今後把握	41.7	—	45.0
		104	おやつを選び方食べ方に注意を払っている人の割合の増加	中2	%	今後把握	22.1	—	25.0
		104	おやつを選び方食べ方に注意を払っている人の割合の増加	小5	%	今後把握	27.6	—	30.0
		104	おやつを選び方食べ方に注意を払っている人の割合の増加	3歳	%	今後把握	43.4	—	45.0
	②	101	子どもがよく噛めるように配慮して食事を作っている人の割合の増加	中2	%	今後把握	33.3	—	35.0
		101	子どもがよく噛めるように配慮して食事を作っている人の割合の増加	小5	%	今後把握	32.7	—	35.0
		101	子どもがよく噛めるように配慮して食事を作っている人の割合の増加	3歳	%	今後把握	59.4	—	63.0
		102	子どもと一緒に会話を楽しみながら食事をしている人の割合の増加	中2	%	今後把握	47.4	—	50.0

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等						
	中 目 標	取 組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	②	102	子どもと一緒に会話を楽しみながら食事をしている人の割合の増加	小5	%	今後把握	57.2	—	60.0
		102	子どもと一緒に会話を楽しみながら食事をしている人の割合の増加	3歳	%	今後把握	61.3	—	65.0
子育て世代	①	002	歯ブラシを携帯する人の割合の増加		%	今後把握	30.1	—	40.0
		003	ブラッシング方法について学んだ人の割合の増加		%	今後把握	66.2	—	68.0
働き盛り世代	①	003	朝食後に歯磨きをしている人の割合、夕食後に歯磨きをしている人の割合、就寝前に歯磨きをしている人の割合	就寝前	%	今後把握	66.9	—	70.0
		102	就労している人のなかで、昼食後に歯磨きをしている人の割合の増加		%	今後把握	30.6	—	33.0
高齢期	①	003	正しい姿勢でよく噛んでたべている人の割合の増加		%	今後把握	72.0	—	75.0
		004	誤嚥性肺炎の予防について正しい知識をもつ人の割合の増加		%	今後把握	57.9	—	60.0
		101	しっかり噛んで食べるよう声を掛けあっている人の割合の増加		%	今後把握	28.0	—	30.0
		101	会話を楽しんでいる人の割合の増加		%	今後把握	90.7	—	94.0
		102	家族や周りの人の歯の健康について気にかけている人の増加		%	今後把握	21.5	—	24.0
		103	誤嚥性肺炎について周りの人と話をする人の割合の増加		%	今後把握	10.3	—	12.0
		104	周りの人に歯科健診を勧めている人の割合の増加		%	今後把握	16.8	—	20.0

(2) 公助

■十分評価できる (A)

<栄養と食生活>

ステータス ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	201	乳幼児健診での栄養指導実施	全健診で実施	1,109人	A	継続
		201	保育所(園)の栄養指導・相談実施	全所(園)で実施	継続	A	継続
		202	保育所(園)、学校における給食指導	全所(園)、全校で実施	継続	A	継続
		202	保護者対象の食育指導の実施	全所(園)、全校で実施	継続	A	継続
		203	給食における行事食、郷土食の提供の実施	全所(園)、全校で実施	継続	A	継続
		204	いわぬま健幸運動の実施	年2回(6月、11月)	実施	A	継続
		205	広報での普及啓発	実施無	6回	A	年1回以上
		205	食育ウィークの実施回数	年1回(11月)	年1回	A	継続
		205	FM「食育カレンダー」放送回数	年48回	年48回	A	継続
	②	207	家庭菜園の場所の提供や家庭菜園講座の開催数	今後把握	54区画 講座:年1回	A	現状値を把握 後に設定→ 提供数: 56区画 講座:年1回
子育て世代	①	202	FM「食育カレンダー」放送回数	年48回	年48回	A	継続
	①	212	農業体験イベントの実施	実施	芋堀体験:1回 料理教室:1回	A	継続
働き盛りの世代	①	206	FM「食育カレンダー」放送回数	年48回	年48回(週1)	A	継続
高齢期	①	201	食育ウィークの実施回数	年1回(11月)	年1回	A	継続
		203	FM「食育カレンダー」放送回数	年48回	年48回	A	継続
		204	食生活改善推進員の定期講習会の開催	年8回	年8回	A	継続

<運動と身体活動>

ステータス ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	②	201	親子参加型のスポーツイベントの開催数	年6回	グリーンピア: 年50回	A	現状より増加
高齢期	①	201	ロコモティブシンドロームの普及啓発回数	年2回	年16回 355人	A	現状より増加
		202	運動普及リーダーなどによる地域での運動 出前講座の開催数	年23回	年88回 1,498人	A	現状より増加
		203	運動出前講座の開催数	年5回	年14回379人	A	現状より増加
		204	運動普及リーダー育成と活動支援回数	年23回	定例会年49回 473人 地区:年88回 1,498人	A	継続
	②	202	歩道設置路線数	121路線	134路線	A	1路線増加

<こころの健康>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	201	あいさつ運動の実施	実施無	実施	A	継続
		202	親子ふれあい絵本事業実施回数	年12回	継続	A	継続
子育て世代	③	204	妊産婦訪問事業での産後うつ病スクリーニング実施率	100%	100%	A	100%
		207	すくすく教室、ちびっこ相談での相談実施回数	年24回	年24回	A	継続
高齢期	①	204	閉じこもり予防講座開催数	年190回	年192回	A	現状より増加
	②	201	気軽に立ち寄り話ができるような地域のサロンの数	実施無	84ヶ所	A	40カ所

<循環器疾患・糖尿病>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	②	201	乳幼児健診・育児相談、保育所（園）、幼稚園、学校における定期計測、内科健診の実施	実施	継続	A	継続
		206	歩道設置路線数	121路線	134路線	A	1路線増加
子育て世代	①	202	基本健診実施	実施	実施	A	継続
		205	生活習慣病予防講演会開催数	年2回	年3回	A	年2回以上
		207	生活習慣病予防料理教室の開催数	年3回	年3回	A	継続
		209	公共施設自動血圧計設置数	3カ所	4カ所	A	3カ所以上
働き盛り世代	①	204	脳検診受診率	21.4%	27.5%	A	26%
高齢期	①	204	後期高齢者健康診査の夜間・休日開催回数	年6回	継続（6回）	A	継続
		207	生活習慣病予防料理教室の開催数	年2回	年3回	A	現状より増加
		209	生活習慣病予防講演会開催数	年2回	年3回	A	現状より増加
		210	気楽に利用できる相談窓口の設置数・回数	成人保健相談回数 年11回 健康相談回数179回 高齢者相談窓口 5カ所	成人健康相談 年7回 高齢者相談窓口 15カ所	A	現状より増加

<がん>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	201	PTA 行事や育成会、子供会等におけるがんやがん予防について普及啓発回数	今後把握	各学校で実施	A	継続
子育て世代	①	201	広報での普及啓発（各種検診ごとに実施月の前後に実施）	年1回	年7回	A	年1回以上
		201	乳幼児健診時に普及啓発	実施無	実施	A	4, 5, 6月の乳幼児健診時
		203	各種がん検診（肺がん、大腸がん、胃がん、乳がん、前立腺がん）の実施	実施	継続	A	継続
		204	精検対象者への受診勧奨	実施	継続	A	継続
		205	申込者で未受診者への受診勧奨	実施無	実施	A	今後実施
		207	成人保健相談実施回数	年11回	年27回18人	A	継続
		208	乳がん検診時保健指導実施回数	年16回	年16回	A	継続
世代 働き盛り	①	202	夜間、土日のがん検診実施	実施	継続	A	継続
		206	精検対象者への受診勧奨	実施	継続	A	継続
		207	肝炎ウイルス検査の実施回数	年26日	年24日	A	継続
高齢期	①	201	広報、ホームページ等によるがん予防の普及啓発回数	年16回	年16回以上実施	A	現状より増加
		202	各種がん検診の種類の数	6種類	継続（6種類）	A	継続
		203	夜間、土日のがん検診実施	実施	継続	A	継続
		206	精検対象者への受診勧奨	実施	継続	A	継続

<たばこ>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	202	広報での普及啓発	実施無	年1回	A	年1回
世代 子育て	①	206	母子健康手帳交付時の普及啓発数	喫煙者のみ指導実施	全件実施	A	全件実施
高齢期	①	201	喫煙、受動喫煙の健康影響についての普及啓発回数	年28回 （肺がん検診26回、ポスター1回）	年26回 ポスター1回	A	現状より増加

<歯と口腔の健康>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	204	乳幼児歯科保健講座の開催	実施無	年1回	A	年1回
世代 子育て	①	203	妊婦歯科健診の実施（受診率）	実施無	33.9%	A	今後実施 （30%以上）
高齢期	①	204	歯科健診を受けることのできる歯科医院の数	17カ所	19カ所	A	継続

■評価できる（B）

＜栄養と食生活＞

ステージ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	205	レシピ集を活用した事業数	年16回	年2回	B	継続
子育て世代	①	203	食育ウィークの実施回数	年1回（11月）	年1回	B	継続
		204	ホームページでの野菜料理の作り方掲載の実施	実施	継続（1回）	B	継続
		205	食生活改善推進員の定期講習会開催数	年8回	年8回	B	継続
		206	広報での普及啓発	実施無	実施無	B	年1回以上
		207	栄養相談・指導が必要な人への指導の実施	実施	継続	B	継続
		208	各種乳幼児健診における集団指導の実施	実施	1,554人	B	継続
		209	指導が必要な人への指導の実施	実施	継続	B	継続
		210	生活習慣病予防料理教室の託児付開催数	年3回	年3回（託児希望者1名）	B	継続
		210	骨粗しょう症予防料理教室（託児付）開催数	実施無	年1回（託児希望者なし）	B	年1回以上
		211	健診後の個別支援対象者の栄養指導の実施	実施	継続（20～39歳なし）	B	継続
働き盛り世代	①	201	野菜摂取目標の「1日5皿350g」について広報誌への掲載回数	年1回	実施無	B	年2回
		203	食生活改善推進員の定期講習会開催数	年8回	年8回	B	継続
		205	食育ウィークの実施回数	年1回（11月）	年1回	B	継続
		208	骨粗しょう症予防料理教室参加者	年3回実施 264人参加	年3回 312人（全年齢）	B	290人
		208	生活習慣病予防料理教室参加者	年2回実施 59人参加	年3回 64人	B	65人
		209	特定保健指導の実施率	動機付け支援 29.5% 積極的支援 12.0%	動機付け支援 32.2% 積極的支援 14.7%	B	動機付け支援、積極的支援とも60%（平成29年）
	②	201	適正飲酒の正しい知識について普及啓発	実施無	年12回	B	年1回以上
		201	健康に関する教室における、適正飲酒の正しい知識普及啓発の実施回数	年2回	年1回	B	現状より増加
		202	飲酒に関する相談窓口について広報での普及啓発	実施無	年13回	B	年1回以上
		202	飲酒に関する相談窓口についてホームページでの普及啓発	実施	通年	B	継続
高齢期	①	206	骨粗しょう症検診における栄養指導参加者	骨粗しょう症検診受診者 538名	312人	B	現状より増加
		207	骨粗しょう症予防・生活習慣病予防料理教室	骨粗しょう症予防料理教室 37名 生活習慣病予防料理教室 59名	骨：18人 生：64人	B	現状より増加
	②	201	生活習慣病予防料理教室の開催数	年3回	年3回	B	継続
		202	低栄養予防についての普及開発	実施	年1回	B	継続

<運動と身体活動>

ライフ ステージ	目標・取組		評価指標等				
	中 目 標	取 組	評価指標	現状値 H25 年度	中間値 H29 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	201	運動の必要性に関する講演会の実施、研修会の実施	今後把握	健康増進課：1回 グリーンピア：318回	B	現状より増加
		207	ウォーキングマップの作成（配布）数	2,000部/2年	2,000部配布中	B	10000部/10年
	②	201	ウォーキングコースの設定数	5コース	5コース	B	10コース
子育て世代	①	203	広報でPRを実施	実施	広報掲載 健康増進課：5回/年 グリーンピア：12回/年	B	継続
		203	区長会総会で出前講座のPRを実施	実施	継続	B	継続
		204	ウォーキングマップの作成（配布）数	2,000部/2年	配布中	B	10,000部/10年
		206	市主催運動講座開催数	年21回	年14回	B	年21回以上
		206	市主催託児付運動講座開催数	実施無	3回	B	年1回以上
働き盛り世代	①	202	運動講座（昼、夜）への参加人数の増加	437人	健康増進課：14回 379人	B	480人
		203	ウォーキング体験会の実施回数と参加人数	実施2回 参加34人	年1回	B	現状より増加
		204	運動に関する情報について広報誌への掲載回数	3回	健康増進課：3回 グリーンピア：12回	B	現状より増加
		204	運動に関する情報についてホームページへの掲載	実施	継続	B	継続
高齢期	①	203	ウォーキング体験会開催数	年3回	年1回	B	現状より増加
		205	地域介護予防活動支援の回数	年580回	年1,031回	B	現状より増加



<こころの健康>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25 年度	中間値 H29 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	203	絵本の読み聞かせの実施	今後把握	実施	B	継続
子育て世代	①	202	心の健康相談実施回数	年 12 回	3 回開催/年 12 回実施	B	継続
	②	201	市内外の運動イベントの情報をホームページで提供	随時掲載	HP 掲載 健康増進課： 年 5 回 グリーンピア： 年 12 回 総合体育館： 年 12 回	B	継続
		203	心の健康相談実施回数	年 12 回	3 回開催/年 12 回実施	B	継続
	③	201	広報記事掲載回数	随時掲載	年 4~5 回	B	継続
		203	心の健康相談実施回数	年 12 回	3 回開催/年 12 回実施	B	継続
		205	ママサポート事業で把握した要支援母子への支援の実施	実施	H29 年度 再訪問：16 件 電話：76 件 来所：4 件 健診：59 件 保健師フォロー： 22 件	B	継続
		206	赤ちゃんホットラインの実施	実施 (毎週月・水・金)	継続	B	継続
働き盛り世代	①	201	相談できる場、市役所の窓口に関する情報について広報誌への掲載回数	毎月掲載	年 12 回	B	継続
		202	相談できる場、市役所の窓口に関する情報について広報誌への掲載回数	毎月掲載	年 12 回	B	継続
		203	メンタルヘルスやコミュニケーションに関する講座（講演）の開催数	年 1 回	年 3 回	B	継続
		204	心の健康相談実施回数	年 12 回	3 回開催/年 12 回実施	B	継続
		206	心の悩みや、思いを傾聴する支援者の育成機会の回数	年 1 回	年 1 回	B	現状より増加
		207	精神疾患や認知症に関して正しい知識について広報での普及啓発	年 3 回	広報：年 5 回 講座年 3 回	B	現状より増加
		高齢期	①	201	相談機関等の市民への周知	随時	年 12 回
202	気軽に立ち寄り話ができるような地域のサロンの数			実施無	8カ所	B	40カ所
204	心の健康相談実施回数			年 12 回	3 回開催/年 12 回実施	B	継続
205	サロンに従事するスタッフ数			今後把握	18 人	B	現状より増加
②	202		シニア世代のボランティア人材バンクの設置数	今後把握	個人 62 名 団体 6 つ	B	現状より増加

<循環器疾患・糖尿病>

ステージ	タイプ	目標・取組		評価指標等				
		中目標	取組	評価指標	現状値 H25 年度	中間値 H29 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
子ども	①	201	「はやね・はやおき・あさごはん運動」の実施		実施	実施	B	継続
		202	いわぬま健幸運動の実施		年2回（6月、11月）	継続	B	継続
	②	203	肥満・やせ・生活習慣病予防等についての指導の実施		実施	継続	B	継続
		204	乳幼児保健講座の開催数		年1回	年2回	B	年2回
		207	保育所（園）、学校における栄養指導の実施		実施	継続	B	継続
子育て世代	①	201	広報での啓発（各健診ごとに実施月の前後に実施）		年1回	実施 （年1回以上）	B	年1回以上
		201	乳幼児健診時に普及啓発を実施		実施無	実施	B	4、5、6月の乳幼児健診時
		203	広報での普及啓発回数		年1回	年1回	B	年1回以上
		204	土日、夜間健診、未健者健診の実施回数、託児ありPR		土日、夜間健診、未健者健診各2回、託児PRなし	土日夜間6回 未健2回 （託児なし）	B	継続、 託児PR実施
		206	健診有所見者への個別指導の実施		実施	実施	B	継続
		208	成人保健相談実施回数		年11回	年6回7人 （随時）	B	継続
働き盛りの世代	①	201	生活習慣病（予防も含む）について広報での普及啓発		年1回	9月広報（健康増進普及月間） 血圧測定コーナー （2箇所/年）設置	B	現状より増加
		202	特定健康診査の夜間、休日開催の実施回数		夜間2回、休日4回	夜間4回 休日2回	B	継続
		203	商店、事業所における雇用主への健診受診啓発		実施無	実施無	B	年1回以上
		203	特定健診受診率		46.1%	43.1% （法定報告）	B	60%
		203	未健診者健診の実施回数		年2回	年2回	B	継続
		205	生活習慣病に関する料理教室の開催数と参加人数		年2回 59人参加	年3回64人	B	年2回以上 実施 1回につき 40人以上
		206	有所見者に対する訪問指導		実施	継続	B	継続
		207	特定保健指導の実施率		動機付け支援：29.5% 積極的支援：12.0%	動機付け： 36.9% 積極的：17.2%	B	動機付け支援、積極的支援とも60%
		208	成人保健相談実施回数		年11回	年7回6人 （随時）	B	継続

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
高齢期	①	202	健診受診勧奨の機会の確保	年 27 回	年 26 回	B	継続
		203	住民主催の健康づくりサークル等の育成支援回数	年 61 回 麦の会 10 回 食生活改善推進協議会 28 回 運動普及リーダー 23 回	年 46 回	B	継続
		205	特定保健指導実施率	29.5%	32.3%	B	60%

<がん>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	203	がんに関する相談窓口一覧の作成	実施無	実施	B	継続
世代 子育て	①	202	子宮がん検診、乳がん検診等のがん検診未検者検診を実施	実施無	実施	B	継続
		206	広報での普及啓発	年 1 回	実施無	B	年 1 回以上
働き盛りの世代	①	201	がんや検診に関する正しい知識について広報への掲載回数	実施	実施	B	継続
		203	相談窓口の設置	実施（成人保健相談）	継続	B	継続
		204	胃がん検診における保健指導実施日数	年 15 日	年 17 日	B	継続
		204	乳がん検診における保健指導実施日数	年 16 日	年 16 日	B	継続
		205	成人保健相談実施回数	年 11 回	年 27 回	B	継続
高齢期	①	204	胃がん・乳がん検診における保健指導実施率	胃がん検診：100% 乳がん検診：100%	継続（100%）	B	継続
		205	成人保健相談実施回数	年 11 回	年 27 回	B	継続

<たばこ>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	201	母子健康手帳交付時の禁煙・受動喫煙防止に関する指導率	100%	100%	B	100%
		202	学校での普及啓発	全校で実施	継続（100%）	B	継続
		204	たばこの害についての教育の実施	全校で実施	継続（100%）	B	継続
		205	分煙の際は、受動喫煙に考慮した喫煙所の設置（市民行事、イベント等）	今後把握	敷地内禁煙： 20カ所 建物内禁煙： 9カ所	B	現状値を把握後に設定
世代 子育て	②	201	広報での普及啓発回数	実施無	年 1 回	B	年 1 回以上
働き盛りの世代	①	201	たばこによる健康への影響について広報での普及啓発	実施無	年 1 回	B	年 1 回以上
		203	医療機関と連携した禁煙対策の実施	実施無	実施無	B	年 1 回以上

<歯と口腔の健康>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	201	乳幼児健診、相談、教室における歯科健診・ 歯科指導実施	実施	継続	B	継続
		202	乳幼児健診、相談、教室における歯科健診・ 歯科指導実施	実施無	継続	B	年1回
		203	乳幼児健診、相談、教室における歯科健診・ 歯科指導実施	実施	継続	B	継続
		205	有所見者に対する早期受診勧奨	実施	継続	B	継続
		206	広報での普及啓発	年0回	年1回	B	年1回以上
		207	乳幼児健診における栄養指導実施	実施	継続	B	継続
	②	201	広報での啓発	実施無	実施	B	今後実施
		201	乳幼児健診における啓発の実施	実施無	実施	B	今後実施
		201	保育所(園)での啓発	実施無	実施	B	今後実施
		201	学校での啓発	実施無	実施	B	実施
201		幼稚園での啓発	実施無	実施	B	今後実施	
子育て世代	①	201	広報での普及啓発	実施無	実施	B	今後実施
		201	乳幼児健診時の保護者への指導回数	実施無	年12回	B	年12回
		202	乳幼児歯科保健講座の開催数	実施無	年1回	B	今後実施
		202	歯と健康のつどい開催数	実施無	H29・30年度 実施	B	5年に1回
働き盛り世代	①	201	歯周疾患検診受診率	7.7%	11.2%	B	17%
		203	むし歯、歯周疾患や歯磨きに関する正しい知識や6024運動について広報での普及啓発	実施無	年1回	B	年1回以上
		204	むし歯、歯周疾患や歯磨きに関する正しい知識や6024運動、8020運動についてホームページでの普及啓発	実施無	年1回	B	年1回以上
		204	歯と口の健康に関するイベントの開催	実施無	年1回	B	年1回以上
高齢期	①	201	高齢者の歯や口の健康の大切さについての普及啓発	年3回	健康増進課： 年2回 (104名)	B	現状より増加
		202	口腔ケア講座の開催数	年2回	年1回	B	現状より増加
		203	誤嚥性肺炎について普及啓発回数	年2回	健康増進課： 年2回 (104名)	B	現状より増加

■進捗が思わしくない（C）

<栄養と食生活>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	205	各地区での健康料理講習会の実施回数	年29回	年16回	C	現状より増加
	②	204	親子料理教室の実施回数	年1回 (食生活改善推進員) 年3回 (保育所(園))	健康増進課： 年2回 食生活改善推進員： 年1回 子ども福祉課： 年0回	C	継続
子育て世代	①	201	レシピ集を活用した事業数	年16回	年2回	C	継続
	②	201	「いわぬま健幸運動」で朝6：30頃に起床する子どもの割合の増加	中2：39% 小5：45%	中2：33% 小5：42%	C	中2：44% 小5：50%
		202	食生活改善推進員の伝達講習会の回数	年29回	年16回	C	現状より増加
働き盛りの世代	①	202	レシピ集を活用した事業数	年16回	年2回	C	継続
	①	203	各地区での健康料理講習会の実施回数	年29回	年16回	C	現状より増加
	①	207	骨粗しょう症検診の受診率	25.1%	23.8%	C	35%
	②	201	飲酒に関する相談窓口	2カ所	1カ所	C	現状より増加
高齢期	①	202	レシピ集を活用した事業数	年16回	年7回	C	継続
		204	各地域で健康料理講習会の開催数	年29回	年16回	C	現状より増加
		205	適正飲酒の啓発に関する事業数	集団4回、個別32名	集団：0人 個別：1人	C	現状より増加
	②	203	レシピ集を活用した事業数	年16回	年2回	C	継続

<運動と身体活動>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	202	体重計が設置されている施設数の増加	5施設	1施設	C	10施設
子育て世代	①	202	市内外の運動イベントの情報をホームページで提供	随時掲載	グリーンピア： 年1回	C	継続
		207	運動普及リーダー活動支援の実施	実施	継続	C	継続
		207	運動普及リーダー登録者数	17人	スマイル10人 元気4人	C	30人
働き盛りの世代	①	201	運動普及リーダー育成と活動支援の実施	実施	継続	C	継続
		201	運動普及リーダーの登録者数	17人	スマイル10人 元気4人	C	30人

<こころの健康>

※該当指標なし

<循環器疾患・糖尿病>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	②	202	体重計を設置している学校、公共施設数	学校：全校 公共施設：5施設 (13施設中)	学校：全校 公共施設：5施設 (13施設中)	C	継続 現状より増加
働き盛り 世代	①	205	生活習慣病予防講演会の開催数と参加人数	年2回 120人参加	年3回 96人	C	年2回以上 実施 1回につき 70人以上
高齢期	①	208	成人保健相談利用者数	年39人	年6人	C	現状より増加

<がん>

※該当指標なし

<たばこ>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子育て世代	①	202	成人保健相談での禁煙相談実施	実施無	実施	C	継続
		207	成人保健相談での禁煙相談実施	実施	実施	C	継続

<歯と口腔の健康>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子育て世代	①	204	成人保健相談での歯科相談の実施	実施無	実施	C	今後実施

## ■実施していない取組（E）

### <栄養と食生活>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	②	203	歌や映像などを活用した体に安心な食について普及啓発	実施無	実施無	E	今後実施
		205	親子料理コンテスト等の実施	実施無	実施無	E	今後実施
働き盛りの世代	①	204	スーパー・小売店、飲食店、社員食堂等と連携した、野菜の摂取を勧める活動の実施	実施無	実施無	E	年1回以上

### <運動と身体活動>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	203	幼児向け外遊び講座の開催数	年1回	実施無	E	年3回
		204	楽しみながらできる幼児期の運動メニュー作成	実施無	実施無	E	今後実施
		209	運動記録ができる手帳の作成	実施無	実施無	E	今後実施
	②	203	子ども会や地域の集まりなどで取り組める運動の推奨	実施	実施無	E	今後実施
子育て世代	①	201	年代別体力指標（いわぬま版）の作成の実施	実施無	実施無	E	今後実施
		203	乳幼児健診で乳児運動指針の配布	実施無	実施無	E	今後実施
		205	ウォーキング体験会開催数	年2回	年1回	E	年3回以上
		205	体力測定会の実施	実施無	実施無	E	年1回以上
高齢期	②	201	歩数を把握しやすい道路標識等の設置	実施無	実施無	E	今後実施

### <こころの健康>

ステージ ライフ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	209	地域住民が気軽に集まることができる行事の実施	今後把握	実施無	E	今後実施
子育て世代	①	203	心の相談に関する一覧表の作成（配布）の実施	実施無	実施無	E	今後実施
	②	202	心の健康講座実施回数	年1回	実施無	E	今後実施
	③	202	心の健康講座実施回数	年1回	実施無	E	今後実施
働き盛りの世代	①	205	男性を中心とした相談や支援の実施回数	実施無	実施無	E	年1回以上
高齢期	①	203	心の健康講座開催数	年1回	実施無	E	今後実施

<循環器疾患・糖尿病>

ステージ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	203	レシピ集を活用した簡単な朝食メニューや食べ方の紹介	実施無	実施無	E	今後実施
	②	205	家族で使える運動記録手帳の作成	実施無	実施無	E	今後実施
働き盛り世代	①	201	生活習慣病（予防も含む）についてホームページでの普及啓発	年1回	実施無	E	現状より増加
		203	健診未健者への個別訪問	実施無	実施無	E	年1回以上
高齢期	①	206	有所見者に対する訪問指導件数	年97件	無（65歳以下にしているため）	E	今後実施

<がん>

ステージ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子育て世代	①	201	子育てサークルに普及啓発	実施無	実施無	E	年1回以上
働き盛り世代	①	208	子宮がん乳がん検診クーポン対象者の未検者検診受診率の向上	今後把握（H26年度からの新規事業）	H28年度に終了	E	—

<たばこ>

ステージ	目標・取組		評価指標等				
	中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
子ども	①	203	喫煙、禁煙、肺がん体験者の体験談を含む講演会の実施	実施無	実施無	E	今後実施
子育て世代	①	201	学校での講演回数	実施無	実施無	E	年1回以上
		203	広報での普及啓発回数	実施無	実施無	E	年1回以上
		204	受動喫煙防止の理解促進のための巡回指導回数	実施無	実施無	E	年1回以上
		205	禁煙ゾーンの設置数	設置無	実施無	E	今後実施
		207	成人保健相談での禁煙相談実施	年11回	年0回	E	今後実施
	②	202	禁煙ゾーンの設置数	設置無	実施無	E	今後実施
働き盛り世代	①	202	専門相談窓口について広報誌への掲載回数	実施無	実施無	E	年1回以上
		204	たばこ対策に優れている会社の紹介の実施	実施無	実施無	E	今後実施
高齢期	①	202	成人保健相談での禁煙相談件数	年0件	実施無	E	現状より増加

<歯と口腔の健康>

※該当指標なし



## 5. 計画最終年度の目標達成の見込み

計画最終年度における、自助・共助の評価指標の目標達成の見込みについては、今回の中間目標値を達成しているA評価の評価指標は、このまま同じように推移すると、計画最終年度に目標を達成することになります。中間目標値が現状値（H25年度）と目標値（H35年度）の中間の値を設定しているためです。

評価Bは中間目標値に対して60%以上100%未満の割合にある指標ですので、これまで以上の取組によって計画最終年度に目標達成する見込みは十分にあると言えます。

一方、C評価は中間評価時点で、中間目標値の60%未満にある指標であり、計画最終年度での目標達成は厳しい指標だと言えます。しかし、悪化しているわけではなく、改善傾向にはありますので、計画目標値が高かった可能性も含めて、次期計画策定時に再検討が必要な指標です。

D評価については、変化が見られなかった指標ですので、取組についての再検討が必要です。

E評価については、悪化している状況にありますので、目標値の設定も含めて根本的な見直しが必要で

## 6. 基本方針の取組状況

### (1) 健康寿命を延ばそう

#### ①計画達成状況

健康寿命、平均寿命ともに延びていますが、健康寿命の伸びは平均寿命の伸び以下にとどまっております。目標である『平均寿命の増加分を上回る増加』に至っておりません。

目標項目	対象	単位	現状値 H25年	中間値 H29年	増加分	目標値 H35年	
健康寿命の延伸	男性	平均寿命	歳	79.93	82.42	2.49	平均寿命の増加分 を上回る増加
		健康寿命	歳	78.39	80.48	2.09	
	女性	平均寿命	歳	87.49	87.76	0.27	
		健康寿命	歳	83.74	83.78	0.04	

#### ②取組の状況

○栄養と食生活の分野では、関係機関と連携した食育ウィーク等での食育推進、各種保健事業を通じてより良い食生活のあり方について啓発を行っています。

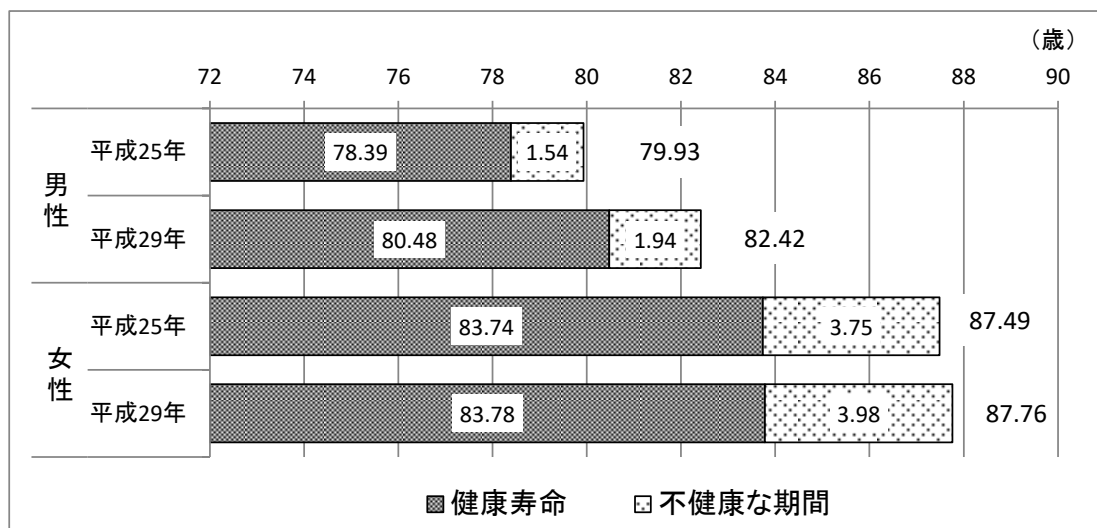
○運動の分野では、運動講座や運動に関する情報の発信をとおして、運動習慣を身につけるための支援を行っています。

○循環器疾患、糖尿病、がんの分野では、特定健康診査及び各種がん検診の、夜間、土日開催を実施しました。また、未健（検）者健（検）診を実施し、受けやすい体制を整えています。

#### ③課題

男女ともに、平均寿命の伸びの方が健康寿命の伸びを上回っているため、平均寿命から健康寿命を引いた「不健康な期間」が伸びる結果になっています。

男性では「不健康な期間」は平成29年現在で1.94年となっていますが、女性では3.98年と4年近くになっており、特に女性の健康寿命の延伸が課題となっています。



#### ④今後の取組の方向性

- 栄養と食生活の分野では、スーパー、小売店、飲食店、社員食堂等と連携して野菜の適量摂取を啓発する活動を計画し、個人の取り組みにつながるよう支援していきます。
- 塩分を控えた食事について、乳幼児健康診査や各種料理教室、各種イベント等で機会を捉えて啓発していきます。
- 運動の分野では、運動の実施、継続につなげるために役立つと思われるウォーキングマップや健康づくり関係団体の活動等を活用できるよう働きかけていきます。

### (2) 生活習慣病の発症と重症化を予防しよう

#### ①目標の達成状況

『生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少』が男女ともに進捗状況はAとなっており、平成35年度の目標値を既に達成しています。

その他の評価また『肥満者（BMI $\geq$ 25）の割合の減少』については、女性は平成35年度の目標を既に達成していますが、男性は増加傾向にあります。

『メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の減少』の予備群が改善傾向にあります。が、その他では悪化傾向にあります。

	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗状況	目標値 H35年度
①	がん、心疾患における標準化死亡比の減少	がん 男性	/	114.96	98.2	} H28	県平均 以下
		心疾患 女性	/	99.28	98.2		
②	肥満者（BMI $\geq$ 25）の割合の減少	40～64歳男性	%	31.1	32.6	E	25.0
		40～64歳女性	%	19.0	9.6	A	18.0
③	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の減少	該当者	%	18.5	22.2	E	13.9
		予備群	%	12.6	11.7	C	9.5
④	運動習慣者の割合の増加	40～64歳男性	%	31.7	22.0	E	42.0
		40～64歳女性	%	22.9	14.7	E	33.0
⑤	成人の喫煙率の減少	成人男性	%	30.3	32.9	E	20.0
		成人女性	%	8.6	13.7	E	6.0
⑥	妊娠中の喫煙をなくす	/	%	3.4	1.2		0.0
⑦	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少	成人男性	%	19.2	9.3	A	12.0
		成人女性	%	13.2	2.8	A	6.0
⑧	妊娠中の飲酒をなくす	/	%	15.5	0.3		0.0

#### ②取組の状況

- 各種健（検）診の実施と事後指導により生活習慣病発症予防と重症化予防を図りました。
- 特定健診受診者に対して、がん検診で使用できるクーポン券を発行し、特定健診・がん検診の受診率向上を図りました。

- カラダみる Cafe やワンコイン血糖測定会などを開催し、生活習慣を振り返る機会や生活習慣改善の動機付けを促し、生活習慣病の予防を図りました。
- 運動方法を身につけ、運動習慣の定着を目指した運動教室の開催や運動普及のための運動普及サポーターを養成するなど、運動を身近に感じてもらうための取り組みを行っています。
- 母子手帳交付時や各乳幼児健診時に受動喫煙の害について普及啓発を図りました。
- 多量飲酒者に対して、多量飲酒に関する健康への影響の普及啓発および節酒支援を行っています。

### ③課題

飲酒に関しては、既に平成 35 年度の目標値を達成していますが、喫煙と運動が悪化傾向になっています。禁煙も運動も、日々の生活の中で地道に、継続的に実施していくことが必要であり、生活習慣として定着させることが目標となります。喫煙と運動は肥満やメタボリックシンドロームとも密接に関わっていると考えられるため、禁煙者と運動習慣者の増加が最も重要な課題と考えられます。

### ④今後の取組の方向性

- 各種健（検）診は、引き続き実施していきます。乳がん検診・子宮がん検診については、初めて対象となる年齢の方に対して自己負担額を免除するなど、受診しやすい体制整備や受診率向上に向けて取り組んでいきます。
- 運動するきっかけづくりや、運動が習慣化されるような環境づくりをより一層推進していきます。
- 喫煙による身体への影響について、普及啓発や禁煙希望者に対する支援をより一層推進していきます。

## (3) 健康を支え合う地域社会をつくろう

### ①目標の達成状況

『過去半年以内にボランティア活動をした人の割合の増加』が男女ともに進捗状況はAとなっており、男性では平成 35 年度の目標値を既に達成しています。

『誰かの役に立ちたいと思う人の割合の増加』については、女性は改善されB評価になっていますが、男性ではE評価と悪化傾向にあります。

『運動に取り組みやすいまちだと感じている人の割合の増加』については、平成 30 年度には減少しており、悪化傾向になっています。

	評価指標	対象	単位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗状況	目標値 H35 年度
①	地域の活動に参加している人の割合の増加	男性	%	27.4	28.8	D	37.0
		女性	%	22.0	23.3	D	32.0
②	地域でお互いに助け合って生活していると思う人の割合の増加	男性	%	36.6	34.2	D	56.0
		女性	%	35.0	32.1	D	55.0

	評価指標	対象	単位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗状況	目標値 H35 年度
③	誰かの役に立ちたいと思う人の割合の増加	男性	%	65.6	63.3	E	75.0
		女性	%	65.3	68.7	B	75.0
④	過去半年以内にボランティア活動をした人の割合の増加	男性	%	37.0	47.3	A	47.0
		女性	%	35.0	40.2	A	45.0
⑤	運動に取り組みやすいまちだと感じている人の割合の増加		%	59.4	54.9	E	69.0

## ②取組の状況

- 市の事業への協力や伝達講習会等で地域の健康づくりの取り組みを展開している食生活改善推進員の定例講習会を継続して開催し、活動支援を行ってきました。また、隔年で養成講座を開催し、新たな推進員の養成を行っています。
- 健康づくり運動普及リーダーを養成し、中央地区と西部地区に2つの団体が発足しました。市では継続して活動支援を行っています。各団体月1回実施している運動の市民公開講座や体験会に一般市民の参加を募り、多数の市民が参加しています。
- 一般市民、大学関係者、市職員等で構成するいわぬま市民健康づくり推進委員会「いわぬま健康づくり隊」を発足し、様々なイベント等で活動を展開してきました。
- 自主活動団体の活動内容と市民のニーズをマッチングし、子どもを持つ親も保健予防事業に参加しやすいようコーディネートをしてきました。
- 運動教室の開催やウォーキングマップの作成など、市民が運動しやすい環境づくりを推進してきました。

## ③課題

『誰かの役に立ちたいと思う人の割合の増加』については、女性は改善されていますが、男性は悪化傾向にあり、男性に向けた取組を強化していく必要があります。

『地域の活動に参加している人の割合の増加』は男女ともに僅かに増加していますが、このままでは平成35年度の目標に達しないため、取組の更なる充実が求められます。

『運動に取り組みやすいまちだと感じている人の割合の増加』については、「(2)生活習慣病の発症と重症化を予防しよう」にも関わってくる項目だと考えられるため、運動に関する取組は重点課題になってくると思われます。

## ④今後の取組の方向性

- 関係機関や各種運動団体と協働して、地域住民が運動しやすく、継続できる環境づくりをより一層推進していきます。
- 地域活動や運動の場、交流の場の情報を、積極的に発信していきます。
- 市民同士やサークル、団体が共に支え合い、活動に積極的に取り組むことができるよう支援していきます。
- 市民1人ひとりが食育についての意識を高め、健康的な食生活を実践できるよう、食生活改善推進協議会等の関係機関と連携して取り組みを推進していきます。

## 7. 中間評価による課題

### ■中学生を対象とした取組の強化

ライフステージ別の進捗状況をみると、「子どもの健康づくり」では、特に中学生の自己管理についての評価指標が悪く、現在の取組内容についての見直しを行い、新たな取組を行っていくことが必要だと思われます。

思春期にある中学生へのアプローチはデリケートな部分もあるため、効果を上げている事例等の収集や学校などの現場の声を幅広く拾っていくなど、施策強化にむけた取組が望まれます。

### ■規則正しい生活の啓発

どのライフステージでも自己管理についての評価指標が悪く、規則正しい生活、バランスのとれた食生活などの啓発が課題になってくると考えられます。

子どもの健康づくりについては、子育て世代の影響が大きいことから、親世代に向けた取組が一層重要になってきます。まずは、親世代の実践を第一の目標として、規則正しい生活を送る環境づくりへの取組が課題となります。

### ■子育て世代と働き盛り世代の循環器疾患・糖尿病についての取組強化

循環器疾患・糖尿病については、子育て世代と働き盛り世代で評価指標が悪く、抜本的な取組の見直しが必要だと考えられます。

子育て世代については、前頁項目にあるように規則正しい生活について課題があり、子どもの健康づくりの観点からも取組の見直しが必要だと思われます。また、子育て世代では、友人等の身近な人とのコミュニケーションにも課題がみられるため、様々な交流を通じた取組によって改善を図っていくことも考えられます。公助の取組においても、子育て世代の参加が芳しくないため、周知方法や実施方法が課題となっています。

働き盛り世代では、「一緒に運動できる相手がいる人の割合の増加」と「過去1年間に健康診断（査）を受けた人の割合の増加」以外の評価指標は悪化傾向になっているため、現在の取組内容の精査と今後の取組に向けた検討が必要だと思われます。生活習慣病に関する講演会や料理教室の参加が芳しくないため、子育て世代と同様に参加者を増やす取組が重要になってきます。

### ■運動を促進させる取組の強化

運動については、すべてのライフステージで、あまり進捗がみられない状況となっています。特に、働き盛り世代と高齢期では、運動実践の指標が悪く、体を動かしていない状況が伺えます。働き盛りでは、仕事等の関係で時間が取れないことや、高齢者では自分にあった運動を見つけることが難しいなど、それぞれに運動の実践を妨げる要因が異なると思われます。

そのため、スポーツ等を含めて、運動に参加しやすい機会・環境の整備を進めるとともに、スポーツ観戦等の糸口（きっかけ）づくりに取り組み、運動への関心を惹きつけ、健康との関係から実践に結び付くような仕掛けも必要だと思われます。

## 8. 重点的に取り組む分野

### (1) 栄養と食生活

○朝食を食べる人の割合は、子育て世代で改善傾向にあるものの、子ども、高齢期では悪化傾向であることから、世代毎に取り組みやすい方法を提案していきます。

○毎食野菜を食べている人の割合は、どの世代でも悪化傾向のため、まずは「毎食野菜を食べること」「バランスのとれた食事のために、主食、主菜、副菜をそろえること」の必要性について、継続して呼びかけていきます。

○適正塩分量を知っている人の割合は、子育て、働き盛り世代で悪化傾向にあり、塩分を控えた食事をとっている人の割合は全体の約4割に留まっていることから、「塩分を控えた食事をとっている人の割合の増加」を新たな目標とし、乳幼児健康診査や各種イベント等で機会を捉えて伝えていきます。

### (2) 運動

○運動と身体活動の調査結果は、目標を下回るものが多いため、健康な体づくりのために、体を動かすことに関心を持つことや、身近で気軽に体を動かすことができるきっかけづくりを行います。

○運動の効果を実感することで、運動習慣のある人の割合が増加するよう、より一層取り組みを強化します。

### (3) 循環器疾患・糖尿病

○循環器疾患・糖尿病の項目は、子育て世代と働き盛り世代で評価指標が悪いため、自分や家族の健康に関心を持てるよう、健康に関する情報をより一層わかりやすい形で発信します。

○基本健康診査や特定健康診査、後期高齢者健康診査の受診率の向上に向けて、より一層取り組みを強化します。

○特定健康診査等の結果、有所見者の割合が減少するよう、必要な人が適切な保健指導をタイムリーに受けられる体制をより一層整備していきます。

○健康診査の結果等のデータを活用し、科学的根拠に基づいた、より効果的な施策を推進していきます。

### Ⅲ ライフステージ別進捗状況

#### 1. 子どもの健康づくり（0～19歳）

【大目標（めざす姿）】

**安心して充実した毎日を送り、健康であることの幸せを実感し、明日を楽しみに夢を持ち続ける子どもになろう**

#### （1）自助・共助の達成状況（中間目標を達成した評価指標）

分野	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
栄養と食生活	①	001	子どもの食事が栄養バランスが悪いと思っている保護者の割合の減少	小5	%	13.5	10.5	A	8.0
		001	子どもの食事が栄養バランスが悪いと思っている保護者の割合の減少	3歳	%	20.0	14.2	A	15.0
		001	朝食で副菜を食べている子どもの割合の増加	3歳	%	38.0	45.3	A	43.0
運動と身体活動	①	006	テレビやゲームを1日2時間以上する子どもの割合の減少	中2	%	37.0	31.9	A	27.0
循環器疾患・糖尿病	①	002	朝食を食べない子どもの減少	3歳	%	1.00	0.0	A	0.0
		102	朝食を一人で食べている子どもの割合の減少	中2	%	38.0	11.3	A	33.0
		102	朝食を一人で食べている子どもの割合の減少	小5	%	14.0	8.9	A	9.0
歯と口腔の健康	①	001	むし歯の罹患率の減少	中学生	%	51.5	49.8	A	現状値より減少
				小学生	%	62.9	60.8	A	現状値より減少
		002		3歳	%	23.1	19.7	A	現状値より減少
		003	仕上げ磨きをしている保護者の増加	3歳	%	85.0	97.2	A	95.0
		004	洗面や歯磨きなどの基本的生活習慣が身につけている子どもの割合の増加	小5	%	84.0	89.1	A	94.0
		103							



## (2) 取組状況と評価

◇ 栄養と食生活

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	3件
B：改善	2件
C：改善傾向	1件
D：ほぼ変化なし	2件
E：悪化傾向	12件

公助の16件の指標中「A：十分評価できる」は10件となっています。「B：評価できる」は1件、「C：進捗が思わしくない」は2件、「E：実施無」は2件、「評価なし」が1件となっています。

A評価としては以下の指標があります。

- ①202：保育所（園）、学校における給食指導
- ①203：給食における行事食、郷土食の提供の実施
- ②207：家庭菜園の場所の提供や家庭菜園講座の開催数

給食では、地元の食材を取り入れたり、季節に合ったメニューの提供など工夫され、家庭菜園では、若手農業者団体を中心に家庭菜園の場所を提供し、年に1回作付相談会で作付指導を行っています。

◇ 運動と身体活動

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	1件
B：改善	1件
C：改善傾向	3件
D：ほぼ変化なし	1件
E：悪化傾向	4件

公助の12件の指標中「A：十分評価できる」は3件となっています。「B：評価できる」は3件、「C：進捗が思わしくない」は2件、「E：実施無」は4件となっています。

B評価は以下の3件です。

- ①201：運動の必要性に関する講演会の実施、研修会の実施
- ①207：ウォーキングマップの作成（配布）数
- ②201：ウォーキングコースの設定数

運動の必要性の啓発については、平成30年6月の子育て講演会でテーマに取り上げ、また、依頼に基き、小学校のPTA行事の際講話とインストラクターの派遣を実施しました。

【子どもの健康づくり（0～19歳）】

◇ こころの健康

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	0件
B：改善	2件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	0件
E：悪化傾向	2件

公助の10件の指標中「A：十分評価できる」は8件となっています。「B：評価できる」は1件、「C：進捗が思わしくない」は0件、「E：実施無」は1件となっています。

A評価は以下の2件です。

- ①201：あいさつ運動の実施
- ①202：親子ふれあい絵本事業実施回数

保育所（園）では、給食の前などに絵本の読み聞かせを行っています。

◇ 循環器疾患・糖尿病

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	3件
B：改善	3件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	3件
E：悪化傾向	12件

公助の10件の指標中「A：十分評価できる」は4件となっています。「B：評価できる」は3件、「C：進捗が思わしくない」は1件、「E：実施無」は2件となっています。

A評価としては以下の指標があります。

- ①201：「はやね・はやおき・あさごはん運動」の実施
- ②201：乳幼児健診・育児相談、保育所（園）、幼稚園、学校における定期計測、内科健診の実施
- ②206：歩道設置路線数

健診・相談は、全保育所（園）で年2回内科健診を実施し、子育て支援センターで育児相談を実施しています。

道の整備では、かさ上げ道路、避難路の整備に伴い、歩道の整備を行いました。

## ◇がん

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	0件
B：改善	0件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	0件
E：悪化傾向	2件

公助の2件の指標中「A：十分評価できる」は1件となっています。「B：評価できる」は1件、「C：進捗が思わしくない」は0件、「E：実施無」は0件となっています。

A評価は以下の1件です。

- ①201：PTA 行事や育成会、子供会等におけるがんやがん予防について普及啓発回数

普及啓発活動では、日本の現状、予防、検診等について、各校でがん教室を開催しました。

## ◇たばこ

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	0件
B：改善	0件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	0件
E：悪化傾向	0件

公助の6件の指標中「A：十分評価できる」1件となっています。「B：評価できる」は4件、「C：進捗が思わしくない」は0件、「E：実施無」は1件となっています。

A評価は以下の1件です。

- ①202：広報での普及啓発

分煙のための喫煙所の設置については、保育所、児童館、小中学校、保健センターは敷地内禁煙を実施し、市役所庁舎内は禁煙とし、庁舎敷地内に喫煙場所を3カ所設置しました。

【子どもの健康づくり（0～19歳）】

◇歯と口腔の健康

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	10件
B：改善	2件
C：改善傾向	1件
D：ほぼ変化なし	1件
E：悪化傾向	7件

公助の12件の指標中「A：十分評価できる」は1件となっています。「B：評価できる」は11件、「C：進捗が思わしくない」は0件、「E：実施無」は0件となっています。

A評価は以下の1件です。

- ①204：乳幼児歯科保健講座の開催

歯磨き教室や歯の衛生教室では、歯科医師による講話と歯科衛生士によるブラッシング指導を実施しました。

## （3）今後の取組の方向性

- ◇栄養と食生活 食生活については、ファストフードの利用、好き嫌い、おやつ  
の回数等で悪化傾向にあり、食生活全般についての改善が求めら  
れます。特に、中2では、多くの評価指標で悪化傾向にあり、取  
組の強化が必要です。  
公助の取組では、親子で参加する料理教室等の取組が低調なた  
め強化する必要があります。
- ◇運動と身体活動 テレビやゲームを1日2時間以上する子どもの割合は減少し  
ていますが、「テレビやゲームの時間を決めている子どもの割合  
の増加」については、自助・共助ともに中2では悪化傾向にある  
ため、時間の管理が課題となっています。  
また、「具体的な目標を設定し、毎日楽しく続けられる運動を  
行う」についても、悪化傾向がみられるため、子どもの運動を促  
す取組も課題です。  
公助の取組においても、取組が低調なため取組の強化が課題と  
なります。
- ◇こころの健康 日ごろから子どもと会話している保護者は増加していますが、  
「子どもが会話のなかで気持ちや自分の考えを上手に伝えるこ  
とができると思う保護者」は減少しており、子ども自身のコミュ  
ニケーションへの取組が課題となります。
- ◇循環器疾患・糖尿病 朝食を食べない子どもは、中2と小5では悪化傾向にありま  
す。また、肥満傾向にある子どもが増加しており、中2では学校  
の授業以外で運動していることも減少しています。  
おやつについては、時間と回数ともに決めている子どもの割合  
が減少しており、朝食を含めて保護者への啓発が課題となりま  
す。
- ◇がん 「規則正しい生活習慣を家庭で実践できるように環境を整え  
る」という評価指標が悪化傾向にあり、規則正しい生活を送るよ  
う心がけている保護者の増加が課題となります。
- ◇たばこ 分煙については評価されていますが、公民館や体育施設では分  
煙が十分ではないため、今後の推進が望まれます。
- ◇歯と口腔の健康 食生活については「規則正しく好き嫌いなく食べる」と小5を  
除き「歯に良いおやつを選び、だらだらと食べない」は悪化傾向  
にあり、今後の改善が望まれます。

（4）進捗状況

①栄養と食生活

中目標『①小さい頃から栄養バランスのとれた健康的な食事を楽しく食べよう』

■自助・共助

《A：中間目標達成》

- ◎001：子どもの食事が栄養バランスが悪いと思っている保護者の割合の減少（小5、3歳）
- ◎001：朝食で副菜を食べている子どもの割合の増加（3歳）

《B：改善》

- 〇〇〇1：子どもの食生活について「悪い」「どちらかといえば悪い」と感じている保護者の割合の減少（小5）
- 〇〇〇1：子どもの食事が栄養バランスが悪いと思っている保護者の割合の減少（中2）

《E：悪化傾向》

- 〇〇1：子どもの食生活について「悪い」「どちらかといえば悪い」と感じている保護者の割合の減少（中2、3歳）
- 〇〇1：ファストフードを食事として週1回以上利用している子どもの割合の減少（中2、小5、3歳）
- 〇〇1：朝食で副菜を食べている子どもの割合の増加（中2、小5）
- 〇〇2：野菜をよく食べる子どもの割合の増加（中2）
- 〇〇4：好き嫌いがなくなんでもよく食べる子どもの割合の増加（中2）
- 〇〇5：おやつ回数を1日2回までと決めている子どもの割合の増加（中2、小5、3歳）

子どもの食事の栄養バランスについては、平成35年度の目標に向かって順調に推移しています。

食生活については、ファストフードの利用、好き嫌い、おやつ回数等で悪化傾向にあり、食生活全般についての改善が求められます。特に、中2では、「子どもの食事が栄養バランスが悪いと思っている保護者の割合の減少」以外は悪化傾向にあり、取組の強化が必要だと考えられます。

■公助

《A：十分評価できる取組》

- ◎201：乳幼児健診での栄養指導実施
- ◎201：保育所（園）の栄養指導・相談実施
- ◎201：保育所（園）、学校における給食指導
- ◎202：保護者対象の食育指導の実施
- ◎203：給食における行事食、郷土食の提供の実施
- ◎204：いわぬま健幸運動の実施
- ◎205：広報での普及啓発

- ◎205：食育ウイークの実施回数
- ◎205：FM「食育カレンダー」放送回数

《B：まあ評価できる取組》

- 205：レシピ集を活用した事業数

《C：あまり評価できない取組》

- 205：各地区での健康料理講習会の実施回数

公助の取組については、「給食における行事食、郷土食の提供の実施」や広報活動については評価が高く、また、乳幼児健診や保育所（園）での食育指導についても評価されています。

自助・共助で悪化傾向にある評価指標をみると、小学生と中学生に多いことから、今後は、これらの小学生・中学生に向けた取組が必要と考えられます。

**中目標『②体に安心安全な食べ物を自分で選択し、食べる力をつけよう』**

■自助・共助

中目標②については、平成 25 年度時点では全ての評価指標が「今後把握」となっていたため、今回は評価できません。

共助については、中目標①と中目標②ともに、平成 25 年度時点では「今後把握」となっており、平成 30 年度の値を現状値として、目標年度の平成 35 年度に向けて目標値を設定しました。

■公助

《A：十分評価できる取組》

- ◎207：家庭菜園の場所の提供や家庭菜園講座の開催数

《C：あまり評価できない取組》

- 204：親子料理教室の実施回数

《E：実施無》

- ▼203：歌や映像などを活用した体に安心な食について普及啓発
- ▼205：親子料理コンテスト等の実施

公助の取組については、「家庭菜園の場所の提供や家庭菜園講座の開催数」については評価されていますが、他の取組は実施されていないか、あるいは進捗が思わしくない取組となっており、中目標②の取組は低調だと言わざるを得ません。

そのため、今後に向けては、実施できていない原因等を探り、実施の可能性を検討する必要がありますが、実施の可能性が低い場合は、中目標②の設定自体について、再度検討を行う必要があります。

【子どもの健康づくり（0～19歳）】

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等							
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度	
①小さい頃から栄養バランスのとれた健康的な食事を楽しく食べよう	001	子どもの食生活について「悪い」「どちらかといえば悪い」と感じている保護者の割合の減少	中2	%	21.9	23.0	E	17.0	
			小5	%	25.8	23.7	B	20.0	
			3歳	%	34.0	39.6	E	30.0	
		子どもの食事が栄養バランスが悪いとされている保護者の割合の減少	中2	%	14.2	11.7	B	9.0	
			小5	%	13.5	10.5	A	8.0	
			3歳	%	20.0	14.2	A	15.0	
		ファストフードを食事として週1回以上利用している子どもの割合の減少	中2	%	4.1	11.3	E	0.0	
			小5	%	9.0	14.0	E	4.0	
			3歳	%	10.0	11.3	E	5.0	
	朝食で副菜を食べている子どもの割合の増加	中2	%	45.7	35.2	E	51.0		
		小5	%	48.4	42.4	E	53.0		
		3歳	%	38.0	45.3	A	43.0		
	002	野菜をよく食べる子どもの割合の増加	中2	%	44.3	41.8	E	50.0	
			小5	%	41.0	40.5	D	46.0	
		1日で5皿の野菜料理を食べる子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	3.3	—	現状より増加	
			小5	%	今後把握	3.1	—	現状より増加	
	3歳	%	2.0	2.8	C	7.0			
	003	和食や郷土食をよく食べている子どもの割合の増加			削除				
004	好き嫌いがなくなってもよく食べる子どもの割合の増加	中2	%	44.7	41.3	E	63.0		
		小5	%	42.6	40.9	D	63.0		
005	おやつ回数を1日2回までと決めている子どもの割合の増加	中2	%	98.0	97.2	E	100.0		
		小5	%	98.0	97.0	E	100.0		
		3歳	%	79.0	69.8	E	89.0		
②体に安全な食品を選ぶよう心がけている子どもの割合の増加	001	体に安全な食品を選ぶよう心がけている子どもの割合の増加			削除				
	002	料理の手伝いや料理を通して食材に親しんでいる子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	39.9	—	45.0	
			小5	%	今後把握	62.6	—	67.0	
003	農業体験や家庭菜園などを通して、食材に関心を持っている子どもの割合の増加			削除					



## 【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①小さい頃から栄養バランスのとれた健康的な食事を楽しく食べよう	101	家族で食事内容について話し合っている人の割合の増加	中2	%	今後把握	92.5	—	95.0
			小5	%	今後把握	93.0	—	95.0
	102	1日5皿の野菜料理を出す家庭の割合の増加	中2	%	今後把握	3.3	—	5.0
			小5	%	今後把握	3.1	—	5.0
			3歳	%	今後把握	2.8	—	5.0
	103	ごはん食を中心とした食事を心がけている家庭の割合の増加			削除			
	104	外食やレトルト食品の利用回数が週2回以下の人の割合の増加	中2	%	今後把握	93.9	—	95.0
			小5	%	今後把握	92.6	—	95.0
			3歳	%	今後把握	96.2	—	98.0
	105	品数が少ない家庭で、今より1品多く料理を食卓に出すよう心がけている家庭の割合の増加	中2	%	今後把握	3.3	—	5.0
小5			%	今後把握	3.1	—	5.0	
3歳			%	今後把握	2.8	—	5.0	
106	子どもと一緒に会話を楽しみながら食事をしている人の割合の増加	中2	%	今後把握	92.5	—	95.0	
		小5	%	今後把握	93.0	—	95.0	
		3歳	%	今後把握	96.2	—	98.0	
107	子どものおやつ回数を1日2回までと決めている人の割合の増加		%	今後把握	69.8	—	72.0	
②体に安心安全な食べ物を自分で選択し、食べる力をつけよう	101	買い物や料理を通して、体に安心な食品について子どもと一緒に考えている人の割合の増加	中2	%	今後把握	47.4	—	48.0
			小5	%	今後把握	45.5	—	48.0
			3歳	%	今後把握	50.0	—	52.0
	102	家族で子どもと一緒に料理する機会を持ち、手作りの大切さを伝えている人の割合の増加	中2	%	今後把握	33.8	—	35.0
			小5	%	今後把握	52.5	—	55.0
	103	地元の野菜や地場産品を使った料理や郷土食、行事食を学び、家族で味わうことを心がけている人の割合の増加			削除			

## 【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①小さい頃から栄養バランスのとれた健康的な食事を楽しく食べよう	201	乳幼児健診での栄養指導実施	全健診で実施	1,109人	A	継続
	201	保育所（園）の栄養指導・相談実施	全所（園）で実施	継続	A	継続
	202	保育所（園）、学校における給食指導	全所（園）、全校で実施	継続	A	継続
	202	保護者対象の食育指導の実施	全所（園）、全校で実施	継続	A	継続
	203	給食における行事食、郷土食の提供の実施	全所（園）、全校で実施	継続	A	継続
	204	いわぬま健康運動の実施	年2回 (6月、11月)	年2回	A	継続
	205	広報での普及啓発	実施無	年6回	A	年1回以上
	205	食育ウィークの実施回数	年1回（11月）	年1回	A	継続
	205	F M「食育カレンダー」放送回数	年48回	年48回	A	継続
	205	各地区での健康料理講習会の実施回数	年29回	年16回	C	現状より増加
205	レシピ集を活用した事業数	年16回	年2回	B	継続	

【子どもの健康づくり（0～19歳）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
け よ う ②体に安心安全な食へ物を自分で選択し、食べる力をつ	201	市内小中学校で、子どもたちが考えたバランスのよい給食献立を提供している学校数	今後把握			現状値を把握後に設定
	203	歌や映像などを活用した体に安心な食について普及啓発	実施無	実施無	E	今後実施
	204	親子料理教室の実施回数	年1回（食生活改善推進員） 年3回（保育所（園））	健康増進課：年2回 食生活改善推進員：年1回 子ども福祉課：年0回	C	継続
	205	親子料理コンテスト等の実施	実施無	健康増進課：年2回 食生活改善推進員：年1回 子ども福祉課：年0回	E	今後実施
	207	家庭菜園の場所の提供や家庭菜園講座の開催数	今後把握	54区画 講座：年1回	A	提供数：56区画 講座：年1回

【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
う ①小さい頃から栄養バランスのとれた健康的な食事を楽しく食べよ	201	乳幼児健診での栄養指導実施	幼児の興味を引く媒体を使った指導により幼児期からの意識付けにつながっている	継続
	201	保育所（園）の栄養指導・相談実施	なし	全所（園）で食育事業計画（公立）や食育年間計画（私立）に沿った指導を実施
	202	保育所（園）、学校における給食指導	なし	全所（園）で日々、給食指導を実施
	202	保護者対象の食育指導の実施	なし	東保育所とすぎのご学園で保護者対象の食育指導を実施（私立は、把握していない。）
	203	給食における行事食、郷土食の提供の実施	食材費が高く、十分に給食に取り入れられない場合がある	継続
	204	いわぬま健康運動の実施	—	継続
	205	広報での普及啓発	内容に関して類似したものになってしまう場合があり、内容の調整が必要	継続
	205	食育ウイークの実施回数	食育ウイークのPR方法、実施内容、評価の方法等、随時検討が必要	継続
	205	FM「食育カレンダー」放送回数	「食育カレンダー」について周知が必要	継続
	205	各地区での健康料理講習会の実施回数	年間の実施回数は前回より減少	現在の回数を維持、増加できるように支援する
205	レシピ集を活用した事業数	H29年に新たなレシピ集増補版を作成。現状に合った健康食普及のために、定期的に作成が必要。	継続	
選 択 し 、 食 べ る 力 を つ け よ う ②体に安心安全な食へ物を自分で	201	市内小中学校で、子どもたちが考えたバランスのよい給食献立を提供している学校数	—	—
	203	歌や映像などを活用した体に安心な食について普及啓発	—	—
	204	親子料理教室の実施回数	参加者が少ない	対象者が参加しやすい日程や内容を考慮し、広く周知する
	205	親子料理コンテスト等の実施	—	—
	207	家庭菜園の場所の提供や家庭菜園講座の開催数	応募者数が上回った場合でも臨機応変に区画を増やして対応した	今後も応募者数に応じて提供できるようにする

## ②運動と身体活動

**中目標『①健康な体づくりのために運動や身体活動が必要であることを理解し、手軽にできる運動を、毎日楽しく続けよう』**

## ■自助・共助

## 《A：中間目標達成》

◎006：テレビやゲームを1日2時間以上する子どもの割合の減少（中2）

## 《B：改善》

〇〇〇6：テレビやゲームを1日2時間以上する子どもの割合の減少（小5）

## 《E：悪化傾向》

- 005：学校の授業以外で運動している子どもの割合の増加（中2）
- 005：外遊びや散歩の時間が60分以上の子どもの割合の増加（3歳）
- 006：テレビやゲームの時間を決めている子どもの割合の増加（中2）
- 104：テレビやゲームの時間を決めている子どもの割合の増加（中2）

テレビやゲームを1日2時間以上する子どもの割合は減少しており、取組項目「006：ゲームやテレビの時間や曜日を決めて体を動かす機会を増やす」は改善しています。ただし、「テレビやゲームの時間を決めている子どもの割合の増加」については、自助・共助ともに中2では悪化傾向にあるため、時間の管理について、今後のさらなる取り組みが必要だと思われます。

また、取組項目「005：具体的な目標を設定し、毎日楽しく続けられる運動を行う」についても、悪化傾向がみられるため、子どもの運動を促す取組も課題となります。

## ■公助

## 《A：十分評価できる取組》

- ◎205：体力・運動能力テストの実施及び結果報告の実施
- ◎206：学校における体力向上対策の実施
- ◎208：いわぬま健幸運動の実施

## 《B：まあ評価できる取組》

- 〇201：運動の必要性に関する講演会の実施、研修会の実施
- 〇207：ウォーキングマップの作成（配布）数

## 《C：あまり評価できない取組》

- 202：体重計が設置されている施設数の増加

## 《E：実施無》

- ▼203：幼児向け外遊び講座の開催数
- ▼204：楽しみながらできる幼児期の運動メニュー作成

▼209：運動記録ができる手帳の作成

公助の取組みについては、「体重計が設置されている施設数の増加」以外は評価されている取組が多く、B以上の評価は9項目中5項目となっています。実施されていない取組が3項目あるため、今後の実施に向けた取組が課題となります。

**中目標『②友達や家族と一緒に体を使った遊びを楽しもう』**

**■自助・共助**

中目標②については、平成25年度時点では各評価指標ともに「今後把握」となっており、今回は評価できません。

平成25年度時点で「今後把握」となっていた指標については、平成30年度の値を現状値として、目標年度の平成35年度に向けて目標値を設定しました。

**■公助**

《A：十分評価できる取組》

◎201：親子参加型のスポーツイベントの開催数

《B：まあ評価できる取組》

○201：ウォーキングコースの設定数

《E：実施無》

▼203：子ども会や地域の集まりなどで取り組める運動の推進

公助の取組みについては、「ウォーキングコースの設定数」については評価されていますが、他の取組は実施されていないか、あるいは進捗が思わしくない取組となっており、取組がほぼ行われていない状況にあります。

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①健康な体づくりのために運動や身体活動が必要であることを理解し、手軽にできる運動を、毎日楽しく続けるよう	001	自分の体格の変化に関心を持っている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	63.4	—	65.0
			小5	%	今後把握	74.3	—	75.0
	002	自分の適正体重を知っている子どもの増加	中2	%	今後把握	42.7	—	45.0
			小5	%	今後把握	31.5	—	33.0
	003	運動の大切さについて理解している子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	86.9	—	90.0
			小5	%	今後把握	80.2	—	85.0
	004	週に1回以上体重を測っている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	35.7	—	38.0
			小5	%	今後把握	34.6	—	36.0
			3歳		削除			
	005	学校の授業以外で運動している子どもの割合の増加	中2	%	87.2	80.3	E	92.0
			小5	%	67.6	66.9	D	78.0
	006	テレビやゲームの時間が60分以上の子どもの割合の増加	3歳	%	64.0	56.6	E	74.0
中2			%	37.0	31.9	A	27.0	
小5			%	38.0	33.9	B	28.0	
3歳			%	25.0	22.6	C	15.0	
中2			%	46.0	42.5	E	56.0	
001	家族や友達等と一緒に体を動かしている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	75.1	—	77.0	
		小5	%	今後把握	74.3	—	77.0	
			3歳	%	今後把握	95.3	—	97.0

【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①健康な体づくりのために運動や身体活動が必要であることを理解し、手軽にできる運動を、毎日楽しく続けるよう	101	家庭内で子どもと一緒に運動に取り組んでいる人の割合の増加	中2	%	今後把握	45.5	—	47.0
			小5	%	今後把握	70.0	—	72.0
			3歳	%	今後把握	95.3	—	97.0
	102	家族で体重・体脂肪を測る習慣がある人の割合の増加	中2	%	今後把握	24.9	—	27.0
			小5	%	今後把握	24.9	—	27.0
	103	子どもの運動の目標を共有し、子どもと一緒に達成度を確認している人の割合の増加			削除			
	104	テレビやゲームの時間を決めている子どもの割合の増加	中2	%	46.0	42.5	E	56.0
			小5	%	54.0	56.5	C	64.0

【子どもの健康づくり（0～19歳）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
②友達や家族と一緒に体を使った遊びを楽しもう	101	家族や友達等と一緒に体を動かす機会をつくるよう心がけている人の割合の増加	中2	%	削除			
			小5	%	削除			
			3歳	%	削除			
	102	地域の集まり等で運動の楽しさを実感できるような行事の実施回数の増加			削除			

【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①健康な体づくりのために運動や身体活動が必要であることを理解し、手軽にできる運動を、毎日楽しく続けよう	201	運動の必要性に関する講演会の実施、研修会の実施	今後把握	健康増進課： 年1回 小学生水泳教室： 年183回 小中学生上級水泳 教室：年135回	B	現状値を把握 後に設定
	202	体重計が設置されている施設数の増加	5施設	1ヶ所	C	10施設
	203	幼児向け外遊び講座の開催数	年1回	実施無	E	年3回
	204	楽しみながらできる幼児期の運動メニュー作成	実施無	実施無	E	今後実施
	205	体力・運動能力テストの実施及び結果報告の実施	年2回	継続	A	継続
	206	学校における体力向上対策の実施	通年実施（全校）	継続	A	継続
	207	ウォーキングマップの作成（配布）数	2,000部/2年	2,000部配布中	B	10,000部/ 10年
	208	いわぬま健幸運動の実施	年2回（6月、11月）	年2回	A	継続
	209	運動記録ができる手帳の作成	実施無	実施無	E	今後実施
②友達や家族と一緒に体を使った遊びを楽しもう	201	親子参加型のスポーツイベントの開催数	年6回	グリーンピア： 年50回	A	現状より増加
	201	ウォーキングコースの設定数	5コース	5コース	B	10コース
	203	子ども会や地域の集まりなどで取り組める運動の推奨	実施	実施無	E	実施

## 【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
①健康な体づくりのために運動や身体活動が必要であることを理解し、手軽にできる運動を、毎日楽しく続けよう	201	運動の必要性に関する講演会の実施、研修会の実施	なし	テーマについて考慮しながら、継続実施。 インストラクター派遣が可能であることなど周知を継続。
	202	体重計が設置されている施設数の増加	血圧計は増設したが、体重計は増設していない	血圧計を設置している施設などと協議の上、目標台数を設置できるようにする
	203	幼児向け外遊び講座の開催数	—	—
	204	楽しみながらできる幼児期の運動メニュー作成	—	—
	205	体力・運動能力テストの実施及び結果報告の実施	—	—
	206	学校における体力向上対策の実施	—	—
	207	ウォーキングマップの作成（配布）数	情報の更新ができていない	更新したマップを作成・配布。 マップを活用したイベント等を実施。
	208	いわぬま健幸運動の実施	—	—
	209	運動記録ができる手帳の作成	—	—
②友達や家族と一緒に体を使った遊びを楽しもう	201	親子参加型のスポーツイベントの開催数	グリーンピア以外で実施したものはなかった	検討中
	201	ウォーキングコースの設定数	なし	新たなマップを作成する際にコースを追加する
	203	子ども会や地域の集まりなどで取り組める運動の推進	—	—

③こころの健康

中目標『①自他を思いやる心を持ち、楽しく前向きに生きる人になろう』

■自助・共助

《B：改善》

○103：日頃から子どもと会話している保護者の増加（中2、小5）

《E：悪化傾向》

●103：子どもが会話のなかで気持ちや自分の考えを上手に伝えることができると思う保護者の増加（中2、小5）

「こころの健康」では、多くの評価指標が今後把握することになっており、評価指標が設定されていたのは取組項目「103：みんなが気持ちよく過ごせるような家庭や地域でのコミュニケーションづくりをする」のみとなっています。

改善傾向を示している上記の指標は、共助の取組項目「103：みんなが気持ちよく過ごせるような家庭や地域でのコミュニケーションづくりをする」の評価指標です。日ごろから子どもと会話している保護者が増加していますが、一方で「子どもが会話のなかで気持ちや自分の考えを上手に伝えることができると思う保護者の増加」は悪化傾向にあり、子どものコミュニケーション・リテラシーに課題が残されています。

平成25年度時点で「今後把握」となっていた指標については、平成30年度の値を現状値として、目標年度の平成35年度に向けて目標値を設定しました。

■公助

《A：十分評価できる取組》

- ◎201：あいさつ運動の実施
- ◎202：親子ふれあい絵本事業実施回数
- ◎204：心の健康に関する授業の実施
- ◎205：「こころの健康チェックアンケート」の活用
- ◎206：相談の場の周知
- ◎207：スクールカウンセラーの相談
- ◎208：子どもと親の相談
- ◎210：職場体験やボランティア体験の実施（医療機関、福祉施設）

《B：まあ評価できる取組》

○203：絵本の読み聞かせの実施

《E：実施無》

▼209：地域住民が気軽に集まれることができる行事の実施



公助の取組みについては、10項目中8項目が十分評価できる取組となっており、全体的に取組評価が高くなっています。

しかし、自助・共助と公助の評価指標の関連性が薄いため、公助についての評価指標の再検討も考えられます。

## 【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
① 自他を思いやる心を持ち、楽しく前向きに生きる人になろう	001	家族やまわりの人にあいさつを心がけている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	93.4	—	95.0
			小5	%	今後把握	94.6	—	95.0
			3歳	%	今後把握	92.5	—	95.0
	002	メール等ではなく、直接ことばで伝え合うコミュニケーションを心がけている子どもの割合の増加				削除		
	003	みんなが気持ちよく過ごせるようルールを守って生活することを心がけている子どもの割合の増加				削除		
	004	礼儀や言葉遣いに気をつけ、相手を尊重し大切にしている子どもの割合の増加				削除		
	005	まわりの人が困っていたら助けてあげている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	92.0	—	95.0
			小5	%	今後把握	91.8	—	95.0
	006	困った時は家族や友達、先生に相談している子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	86.4	—	90.0
			小5	%	今後把握	90.3	—	93.0
007	さまざまな人と交流している子どもの割合の増加				削除			
					削除			

## 【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
① 自他を思いやる心を持ち、楽しく前向きに生きる人になろう	101	家族や周りの人と積極的にあいさつしている人の割合の増加	中2	%	今後把握	93.4	—	95.0
			小5	%	今後把握	94.6	—	95.0
			3歳	%	今後把握	92.5	—	95.0
	102	子どもに絵本の読み聞かせをすることを心がけている人の割合の増加		%	今後把握	67.9	—	70.0
	103	日頃から子どもと会話している保護者の増加	中2	%	91.3	93.4	B	96.3
			小5	%	90.6	92.6	B	95.6
		子どもが会話のなかで気持ちや自分の考えを上手に伝えることができると思う保護者の増加	中2	%	67.1	59.6	E	77.1
			小5	%	74.2	69.7	E	84.2
	104	まわりに困っている子どもがいたら、相談に乗ってあげている人の割合の増加	中2	%	今後把握	92.0	—	95.0
			小5	%	今後把握	91.8	—	95.0
105	健診結果について子どもと話をする人の割合の増加	中2	%	今後把握	57.7	—	60.0	
		小5	%	今後把握	63.0	—	65.0	
		3歳	%	今後把握	62.3	—	65.0	
106	地域で年齢を問わず、誰もが楽しめる行事の実施回数				削除			



## ④循環器疾患・糖尿病

## 中目標『①病気になる体づくりをしよう』

## ■自助・共助

## 《A：中間目標達成》

- ◎002：朝食を食べない子どもの減少（中2、3歳）
- ◎102：朝食を一人で食べている子どもの割合の減少（中2、小5）

## 《B：改善》

- 〇〇〇1：起床時間が7時までの子どもの増加（小5）
- 〇〇〇1：就寝時間が23時以降減少 ※3歳児は22時以降減少（3歳）
- 〇102：朝食を一人で食べている子どもの割合の減少（3歳）

## 《E：悪化傾向》

- 〇〇1：起床時間が7時までの子どもの増加（中2、3歳）
- 〇〇1：就寝時間が23時以降減少 ※3歳児は22時以降減少（中2）
- 〇〇2：朝食を食べない子どもの減少（小5）

朝食を食べない子どもについては、中2、3歳では平成35年度の目標値である0%を平成30年度の中間値で達成していますが、小5については悪化傾向となっています。

朝食を一人で食べている子どもについては、中2、小5では中間目標を達成し、3歳でも改善しており、全体的に減少しています。

また、取組項目「〇〇1：起きる時間と寝る時間を決め、早寝早起きの習慣をつける」については、小5で7時までに起床する割合が増加していますが、中2と3歳では悪化傾向にあります。

## ■公助

## 《A：十分評価できる取組》

- ◎201：「はやね・はやおき・あさごはん運動」の実施
- ◎202：いわぬま健幸運動の実施

## 《E：実施無》

- ▼203：レシピ集を活用した簡単な朝食メニューや食べ方の紹介

公助の取組については、「『はやね・はやおき・あさごはん運動』の実施」と「いわぬま健幸運動の実施」については評価されており、自助・共助の評価指標の成果に表れていると思われます。ただし、取組の成果が限定的であるため、幅広い層へのアプローチ方法、メッセージ内容等について改善していく必要があると考えられます。

**中目標『②自分の体の成長や変化に関心を持ち、適正体重を保とう』**

**■自助・共助**

《E：悪化傾向》

- 004：肥満傾向にある子どもの割合の減少（中学男子、中学女子、小学男子、3歳）
- 006：学校の授業以外で運動している子どもの増加（中2）
- 006：外遊びや散歩の時間が60分以上の子どもの増加（3歳）
- 009：おやつ回数を決めている子どもの割合の増加（3歳）

中目標②の共助については、平成25年度時点では各評価指標ともに「今後把握」となっており、今回は評価できません。

自助の部分では、取組項目「004：肥満ややせによる健康への影響を知る」において、肥満傾向にある子どもが増加しています。また、取組項目「006：具体的な目標を設定し、毎日楽しく続けられる運動を行う」では、中2で学校の授業以外で運動していることも減少しています。取組項目「009：おやつや時間の量や種類を決めて食べる」については、回数を決めている子どもの割合が減少しており、保護者への啓発が課題となります。

**■公助**

《A：十分評価できる取組》

- ◎201：乳幼児健診・育児相談、保育所（園）、幼稚園、学校における定期計測、内科健診の実施
- ◎206：歩道設置路線数

《B：まあ評価できる取組》

- 203：肥満・やせ・生活習慣病予防等についての指導の実施
- 204：乳幼児保健講座の開催数
- 207：保育所（園）、学校における栄養指導の実施

《C：あまり評価できない取組》

- 202：体重計を設置している学校、公共施設数

《E：実施無》

- ▼205：家族で使える運動記録手帳の作成

公助の取組については、「体重計を設置している学校、公共施設数」と「家族で使える運動記録手帳の作成」以外については評価できる取組となっています。

体重計の設置は、学校では全校に設置されていますが、公共施設での設置が13施設中5施設にとどまっており、設置施設数を増やしていくことが望まれます。

また、家族で使える運動記録手帳については、家族での取組を可視化するツールとして期待されますが、様々な工夫が必要だと考えられるため、専門家等を含めた取組が重要だと思われます。

## 【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①病気になるなら体づくりをしよう	001	起床時間が7時までの子どもの増加	中2	%	95.0	87.6	E	100.0
			小5	%	95.0	97.4	B	100.0
			3歳	%	58.0	48.3	E	78.0
	002	就寝時間が23時以降減少 ※3歳児は22時以降減少	中2	%	68.0	71.8	E	48.0
			3歳	%	19.0	14.1	B	9.0
			中2	%	4.6	1.4	A	0.0
	003	朝食を食べない子どもの減少	小5	%	0.0	0.8	E	0.0
			3歳	%	1.00	0.0	A	0.0
			中2	%	今後把握	66.2	—	68.0
②自分の体の成長や変化に関心を持ち、適正体重を保とう	001	自分の体格の変化に関心を持っている子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	63.4	—	65.0
			中2	%	今後把握	74.3	—	76.0
	002	自分の適正体重の認知率の増加	小5	%	今後把握	42.7	—	45.0
			中2	%	今後把握	31.5	—	33.0
	003	定期的に体重を測っている子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	35.7	—	38.0
			中2	%	今後把握	34.6	—	38.0
	004	肥満ややせによる健康への影響について理解している子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	58.2	—	60.0
			小5	%	今後把握	47.9	—	50.0
		肥満傾向にある子どもの割合の減少	中学男子	%	9.9	10.6	E	現状より減少
中学女子			%	8.1	12.4	E	現状より減少	
小学男子			%	9.8	10.7	E	現状より減少	
小学女子			%	10.0	9.9	D	現状より減少	
3歳	%	0.0	6.1	E	現状より減少			
005	日常生活で歩くよう心がけている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	9.9	—	13.0	
		小5	%	今後把握	13.2	—	15.0	
006	学校の授業以外で運動している子どもの増加（中2、小5）	中2	%	87.2	80.3	E	92.2	
		小5	%	67.6	66.9	D	77.6	
007	外遊びや散歩の時間が60分以上の子どもの増加（3歳）	3歳	%	64.0	56.6	E	74.0	
		中2	%	今後把握	75.1	—	77.0	
		小5	%	今後把握	74.3	—	77.0	
008	友達や家族と誘い合っって体を動かしている子どもの割合の増加	3歳	%	今後把握	95.3	—	98.0	
		中2	%	今後把握	70.9	—	73.0	
	食事をよくかんでゆっくり食べている子どもの割合の増加	小5	%	今後把握	64.6	—	67.0	
		3歳	%	今後把握	73.6	—	75.0	
009	食べすぎないように気をつけている人の割合の増加	中2	%	今後把握	70.9	—	73.0	
		小5	%	今後把握	64.6	—	67.0	
		3歳	%	今後把握	73.6	—	75.0	
009	おやつを決めている子どもの割合の増加	3歳	%	72.0	72.1	D	82.0	
		3歳	%	79.0	69.8	E	89.0	

【子どもの健康づくり（0～19歳）】

【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①病気になるない体づくりをしよう	101	家族みんなでそれぞれの生活リズムについて確認している人の割合の増加	中2	%	今後把握	94.4	—	現状より増加
			小5	%	今後把握	96.1	—	現状より増加
	102	朝食を一人で食べている子どもの割合の減少	中2	%	38.0	11.3	A	33.0
			小5	%	14.0	8.9	A	9.0
			3歳	%	4.0	2.8	B	0.0
	103	規則正しい生活の実行をお互いに確認している人の割合の増加	中2	%	今後把握	94.4	—	現状より増加
			小5	%	今後把握	96.1	—	現状より増加
	104	PTA行事や子ども会行事等を通して、周りの親と情報交換する機会を設けている人の割合の増加			削除			
	105	かかりつけ医を持っている人の割合の増加	中2	%	今後把握	94.4	—	現状より増加
			小5	%	今後把握	97.3	—	現状より増加
3歳			%	今後把握	91.6	—	現状より増加	
②自分の体の成長や変化に関心を持ち、適正体重を保とう	101	子どもの肥満や体の変化に気づき、早期の改善を心がけている人の割合の増加	中2	%	今後把握	62.4	—	65.0
			小5	%	今後把握	68.5	—	70.0
			3歳	%	今後把握	66.0	—	70.0
	102	家族の体調チェックを心がけている人の割合の増加	中2	%	今後把握	57.7	—	60.0
			小5	%	今後把握	63.0	—	65.0
			3歳	%	今後把握	62.3	—	65.0
	103	家族の体調チェックを心がけている人の割合の増加	中2	%	今後把握	57.7	—	60.0
			小5	%	今後把握	63.0	—	65.0
			3歳	%	今後把握	62.3	—	65.0
	104	家族で出かける時はなるべく歩くように心がけている人の割合の増加	中2	%	今後把握	9.9	—	13.0
			小5	%	今後把握	13.2	—	15.0
			3歳	%	今後把握	30.2	—	33.0
	105	運動が続けられるように声がけしあっている人の割合の増加	中2	%	今後把握	75.1	—	77.0
			小5	%	今後把握	74.3	—	77.0
			3歳	%	今後把握	95.3	—	98.0
	106	家族みんなで誘い合って運動している人の割合の増加	中2	%	今後把握	75.1	—	77.0
			小5	%	今後把握	74.3	—	77.0
			3歳	%	今後把握	95.3	—	98.0
107	ゆっくりかんで食べることを声がけし合っている人の割合の増加	中2	%	今後把握	70.9	—	73.0	
		小5	%	今後把握	64.6	—	67.0	
		3歳	%	今後把握	73.6	—	75.0	
108	おやつは時間・量を決めて出し、食べすぎないように声がけしている保護者の割合の増加	3歳	%	今後把握	72.1	—	75.0	

## 【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
体づくりをしよう ①病気にならない	201	「はやね・はやおき・あさごはん運動」の実施	実施	継続	A	継続
	202	いわぬま健幸運動の実施	年2回（6月、11月）	継続	A	継続
	203	レシピ集を活用した簡単な朝食メニューや食べ方の紹介	実施無	実施無	E	今後実施
持ち、適正体重を保とう ②自分の体の成長や変化に関心を	201	乳幼児健診・育児相談、保育所（園）、幼稚園、学校における定期計測、内科健診の実施	実施	継続	A	継続
	202	体重計を設置している学校、公共施設数	学校：全校 公共施設：5施設 （13施設中）	学校：全校 公共施設：5施設 （13施設中）	C	—
	203	肥満・やせ・生活習慣病予防等についての指導の実施	実施	継続	B	継続
	204	乳幼児保健講座の開催数	年1回	年0回	B	年2回
	205	家族で使える運動記録手帳の作成	実施無	実施無	E	今後実施
	206	歩道設置路線数	121路線	134路線	A	1路線増加
	207	保育所（園）、学校における栄養指導の実施	実施	継続	B	継続

## 【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
体づくりをしよう ①病気にならない	201	「はやね・はやおき・あさごはん運動」の実施	なし	継続
	202	いわぬま健幸運動の実施	なし	継続
	203	レシピ集を活用した簡単な朝食メニューや食べ方の紹介	—	—
適正体重を保とう ②自分の体の成長や変化に関心を	201	乳幼児健診・育児相談、保育所（園）、幼稚園、学校における定期計測、内科健診の実施	なし	継続
	202	体重計を設置している学校、公共施設数	—	—
	203	肥満・やせ・生活習慣病予防等についての指導の実施	なし	継続
	204	乳幼児保健講座の開催数	なし	継続
	205	家族で使える運動記録手帳の作成	—	—
206	歩道設置路線数		新しく歩道を整備した箇所については、今後の維持管理を考える必要がある	地域からの要望等を勘案し歩道が必要な箇所については、整備を行っていく
207	保育所（園）、学校における栄養指導の実施	なし		全所（園）で実施

⑤がん

中目標『①がんを正しく理解し、予防と早期発見に努めよう』

■自助・共助

《E：悪化傾向》

- 102：規則正しい生活を送るよう心がけている保護者の割合の増加（中2、小5）

がんについては、子どもの取組は少なく、評価指標が設定されているのは取組項目「102：規則正しい生活習慣を家庭で実践できるように環境を整える」になります。この取組は悪化傾向にあり、規則正しい生活を送るよう心がけている保護者は減少しています。

■公助

《A：十分評価できる取組》

- ◎201：PTA 行事や育成会、子供会等におけるがんやがん予防について普及啓発回数

《B：まあ評価できる取組》

- 203：がんに関する相談窓口一覧の作成

公助の取組みでは、実施されていない取組はありません。

「PTA 行事や育成会、子供会等におけるがんやがん予防について普及啓発」については評価されています。

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
防と早期発見に努めよう	001	家族やまわりの人ががん検診の受診を勧めている子どもの割合の増加			削除			
	002	がん発症のリスクや予防法、がんについての正しい知識を持っている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	40.4	—	42.0
			小5	%	今後把握	31.1	—	33.0



## 【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①がんを正しく理解し、予防と早期発見に努めよう	101	がんについて子どもと話し合う機会を持っている人の割合の増加	中2	%	今後把握	40.4	—	43.0
			小5	%	今後把握	31.1	—	33.0
	102	規則正しい生活を送るよう心がけている保護者の割合の増加	中2	%	79.9	76.5	E	85.0
			小5	%	81.1	76.7	E	86.0

## 【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①がんを正しく理解し、予防と早期発見に努めよう	201	PTA行事や育成会、子供会等におけるがんやがん予防について普及啓発回数	今後把握	各学校で実施	A	現状値を把握後に設定
	203	がんに関する相談窓口一覧の作成	実施無	実施	B	今後実施

## 【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
①がんを正しく理解し、予防と早期発見に努めよう	201	PTA行事や育成会、子供会等におけるがんやがん予防について普及啓発回数	なし	継続
	203	がんに関する相談窓口一覧の作成	年間を通し周知できる媒体が必要である	広報に加え、年間を通し周知できるホームページでも実施したい

⑥たばこ

**中目標『①たばこが体に与える害を知り、自分やまわりの人の身を守ろう』**

**■自助・共助**

たばこについての子どもの評価指標は、平成25年度時点ではすべて「今後把握」となっていたため、平成30年度の値を現状値として、目標年度の平成35年度に向けて、以下のように目標値を設定しました。

**■公助**

《A：十分評価できる取組》

◎202：広報での普及啓発

《B：まあ評価できる取組》

○201：母子健康手帳交付時の禁煙・受動喫煙防止に関する指導率

○202：学校での普及啓発

○204：たばこの害についての教育の実施

○205：分煙の際は、受動喫煙に考慮した喫煙所の設置（市民行事、イベント等）

《E：実施無》

▼203：喫煙、禁煙、肺がん体験者の体験談を含む講演会の実施

公助の取組みについては、「喫煙、禁煙、肺がん体験者の体験談を含む講演会」が実施されていませんが、「学校での普及啓発」や「たばこの害についての教育の実施」については評価されています。

分煙については評価されていますが、公民館や体育施設では十分ではないため、今後の推進が望まれます。

**【私ができること（自助）】**

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①たばこが体に与える害を知り、自分やまわりの人の身を守ろう	001	たばこの健康への影響の理解の認知度の増加	中2	%	今後把握	75.6	—	78.0
			小5	%	今後把握	67.7	—	70.0
	002	未成年者の喫煙歴の減少			削除			
	003	受動喫煙の危険性が高い所を知り、近づかないよう心がけている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	86.9	—	90.0
			小5	%	今後把握	84.4	—	88.0

## 【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①たばこが体に与える害を知り、自分やまわりの人の身を守ろう	101	たばこの健康への影響の理解の認知度の増加	中2	%	今後把握	75.6	—	78.0
			小5	%	今後把握	67.7	—	70.0
	102	子どもがいる場所ではたばこを吸わないよう心がけている人の割合の増加	中2	%	今後把握	83.2	—	85.0
			小5	%	今後把握	80.5	—	83.0
	103	子どもがいる場所ではたばこを吸わないよう心がけている人の割合の増加	中2	%	今後把握	83.2	—	85.0
			小5	%	今後把握	80.5	—	83.0

## 【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①たばこが体に与える害を知り、自分やまわりの人の身を守ろう	201	母子健康手帳交付時の禁煙・受動喫煙防止に関する指導率	100%	継続（100%）	B	継続
	202	学校での普及啓発	全校で実施	継続（100%）	B	継続
	202	広報での普及啓発	実施無	1回	A	年1回
	203	喫煙、禁煙、肺がん体験者の体験談を含む講演会の実施	実施無	実施無	E	今後実施
	204	たばこの害についての教育の実施	全校で実施	継続（100%）	B	継続
	205	分煙の際は、受動喫煙に考慮した喫煙所の設置（市民行事、イベント等）	今後把握	敷地内禁煙：20カ所 建物内禁煙：9カ所	B	現状値を把握後に設定

## 【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
①たばこが体に与える害を知り、自分やまわりの人の身を守ろう	201	母子健康手帳交付時の禁煙・受動喫煙防止に関する指導率	妊娠中も吸い続ける人は少数だがいる	今後も継続して喫煙者に対する保健指導や受動喫煙を防ぐ行動を取れるように指導していく
	202	学校での普及啓発	—	—
	202	広報での普及啓発	なし	継続
	203	喫煙、禁煙、肺がん体験者の体験談を含む講演会の実施	—	—
	204	たばこの害についての教育の実施	—	—
	205	分煙の際は、受動喫煙に考慮した喫煙所の設置（市民行事、イベント等）	子どもの利用する施設（小中学校、保育所児童館）は敷地内禁煙を実施したが、公民館や体育施設などは未実施であった	健康増進法一部改正による受動喫煙防止対策に取り組む

⑦歯と口腔の健康

中目標『①むし歯と歯肉炎を予防し、健康な歯を生涯持ち続ける基礎をつくろう』

■自助・共助

《A：中間目標達成》

- ◎001：むし歯の罹患率の減少（中学生、小学生、3歳）
- ◎003：仕上げ磨きをしている保護者の増加（3歳）
- ◎004：洗面や歯磨きなどの基本的な生活習慣が身についている子どもの割合の増加（小5）
- ◎103：洗面や歯磨きなどの基本的な生活習慣が身についている子どもの割合の増加（小5）

《B：改善》

- 004：洗面や歯磨きなどの基本的な生活習慣が身についている子どもの割合の増加（中2）
- 006：おやつを決めている子どもの割合の増加（小5）
- 103：洗面や歯磨きなどの基本的な生活習慣が身についている子どもの割合の増加（中2）

《E：悪化傾向》

- 005：好き嫌いがなく何でもよく食べる子どもの割合の増加（中2、小5）
- 005：子どもの食生活について「悪い」「どちらかといえば悪い」と感じている保護者の減少（中2、3歳）
- 006：おやつ回数を1日0回～2回と決めている子どもの割合の増加（中2、小5、3歳）

歯みがきについては、中間目標が達成されている指標が多く、概ね改善されています。一方、食生活についての取組項目「005：規則正しく好き嫌いがなく食べる」と「006：歯に良いおやつを選び、だらだらと食べない」は悪化傾向にあり、今後の改善が必要です。

■公助

《A：十分評価できる取組》

- ◎204：乳幼児歯科保健講座の開催

《B：まあ評価できる取組》

- 201～203：乳幼児健診、相談、教室における歯科健診・歯科指導実施
- 205：有所見者に対する早期受診勧奨
- 206：広報での普及啓発
- 207：乳幼児健診における栄養指導実施

公助の取組については、全項目で評価されており、成果は自助・共助にも表れていると思われます。ただし、自助・公助の生活習慣については悪化傾向にあるため、公助での指導・啓発として生活習慣の改善に向けた内容を重視した取組を実施することなどが考えられます。

中目標『②歯やあごを大切にしよう』
-------------------

■自助・共助
--------

中目標②についての子どもの評価指標は、平成25年度時点ではすべて「今後把握」となっていたため、平成30年度の値を現状値として、目標年度の平成35年度に向けて目標値を設定しました。

■公助
-----

《B：まあ評価できる取組》
---------------

○201：乳幼児健診における啓発の実施

○201：広報での啓発

○201：保育所（園）での啓発

○201：学校での啓発

○201：幼稚園での啓発

<p>中目標②についても、①と同様に公助の取組みについては、概ね評価されています。自助・共助で評価可能な取組はありませんが、今後の取組に向けて、「よく噛んで食べる」「楽しく食べる」ことを訴求していくことが重要になります。</p>
--

## 【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①お口の中を清潔に保ち、健康な歯を生涯持つための基礎を身につける	001	むし歯の罹患率の減少	中学生	%	51.5	49.8	A	現状値より減少
			小学生	%	62.9	60.8	A	現状値より減少
			3歳	%	23.1	19.7	A	現状値より減少
			中学生	%	51.5	49.8	A	現状値より減少
			小学生	%	62.9	60.8	A	現状値より減少
			3歳	%	23.1	19.7	A	現状値より減少
	002	仕上げ磨きをしている保護者の増加	3歳	%	85.0	97.2	A	95.0
	004	洗面や歯磨きなどの基本的な生活習慣が身につけている子どもの割合の増加	中2	%	84.0	87.3	B	94.0
			小5	%	84.0	89.1	A	94.0
	005	好き嫌いがなく何でもよく食べる子どもの割合の増加	中2	%	58.3	53.7	E	68.0
			小5	%	57.8	53.3	E	68.0
		子どもの食生活について「悪い」「どちらかといえば悪い」と感じている保護者の減少	中2	%	21.9	23.0	E	17.0
			小5	%	25.8	23.8	C	16.0
	006	おやつ回数を1日0回～2回と決めている子どもの割合の増加	中2	%	98.0	97.2	E	100.0
			小5	%	98.0	97.0	E	100.0
		おやつ時間を決めている子どもの割合の増加	3歳	%	79.0	69.8	E	89.0
			小5	%	41.0	45.5	B	51.0
			3歳	%	72.0	72.1	D	82.0

【子どもの健康づくり（0～19歳）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
②歯やあごを大切にしよう	001	食べ物をよくかんで食べている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	70.9	—	73.0
			小5	%	今後把握	64.6	—	67.0
			3歳	%	今後把握	73.6	—	75.0
	002	正しく口を閉じる習慣をつけている子どもの割合の増加			削除			
	003	たくさん笑い、話すよう心がけている子どもの割合の増加			削除			

【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①むし歯と歯肉炎を予防し、健康な歯を生 涯持ち続ける基礎をつくる	101	歯と口腔の健康に関心を持っている子どもの割合の増加			削除			
	102	かかりつけ歯科医を持っている子どもの割合の増加	中2	%	今後把握	86.9	—	90.0
			小5	%	今後把握	87.9	—	90.0
			3歳	%	今後把握	41.7	—	45.0
	102	定期的に歯科健診を受けている子どもの割合の増加			削除			
	103	洗面や歯磨きなどの基本的な生活習慣が身についている子どもの割合の増加	中2	%	84.0	87.3	B	94.0
小5			%	84.0	89.1	A	94.0	
104	おやつ選びや食育に注意を払っている人の割合の増加	中2	%	今後把握	22.1	—	25.0	
		小5	%	今後把握	27.6	—	30.0	
		3歳	%	今後把握	43.4	—	45.0	
②歯やあごを大切にしよう	101	子どもがよく噛めるように配慮して食事を作っている人の割合の増加	中2	%	今後把握	33.3	—	35.0
			小5	%	今後把握	32.7	—	35.0
			3歳	%	今後把握	59.4	—	63.0
	102	子どもと一緒に会話を楽しみながら食事をしている人の割合の増加	中2	%	今後把握	47.4	—	50.0
			小5	%	今後把握	57.2	—	60.0
			3歳	%	今後把握	61.3	—	65.0

【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①むし歯と歯肉炎を予防し、健康な歯を生涯持ち続ける基礎をつくる	201	乳幼児健診、相談、教室における歯科健診・ 歯科指導実施	実施	継続	B	継続
	202		実施無	継続	B	年1回
	203		実施	継続	B	継続
	204	乳幼児歯科保健講座の開催	実施無	年1回	A	年1回
	205	有所見者に対する早期受診勧奨	実施	継続	B	継続
	206	広報での普及啓発	年0回	年1回	B	年1回以上
	207	乳幼児健診における栄養指導実施	実施	継続	B	継続

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
②歯やあごを大切にしよう	201	乳幼児健診における啓発の実施	実施無	実施	B	実施
	201	広報での啓発	実施無	実施	B	実施
	201	保育所（園）での啓発	実施無	実施	B	実施
	201	学校での啓発	実施無	実施	B	実施
	201	幼稚園での啓発	実施無	実施	B	実施

## 【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
①むし歯と歯肉炎を予防し、健康な歯を生涯持ち続ける基礎をつくろう	201	乳幼児健診、相談、教室における歯科健診・歯科指導実施	う歯罹患率は下がってきているものの、全国平均を上回っている	各種保健事業における保健指導を強化していく
	202			
	203			
	204	乳幼児歯科保健講座の開催	テーマを変えながら継続して実施する必要がある	事業継続。
	205	有所見者に対する早期受診勧奨	受診勧奨するが、その後受診したかまでは把握しておらず、次年度の健診で虫歯が増えているお子さんもいる	全保育所（園）で実施
	206	広報での普及啓発	なし	継続
	207	乳幼児健診における栄養指導実施	なし	継続
②歯やあごを大切にしよう	201	乳幼児健診における啓発の実施	なし	継続
	201	広報での啓発	なし	継続
	201	保育所（園）での啓発	なし	公立保育所及び私立保育園（6施設）で、歯磨き指導やフッ化物洗口を実施。また、全所（園）において、食育指導、給食指導や食育だよりによる普及啓発、「良く噛むメニュー」の提供を行っていきたい。
	201	学校での啓発	—	—
	201	幼稚園での啓発	なし	継続

## 2. 子育て世代の健康づくり（20～39歳）

【大目標（めざす姿）】

**自分の健康や生活をふり返り家族ぐるみで生活習慣を整えていこう**

（1）自助・共助の達成状況（中間目標を達成した評価指標）

分野	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
栄養と食生活	②	001	朝食を毎日食べない人の割合の減少		%	25.2	18.8	A	20.0
		102							
運動と身体活動	①	104	家族と一緒に運動をしている人の割合の増加		%	59.2	75.8	A	64.0
こころの健康	①	102	地域の活動に参加している人の割合の増加		%	14.5	23.7	A	19.0
	②	102	一緒に運動している相手（家族・友人）の割合の増加	家族	%	59.2	75.8	A	64.0
循環器疾患・糖尿病	①	006	過去1年間に健康診断を受けた人の割合の増加		%	72.0	90.6	A	82.0
		101							
がん	①	008	男性）過去1年間に大腸がん検診を受けた人の割合の増加	男性・大腸がん検診	%	26.5	29.6	A	31.0
		101	女性）過去1年間に子宮がん検診を受けた人の割合の増加	女性・子宮がん検診	%	54.0	68.4	A	64.0
たばこ	①	003	市内たばこ売上本数の減少		本	74,277,777	66,078,000	A	74,277,776
歯と口腔の健康	①	004	デンタルフロスや歯間ブラシを使う人の割合の増加		%	35.0	42.5	A	45.0
		006	かかりつけ歯科医を持つ人の増加		%	30.4	45.5	A	40.4



## (2) 取組状況と評価

◇ 栄養と食生活

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	2件
B：改善	1件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	2件
E：悪化傾向	6件

公助の15件の指標中「A：十分評価できる」は2件となっています。「B：評価できる」は10件、「C：進捗が思わしくない」は3件、「E：実施無」は0件となっています。

A評価は以下の2件です。

- ①202：FM「食育カレンダー」放送回数
- ①212：農業体験イベントの実施

農業体験イベントでは、小学生親子を対象に芋掘体験を行い、その後、さつまいもを使った料理教室を開催しました。

◇ 運動と身体活動

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	1件
B：改善	1件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	1件
E：悪化傾向	3件

公助の12件の指標中「A：十分評価できる」は0件となっています。「B：評価できる」は5件、「C：進捗が思わしくない」は4件、「E：実施無」は3件となっています。

主なB評価としては以下の指標があります。

- ①203：広報でPRを実施
- ①204：ウォーキングマップの作成（配布）数
- ①206：市主催運動講座開催数

運動推進のPRでは、広報でウォーキングイベントの開催案内や運動DVDのPRを行いました。

参加しやすい運動講座の開催では、男性限定の運動教室と健診後に運動教室を実施し、妊婦対象の講座では、軽体操（セルフコンディショニング）を参加者の増加を目的に土曜日に実施しました。

【子育て世代の健康づくり（20～39歳）】

◇ こころの健康

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	2件
B：改善	1件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	0件
E：悪化傾向	6件

公助の13件の指標中「A：十分評価できる」は2件となっています。「B：評価できる」は7件、「C：進捗が思わしくない」は0件、「E：実施無」は3件、「評価なし」が1件となっています。

A評価は以下の2件です。

- ③204：妊産婦訪問事業での産後うつ病スクリーニング実施率
- ③207：すすく教室、ちびっこ相談での相談実施回数

心の健康相談は、月1回実施し、専門の相談員が対応しています。市内医療機関等にチラシの配布と広報にて周知を行っています。

取組の情報発信では、アルコール関連問題啓発習慣や自殺対策強化月間等にあわせ広報に記事を掲載しています。また、精神障害者家族会の周知も行っています。

ママサポート事業で把握した要支援母子へは、必要に応じて助産師や保健師が継続的に関わり、支援を行いました。

◇ 循環器疾患・糖尿病

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	2件
B：改善	0件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	0件
E：悪化傾向	4件

公助の10件の指標中「A：十分評価できる」は4件となっています。「B：評価できる」は6件、「C：進捗が思わしくない」は0件、「E：実施無」は0件となっています。

A評価としては以下の指標があります。

- ①202：基本健診実施
- ①205：生活習慣病予防講演会（医師会との連携）
- ①209：公共施設への自動血圧計の設置と情報提示

基本健診未健診者への受診勧奨では、広報に掲載し、健診の実施等を周知しました。受診しやすい健診として、休日と夜間に健診を実施しています。

成人保健相談では、利用しやすいよう相談日を設定せず、希望に応じて随時相談を実施しました。

## ◇がん

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	3件
B：改善	2件
C：改善傾向	3件
D：ほぼ変化なし	1件
E：悪化傾向	2件

公助の10件の指標中「A：十分評価できる」は7件となっています。「B：評価できる」は2件、「C：進捗が思わしくない」は0件、「E：実施無」は1件となっています。

主なA評価としては以下の指標があります。

- ①201：広報での普及啓発（各種検診ごとに実施月の前後に実施）
- ①203：各種がん検診（肺がん、大腸がん、胃がん、乳がん、前立腺がん）の実施
- ①205：申込者で未受診者への受診勧奨

がん検診・がん予防の普及啓発では、各種がん検診の実施前後、広報で啓発しました。また、子宮がん検診、乳がん検診の啓発を、乳幼児健診で行いました。

肺がん、胃がん、子宮がん、乳がんでは、検診の未検者検診を実施し、受診勧奨を行いました。

## ◇たばこ

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	1件
B：改善	0件
C：改善傾向	1件
D：ほぼ変化なし	0件
E：悪化傾向	2件

公助の9件の指標中「A：十分評価できる」は1件となっています。「B：評価できる」は1件、「C：進捗が思わしくない」は2件、「E：実施無」は5件となっています。

A評価は以下の1件です。

- ①206：母子健康手帳交付時の普及啓発数

受動喫煙防止については、県ホームページ及びチラシにて受動喫煙防止宣言施設登録に関する啓発を実施し、母子手帳交付時の保健指導、広報のイキキ通信での啓発を実施しました。

## 【子育て世代の健康づくり（20～39歳）】

### ◇歯と口腔の健康

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	2件
B：改善	1件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	1件
E：悪化傾向	2件

6件の指標中「A：十分評価できる」は1件となっています。「B：評価できる」は4件、「C：進捗が思わしくない」は1件、「E：実施無」は0件となっています。

A評価は以下の1件です。

#### ①203：妊婦歯科健診の実施（受診率）

普及啓発では、各乳幼児健診で毎回、集団及び個別指導を実施しました。

歯と口腔の健康に関するイベントは、「歯と口と健康のつどい」を開催しました。

## （3）今後の取組の方向性

### ◇栄養と食生活

野菜をはじめとしたバランスのとれた食事が悪化傾向にあり、食生活に関する啓発が課題です。

また、規則正しい生活については悪化傾向にあり、規則正しい生活への取組が重要になります。

### ◇運動と身体活動

家族と運動している人の割合は増加していますが、家族以外で一緒に運動できる相手は減少傾向にあります。また、「運動の大切さについての知識を増やす」が悪化傾向にあり、運動と健康についての情報提供、意識啓発が課題となります。

### ◇こころの健康

人と気軽に会話している人の割合が悪化傾向にあり、一緒に運動している友人の割合が減少しています。

また、悩み等を気軽に相談できる相手や支援してくれる人がいる人の割合が悪化傾向にあり、身近なコミュニケーションが課題といえます。

### ◇循環器疾患・糖尿病

メタボリックシンドロームなど健康の知識を得ること、ほぼ毎日体重を測るなど、規則正しい生活についての評価指標が悪化傾向にあり、課題となっています。

朝食に主食・主菜・副菜を揃えて食べる人の割合は減少しており、バランスのよい食事が課題となっています。

また、お酒を毎日飲む人の割合も増加しており、節酒についての取組も課題となります。

- ◇ がん                      がん予防の普及啓発、がん検診の受診率向上に向けた取組の継続が重要です。
- ◇ たばこ                    受動喫煙があったと答えた人の割合が増加しており、受動喫煙についての啓発が今後の課題となります。
- ◇ 歯と口腔の健康        朝食後に歯磨きをする人が減少しており、規則正しい生活に関連した啓発が課題となります。

#### （4）進捗状況

##### ①栄養と食生活

#### 中目標『①野菜料理を取り入れ、栄養バランスのとれた食事をしよう』

##### ■自助・共助

##### 《E：悪化傾向》

- 001：成人の1日あたりの野菜の必要量を知っている人の割合の増加
- 003：朝食に主食・主菜・副菜を揃えて食べる人の割合の増加
- 004：1日に食べる野菜料理が「3～4皿」の人の割合の増加
- 103：食事や食品の購入時に栄養成分表示を参考にしている人の割合の増加

中目標①については、野菜をはじめとしたバランスのとれた食事が悪化傾向にあり、食生活に関する啓発が課題となります。

##### ■公助

##### 《A：十分評価できる取組》

- ◎202：FM「食育カレンダー」放送回数
- ◎212：農業体験イベントの実施

##### 《B：まあ評価できる取組》

- 203：食育ウイークの実施回数
- 204：ホームページでの野菜料理の作り方掲載の実施
- 205：食生活改善推進員の定期講習会開催数
- 206：広報での普及啓発
- 207：栄養相談・指導が必要な人への指導の実施
- 208：各種乳幼児健診における集団指導の実施
- 209：指導が必要な人への指導の実施
- 210：生活習慣病予防料理教室の託児付開催数
- 210：骨粗しょう症予防料理教室（託児付）開催数
- 211：健診後の個別支援対象者の栄養指導の実施

##### 《C：あまり評価できない取組》

- 201：レシピ集を活用した事業数

【子育て世代の健康づくり（20～39歳）】

公助の取組みについては、概ね評価できる取組となっておりますが、自助・共助での評価が芳しくないため、実施内容について見直すことも考えられます。「レシピを活用した事業数」が少なくなっていますが、自助・公助で悪化傾向にあるバランスのとれた食事に結び付いてくると考えられるため、レシピ開発とレシピを活用した事業への取組を強化していくことも考えられます。

中目標『②朝食をとる人を増やそう』

■自助・共助

《A：中間目標達成》

◎001(102)：朝食を毎日食べない人の割合の減少

《B：改善》

0002：週に食べる朝食回数「6回」と回答した人の割合の増加

《E：悪化傾向》

●003(101)：規則正しい生活を送るよう心がけている人の割合の増加

中目標②については、朝食について、自助と共助ともに中間目標を達成しています。ただし、規則正しい生活については悪化傾向にあり、生活リズムの乱れが朝食に影響を及ぼさないよう、規則正しい生活への取組が重要になります。

■公助

《C：あまり評価できない取組》

●201：「いわぬま健幸運動」で朝6：30頃に起床する子どもの割合の増加

●202：食生活改善推進員の伝達講習会の回数

栄養バランスのとれた朝食のために、健康食で構成されたレシピ集を活用した事業を、参加しやすい体制で実施する必要があります。

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①野菜料理を取り入れ、栄養バランスのとれた食事をしよう	001	成人の1日あたりの野菜の必要量を知っている人の割合の増加		%	35.5	33.8	E	40.0
	002	食材購入時の野菜（野菜料理）の品数		%	今後把握	21.8	—	25.0
	003	朝食に主食・主菜・副菜を揃えて食べる人の割合の増加		%	20.1	16.9	E	25.0
	004	1日に食べる野菜料理が「3～4皿」の人の割合の増加		%	24.8	21.8	E	29.0
	005	1日1回以上家族の誰かと食事をする人の割合の増加		%	93.9	94.4	D	100.0

【子育て世代の健康づくり（20～39歳）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
②朝食をとる 人を増やそう	001	朝食を毎日食べない人の割合の減少		%	25.2	18.8	A	20.0
	002	週に食べる朝食回数「6回」と回答した人の割合の増加		%	1.9	3.3	B	5.0
	003	規則正しい生活を送るよう心がけている人の割合の増加		%	29.4	23.3	E	40.0

【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①野菜料理を取り入れ、栄養ハ ランスのとれた食事をしよう	101	1日1回以上家族の誰かと食事をする人の割合の増加		%	93.9	94.4	D	100.0
	102	家族の誰かと調理をする人の割合の増加			削除			
	103	食事や食品の購入時に栄養成分表示を参考にしている人の割合の増加		%	7.5	3.4	E	12.0
	104	農業体験イベントや産直市の参加数の増加			削除			
	105	PTAや地域で家族以外の人と食事を一緒に楽しむ会の参加数の増加			削除			
	106	家族や友人と調理法を教え合う機会の増加		%	今後把握	21.4	-	23.0
②朝食をとる 人を増やそう	101	規則正しい生活を送るよう心がけている人の割合の増加		%	29.4	23.3	E	40.0
	102	朝食を毎日食べない人の割合の減少		%	25.2	18.8	A	20.0

【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①野菜料理を取り入れ、栄養ハ ランスのとれた食事をしよう	201	レシピ集を活用した事業数	年16回	年2回	C	継続
	202	F M「食育カレンダー」放送回数	年48回	年48回	A	継続
	203	食育ウイークの実施回数	年1回（11月）	年1回	B	継続
	204	ホームページでの野菜料理の作り方掲載の実施	実施	継続（1回）	B	継続
	205	食生活改善推進員の定期講習会開催数	年8回	年8回	B	継続
	206	広報での普及啓発	実施無	無	B	年1回以上
	207	栄養相談・指導が必要な人への指導の実施	実施	継続	B	継続
	208	各種乳幼児健診における集団指導の実施	実施	1,554人	B	継続
	209	指導が必要な人への指導の実施	実施	継続	B	継続
	210	生活習慣病予防料理教室の託児付開催数	年3回	年3回 （託児希望者1名）	B	継続
	210	骨粗しょう症予防料理教室（託児付）開催数	実施無	年1回 （託児希望者なし）	B	年1回以上
	211	健診後の個別支援対象者の栄養指導の実施	実施	継続 （20～39歳なし）	B	継続
212	農業体験イベントの実施	実施	芋堀体験：年1回 料理教室：年1回	A	継続	

【子育て世代の健康づくり（20～39歳）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗状況	目標値 H35年度
人②朝食をとるを増やそう	201	「いわぬま健幸運動」で朝6：30頃に起床する子どもの割合の増加	中2：39% 小5：45%	中2：33% 小5：42%	C	中2：44% 小5：50%
	202	食生活改善推進員の伝達講習会の回数	年29回	年16回	C	現状より増加

【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
①野菜料理を取り入れ、栄養バランスのとれた食事をしよう	201	レシピ集を活用した事業数	H29年に新たなレシピ集増補版を作成。現状に合った健康食普及のために、定期的に作成が必要。	継続
	202	FM「食育カレンダー」放送回数	「食育カレンダー」について周知	継続
	203	食育ウイークの実施回数	食育ウイークのPR方法、実施内容、評価の方法等、随時検討が必要	継続
	204	ホームページでの野菜料理の作り方掲載の実施	なし	継続
	205	食生活改善推進員の定期講習会開催数	地域での伝達講習会の内容充実に繋がっている	継続実施
	206	広報での普及啓発	なし	継続
	207	栄養相談・指導が必要な人への指導の実施	なし	継続
	208	各種乳幼児健診における集団指導の実施	子の食事は考えていても、親自身の食事は気にしない人が多い	継続 プレバママ講座の栄養講話でも指導していく
	209	指導が必要な人への指導の実施	なし	継続実施
	210	生活習慣病予防料理教室の託児付開催数	託児の態勢をととのえているが、子育て世代の参加はほとんどない	乳幼児健診等、子育て世代が多い機会に周知し、参加者を募る
	210	骨粗しょう症予防料理教室（託児付）開催数	託児の態勢をととのえているが、子育て世代の参加はほとんどない	乳幼児健診等、子育て世代が多い機会に周知し、参加者を募る
	211	健診後の個別支援対象者の栄養指導の実施	子育て世代は個別健康相談を知らない人が多く、利用が少ない	乳幼児健診等、子育て世代が多い機会に周知し、参加者を募る
212	農業体験イベントの実施	参加者の減少が見られるため、周知方法等の検討が必要	H30から、それまで実施主体だった4Hクラブが活動を休止するため農政課主体で現状を維持していく	
人②朝食をとるを増やそう	201	「いわぬま健幸運動」で朝6：30頃に起床する子どもの割合の増加	なし	継続
	202	食生活改善推進員の伝達講習会の回数	年間の回数は前回より減少	現在の回数を維持、増加できるよう支援していく



## ②運動と身体活動

## 中目標『①意識的にこまめに体を動かして健康家族をめざそう』

## ■自助・共助

## 《A：中間目標達成》

◎104：家族と一緒に運動をしている人の割合の増加

## 《B：改善》

〇〇〇3：自分の1日の歩数を知っている人の割合の増加

## 《E：悪化傾向》

●〇〇1：健康の知識を得ることを心がけている人の割合の増加

●107：一緒に運動できる相手（家族以外）の増加

●107：正しい運動方法を教えてくれる人が「スマイルヘルスサポーター」と答えた人の割合の増加

運動と身体活動については、家族と運動している人の割合は増加しており、中間目標を達成していますが、家族以外で一緒に運動できる相手は悪化傾向にあります。

また、取組項目「〇〇1：運動の大切さについての知識を増やす」が悪化傾向にあり、運動と健康についての情報提供、意識啓発が課題となっています。

## ■公助

## 《B：まあ評価できる取組》

〇203：広報でPRを実施

〇203：区長会総会で出前講座のPRを実施

〇204：ウォーキングマップの作成（配布）数

〇206：市主催運動講座開催数

〇206：市主催託児付運動講座開催数

## 《C：あまり評価できない取組》

●202：市内外の運動イベントの情報をホームページで提供

●205：ウォーキング体験会開催数

●207：運動普及リーダー活動支援の実施

●207：運動普及リーダー登録者数

## 《E：実施無》

▼201：年代別体力指標（いわぬま版）の作成の実施

▼203：乳幼児健診で乳児運動指針の配布

▼205：体力測定会の実施

公助の取組については、広報活動や講座の開催回数は評価できる取組となっていますが、進捗が思わしくない取組、実施していない取組が多くなっています。特に運動普及リーダー登録者数が減少しており、登録者増に向けた取組が課題となります。

【子育て世代の健康づくり（20～39歳）】

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
標 中目	取組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①意識的に 健康家族をめざそう	001	健康の知識を得ることを心がけている人の割合の増加		%	18.2	16.2	E	28.0
	002	何らかの体力測定会に1回以上参加したことがある人の割合の増加		%	今後把握	16.9	—	18.0
	003	自分の1日の歩数を知っている人の割合の増加		%	12.1	15.4	B	22.0
	004	日常生活のなかで、健康のために意識的に体を動かすよう心がけている人の割合の増加		%	16.8	15.4	D	36.0
	005	何らかの運動講座、レッスンに年2回以上参加したことがある人の割合の増加		%	今後把握	10.5	—	12.0

【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
標 中目	取組	評価指標	対象	単 位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①意識的に 健康家族をめざそう	101	家族の1日の歩数を知っている人の割合の増加			削除			
	102	子ども会や学校行事で行われる運動の参加者の増加			削除			
	103	休日に家族または親子で歩くことを心がけている人の割合の増加	中2	%	今後把握	9.9	—	12.0
			小5	%	今後把握	13.2	—	15.0
			3歳	%	今後把握	30.2	—	32.0
	104	家族と一緒に運動をしている人の割合の増加		%	59.2	75.8	A	64.0
	105	家族や友人と運動方法を教え合う機会の増加		%	今後把握	75.8	—	78.0
	106	町内会などの地域の集まりの際に軽体操を行う機会の増加		%	今後把握	13.5	—	15.0
	107	一緒に運動できる相手（家族以外）の増加		%	40.8	26.5	E	45.0
108	正しい運動方法を教えてくれる人が「スマイルヘルスサポーター」と答えた人の割合の増加		%	3.1	0.0	E	8.0	
109	職場で定時に体操している市内事業所数の増加			削除				

【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
標 中目	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①意識的に 健康家族をめざそう	201	年代別体力指標（いわぬま版）の作成の実施	実施無	実施無	E	今後実施
	202	市内外の運動イベントの情報をホームページで提供	随時掲載	年1回	C	継続
	203	広報でPRを実施	実施	広報掲載 健康増進課：年5回 グリーンピア： 年12回	B	継続
	203	乳幼児健診で乳児運動指針の配布	実施無	実施無	E	今後実施
	203	区長会総会で出前講座のPRを実施	実施	継続	B	継続
	204	ウォーキングマップの作成（配布）数	2,000部/2年	配布中	B	10,000部/ 10年
	205	ウォーキング体験会開催数	年2回	年1回	C	年3回以上
	205	体力測定会の実施	実施無	実施無	E	年1回以上
	206	市主催運動講座開催数	年21回	14回 379人	B	年21回以上
	206	市主催託児付運動講座開催数	実施無	年3回	B	年1回以上
	207	運動普及リーダー活動支援の実施	実施	継続	C	継続
	207	運動普及リーダー登録者数	17人	スマイル10人 元気4人	C	30人

## 【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
①意識的にこまめに体を動かして健康家族をめざそう	201	年代別体力指標（いわぬま版）の作成の実施	—	—
	202	市内外の運動イベントの情報をホームページで提供	市外運動イベント情報を市ホームページに掲載するのは人的、時間的に困難	検討中
	203	広報でPRを実施	幼稚園保護者会やPTAへのPRが出来なかったが、口コミで出前講座を申し込んだ団体のみられた	健康増進課：運動に関する講座も含め、出前講座一覧表で広くPRしていく グリーンピア：毎月広報でPRしていく
	203	乳幼児健診で乳児運動指針の配布	—	—
	203	区長会総会で出前講座のPRを実施	—	実施継続
	204	ウォーキングマップの作成（配布）数	情報の更新ができていない	情報を更新し改定したものを作成・配布する必要がある。 H32年度中に作成・配布し、マップを活用した取り組みを実施する。
	205	ウォーキング体験会開催数	子育て世代に特化したイベントの企画ではなかった	子育て世代が興味を持って参加する内容のイベントの企画
	205	体力測定会の実施	—	—
	206	市主催運動講座開催数	参加者が減少傾向	新規参加者の開拓が必要。 開催日時や場所の検討と、各種事業などで周知に努める。
	206	市主催託児付運動講座開催数	託児付きの軽体操を企画したが、参加者が少なかった	講座の内容を見直し、軽体操は行わないこととした
	207	運動普及リーダー活動支援の実施	会員の高齢化。 子育て、働き盛り世代は利用しにくい状況（平日の日中、託児なし、メニューが中高年向き）	【スマイル】活動の周知を強化し、参加者増につなげる。定例で参加している人の中からサポーターを募集する 【元気】フォローアップ研修にて、各運動の効果や公開講座での伝え方を意識づけする
	207	運動普及リーダー登録者数	会員の高齢化。 子育て、働き盛り世代は利用しにくい状況（平日の日中、託児なし、メニューが中高年向き）	【スマイル】活動の周知を強化し、参加者増につなげる。定例で参加している人の中からサポーターを募集する 【元気】フォローアップ研修にて、各運動の効果や公開講座での伝え方を意識づけする

### ③こころの健康

#### 中目標『①普段思っていることや考えていることを気軽に話し合う習慣をつけよう』

##### ■自助・共助

###### 《A：中間目標達成》

◎102：地域の活動に参加している人の割合の増加

###### 《B：改善》

○103：自分や周りの人の心の健康を気にかけている人の割合の増加

###### 《E：悪化傾向》

●001(002)：人と気軽に会話している人の割合の増加

こころの健康の中目標①については、地域の活動に参加している人の割合は増加しており、中間目標を達成しています。また、自分や周りの人の心の健康を気にかけている人の割合についても改善しており、共助での中目標については、順調に成果を上げている状況にあります。ただし、自助については、人と気軽に会話している人の割合が悪化傾向にあり、身近なコミュニケーションについて課題が残されています。

##### ■公助

###### 《B：まあ評価できる取組》

○202：心の健康相談実施回数

###### 《E：実施無》

▼203：心の相談に関する一覧表の作成（配布）の実施

「心の健康相談実施回数」については評価されていますが、相談者がいない場合もあるなどの問題意識もあるため、実施されていない「心の相談に関する一覧表の作成（配布）」を行い、周知についての取組を果たしていくことが課題となります。

#### 中目標『②自分なりのストレス解消法をみつけて実践しよう』

##### ■自助・共助

###### 《A：中間目標達成》

◎102：一緒に運動している相手（家族）の割合の増加

《E：悪化傾向》

- 003：ストレスや悩み、疲労感を自分で解消できている人の割合の増加
- 004：この1カ月間、睡眠で休養が十分とれている人の割合の増加
- 101：悩み等を気軽に相談できる相手や支援してくれる人がいる人の割合の増加
- 102：一緒に運動している相手（友人）の割合の増加

中目標②については、一緒に運動している家族の割合は増加しており、中間目標を達成していますが、一緒に運動している友人の割合が悪化傾向にあります。

また、ストレスや悩み、疲労感を自分で解消できている人の割合、悩み等を気軽に相談できる相手や支援してくれる人がいる人の割合が悪化傾向にあり、中目標①と同様に身近なコミュニケーションについて課題が残されています。

■公助

《B：まあ評価できる取組》

- 201：市内外の運動イベントの情報をホームページで提供
- 203：心の健康相談実施回数

《E：実施無》

- ▼202：心の健康講座実施回数

公助の取組については、「心の健康講座」が実施されていません。中目標①とも密接に関わってくると思われるため、「心の健康講座」について、講座内容や開催概要等について検討していくことが課題となります。

中目標『③心の病気への理解を深めよう』

■自助・共助

中目標③については、平成25年度時点ではすべて「今後把握」となっていたため、平成30年度の値を現状値として、目標年度の平成35年度に向けて、表のとおり目標値を設定しました。

■公助

《A：十分評価できる取組》

- ◎204：妊産婦訪問事業での産後うつ病スクリーニング実施率
- ◎207：すくすく教室、ちびっこ相談での相談実施回数

《B：まあ評価できる取組》

- 201：広報記事掲載回数
- 203：心の健康相談実施回数
- 205：ママサポート事業で把握した要支援母子への支援の実施
- 206：赤ちゃんホットラインの実施

【子育て世代の健康づくり（20～39歳）】

《E：実施無》

▼202：心の健康講座実施回数

公助の取組みについては、概ね評価できる取組となっておりますが、「心の健康講座」については中目標②と同様に、早急な検討による実施が課題となります。

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①人と気軽に話せることや考えを持っていること	001	人と気軽に会話している人の割合の増加		%	65.4	63.9	E	70.0
	002			%	65.4	63.9	E	70.0
	003	傾聴や認知行動療法など何らかのコミュニケーションスキル講座を受講した人数の増加			削除			
②自分なりのストレス解消法をみつけて実践しよう	001	自分のストレスの原因が思い当たる人の割合の増加		%	今後把握	80.1	—	83.0
	002	ストレスチェックしている人の割合の増加		%	今後把握	59.8	—	63.0
	003	ストレスや悩み、疲労感を自分で解消できている人の割合の増加（「だいたいできている」）		%	60.7	58.7	E	65.0
	004	この1カ月間、睡眠で休養が十分とれている人の割合の増加（「十分とれている」）		%	24.3	21.1	E	29.0
③心の病気への理解を深めよう	001	心の病気に関する知識がある人の割合の増加		%	今後把握	89.1	—	92.0

【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
① 普段思いついていないことを気軽に話せる環境づくり	101	相手に配慮した会話を心がけている人の割合の増加		%	今後把握	91.4	—	94.0
	102	地域の活動に参加している人の割合の増加		%	14.5	23.7	A	19.0
	103	自分や周りの人の心の健康を気にかけている人の割合の増加		%	60.3	62.0	B	65.0
② 自分なりのストレス解消法をみつけて実践していく	101	悩み等を気軽に相談できる相手や支援してくれる人がいる人の割合の増加		%	82.2	80.1	E	87.0
	102	一緒に運動している相手（家族・友人）の割合の増加	家族	%	59.2	75.8	A	64.0
			友人	%	40.8	26.5	E	45.0
③ 心の病気への理解を深めよう	101	心の相談窓口の認知度		%	今後把握	45.5	—	48.0

【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
① 普段思いついていないことを気軽に話せる環境づくり	201	職場やPTA等を含めた心の健康に関する講座開催数	今後把握			現状値を把握後に設定
	202	心の健康相談実施回数	年12回	3回開催/年12回実施	B	継続
	203	心の相談に関する一覧表の作成（配布）の実施	実施無	実施無	E	今後実施

【子育て世代の健康づくり（20～39歳）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
②自分なりのストレス解消法をみつけて実践しよう	201	市内外の運動イベントの情報をホームページで提供	随時掲載	HP掲載 健康増進課：年5回 グリーンピア：年12回 総合体育館：年12回	B	継続
	202	心の健康講座実施回数	年1回	実施無	E	—
	203	心の健康相談実施回数	年12回	3回開催／年12回実施	B	継続
③心の病気への理解を深めよう	201	広報記事掲載回数	随時掲載	年4～5回	B	継続
	202	心の健康講座実施回数	年1回	実施無	E	継続
	203	心の健康相談実施回数	年12回	3回開催／年12回実施	B	継続
	204	妊産婦訪問事業での産後うつ病スクリーニング実施率	100%	100%	A	100%
	205	ママサポート事業で把握した要支援母子への支援の実施	実施	H29年度 再訪問：16件 電話：76件 来所：4件 健診：59件 保健師フォロー：22件	B	継続
	206	赤ちゃんホットラインの実施	実施（毎週月・水・金）	継続	B	継続
	207	すくすく教室、ちびっこ相談での相談実施回数	年24回	年24回	A	継続

【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
①普段思っていることやきえていることを気軽に話さ合う習慣をつけよう	201	職場やPTA等を含めた心の健康に関する講座開催数	—	—
	202	心の健康相談実施回数	心の健康相談開催の周知を行っているが、相談者がいない場合もある。心の健康相談以外の相談先が充足していたり、医療機関への受診がスムーズに出来ているためか、それとも周知が足りないのかの評価ができていない	単発の相談で、新規の相談もあることから、専門職の相談機会として継続していく
	203	心の相談に関する一覧表の作成（配布）の実施	—	—
②自分なりのストレス解消法をみつけて実践しよう	201	市内外の運動イベントの情報をホームページで提供	適宜内容の見直しが必要	継続
	202	心の健康講座実施回数	—	—
	203	心の健康相談実施回数	心の健康相談開催の周知を行っているが、相談者がいない場合もある。心の健康相談以外の相談先が充足していたり、医療機関への受診がスムーズに出来ているためか、それとも周知が足りないのかの評価ができていない	単発の相談で、新規の相談もあることから、専門職の相談機会として継続していく



目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
③心の病気への理解を深めよう	201	広報記事掲載回数	相談内容によって相談先が変わってくるため、相談窓口の周知が難しい	相談窓口の整理や周知啓発の強化
	202	心の健康講座実施回数	—	—
	203	心の健康相談実施回数	心の健康相談開催の周知を行っているが、相談者がいない場合もある。心の健康相談以外の相談先が充足していたり、医療機関への受診がスムーズに出来ているためか、それとも周知が足りないのかの評価ができていない	単発の相談で、新規の相談もあることから、専門職の相談機会として継続していく
	204	妊産婦訪問事業での産後うつ病スクリーニング実施率	なし	継続
	205	ママサポート事業で把握した要支援母子への支援の実施	なし	継続
	206	赤ちゃんホットラインの実施	精神面に関する相談もあり、必要時には健診等につなげるなど事後フォローもとられている	—
	207	すくすく教室、ちびっこ相談での相談実施回数	児の発育・発達に関する相談・指導がメインになってしまう	—

④循環器疾患・糖尿病

中目標『①健診を活用して普段から自分の健康状態を知ろう』

■自助・共助

《A：中間目標達成》

◎006(101)：過去1年間に健康診断を受けた人の割合の増加

《E：悪化傾向》

- 001：健康の知識を得ることを心がけている人の割合の増加
- 002：メタボリックシンドロームを知っている人の割合の増加
- 003：規則正しい生活を心がけている人の割合の増加
- 004：ほぼ毎日体重を測る人の増加

循環器疾患・糖尿病については、過去1年間に健康診断を受けた人の割合の増加は、中間目標を達成しています。

メタボリックシンドロームなど健康の知識を得ることについては悪化傾向にあり、また、ほぼ毎日体重を測るなど、規則正しい生活についての評価指標が悪化傾向になっています。

■公助

《A：十分評価できる取組》

- ◎202：基本健診実施
- ◎205：生活習慣病予防講演会（医師会との連携）
- ◎207：生活習慣病予防料理教室
- ◎209：公共施設への自動血圧計の設置と情報提示

《B：まあ評価できる取組》

- 201：広報での啓発（各健診ごとに実施月の前後に実施）
- 201：乳幼児健診時に普及啓発を実施
- 203：広報での普及啓発回数
- 204：土日、夜間健診、未健者健診の実施回数、託児ありPR
- 206：診有所見者への個別支援（訪問指導など）
- 208：成人保健相談

公助の取組については、すべて評価できる取組となっており、「基本健診実施」、生活習慣病予防関連の講演会や料理教室、「公共施設への自動血圧計の設置と情報提示」は十分評価できる取組となっています。

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①健診を活用して普段から自分の健康状態を知ろう	001	健康の知識を得ることを心がけている人の割合の増加		%	18.2	16.2	E	28.0
	002	メタボリックシンドロームを知っている人の割合の増加		%	80.4	71.8	E	90.0
	003	規則正しい生活を心がけている人の割合の増加		%	29.4	23.3	E	39.0
	004	ほぼ毎日体重を測る人の増加		%	22.7	19.0	E	32.0
	005	機会を見つけて血圧をはかる人の割合の増加		%	今後把握	14.3	—	17.0
	006	過去1年間に健康診断を受けた人の割合の増加		%	72.0	90.6	A	82.0
	007	健診結果によって、必要な保健指導を受けた人の割合の増加		%	今後把握	34.9	—	45.0
	008	体調不良時は早めに受診するよう心がけている人の割合の増加		%	今後把握	39.8	—	43.0

【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①健診を活用して普段から自分の健康状態を知ろう	101	過去1年間に健康診断を受けた人の割合の増加		%	72.0	90.6	A	82.0
	102	家族や友人と健康方法を教え合う機会の増加		%	今後把握	27.4	—	30.0
	103	自分や周りの人の健康を気にかけている人の割合の増加		%	今後把握	89.8	—	90.0

【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①健診を活用して普段から自分の健康状態を知ろう	201	広報での啓発（各健診ごとに実施月の前後に実施）	年1回	実施（年1回以上）	B	年1回以上
	201	乳幼児健診時に普及啓発を実施	実施無	実施	B	4, 5, 6月の乳幼児健診時
	202	基本健診実施	実施	実施	A	継続
	203	広報での普及啓発回数	年一回	実施	B	年1回以上
	204	土日、夜間健診、未健者健診の実施回数、託児ありPR	土日、夜間健診、未健者健診-2回、託児PRなし	土日夜間年6回 未健年2回 (託児なし)	B	継続、託児PR実施
	205	生活習慣病予防講演会（医師会との連携）	年2回	年3回	A	年2回以上
	206	健診有所見者への個別支援（訪問指導など）	実施	実施	B	継続
	207	生活習慣病予防料理教室	年3回	年3回	A	継続
	208	成人保健相談	年11回	年6回7人（随時）	B	継続
209	公共施設への自動血圧計の設置と情報提示	3カ所	4カ所	A	3カ所以上	

【子育て世代の健康づくり（20～39歳）】

【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
①健診を活用して普段から自分の健康状態を知ろう	201	広報での啓発（各健診ごとに実施月の前後に実施）	なし	継続
	201	乳幼児検診時に普及啓発を実施	なし	継続
	202	基本健診実施	若者の受診率低下	継続
	203	広報での普及啓発回数	広報のみで周知をしているので、別な周知方法も検討する	継続
	204	土日、夜間健診、未健者健診の実施回数、託児ありPR	平日の昼間に受診できない方が受診し、受診率向上に繋がった。受診する人数が少ないため、場所や回数を検討する必要がある	回数を減らして実施する
	205	生活習慣病予防講演会（医師会との連携）	子育て世代の参加者はなし	子育て世代への周知方法の検討が必要
	206	健診有所見者への個別支援（訪問指導など）	医療機関受診につながるまで時間がかかる。食事に関する相談が多い	管理栄養士と連携して支援していく必要あり
	207	生活習慣病予防料理教室	子育て世代の参加者はなし	子育て世代に合った実施方法について検討が必要
	208	成人保健相談	利用者が減少傾向にある。広報や各事業・健診などで周知は行っているが、認知度は低い	現行どおり継続
	209	公共施設への自動血圧計の設置と情報提示	なし	継続

## ⑤がん

## 中目標『①がんの予防、早期発見早期治療のために検診を受けよう』

## ■自助・共助

## 《A：中間目標達成》

- ◎008：男性）過去1年間に大腸がん検診を受けた人の割合の増加
- ◎008(101)：女性）過去1年間に子宮がん検診を受けた人の割合の増加

## 《B：改善》

- 101：過去1年間に大腸がん検診を受けた人の割合の増加
- 006：現在もタバコを吸っている人の割合の減少

## 《E：悪化傾向》

- 002：朝食に主食・主菜・副菜を揃えて食べる人の割合の増加
- 007：お酒を飲む頻度が「毎日」の人の割合の減少

過去1年間にがん検診を受けた人の割合の増加は、中間目標を達成しています。  
朝食に主食・主菜・副菜を揃えて食べる人の割合は減少しており、バランスのよい食事が課題となっています。  
また、お酒を毎日飲む人の割合も増加しており、節酒についての取組も課題となります。

## ■公助

## 《A：十分評価できる取組》

- ◎201：広報での普及啓発（各種検診ごとに実施月の前後に実施）
- ◎201：乳幼児健診時に普及啓発
- ◎203：各種がん検診（肺がん、大腸がん、胃がん、乳がん、前立腺がん）の実施
- ◎204：精検対象者への受診勧奨
- ◎205：申込者で未受診者への受診勧奨
- ◎207：成人保健相談実施回数
- ◎208：乳がん検診時保健指導実施回数

## 《B：まあ評価できる取組》

- 202：子宮がん検診、乳がん検診等のがん検診未検者検診を実施
- 206：広報での普及啓発

## 《E：実施無》

- ▼201：子育てサークルに普及啓発

公助の取組については、「子育てサークルに普及啓発」以外の取組は、評価されています。  
特に普及啓発や受診勧奨は十分評価できる取組となっています。

【子育て世代の健康づくり（20～39歳）】

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①がんの予防、 早期発見早期治療のために 検診を受けよう	001	がん予防の知識を得ることを心がけている人の割合の増加		%	今後把握	61.7	—	63.0
	002	朝食に主食・主菜・副菜を揃えて食べる人の割合の増加		%	20.1	16.9	E	30.0
	003	1日の適正塩分量を知っている人の割合の増加		%	27.6	30.1	C	37.0
	004	1回30分以上の運動を週に2回以上、1年間継続している人の増加		%	14.0	16.5	C	24.0
	005	ストレスや悩み、疲労感を自分なりに解消できている人の割合の増加（「十分できている」）		%	4.7	5.2	D	9.0
	005	ストレスや悩み、疲労感を自分なりに解消できている人の割合の増加（「だいたいできている」）		%	51.2	53.5	C	61.0
	006	現在もタバコを吸っている人の割合の減少		%	48.5	45.1	B	38.0
	007	お酒を飲む頻度が「毎日」の人の割合の減少		%	9.8	17.7	E	5.0
	008	男性）過去1年間に大腸がん検診を受けた人の割合の増加 女性）過去1年間に子宮がん検診を受けた人の割合の増加	男性	%	26.5	29.6	A	31.0
			女性	%	54.0	68.4	A	64.0
	009	乳がん検診受診者のうち自己検診をした人の割合の増加		%	今後把握	60.7	—	62.0
010	大腸がん検診精密検査受診率		%	今後把握	85.2	—	87.0	
011	体調不良時がまんせずに受診した人の割合の増加		%	今後把握	39.8	—	43.0	

【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
治療のために がんの予防、 早期発見早期 検診を受けよう	101	過去1年間に大腸がん検診を受けた人の割合の増加		%	26.5	31.2	B	36.0
		女性）過去1年間に子宮がん検診を受けた人の割合の増加	女性	%	54.0	68.4	A	64.0
	102	がん予防の知識を得ることを心がけている人の割合の増加			削除			

【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①がんの予防、 早期発見早期治療のために検診を受けよう	201	広報での普及啓発（各種検診ごとに実施月の前後に実施）	年1回	年7回	A	年1回以上
	201	乳幼児健診時に普及啓発	実施無	実施	A	4、5、6月の乳幼児健診時
	201	子育てサークルに普及啓発	実施無	実施無	E	年1回以上
	202	子宮がん検診、乳がん検診等のがん検診未検者検診を実施	実施無	実施	B	継続
	203	各種がん検診（肺がん、大腸がん、胃がん、乳がん、前立腺がん）の実施	実施	継続	A	継続
	204	精検対象者への受診勧奨	実施	継続	A	継続
	205	申込者で未受診者への受診勧奨	実施無	実施	A	今後実施
	206	広報での普及啓発	年1回	実施無	B	継続
	207	成人保健相談実施回数	年11回	年27回18人	A	継続
	208	乳がん検診時保健指導実施回数	年16回	年16回	A	継続

【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
①がんの予防、 早期発見早期治療のために検診を受けよう	201	広報での普及啓発（各種検診ごとに実施月の前後に実施）	広報に掲載することで、市民からの受診希望の問い合わせが多くなっている	継続
	201	乳幼児健診時に普及啓発	女性特有のがん検診の受診者増につながっている	継続
	201	子育てサークルに普及啓発	—	子育て支援センターにポスターやパンフレット等を設置する
	202	子宮がん検診、乳がん検診等のがん検診未検者検診を実施	未検者検診を行なうことで受診率増につながるが毎年行うことで、正規の検診の受診者減につながっている	正規の検診を受けなかった未検者対策として検討し、実施する
	203	各種がん検診（肺がん、大腸がん、胃がん、乳がん、前立腺がん）の実施	がんの早期発見につながっている	継続
	204	精検対象者への受診勧奨	通知等で精検受診の意思表示のない対象者に対しては、担当保健師が電話で受診勧奨し、受診につながっている	継続
	205	申込者で未受診者への受診勧奨	未検者検診を行なうことで受診率増につながるが毎年行うことで、正規の検診の受診者減につながっている	正規の検診を受けなかった未検者対策として検討し、実施する
	206	広報での普及啓発	年間を通し周知できる媒体の必要である	広報に加え、年間を通し周知できるホームページでも実施したい
	207	成人保健相談実施回数	相談内容によっては、成人保健相談ではむずかしい場合もある	対がん協会の相談窓口の紹介も行っていく
208	乳がん検診時保健指導実施回数	待ち時間に保健指導をすることができ有意義である	継続	

⑥たばこ

中目標『①禁煙者を増やそう』

■自助・共助

《A：中間目標達成》

◎003：市内たばこ売上本数の減少

たばこの中目標①については、市内のたばこの売上本数が減少しており、中間目標を達成しています。

■公助

《A：十分評価できる取組》

◎206：母子健康手帳交付時の普及啓発数

《C：あまり評価できない取組》

●202：成人保健相談での禁煙相談実施

●207：成人保健相談での禁煙相談実施

《E：実施無》

▼201：学校での講演回数

▼203：広報での普及啓発回数

▼204：受動喫煙防止の理解促進のための巡回指導回数

▼205：禁煙ゾーンの設置数

公助の取組みについては、7項目中5項目で取組実施がありません。「受動喫煙防止の理解促進のための巡回指導回数」は評価できる取組となっていますが、“受動喫煙防止宣言施設登録事業所がなかなか増えない”ことが問題とされており、全体的により一層の取組が課題となっています。

中目標『②分煙できる環境を多くつくろう』

■自助・共助

《E：悪化傾向》

●003(102)：受動喫煙があったと答えた人の割合の減少

中目標②については、受動喫煙があったと答えた人の割合が増加しており、受動喫煙についての啓発が今後の課題となります。



■公助

《B：まあ評価できる取組》

○201：広報での普及啓発回数

《E：実施無》

▼202：禁煙ゾーンの設置数

「広報での普及啓発」については評価できる取組となっていますが、“掲載内容が児童館での健康教育の実施報告がメイン。”となっているため、今後はたばこについての訴求が課題となります。また、「禁煙ゾーンの設置」については実施されておらず、自助・共助では受動喫煙者が増加していることから、早急な取組が必要です。

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
増やそう ①禁煙者を	001	たばこが影響を与えると思うものうち「心臓病」回答数の増加		%	46.7	47.7	C	51.0
	002	禁煙補助用品や禁煙外来の認知度		%	今後把握	91.1	—	93.0
	003	市内たばこ売上本数の減少		本	74,277,777	66,078,000	A	74,277,776
減らそう ②分煙できる環境	001	(分煙を守る)喫煙時に分煙に配慮する人の割合の増加		%	今後把握	58.2	—	65.0
	002	(吸わない人の前では吸わないようにするなどマナーを守る)喫煙時に分煙に配慮する人の割合の増加		%	今後把握	38.0	—	45.0
	003	受動喫煙があったと答えた人の割合の減少		%	57.5	69.2	E	47.0

【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
増やそう ①禁煙者を増	101	身近な人に禁煙をすすめた人の割合の増加		%	今後把握	14.7	—	16.0
	102	自分やまわりの人の健康を気にかける人の割合の増加	中2	%	今後把握	75.6	—	78.0
			小5	%	今後把握	67.7	—	70.0
	103	仲間と禁煙に取り組む人の割合の増加	中2	%	今後把握	75.6	—	78.0
小5			%	今後把握	67.7	—	70.0	
減らそう ②分煙できる環境	101	喫煙時に分煙に配慮する人の割合の増加		%	今後把握	58.2	—	65.0
	102	受動喫煙があったと答えた人の割合の減少		%	57.5	69.2	E	47.0

【子育て世代の健康づくり（20～39歳）】

【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①禁煙者を増やす	201	学校での講演回数	実施無	実施無	E	年1回以上
	202	成人保健相談での禁煙相談実施	実施無	実施	C	継続
	203	広報での普及啓発回数	実施無	年1回	E	年1回以上
	204	受動喫煙防止の理解促進のための巡回指導回数	実施無	実施無	E	年1回以上
	205	禁煙ゾーンの設置数	設置無	実施無	E	今後実施
	206	母子健康手帳交付時の普及啓発数	喫煙者のみ指導実施	全数実施	A	今後実施
	207	成人保健相談での禁煙相談実施	実施	実施	C	継続
②分煙の環境	201	広報での普及啓発回数	実施無	年1回	B	年1回以上
	202	禁煙ゾーンの設置数	設置無	実施無	E	今後実施

【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
①禁煙者を増やす	201	学校での講演回数	—	—
	202	成人保健相談での禁煙相談実施	PRが必要	周知を強化していく
	203	広報での普及啓発回数	—	—
	204	受動喫煙防止の理解促進のための巡回指導回数	登録事業所がなかなか増えない	受動喫煙防止宣言施設登録や健康増進法改正に伴い受動喫煙防止に関する啓発を行う
	205	禁煙ゾーンの設置数	取り組んで行くためには関係各課との協議が必要。健康増進法が改正され受動喫煙防止に向けた取り組みをどのように促進していくか検討が必要	継続
	206	母子健康手帳交付時の普及啓発数	妊娠中も吸い続ける人は少数だがいる	継続
	207	成人保健相談での禁煙相談実施	周知不足。相談者が来た時に対応できる禁煙指導のスキルアップが必要	周知を強化していく
②分煙の環境	201	広報での普及啓発回数	掲載内容が児童館での健康教育の実施報告がメイン。たばこの害や受動喫煙の内容をメインでも良いか。	2020年に向けて健康増進法の改正など国でも動きある。市民への周知を図っていく
	202	禁煙ゾーンの設置数	取り組んで行くためには関係各課との協議が必要。健康増進法が改正され受動喫煙防止に向けた取り組みをどのように促進していくか検討が必要	—

## ⑦歯と口腔の健康

### 中目標『①正しい歯磨きの習慣を身につけ、歯周疾患を予防しよう』

#### ■自助・共助

##### 《A：中間目標達成》

- ◎004：デンタルフロスや歯間ブラシを使う人の割合の増加
- ◎006：かかりつけ歯科医を持つ人の増加

##### 《B：改 善》

- 〇005：過去1年間に歯科健診を受けた人の割合の増加

##### 《E：悪化傾向》

- 101(102)：朝食後に歯磨きをする人の増加

歯と口腔の健康については、デンタルフロスや歯間ブラシを使う人の割合、かかりつけ歯科医を持つ人は増加していますが、朝食後に歯磨きをする人が減少しており、規則正しい生活に関連した啓発が課題となります。

#### ■公助

##### 《A：十分評価できる取組》

- ◎203：妊婦歯科健診の実施（受診率）

##### 《B：まあ評価できる取組》

- 〇201：広報での普及啓発
- 〇201：乳幼児健診時の保護者への指導回数
- 〇202：乳幼児歯科保健講座の開催数
- 〇202：歯と健康のつどい開催数

##### 《C：あまり評価できない取組》

- 204：成人保健相談での歯科相談の実施

公助の取組みについては、概ね評価できる取組となっています。

「成人保健相談での歯科相談の実施」については、歯科についての相談実績がないため、歯科についての悩みについても受け付けている等、歯科相談の告知が課題と言えます。

また、「妊婦歯科健診の実施（受診率）」については、目標値を上回っているものの、受診率が低迷していることが問題とされていることから、受診率の維持・向上に向けた取組が課題となります。

【子育て世代の健康づくり（20～39歳）】

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
つけ、 歯周疾患を予防しよう	001	昼食後歯磨きをする人の割合の増加		%	30.4	30.1	D	40.0
	002	歯ブラシを携帯する人の割合の増加		%	今後把握	30.1	—	40.0
	003	ブラッシング方法について学んだ人の割合の増加		%	今後把握	66.2	—	68.0
	004	デンタルフロスや歯間ブラシを使う人の割合の増加		%	35.0	42.5	A	45.0
	005	過去1年間に歯科健診を受けた人の割合の増加		%	45.8	49.2	B	55.0
	006	かかりつけ歯科医を持つ人の増加		%	30.4	45.5	A	40.4

【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
つけ、 歯周疾患を予防しよう	101	朝食後に歯磨きをする人の増加		%	80.4	75.6	E	90.0
	102	朝食後に歯磨きをする人の増加		%	80.4	75.6	E	90.0

【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
つけ、 歯周疾患を予防しよう	201	広報での普及啓発	実施無	実施	B	今後実施
	201	乳幼児健診時の保護者への指導回数	実施無	年12回	B	年12回
	202	乳幼児歯科保健講座の開催数	実施無	年1回	B	今後実施
	202	歯と健康のつどい開催数	実施無	H29・30年度実施	B	H37・38年度 実施
	203	妊婦歯科健診の実施（受診率）	実施無	33.9%	A	今後実施 (30%以上)
	204	成人保健相談での歯科相談の実施	実施無	実施	C	今後実施

## 【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度取組
①正しい歯磨きの習慣を身につけ、歯周疾患を予防しよう	201	広報での普及啓発	なし	継続
	201	乳幼児健診時の保護者への指導回数	なし	継続
	202	乳幼児歯科保健講座の開催数	なし	継続
	202	歯と健康のつどい開催数	なし	二市二町輪番制で実施するため、次回はH37・38年度
	203	妊婦歯科健診の実施（受診率）	受診率が低迷している	受診勧奨を強化して継続
	204	成人保健相談での歯科相談の実施	—	—

### 3. 働き盛り世代の健康づくり（40～64 歳）

【大目標（めざす姿）】

**家庭に仕事に忙しい今だからこそ、  
働き盛りの元気なところとからだを保とう**

（1）自助・共助の達成状況（中間目標を達成した評価指標）

分野	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
栄養と食生活	①	005	主食・主菜・副菜を組み合わせている人の割合の増加	「昼食」	%	29.3	43.4	A	34.0
運動と身体活動	①	101	一緒に運動する相手がいる人の割合の増加		%	39.3	43.0	A	45.0
		102	一緒に運動する相手がいる人の割合の増加		%	39.3	43.0	A	45.0
		103	一緒に運動する相手がいる人の割合の増加		%	39.3	43.0	A	45.0
循環器疾患・ 糖尿病	①	103	一緒に運動できる相手がいる人の割合の増加		%	39.3	43.0	A	45.0
がん	①	001	がん検診を受けた人の割合の増加	胃がん 検診	%	4.4	53.5	A	75.0
		001	がん検診を受けた人の割合の増加	子宮がん 検診	%	69.2	77.2	A	75.0
歯と口腔の健康	①	002	定期的に歯科健診を受けている人の割合の増加		%	33.6	43.0	A	43.0
		003	朝食後に歯磨きをしている人の割合、夕食後に歯磨きをしている人の割合、就寝前に歯磨きをしている人の割合	夕食後	%	78.6	95.5	A	88.0
		101	定期的に歯科健診を受けている人の割合の増加		%	33.6	43.0	A	43.0

## （2）取組状況と評価

◇ 栄養と食生活

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	1件
B：改善	0件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	1件
E：悪化傾向	5件

公助の16件の指標中「A：十分評価できる」は1件となっています。「B：評価できる」は10件、「C：進捗が思わしくない」は4件、「E：実施無」は1件となっています。

A評価は以下の1件です。

①206：FM「食育カレンダー」放送回数

FM「食育カレンダー」は、週替わりでテーマを決め、週1回放送しています。

◇ 運動と身体活動

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	3件
B：改善	0件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	1件
E：悪化傾向	4件

公助の7件の指標中「A：十分評価できる」は0件となっています。「B：評価できる」は4件、「C：進捗が思わしくない」は2件、「E：実施無」は0件となっています。

主なB評価としては以下の指標があります。

①004：日常生活において、健康のために意識的に体を動かすようにしている人の割合の増加

①202：運動講座（昼、夜）への参加人数の増加

①204：運動に関する情報について広報誌への掲載回数

運動講座・体験会では、楽しく健幸プラス塾、関節痛予防講座、健康づくり教室（水中、陸上）等を実施しました。

職場での環境づくりでは、従業員の生活習慣について調査し、その結果を個別に返却するとともに、企業の健康づくりの取組を促しました。

◇ こころの健康

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	0件
B：改善	0件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	2件
E：悪化傾向	7件

公助の7件の指標中「A：十分評価できる」は0件となっています。「B：評価できる」は6件、「C：進捗が思わしくない」は0件、「E：実施無」は1件となっています。

主なB評価としては以下の指標があります。

- ①201：相談できる場、市役所の窓口に関する情報について広報誌への掲載回数
- ①203：メンタルヘルスやコミュニケーションに関する講座（講演）の開催数
- ①206：心の悩みや、思いを傾聴する支援者の育成機会の回数

相談窓口の周知では、障害児者の相談先について毎月広報で周知し、心の健康相談の日程も毎月周知しています。

支援者の育成では、自殺対策事業のゲートキーパー養成講座として、要請のあった小中学校のPTAを対象に講座を開催しました。

◇ 循環器疾患・糖尿病

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	1件
B：改善	0件
C：改善傾向	1件
D：ほぼ変化なし	1件
E：悪化傾向	5件

公助の14件の指標中「A：十分評価できる」は1件となっています。「B：評価できる」は10件、「C：進捗が思わしくない」は1件、「E：実施無」は2件となっています。

A評価は以下の1件です。

- ①204：脳検診受診率

脳検診は、医療機関2カ所に増やして検診を実施しました。



## ◇がん

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	1件
B：改善	0件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	2件
E：悪化傾向	2件

公助の9件の指標中「A：十分評価できる」は3件となっています。「B：評価できる」は5件、「C：進捗が思わしくない」は0件、「E：実施無」は1件となっています。

A評価は以下の3件です。

- ①202：夜間、土日のがん検診実施
- ①206：精検対象者への受診勧奨
- ①207：肝炎ウイルス検査の実施回数

がん検診では、各種がん検診の精検対象者に対し、受診勧奨を行っています。

子宮がん乳がん検診については、クーポン事業はなくなりましたが、検診初年度の対象者に対しては、無料で受診できるようにし、また、未検者検診も行いました。

## ◇たばこ

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	0件
B：改善	0件
C：改善傾向	2件
D：ほぼ変化なし	8件
E：悪化傾向	1件

公助の4件の指標中「A：十分評価できる」は0件となっています。「B：評価できる」は2件、「C：進捗が思わしくない」は0件、「E：実施無」は2件となっています。

B評価は以下の2件です。

- ①201：たばこによる健康への影響について広報での普及啓発
- ①203：医療機関と連携した禁煙対策の実施

たばこによる健康への影響については、広報のイキキ通信において、児童館で実施したたばこの健康教育について掲載しました。

医療機関との連携については、禁煙外来について調査し、子育てガイドブックに掲載して周知を図りました。

◇歯と口腔の健康

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	3件
B：改善	1件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	1件
E：悪化傾向	0件

公助の4件の指標中「A：十分評価できる」は0件となっています。「B：評価できる」は4件、「C：進捗が思わしくない」は0件、「E：実施無」は0件となっています。

B評価は以下の4件です。

- ①201・202：歯周疾患検診受診率
- ①203：むし歯、歯周疾患や歯磨きに関する正しい知識や6024運動について広報での普及啓発
- ①204：むし歯、歯周疾患や歯磨きに関する正しい知識や6024運動、8020運動についてホームページでの普及啓発
- ①204：歯と口の健康に関するイベントの開催

歯と口と健康のつどいでは、8020表彰、義歯名入れなど、高齢者対象の表彰等をブースを設けて実施しました。

### （3）今後の取組の方向性

- ◇ 栄養と食生活      主食・主菜・副菜を組み合わせている人の割合は朝食と夕食では減少しており、野菜の摂取量と合わせて、バランスの良い食事が課題です。  
また、休肝日を設けている人の割合が減少しており、節酒についての啓発が課題となります。
- ◇ 運動と身体活動      運動の実践については、悪化傾向の評価指標が多く、運動の実践に向けての取組が課題といえます。公助の取組は評価されている取組が多くなっていますが、自助・共助の評価に結び付いていないため、取組内容を充実させるなど、より一層の取組が課題となります。
- ◇ こころの健康      こころの健康については、悪化傾向の項目が多く、すべての取組項目について、取組方法等の改善が必要だと思われます。  
公助の取組では、広報誌への掲載回数や講座の開催回数は計画通りに進んでいるものの、内容に課題があるとの指摘が多いことから、取組内容についての見直しが課題となっています。
- ◇ 循環器疾患・糖尿病      循環器疾患・糖尿病については、自助での悪化傾向の項目が多く、自己管理についての改善が課題だと思われます。  
公助の取組では、生活習慣病についての普及啓発や健診未健者への個別訪問など、働き盛り世代へのアプローチが課題となっています。
- ◇ がん      がんについては、検診の部位別に進捗状況が異なるため、今回受診割合が減少していた「肺がん」「大腸がん」の受診にむけた取組が必要です。
- ◇ たばこ      たばこについては、喫煙の健康影響に関する知識の普及がほぼ横ばいとなっているため、より一層の啓発、知識の普及が必要となります。  
また、受動喫煙の機会を有する人の割合が増加しているため、受動喫煙についての啓発については特に重要な課題となります。
- ◇ 歯と口腔の健康      今回新たに設定された就寝前と昼食後の歯磨きについては、新たな取組が必要となります。

（4）進捗状況

①栄養と食生活

**中目標『①自分の食生活を振り返り、あと1皿多く野菜を食べよう』**

■自助・共助

《A：中間目標達成》

◎005：「昼食」で主食・主菜・副菜を組み合わせている人の割合の増加

《E：悪化傾向》

●004：野菜の摂取量の増加「3～4皿」

●004：野菜の摂取量の増加「5皿以上」

●005：「朝食」で主食・主菜・副菜を組み合わせている人の割合の増加

●005：「夕食」で主食・主菜・副菜を組み合わせている人の割合の増加

働き盛り世代では、昼食は主食・主菜・副菜を組み合わせている人の割合が増加しているものの、朝食と夕食では減少しており、野菜の摂取量と合わせて、バランスの良い食事に課題が残っています。

■公助

《A：十分評価できる》

◎206：FM「食育カレンダー」放送回数

《B：まあ評価できる》

○201：野菜摂取目標の「1日5皿350g」について広報誌への掲載回数

○203：食生活改善推進員の定期講習会開催数

○205：食育ウイークの実施回数

○208：骨粗しょう症予防料理教室参加者

○208：生活習慣病予防料理教室参加者

○209：特定保健指導の実施率

《C：あまり評価できない》

●202：レシピ集を活用した事業数

●203：各地区での健康料理講習会の実施回数

●207：骨粗しょう症検診の受診率

《E：実施無》

▼204：スーパー・小売店、飲食店、社員食堂等と連携した、野菜の摂取を勧める活動の実施

公助については、11指標中7指標は評価されています。自助・共助で課題となっている“野菜の摂取量”と“バランスの良い食事”は、C評価の取組や実施されていない取組によって改善される可能性がありますので、今後の取組が重要となってきます。

## 中目標『②自分の飲酒習慣を振り返り、体に負担をかけないお酒との付き合い方をしよう』

### ■自助・共助

#### 《E：悪化傾向》

- 003：休肝日を設けている人の割合の増加（週に0～6日飲むと答えた人）

中目標②については、休肝日を設けている人の割合が減少しており、節酒についての啓発が課題となります。

### ■公助

#### 《B：まあ評価できる》

- 201：適正飲酒の正しい知識について普及啓発
- 201：健康に関する教室における、適正飲酒の正しい知識普及啓発の実施回数
- 202：飲酒に関する相談窓口について広報での普及啓発
- 202：飲酒に関する相談窓口についてホームページでの普及啓発

#### 《C：あまり評価できない》

- 202：飲酒に関する相談窓口

公助については、概ね評価できる取組となっておりますが、休肝日を設けている人の割合が減少しているため、普及啓発の内容等について、再度検討する必要があると思われます。

「飲酒に関する相談窓口」については、進捗が思わしくない取組となっておりますが、飲酒の悩みについても相談を受け付けていること等を告知していくことが課題となります。

### 【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①自分の食生活を振り返り、あと1皿多く野菜を食べよう	001	自分の野菜の摂取量を把握している人の割合の増加		%	今後把握	99.8	—	100.0
	002	野菜料理の情報を積極的に得ている人の割合の増加		%	今後把握	12.1	—	20.0
	003	常備菜を作りおきしている人の割合の増加		%	削除			
	004	野菜の摂取量の増加	「3～4皿」	%	35.9	22.4	E	45.0
			「5皿以上」	%	4.7	2.1	E	14.0
	005	主食・主菜・副菜を組み合わせている人の割合の増加	「朝食」	%	32.7	26.5	E	37.0
			「昼食」	%	29.3	43.4	A	34.0
		「夕食」	%	90.5	85.8	E	95.0	

【働き盛り世代の健康づくり（40～64歳）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
②自分の飲酒習慣を振り返り、体に負担をかけないお酒の付き合い方をしよう	001	飲酒の健康影響を知っている人の割合の増加（メタボリックシンドローム、肝疾患、精神的影響など）		%	今後把握	98.4	—	98.0
	002	適度な飲酒量を知っている人の割合の増加		%	56.7	62.6	D	100.0
	003	休肝日を設けている人の割合の増加（週に0～6日飲むと答えた人）		%	78.6	72.2	E	88.0
	004	お酒のおつまみには塩分や脂肪分の少ないものや野菜を使ったおつまみを心がけている人の割合の増加		%	今後把握	35.8	—	38.0
	005	飲酒に関する専門相談窓口を知っている人の割合の増加		%	今後把握	10.1	—	12.0

【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①自分の食生活を振り返り、あと1皿多く野菜を食べよう	101	家族の野菜の摂取量を把握している人の割合の増加		%	今後把握	36.0	—	25.0
	102	野菜料理が常備されている家庭の割合の増加			削除			
	103	野菜料理が常備されている家庭の割合の増加		%	今後把握	23.5	—	25.0
	104	野菜料理についての情報交換をしている人の割合の増加（家庭で、職場で、地域で、上記以外で）		%	今後把握	23.5	—	25.0
②自分の飲酒習慣を振り返り、体に負担をかけないお酒の付き合い方をしよう	101	家族の飲酒量を把握している人の割合の増加		%	今後把握	34.6	—	37.0
	102	職場や家庭において、無理に飲酒を勧められたことのある人の割合の減少		%	今後把握	11.9	—	10.0
	103	家族や同僚の飲酒のおつまみについて、塩分や脂肪分の少ないもの、野菜を使ったものを配慮したり勧めたりしたことがある人の割合の増加			削除			
	104	飲酒に関する専門相談窓口を知っている人の割合の増加			削除			

## 【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
う ①自分の食生活を振り返り、あと1皿多く野菜を食へよ	201	野菜摂取目標の「1日5皿350g」について広報誌への掲載回数	年1回	実施無	B	年2回
	202	レシピ集を活用した事業数	年16回	年2回	C	継続
	203	食生活改善推進員の定期講習会開催数	年8回	年8回	B	継続
	203	各地区での健康料理講習会の実施回数	年29回	年16回	C	現状より増加
	204	スーパー・小売店、飲食店、社員食堂等と連携した、野菜の摂取を勧める活動の実施	実施無	実施無	E	年1回以上
	205	食育ウイークの実施回数	年1回（11月）	年1回	B	継続
	206	FM「食育カレンダー」放送回数	年48回	年48回（週1回）	A	継続
	207	骨粗しょう症検診の受診率	25.1%	23.8%	C	35%
	208	骨粗しょう症予防料理教室参加者	年3回実施 264人参加	年3回 312人（全年齢）	B	290人
	208	生活習慣病予防料理教室参加者	年2回実施 59人参加	年3回 64人	B	65人
209	特定保健指導の実施率	動機付け支援 29.5% 積極的支援 12.0%	動機付け支援 32.2% 積極的支援 14.7%	B	動機付け支援、積極的支援とも 60%	
を ②自分の飲酒習慣を振り返り、体に負担をかけないお酒との付き合い方をしよう	201	適正飲酒の正しい知識について普及啓発	実施無	広報年1回 カラダみるcafé年12回	B	年1回以上
	201	健康に関する教室における、適正飲酒の正しい知識普及啓発の実施回数	年2回	実施	B	現状より増加
	202	飲酒に関する相談窓口	2カ所	1カ所	C	現状より増加
	202	飲酒に関する相談窓口について広報での普及啓発	実施無	年13回	B	年1回以上
	202	飲酒に関する相談窓口についてホームページでの普及啓発	実施	通年	B	継続

【働き盛り世代の健康づくり（40～64歳）】

【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
①自分の食生活を振り返り、あと1皿多く野菜を食べよう	201	野菜摂取目標の「1日5皿350g」について広報誌への掲載回数	なし	継続
	202	レシピ集を活用した事業数	H29年に新たなレシピ集増補版を作成。現状に合った健康食普及のために、定期的に作成が必要	新たなレシピ集増補版も活用し、講習会を実施する
	203	食生活改善推進員の定期講習会開催数	なし	継続
	203	各地区での健康料理講習会の実施回数	年間の実施回数は前回より減少	現在の回数を維持、増加できるよう支援していく
	204	スーパー・小売店、飲食店、社員食堂等と連携した、野菜の摂取を勧める活動の実施	—	今後検討
	205	食育ウイークの実施回数	食育ウイークのPR方法、実施内容、評価の方法等、随時検討が必要	継続
	206	FM「食育カレンダー」放送回数	「食育カレンダー」の周知	継続
	207	骨粗しょう症検診の受診率	骨粗しょう症検診受診率は前回より減少している。対象者により受診勧奨が必要	受診勧奨、栄養指導も継続実施
	208	骨粗しょう症予防料理教室参加者	働き盛り世代への周知が難しい	ホームページ等活用し、継続実施
	208	生活習慣病予防料理教室参加者	働き盛り世代への周知が難しい	ホームページ等活用し、継続実施
209	特定保健指導の実施率	実施率が低下傾向	利用勧奨の強化 野菜摂取量について、実生活に取り入れられるよう指導内容を検討	
②自分の飲酒習慣を振り返り、体にかけてお酒との付き合い方をしよう	201	適正飲酒の正しい知識について普及啓発	市民の意識がどの位変わったかの不明	効果の検証が必要
	201	健康に関する教室における、適正飲酒の正しい知識普及啓発の実施回数	岩沼国保以外の働き盛り世代の現状が不明	職域と連携し適正飲酒について啓発活動を行っていく必要あり
	201	飲酒に関する相談窓口	相談窓口の周知	個別健康相談のチラシに飲酒の相談も出来ることを明記し、周知を行っていく
	202	飲酒に関する相談窓口について広報での普及啓発	なし	継続
	202	飲酒に関する相談窓口についてホームページでの普及啓発	なし	継続



## ②運動と身体活動

### 中目標『①毎日の生活のなかで、運動習慣を身につけることを心がけよう』

#### ■自助・共助

##### 《A：中間目標達成》

◎101(102、103)：一緒に運動する相手がいる人の割合の増加

##### 《E：悪化傾向》

- 002：1回30分以上の運動を週に2回以上、1年間継続している人の割合の増加
- 003：正しい運動方法を紹介してくれる人が身近にいる人の割合の増加
- 004：日常生活において、健康のために意識的に体を動かすようにしている人の割合の増加
- 005：運動を中心としたグループや集まりに参加したことがある人の割合の増加

運動と身体活動については、一緒に運動する相手がいる人の割合は増加しており、中間目標を達成しています。

ただし、運動の実施については、悪化傾向の評価指標が多く、運動の実践に向けての取組が課題といえます。

#### ■公助

##### 《B：まあ評価できる》

- 202：運動講座（昼、夜）への参加人数の増加
- 203：ウォーキング体験会の実施回数と参加人数
- 204：運動に関する情報について広報誌への掲載回数
- 204：運動に関する情報についてホームページへの掲載

##### 《C：あまり評価できない》

- 201：運動普及リーダー育成と活動支援の実施
- 201：運動普及リーダーの登録者数

公助については、7指標中5指標が評価できる指標となっておりますが、自助・共助では運動の実践に向けての取組が課題となっており、取組内容を充実させるなど、より一層の取組が課題となります。

特に運動普及リーダーについては、登録者数が減少していることから、運動普及リーダーの育成と活動支援の強化が求められます。

【働き盛り世代の健康づくり（40～64歳）】

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①毎日の生活のなかで、運動習慣を身につけることを心がける	001	自分の1日の歩数を知っている人の割合の増加		%	26.9	27.0	D	36.0
	002	1回30分以上の運動を週に2回以上、1年間継続している人の割合の増加		%	26.2	20.0	E	36.0
	003	正しい運動方法を紹介してくれる人が身近にいる人の割合の増加		%	14.7	12.6	E	20.0
	004	日常生活において、健康のために意識的に体を動かすようにしている人の割合の増加		%	72.6	61.1	E	80.0
	005	運動を中心としたグループや集まりに参加したことがある人の割合の増加		%	34.1	25.5	E	44.0
	006	自分の1日の活動量を知っている人の割合の増加		%	今後把握	27.0	—	30.0
	007	スポーツジムや運動施設を利用している人の割合の増加		%	今後把握	13.8	—	16.0

【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①毎日の生活のなかで、運動習慣を身につけることを心がける	101	一緒に運動する相手がいる人の割合の増加		%	39.3	43.0	A	45.0
	102	一緒に運動する相手がいる人の割合の増加		%	39.3	43.0	A	45.0
	103	一緒に運動する相手がいる人の割合の増加		%	39.3	43.0	A	45.0
	104	運動に関する子どもの行事に参加した人の割合の増加						削除

【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①毎日の生活のなかで、運動習慣を身につけることを心がける	201	運動普及リーダー育成と活動支援の実施	実施	継続	C	継続
	201	運動普及リーダーの登録者数	17人	スマイル10人 元気4人	C	30人
	202	運動講座（昼、夜）への参加人数の増加	437人	健康増進課： 年14回379人	B	480人
	203	ウォーキング体験会の実施回数と参加人数	実施2回 参加34人	年1回	B	現状より増加
	204	運動に関する情報について広報誌への掲載回数	3回	健康増進課：年3回 グリーンピア：年12回	B	現状より増加
	204	運動に関する情報についてホームページへの掲載	実施	継続	B	継続

## 【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
① 日々の生活のなかで、運動習慣を身につけることを心がけよう	201	運動普及リーダー育成と活動支援の実施	会員の高齢化。 子育て、働き盛り世代は利用しにくい状況（平日の日中、託児なし、メニューが中高年向き）	【元気】活動の周知を強化し、参加者増につなげる。定例で参加している人の中からサポーターを募集する 【スマイル】フォローアップ研修にて、各運動の効果や公開講座での伝え方を意識づけする
	201	運動普及リーダーの登録者数	会員の高齢化。 子育て、働き盛り世代は利用しにくい状況（平日の日中、託児なし、メニューが中高年向き）	【元気】活動の周知を強化し、参加者増につなげる。定例で参加している人の中からサポーターを募集する 【スマイル】フォローアップ研修にて、各運動の効果や公開講座での伝え方を意識づけする
	202	運動講座（昼、夜）への参加人数の増加	参加者が減少傾向。また、リピーターが多く取組みが継続できているが新規参加者の開拓が必要	開催日時や場所の検討と、各種事業などで周知に努める
	203	ウォーキング体験会の実施回数と参加人数	半径1mウォーキングは、つくり隊メンバー内での実施に留まっており、市民に普及する段階ではなかった。また、ウォーキングマップについてもつくり隊が積極的に市民に普及させる活動はしてなかった	つくり隊の活動で市民の方と接する機会には積極的にウォーキングマップの周知を行っていく。半径1mウォーキングについて、DVDの他にも市民が活用しやすいように再検討が必要
	204	運動に関する情報について広報誌への掲載回数	なし	継続
	204	運動に関する情報についてホームページへの掲載	内容を適宜見直す必要がある	継続

### ③こころの健康

**中目標『①元気でしなやかな心を大切に、いきいきとした生活を送ろう』**

#### ■自助・共助

##### 《E：悪化傾向》

- 001：自分や周りの人の心の健康を気にかけている人の割合の増加
- 002：悩み等を気軽に相談できる相手や支援してくれる人がいる人の割合の増加
- 003：ストレスや悩み、疲労感を自分なりに解消できている人の割合の増加
- 004：過去半年以内に趣味やスポーツのサークルや団体の活動への参加者の割合の増加
- 004：生活のなかで人とのつながりは必要と感じている人の割合の増加
- 101：自分や周りの人の心の健康を気に掛けている人の割合の増加
- 102：悩み等を気軽に相談できる相手や支援してくれる人がいる人の割合の増加

働き盛り世代のこころの健康については、悪化傾向の項目が多く、すべての取組項目について、取組方法等の改善が必要だと思われます。

#### ■公助

##### 《B：まあ評価できる》

- 201(202)：相談できる場、市役所の窓口に関する情報について広報誌への掲載回数
- 203：メンタルヘルスやコミュニケーションに関する講座（講演）の開催数
- 204：心の健康相談実施回数
- 206：心の悩みや、思いを傾聴する支援者の育成機会の回数
- 207：精神疾患や認知症に関する正しい知識について広報での普及啓発

##### 《E：実施無》

- ▼205：男性を中心とした相談や支援の実施回数

公助については、「男性を中心とした相談や支援の実施回数」以外では評価できる取組となっています。

自助・共助では悪化傾向にある取組が多くなっており、広報誌への掲載回数や講座の開催回数は計画通りに進んでいるものの、内容に課題があるとの指摘が多いことから、取組内容について見直していくことが必要だと考えられます。

## 【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①元気でしなやかな心を送ろう 生活を送ろう いきいきとした生活を大切に、いきいきとした	001	自分や周りの人の心の健康を気にかけている人の割合の増加		%	68.6	63.2	E	78.0
	002	悩み等を気軽に相談できる相手や支援してくれる人がいる人の割合の増加		%	72.7	66.9	E	77.0
	003	ストレスや悩み、疲労感を自分なりに解消できている人の割合の増加		%	65.6	53.9	E	70.0
	004	過去半年以内に趣味やスポーツのサークルや団体の活動への参加者の割合の増加		%	27.1	17.7	E	32.0
		地域活動への参加者の割合の増加		%	28.4	28.4	D	33.0
		今住んでいる地域でお互いに助け合って生活していると感じている人の割合の増加		%	34.8	34.6	D	39.0
		生活のなかで人とのつながりは必要と感じている人の割合の増加		%	89.4	84.4	E	94.0
	005	自分の心の休息をとることを心がけている人の割合の増加		%	今後把握	81.7	—	85.0
	006	飲酒と心の健康の関連について知っている人の割合の増加		%	今後把握	86.4	—	88.0
007	精神疾患や認知症に関して正しい知識を持っている人の割合の増加		%	今後把握	92.4	—	95.0	

## 【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①元気でしなやかな心を送ろう いきいきとした生活を大切に、	101	自分や周りの人の心の健康を気に掛けている人の割合の増加		%	68.6	63.2	E	78.0
	102	悩み等を気軽に相談できる相手や支援してくれる人がいる人の割合の増加		%	72.7	66.9	E	77.0
	103	家庭や職場でのコミュニケーションは重要と感じている人の割合の増加		%	今後把握	66.9	—	70.0
	104	地域とつながりがあると感じている人の割合の増加		%	今後把握	34.6	—	37.0
	105	スポーツやボランティア、趣味の活動と一緒に参加する仲間がいる人の割合の増加		%	今後把握	25.5	—	27.0
	106	精神疾患、心の健康に関する相談窓口を設置している職場の割合の増加				削除		

## 【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①元気でしなやかな心を送ろう いきいきとした生活を大切に、	201	相談できる場、市役所の窓口に関する情報について広報誌への掲載回数	毎月掲載	年12回	B	継続
	202		毎月掲載	年12回	B	継続
	203	メンタルヘルスやコミュニケーションに関する講座（講演）の開催数	年1回	年3回	B	継続
	204	心の健康相談実施回数	年12回	3回開催／年12回実施	B	継続
	205	男性を中心とした相談や支援の実施回数	実施無	実施無	E	年1回以上
	206	心の悩みや、思いを傾聴する支援者の育成機会の回数	年1回	年1回	B	現状より増加
	207	精神疾患や認知症に関する正しい知識について広報での普及啓発	年3回	広報：年9回 講座：年3回	B	現状より増加

【働き盛り世代の健康づくり（40～64 歳）】

【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35 年度の取組
①元気でしなやかな心を大切にし、いきいきとした生活を送ろう	201	相談できる場、市役所の窓口に関する情報について広報誌への掲載回数	相談内容によって相談先が変わってくるため、相談窓口の周知が難しい	相談窓口の整理や周知啓発の強化
	202		相談内容によって相談先が変わってくるため、相談窓口の周知が難しい	相談窓口の整理や周知啓発の強化
	203	メンタルヘルスやコミュニケーションに関する講座（講演）の開催数	自殺対策や障害理解等の講座を実施し、小中学生から心の健康等について考える機会を設けたいが、小中学校や教育委員会等への事業目的の周知や理解が不十分である	周知啓発の強化と理解促進事業の周知
	204	心の健康相談実施回数	心の健康相談開催の周知を行っているが、相談者がいない場合もある。心の健康相談以外の相談先が充足していたり、医療機関への受診がスムーズに出来ているためか、それとも周知が足りないのかの評価ができていない	単発の相談で、新規の相談もあることから、専門職の相談機会として継続していく
	205	男性を中心とした相談や支援の実施回数	—	—
	206	心の悩みや、思いを傾聴する支援者の育成機会の回数	講座の要請があったときに実施しているが、講座の周知が不十分である	周知啓発の強化と理解促進事業の周知
	207	精神疾患や認知症に関して正しい知識について広報での普及啓発	精神疾患について幅広く、広報だけでの周知は難しい。理解促進事業等を活用し、障害理解を促進していく必要がある	周知啓発の強化と理解促進事業の周知

#### ④循環器疾患・糖尿病

中目標『①内臓脂肪を溜めない生活を送ることで、糖尿病や心疾患を予防しよう』

##### ■自助・共助

《A：中間目標達成》

◎103：一緒に運動できる相手がいる人の割合の増加

《E：悪化傾向》

●003：かかりつけ医（内科医）がいると答えた人の割合の増加

●004：自分の血圧値を知っている人の割合の増加

●004：体重管理をしている人の割合の増加

●005：日常生活のなかで、歩くように心がけている人の割合の増加

●006：食事の適量を心がけて食べるようにしている人の割合の増加

循環器疾患・糖尿病については、自助での悪化傾向の項目が多く、自己管理についての改善が課題だと思われます。

##### ■公助

《A：十分評価できる》

◎204：脳検診受診率

《B：まあ評価できる》

○201：生活習慣病（予防も含む）について広報での普及啓発

○202：特定健康診査の夜間、休日開催の実施回数

○203：未健診者健診の実施回数

○203：商店、事業所における雇用主への健診受診啓発

○203：特定健診受診率

○205：生活習慣病に関する料理教室の開催数と参加人数

○206：有所見者に対する訪問指導

○207：特定保健指導の受診率

○208：成人保健相談実施回数

《C：あまり評価できない取組》

●205：生活習慣病予防講演会の開催数と参加人数

《E：実施無》

▼201：生活習慣病（予防も含む）についてホームページでの普及啓発

▼203：健診未健者への個別訪問

【働き盛り世代の健康づくり（40～64 歳）】

公助については、13 指標中 10 指標は評価できる指標となっていますが、健康診査についての取組が多くなっています。

自助・共助では、自己管理についての改善が課題となっているため、進捗が思わしくない取組、実施されていない取組を強化し、日常生活での自己管理の重要性等を訴求していくことが重要だと考えられます。

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
①内臓脂肪を溜めない生活を送ること で、糖尿病や心疾患を予防しよう	001	過去 1 年間に健康診断（査）を受けた人の割合の増加		%	86.0	88.7	C	96.0
	002	健診結果によって、必要な医療機関を受診した人の割合の増加		%	今後把握	73.1	—	75.0
		健診結果によって、必要な保健指導を受けた人の割合の増加		%	今後把握	34.1	—	35.0
	003	かかりつけ医（内科医）がいると答えた人の割合の増加		%	57.6	50.8	E	62.0
	004	自分の血圧値を知っている人の割合の増加		%	82.8	75.3	E	87.0
	004	体重管理をしている人の割合の増加		%	72.7	70.8	E	77.0
	005	日常生活のなかで、歩くように心がけている人の割合の増加		%	67.5	62.8	E	77.0
006	食事の適量を心がけて食べるようにしている人の割合の増加		%	76.3	67.5	E	81.0	

【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
①内臓脂肪を溜めない生活を送ること で、糖尿病や心疾患を予防しよう	101	家族の健診結果を把握している人の割合の増加			削除			
	102	家族の健康状態を気にかけて、必要時医療機関受診を勧めている人の割合の増加			削除			
	103	一緒に運動できる相手がいる人の割合の増加		%	39.3	43.0	A	45.0
	104	1日1回以上誰かと食事をしている人の割合の増加		%	91.6	92.0	D	95.0



## 【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①内臓脂肪を溜めない生活を送ることで、 糖尿病や心疾患を予防しよう	201	生活習慣病（予防も含む）について広報での普及啓発	年1回	9月広報（健康増進普及月間） 血圧測定コーナー （2箇所/年）設置	B	現状より増加
	201	生活習慣病（予防も含む）についてホームページでの普及啓発	年1回	実施無	E	現状より増加
	202	特定健康診査の夜間、休日開催の実施回数	夜間2回 休日4回	休日2回 夜間4回	B	継続
	203	未健診者健診の実施回数	年2回	年2回	B	継続
	203	健診未健者への個別訪問	実施無	実施無	E	年1回以上
	203	商店、事業所における雇用主への健診受診啓発	実施無	実施無	B	年1回以上
	203	特定健診受診率	46.1%	43.1% （法定報告）	B	60%
	204	脳検診受診率	21.4%	27.5%	A	26%
	205	生活習慣病予防講演会の開催数と参加人数	年2回 120人参加	年3回96人	C	年2回以上実施 1回につき 70人以上
	205	生活習慣病に関する料理教室の開催数と参加人数	年2回 59人参加	年3回64人	B	年2回以上実施 1回につき 40人以上
	206	有所見者に対する訪問指導	実施	継続	B	継続
	207	特定保健指導の実施率	動機付け支援： 29.5% 積極的支援： 12.0%	動機づけ：36.9% 積極的：17.2%	B	動機付け支援、 積極的支援とも 60%
	208	成人保健相談実施回数	年11回	年7回 6人（随時）	B	継続

## 【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
①内臓脂肪を溜めない生活を送ることで、 糖尿病や心疾患を予防しよう	201	生活習慣病（予防も含む）について広報での普及啓発	なし	設置施設の選定を行い、継続実施する
	201	生活習慣病（予防も含む）についてホームページでの普及啓発	テーマ等何を伝えたいか、頻度など伝え方について検討が必要	内容の検討が必要
	202	特定健康診査の夜間、休日開催の実施回数	平日の昼間に受診できない方が受診し、受診率向上に繋がった。受診する人数が少ないため、場所や回数を検討する必要がある	回数を減らして実施する
	203	未健診者健診の実施回数	健診実施時期に健診を受けられなかった方が受診し、受診率向上に繋がった	継続実施する
	203	健診未健者への個別訪問	—	実施方法を検討の上、実施する
	203	商店、事業所における雇用主への健診受診啓発	なし	継続
	203	特定健診受診率	数年間健診を受けていない方や通院中で受けていない方が多くいる	分析をしてその方に合った受診勧奨を行っていく
	204	脳健診受診率	2カ所に増やすことで予約が取りやすくなり受診率向上に繋がった	継続
	205	生活習慣病予防講演会の開催数と参加人数	働き世代の参加者が少ない	働き世代が参加しやすい実施方法について、検討が必要
	205	生活習慣病に関する料理教室の開催数と参加人数	働き世代の参加者が少ない	働き世代が参加しやすい実施方法について、検討が必要
	206	有所見者に対する訪問指導	勧奨しても受診率が低い	スタッフのスキルアップのための研修会の開催。支援体制の見直しが必要
	207	特定保健指導の実施率	H28年度は実施率が上昇したが、年々下降傾向である	健診会場にて対象者に面談し、初回面談の予約を取るなど、実施率アップに向けた取り組みを実施する
208	成人保健相談実施回数	若年層の利用が少ない	PR方法を再検討の上、継続	

⑤がん

中目標『①がん予防を心がけた生活を送ろう』

■自助・共助

《A：中間目標達成》

◎001：がん検診（子宮がん検診）を受けた人の割合の増加

《E：悪化傾向》

●001：がん検診（肺がん健診）を受けた人の割合の増加

●001：がん検診（大腸がん検診）を受けた人の割合の増加

がんについては、検診の部位別に進捗状況が異なるため、今回受診割合が減少していた「肺がん」「大腸がん」の受診にむけた取組が必要です。

■公助

《A：十分評価できる》

◎202：夜間、土日のがん検診実施

◎206：精検対象者への受診勧奨

◎207：肝炎ウイルス検査の実施日数

《B：まあ評価できる》

○201：がんや検診に関する正しい知識について広報への掲載回数

○203：相談窓口の設置

○204：胃がん検診における保健指導実施日数

○204：乳がん検診における保健指導実施日数

○205：成人保健相談実施回数

《E：実施無》

▼208：子宮がん乳がん検診クーポン対象者の未検者検診受診率の向上

公助については、「夜間、土日のがん検診実施」「精検対象者への受診勧奨」「肝炎ウイルス検査の実施日数」は十分評価できる取組となっています。その他の評価も概ね評価できる取組となっています。

## 【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①がん予防を心がけた生活を送ろう	001	がん検診を受けた人の割合の増加	肺がん検診	%	70.2	67.5	E	75.0
			大腸がん検診	%	57.8	50.0	E	75.0
			胃がん検診	%	54.4	53.5	D	75.0
			乳がん検診	%	69.2	68.4	D	75.0
			子宮がん検診	%	69.2	77.2	A	75.0
002	がんの発生に影響する生活習慣について把握している人の割合の増加				削除			

## 【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①がん予防を心がけた生活を送ろう	101	がん検診の受診を勧奨している職場の割合の増加		%	今後把握	83.9	—	85.0
	102	検診のための休暇がとりやすいと答えた人の割合の増加		%	今後把握	77.1	—	79.0

## 【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①がん予防を心がけた生活を送ろう	201	がんや検診に関する正しい知識について広報への掲載回数	実施		B	継続
	202	夜間、土日のがん検診実施	実施	継続	A	継続
	203	相談窓口の設置	実施（成人保健相談）	継続	B	継続
	204	胃がん検診における保健指導実施日数	年 15 日	年 17 回	B	継続
	204	乳がん検診における保健指導実施日数	年 16 日	年 16 回	B	継続
	205	成人保健相談実施回数	年 11 回	年 27 回 18 人	B	継続
	206	精検対象者への受診勧奨	実施	継続	A	継続
	207	肝炎ウイルス検査の実施日数	年 26 日	年 24 日	A	継続
208	子宮がん乳がん検診クーポン対象者の未検者検診受診率の向上	今後把握（H26年度からの新規事業）		H28年度に終了	E	—

【働き盛り世代の健康づくり（40～64 歳）】

【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35 年度の取組
①がん予防を心がけた生活を送ろう	201	がんや検診に関する正しい知識について広報への掲載回数	待ち時間に保健指導をすることができ有意義である	継続
	202	夜間、土日のがん検診実施	夜間の実施は、がん検診の特性上難しい	継続
	203	相談窓口の設置	年間を通し周知できる媒体が必要である	広報に加え、年間を通し周知できるホームページでも実施したい
	204	胃がん検診における保健指導実施日数	待ち時間に保健指導をすることができ有意義である	継続
	204	乳がん検診における保健指導実施日数	待ち時間に保健指導をすることができ有意義である	継続
	205	成人保健相談実施回数	相談内容によっては、成人保健相談ではむずかしい	対がん協会の相談窓口の紹介も行っていく
	206	精検対象者への受診勧奨	通知等で精検受診の意思表示のない対象者に対しては、担当保健師が電話で受診勧奨し、受診につながっている	継続
	207	肝炎ウイルス検査の実施回数	いままで検査を受けたことのない対象者の受診勧奨になっている	継続
	208	子宮がん乳がん検診クーポン対象者の未検者検診受診率の向上	検診初年度の対象者の動機付けになっている	継続

⑥たばこ

中目標『①たばこによる健康への悪影響から身を守ろう』

■自助・共助

《E：悪化傾向》

- 003：受動喫煙の機会を有する人の割合の減少

たばこについては、喫煙の健康影響に関する知識の普及がほぼ横ばいとなっているため、より一層の啓発、知識の普及が必要となります。

また、受動喫煙の機会を有する人の割合が増加しているため、受動喫煙についての啓発については特に重要な課題となります。

■公助

《B：まあ評価できる》

- 201：たばこによる健康への影響について広報での普及啓発

- 203：医療機関と連携した禁煙対策の実施

《E：実施無》

- ▼202：専門相談窓口について広報誌への掲載回数

- ▼204：たばこ対策に優れている会社の紹介の実施

公助については、「専門相談窓口について広報誌への掲載」と「たばこ対策に優れている会社の紹介」が実施されていません。受動喫煙の機会を有する人の割合が増加していることから、たばこ対策に優れている会社の紹介などを通じて、専門相談窓口の紹介や受動喫煙について広く訴求していくことが課題となります。

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①たばこによる健康への悪影響から身を守ろう	001	喫煙の健康影響に関する知識の普及	肺がん	%	97.5	97.3	D	100.0
			ぜんそく	%	79.5	78.8	D	100.0
			気管支炎	%	81.3	83.5	D	100.0
			心臓病	%	58.7	60.9	D	100.0
			脳卒中	%	51.9	63.8	C	100.0
			胃潰瘍	%	28.9	38.9	D	100.0
			妊娠による胎児への影響	%	72.7	74.9	D	100.0
			歯周病	%	41.8	57.2	C	100.0
	COPD（慢性閉塞性肺疾患）	%	52.8	51.9	D	100.0		
	002	喫煙率の減少		%	44.1	40.9	D	22.0
003	受動喫煙の機会を有する人の割合の減少		%	51.7	62.1	E	10.0	

【働き盛り世代の健康づくり（40～64 歳）】

【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25 年度	中間値 H30 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
①たばこによる健康への悪影響から身を守ろう	101	禁煙・分煙対策が行われている職場の増加		%	今後把握	40.7	—	100.0
	102	禁煙・分煙対策が行われている飲食店の増加		%	今後把握	65.6	—	100.0
		禁煙・分煙対策が行われている家庭の増加		%	今後把握	85.1	—	90.0

【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25 年度	中間値 H29 年度	進捗 状況	目標値 H35 年度
①たばこによる健康への悪影響から身を守ろう	201	たばこによる健康への影響について広報での普及啓発	実施無	年 1 回	B	年 1 回以上
	202	専門相談窓口について広報誌への掲載回数	実施無	実施無	E	年 1 回以上
	203	医療機関と連携した禁煙対策の実施	実施無	実施無	B	年 1 回以上
	204	たばこ対策に優れている会社の紹介の実施	実施無	実施無	E	実施

【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35 年度の取組
①たばこによる健康への悪影響から身を守ろう	201	たばこによる健康への影響について広報での普及啓発	掲載内容が児童館での健康教育の実施報告がメインになっている	2020 年に向けて健康増進法の改正など国でも動きある。市民への周知を図っていく。
	202	専門相談窓口について広報誌への掲載回数	—	—
	203	医療機関と連携した禁煙対策の実施	なし	継続
	204	たばこ対策に優れている会社の紹介の実施	実施無	保健所で発行している健康情報誌に受動喫煙防止に取り組む企業を紹介する記事を掲載する

⑦歯と口腔の健康

中目標『①むし歯や歯周疾患を予防して、今ある歯で一生おいしく食べよう』

■自助・共助

《A：中間目標達成》

- ◎002(101)：定期的に歯科健診を受けている人の割合の増加
- ◎003：夕食後に歯磨きをしている人の割合

《B：改善》

- 〇003：朝食後に歯磨きをしている人の割合

歯と口腔の健康については、中間目標を達成し改善しており、概ね順調に推移しています。また、今回新たに設定された就寝前と昼食後の歯磨きについては、新たな取組が必要となります。

■公助

《B：まあ評価できる》

- 〇201(202)：歯周疾患検診受診率
- 〇203：むし歯、歯周疾患や歯磨きに関する正しい知識や6024運動について広報での普及啓発
- 〇204：むし歯、歯周疾患や歯磨きに関する正しい知識や6024運動、8020運動についてホームページでの普及啓発
- 〇204：歯と口の健康に関するイベントの開催

歯と口と健康のつどいにおいて普及啓発を行い、大変好評でした。歯周疾患検診の受診率は上昇傾向ではありますが、なお、目標達成に向けて受診勧奨をより強化していくことが必要となります。

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
今ある歯で一生おいしく食べよう ①むし歯や歯周疾患を予防して、	001	歯磨きの時に歯ブラシだけでなくデンタルフロスや歯間ブラシを使用している人の割合の増加		%	42.7	43.8	D	52.0
	002	定期的に歯科健診を受けている人の割合の増加		%	33.6	43.0	A	43.0
	003	朝食後に歯磨きをしている人の割合、夕食後に歯磨きをしている人の割合、就寝前に歯磨きをしている人の割合	朝食後	%	80.4	83.3	B	90.0
			夕食後	%	78.6	95.5	A	88.0
			就寝前	%	今後把握	66.9	—	70.0

【働き盛り世代の健康づくり（40～64歳）】

【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
今ある歯で一生おいしく食べよう	101	定期的に歯科健診を受けている人の割合の増加		%	33.6	43.0	A	43.0
	102	就労している人のなかで、昼食後に歯磨きをしている人の割合の増加		%	今後把握	30.6	—	33.0

【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
今ある歯で一生おいしく食べよう	201	歯周疾患検診受診率	7.7%	11.2%	B	17%
	202					
	203	むし歯、歯周疾患や歯磨きに関する正しい知識や6024運動について広報での普及啓発	実施無	年1回	B	年1回以上
	204	むし歯、歯周疾患や歯磨きに関する正しい知識や6024運動、8020運動についてホームページでの普及啓発	実施無	年1回	B	年1回以上
	204	歯と口の健康に関するイベントの開催	実施無	年1回	B	年1回以上

【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
今ある歯で一生おいしく食べよう	201	歯周疾患検診受診率	—	—
	202			
	203	むし歯、歯周疾患や歯磨きに関する正しい知識や6024運動について広報での普及啓発	なし	二市二町輪番制で実施するため、次回はH37、38年度
	204	むし歯、歯周疾患や歯磨きに関する正しい知識や6024運動、8020運動についてホームページでの普及啓発	好評であった	二市二町輪番制で実施するため、次回はH37、38年度
	204	歯と口の健康に関するイベントの開催	好評であった	二市二町輪番制で実施するため、次回はH37、38年度



## 4. 高齢期の健康づくり（65歳以上）

【大目標（めざす姿）】

**地域の一員として生きがいを持ち、頼りにされる元気な人でありたい**

(1) 達成状況（中間目標を達成した評価指標）

分野	目標・取組		評価指標等						
	中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
食生活と 栄養と	②	001	主食・主菜・副菜を揃えて食べている人の割合の増加	昼食	%	36.5	44.9	A	41.0
身体活動 と運動	②	001	自分の歩数を把握している人の割合の増加	女性	%	31.0	43.5	A	41.0
こころの健康	②	001	ボランティア活動をしている人の増加	男性	%	41.3	53.6	A	46.0
		001	ボランティア活動をしている人の増加	女性	%	36.2	56.5	A	41.0
		101	地域の集まりに参加している人の増加	女性	%	20.7	34.8	A	30.0
糖尿病 ・ 循環器疾患	①	002	定期健康診査受診率の増加		%	79.6	88.8	A	85.0
		003	かかりつけ医をもつ人の増加		%	81.2	92.5	A	86.0
歯と口腔 の健康	①	001	食後の歯みがきを心がけている人の割合の増加	朝食後	%	73.7	80.4	A	79.0

（2）取組状況と評価

◇ 栄養と食生活

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	1件
B：改善	0件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	0件
E：悪化傾向	5件

公助の11件の指標中「A：十分評価できる」は3件となっています。「B：評価できる」は4件、「C：進捗が思わしくない」は4件、「E：実施無」は0件となっています。

A評価は以下の3件です。

- ①201：食育ウイークの実施回数
- ①203：FM「食育カレンダー」放送回数
- ①204：食生活改善推進員の定期講習会の開催

FM「食育カレンダー」は、週替わりでテーマを決め、週1回放送しています。

◇ 運動と身体活動

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	1件
B：改善	0件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	0件
E：悪化傾向	7件

公助の8件の指標中「A：十分評価できる」は5件となっています。「B：評価できる」は1件、「C：進捗が思わしくない」は1件、「E：実施無」は1件となっています。

主なA評価としては以下の指標があります。

- ①201：ロコモティブシンドロームの普及啓発回数
- ①204：運動普及リーダー育成と活動支援回数
- ②202：歩道設置路線数

歩道の整備では、かさ上げ道路、避難路の整備に伴い、歩道の整備を行いました。

◇ こころの健康

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	3件
B：改善	0件
C：改善傾向	1件
D：ほぼ変化なし	0件
E：悪化傾向	6件

公助の8件の指標中「A：十分評価できる」は2件となっています。「B：評価できる」は5件、「C：進捗が思わしくない」は0件、「E：実施無」は1件となっています。

A評価は以下の2件です。

- ①204：閉じこもり予防講座開催数
- ②201：気軽に立ち寄り話ができるような地域のサロンの数

相談機関等の市民への周知では、年に12回広報への掲載を行っており、医療機関・介護サービスマップに相談機関を掲載しています。また、認知症の方、家族に対する相談場所等についてリーフレット等を作成しています。

閉じこもり予防講座では、新規参加者の増加を狙い、介護保険証の発送時に教室のチラシを送付しています。

◇ 循環器疾患・糖尿病

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	2件
B：改善	1件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	0件
E：悪化傾向	0件

公助の9件の指標中「A：十分評価できる」は4件となっています。「B：評価できる」は3件、「C：進捗が思わしくない」は1件、「E：実施無」は1件となっています。

A評価は以下の4件です。

- ①204：後期高齢者健康診査の夜間・休日開催回数
- ①207：生活習慣病予防料理教室の開催数
- ①209：生活習慣病予防講演会開催数
- ①210：気楽に利用できる相談窓口の設置数・回数

特定健診・後期高齢者健康診査は、夜間・休日も開催しました。

【高齢期の健康づくり（65歳以上）】

◇がん

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	0件
B：改善	2件
C：改善傾向	1件
D：ほぼ変化なし	2件
E：悪化傾向	0件

公助の6件の指標中「A：十分評価できる」は4件となっています。「B：評価できる」は2件、「C：進捗が思わしくない」は0件、「E：実施無」は0件となっています。

A評価は以下の4件です。

- ①201：広報、ホームページ等によるがん予防の普及啓発回数
- ①202：各種がん検診の種類の数
- ①203：夜間、土日のがん検診実施
- ①206：精検対象者への受診勧奨

がん検診の大切さ、がん予防の普及啓発については、各種がん検診実施前後に広報、ホームページ、FMで啓発しました。

がん検診では、各種がん検診の精検対象者に対し、受診勧奨を行っています。

◇たばこ

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	0件
B：改善	1件
C：改善傾向	3件
D：ほぼ変化なし	5件
E：悪化傾向	1件

公助の2件の指標中「A：十分評価できる」は1件となっています。「B：評価できる」は0件、「C：進捗が思わしくない」は0件、「E：実施無」は1件となっています。

A評価は以下の1件です。

- ①201：喫煙、受動喫煙の健康影響についての普及啓発回数

喫煙、受動喫煙の健康影響についての普及啓発では、結核、肺がん検診時に啓発を行いました。

◇歯と口腔の健康

自助・共助の評価指標の進捗状況は以下のようになっています。

	件数
A：中間目標達成	1件
B：改善	1件
C：改善傾向	0件
D：ほぼ変化なし	0件
E：悪化傾向	2件

公助の4件の指標中「A：十分評価できる」は1件となっています。「B：評価できる」は3件、「C：進捗が思わしくない」は0件、「E：実施無」は0件となっています。

A評価は以下の1件です。

①204：歯科健診を受けることのできる歯科医院の数

口腔ケア講座では、地域包括支援センターで介護予防普及啓発事業として実施し、健康づくり・介護予防に関する内容をさまざまに織り交ぜて実施しています。

普及啓発では、つくり隊による出前講座でO×クイズ等を実施して啓発活動を行っています。

（3）今後の取組の方向性

- ◇ 栄養と食生活 毎日朝食を食べる人、食事を適量とっている人の割合が減少しており、規則正しい食生活が課題となっています。  
バランスのよい食事については、朝食と夕食、野菜の摂取については悪化傾向にあるため、食事のバランスについての取組を強化する必要があります。
- ◇ 運動と身体活動 体を動かすことについては、すべての評価指標で悪化傾向となっているため、取組内容の見直しと、新たな取組が必要だと考えられます。  
歩くことについては、男性では減少しており、また、仲間と一緒に運動を楽しんでいる人の割合も悪化傾向にあることから、日ごろ歩くことの大切さ等の啓発が必要だと思われる。
- ◇ こころの健康 中目標『①お互いに助け合い、元気に笑顔で暮らそう』で設定されているすべての評価指標が悪化傾向になっているため、取組内容の見直しと、新たな取組が必要だと考えられます。
- ◇ 循環器疾患・糖尿病 「健診受診勧奨の機会の確保」については、“受診率が減少傾向なので、受診勧奨方法を見直す必要”があると指摘されています。また、利用者が減少していることも問題点として複数の取組で挙げられていることから、利用者を増やすための方策が課題となっています。
- ◇ がん がん検診については、肺がんと胃がんは増加していますが、大腸がん、乳がん、子宮がんについては、ほぼ横ばいで推移しているため、これらのがん検診についての受診勧奨が望まれます。
- ◇ たばこ たばこが健康に及ぼす影響を正しく知っている人の割合については、やや改善がみられるものの、計画の最終年度の目標達成のためには、より一層の取組強化が必要だと思われる。  
喫煙率についても減少しているものの、平成35年の目標到達は厳しいと考えられるため、喫煙率の減少についても、今後の取組強化が必要だと思われる。
- ◇ 歯と口腔の健康 就寝前の歯磨きが悪化傾向にあるため、就寝前の歯磨きの効果等の啓発活動が望まれます。

## （4）進捗状況

### ①栄養と食生活

#### 中目標『①健康の源は食生活にあることを意識しよう』

##### ■自助・共助

###### 《E：悪化傾向》

- 001：毎日朝食を食べる人の割合の増加
- 002：食事を適量とっている人の割合の増加

中目標①については、毎日朝食を食べる人、食事を適量とっている人の割合が減少しており、規則正しい食生活が課題となります。

##### ■公助

###### 《A：十分評価できる取組》

- ◎201：食育ウイークの実施回数
- ◎203：FM「食育カレンダー」放送回数
- ◎204：食生活改善推進員の定期講習会の開催

###### 《B：まあ評価できる取組》

- 206：骨粗しょう症検診における栄養指導参加者
- 207：骨粗しょう症予防・生活習慣病予防料理教室

###### 《C：あまり評価できない取組》

- 202：レシピ集を活用した事業数
- 204：各地域で健康料理講習会の開催数
- 205：適正飲酒の啓発に関する事業数

公助の取組については、「レシピ集を活用した事業数」「各地域で健康料理講習会の開催数」「適正飲酒の啓発に関する事業数」以外は評価できる取組となっています。

朝食の摂取、適量の食事について、公助の取組で重点的に訴求していくことや、進捗が思わしくない取組（「レシピ集を活用した事業数」「各地域で健康料理講習会の開催数」「適正飲酒の啓発に関する事業数」）の強化が課題となります。

#### 中目標『②バランスのよい食事をとろう』

##### ■自助・共助

###### 《A：中間目標達成》

- ◎001：昼食で主食・主菜・副菜を揃えて食べている人の割合の増加

【高齢期の健康づくり（65歳以上）】

《E：悪化傾向》

- 001：朝食で主食・主菜・副菜を揃えて食べている人の割合の増加
- 001：夕食で主食・主菜・副菜を揃えて食べている人の割合の増加
- 002：1日に野菜料理を5皿食べている人の割合の増加

中目標②のバランスのよい食事については、昼食で主食・主菜・副菜を揃えて食べている人は中間目標を達成しているものの、朝食と夕食、野菜の摂取については悪化傾向にあるため、食事のバランスについての取組を強化する必要があります。

■公助

《B：まあ評価できる取組》

- 201：生活習慣病予防料理教室の開催数
- 202：低栄養予防についての普及開発

《C：あまり評価できない取組》

- 203：レシピ集を活用した事業数

公助の取組については、「生活習慣病予防料理教室の開催数」と「低栄養予防についての普及開発」については評価できる取組となっていますが、自助では食事のバランスが課題となっているため、公助の取組ではバランスのとれた食事についての訴求が課題と言えます。

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
あることを意識しよう	001	毎日朝食を食べる人の割合の増加		%	95.4	91.6	E	100.0
	002	食事を適量とっている人の割合の増加		%	86.0	83.2	E	91.0
	003	1日3食とっている人の割合の増加		%	今後把握	89.7	—	92.0
	004	規則正しい食習慣を継続している人の割合の増加		%	今後把握	94.4	—	97.0
バランスのよい食事を	001	主食・主菜・副菜を揃えて食べている人の割合の増加	朝食	%	66.2	61.7	E	71.0
			昼食	%	36.5	44.9	A	41.0
			夕食	%	86.3	82.2	E	91.0
	002	1日に野菜料理を5皿食べている人の割合の増加		%	7.2	0.9	E	17.2
	003	麦や雑穀を入れた主食や精製度の低い穀類を使った主食をとっている人の割合の増加				削除		
004	食事でカルシウムやビタミンDを多くとるように気をつけている人の割合の増加		%	今後把握	69.2	—	72.0	



## 【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
あ ①健康の源は食生活にあることを意識しよう	101	周りの人と食生活についての情報交換をしている人の割合の増加		%	今後把握	46.7	—	48.0
	102	食事摂取の有無について声を掛け合っている人の割合の増加		%	今後把握	46.7	—	48.0
い ②バランスのよい食事をこころう	101	間食の内容に気をつけている人の割合の増加		%	今後把握	25.9	—	52.0
	102	健康に良いレシピの情報を交換している人の割合の増加		%	今後把握	46.7	—	48.0

## 【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
あ ①健康の源は食生活にあることを意識しよう	201	食育ウイークの実施回数	年1回（11月）	年1回	A	継続
	202	レシピ集を活用した事業数	年16回	年7回	C	継続
	203	F M「食育カレンダー」放送回数	年48回	年48回	A	継続
	204	食生活改善推進員の定期講習会の開催	年8回	年8回	A	継続
	204	各地域で健康料理講習会の開催数	年29回	年16回	C	現状より増加
	205	適正飲酒の啓発に関する事業数	集団4回、個別32名	集団：0回 個別：1名	C	現状より増加
	206	骨粗しょう症検診における栄養指導参加者	骨粗しょう症検診受診者538名	312名	B	現状より増加
	207	骨粗しょう症予防・生活習慣病予防料理教室	骨粗しょう症予防料理教室37名 生活習慣病予防料理教室59名	骨：18名 生：64名	B	現状より増加
い ②バランスのよい食事をこころう	201	生活習慣病予防料理教室の開催数	年3回	年3回	B	継続
	202	低栄養予防についての普及開発	実施	年1回	B	継続
	203	レシピ集を活用した事業数	年16回	年2回	C	継続

【高齢期の健康づくり（65歳以上）】

【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
①健康の源は食生活にあることを意識しよう	201	食育ウイークの実施回数	食育ウイークのPR方法、実施内容、評価の方法等、随時検討が必要	継続
	202	レシピ集を活用した事業数	H29年に新たなレシピ集増補版を作成。現状に合った健康食普及のために、定期的に作成が必要	継続
	203	FM「食育カレンダー」放送回数	なし	継続
	204	食生活改善推進員の定期講習会の開催	地域での伝達講習会の内容充実に繋がっている	継続
	204	各地域で健康料理講習会の開催数	年間の実施回数は前回より減少	現在の回数を維持、増加できるよう支援していく
	205	適正飲酒の啓発に関する事業数	年間の実施回数は前回より減少	継続
	206	骨粗しょう症検診における栄養指導参加者	骨粗しょう症検診受診率は前回より減少している	対象者への受診勧奨を強化する 継続
207	骨粗しょう症予防・生活習慣病予防料理教室	なし	テーマについて考慮しながら、継続実施	
②バランスのよい食事をとろう	201	生活習慣病予防料理教室の開催数	年間の回数は前回より減少	現在の回数を維持、増加できるよう支援していく
	202	低栄養予防についての普及開発	介護予防の視点として、低栄養改善にあまり積極的な取り組みがなかった	お買物ミニデイ事業での実施のほか、地域包括支援センターの介護予防普及啓発事業としても低栄養改善の普及啓発に積極的に取り組んでいきたい
	203	レシピ集を活用した事業数	H29年に新たなレシピ集増補版を作成。現状に合った健康食普及のために、定期的に作成が必要	継続

## ②運動と身体活動

## 中目標『①面倒がらずに体を動かそう』

## ■自助・共助

## 《E：悪化傾向》

- 001(002)：(男性) 運動習慣がある人の割合の増加
- 001(002)：(女性) 運動習慣がある人の割合の増加
- 003：日常生活のなかで、意識的に体を動かしている人の割合の増加

体を動かすことについては、すべての評価指標で悪化傾向となっているため、取組内容の見直しと、新たな取組が必要だと考えられます。

## ■公助

## 《A：十分評価できる取組》

- ◎201：ロコモティブシンドロームの普及啓発回数
- ◎202：運動普及リーダーなどによる地域での運動出前講座の開催数
- ◎203：運動出前講座の開催数
- ◎204：運動普及リーダー育成と活動支援回数

## 《B：まあ評価できる取組》

- 205：地域介護予防活動支援の回数

## 《C：あまり評価できない取組》

- 203：ウォーキング体験会開催数

公助の取組については、「ウォーキング体験会開催数」以外は評価できる取組となっています。自助・共助ではすべての評価指標で悪化傾向となっているため、取組の内容や実施方法等について再度検討する必要があると思われます。特に運動習慣のある人が増加していないことが問題点として挙げられているため、広く告知していくなど、情報提供が課題となっています。

## 中目標『②毎日の目標を決め、歩こう』

## ■自助・共助

## 《A：中間目標達成》

- ◎001：(女性) 自分の歩数を把握している人の割合の増加

## 《E：悪化傾向》

- 001：(男性) 自分の歩数を把握している人の割合の増加
- 101：仲間と一緒に、運動を楽しんでいる人の割合の増加

歩くことについては、女性で歩数を把握している人の割合が中間目標を達成していますが、男性では悪化しており、また、仲間と一緒に運動を楽しんでいる人の割合も悪化傾向にあることから、日ごろ歩くことの大切さ等の啓発が必要だと考えられます。

■公助

《A：十分評価できる取組》

○202：歩道設置路線数

《E：実施無》

▼201：歩数を把握しやすい道路標識等の設置

「歩道設置路線数」については評価されています。自助・共助で仲間と一緒に運動を楽しんでいる人の割合減少していることから、気軽にできるウォーキングに役立つと思われる環境整備が課題となっています。

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①面倒がらずに体を動かそう	001	運動習慣がある人の割合の増加	男性	%	44.4	32.1	E	54.0
			女性	%	44.6	30.4	E	54.0
	002		男性	%	44.4	32.1	E	54.0
			女性	%	44.6	30.4	E	54.0
	003	日常生活のなかで、意識的に体を動かしている人の割合の増加		%	86.6	81.3	E	96.0
	004	自分に合った具体的な運動の目標を持っている人の割合の増加		%	今後把握	81.3	—	83.0
②毎日の目標を決め、歩こう	001	自分の歩数を把握している人の割合の増加	男性	%	41.3	34.5	E	51.0
			女性	%	31.0	43.5	A	41.0
	002	毎日の歩数目標を決め、歩いている人の割合の増加		%	今後把握	21.5	—	23.0
003	安全確保のために、配慮している人の割合の増加（反射板、目立つ服装など）				削除			

【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①面倒がらずに体を動かそう	101	集まり等で運動を取り入れている人の割合の増加		%	今後把握	18.7	—	20.0
	102	周りの人と運動についての情報交換をしている人の増加		%	今後把握	33.6	—	36.0
	103	筋力トレーニングの大切さについて知っている人の割合の増加		%	今後把握	81.3	—	83.0
②毎日の目標を決め、歩こう	101	仲間と一緒に、運動を楽しんでいる人の割合の増加		%	42.1	33.6	E	52.1
	102	安全に歩くために、声を掛け合っている人の割合の増加			削除			

## 【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
① 面倒がら ず に 体 を 動 か そ う	201	ロコモティブシンドロームの普及啓発回数	年2回	年16回、355人	A	現状より増加
	202	運動普及リーダーなどによる地域での運動出前講座の開催数	年23回	年88回 1,498人	A	現状より増加
	203	ウォーキング体験会開催数	年3回	年1回	C	現状より増加
	203	運動出前講座の開催数	年5回	年14回 379人	A	現状より増加
	204	運動普及リーダー育成と活動支援回数	年23回	定例会：年49回 473人 地区：88回 1,498人	A	継続
	205	地域介護予防活動支援の回数	年580回	年1,031回	B	現状より増加
② 毎 日 の 目 標 を 決 め 、 歩 こ う	201	歩数を把握しやすい道路標識等の設置	実施無	実施無	E	今後実施
	202	歩道設置路線数	121路線	134路線	A	1路線増加

## 【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
① 面倒がら ず に 体 を 動 か そ う	201	ロコモティブシンドロームの普及啓発回数	なし	継続
	202	運動普及リーダーなどによる地域での運動出前講座の開催数	なし	継続
	203	ウォーキング体験会開催数	参加人数が定員に満たない	参加者が集まりやすい日時、コースを検討する必要あり
	203	運動出前講座の開催数	参加者が減少傾向。また、リピーターが多く取組みが継続できているが新規参加者の開拓が必要。	開催日時や場所の検討と、健幸生活応援セミナーなど各種事業などで周知に努める
	204	運動普及リーダー育成と活動支援回数	参加者が定着してきている。新規の参加者も少数ではあるが来ている。	継続
	205	地域介護予防活動支援の回数	助成金を受けている団体数が横ばいになっている	体力測定などを実施し、教室の効果検証を行い、普及啓発に努める
② 毎 日 の 目 標 を 決 め 、 歩 こ う	201	歩数を把握しやすい道路標識等の設置	実施無	市で管理しているウォーキングコースなどに、歩数等の目安をつけるなどの環境整備に努める
	202	歩道設置路線数	新しく歩道を整備した箇所については、今後の維持管理を考える必要がある	地域からの要望等を勘案し歩道が必要な箇所については、整備を行っていく

### ③こころの健康

#### 中目標『①お互いに助け合い、元気に笑顔で暮らそう』

##### ■自助・共助

###### 《E：悪化傾向》

- 001：（男性）悩み等を気軽に相談できる相手や支援してくれる人がいる人の割合の増加
- 001：（女性）悩み等を気軽に相談できる相手や支援してくれる人がいる人の割合の増加
- 101(102)：（男性）自分や周りの人の心の健康を気に掛けている人の割合の増加
- 101(102)：（女性）自分や周りの人の心の健康を気に掛けている人の割合の増加

中目標『①お互いに助け合い、元気に笑顔で暮らそう』で設定されているすべての評価指標が悪化傾向になっているため、取組内容の見直しと、新たな取組が必要だと考えられます。

##### ■公助

###### 《A：十分評価できる取組》

- ◎204：閉じこもり予防講座開催数

###### 《B：まあ評価できる取組》

- 201：相談機関等の市民への周知
- 202：気軽に立ち寄り話ができるような地域のサロンの数
- 204：心の健康相談実施回数
- 205：サロンに従事するスタッフ数

###### 《E：実施無》

- ▼203：心の健康講座開催数

公助の取組については、「心の健康講座開催数」以外は評価できる取組となっていますが、自助・共助では設定されているすべての評価指標が悪化傾向となっているため、取組内容や開催方法等についての検討が必要だと考えられます。

#### 中目標『②地域へ積極的に出かけて、頼りにされる人になろう』

##### ■自助・共助

###### 《A：中間目標達成》

- ◎001：（男性）ボランティア活動をしている人の増加
- ◎001：（女性）ボランティア活動をしている人の増加
- ◎101：（女性）地域の集まりに参加している人の増加

中目標『②地域へ積極的に出かけて、頼りにされる人になろう』については、男女ともボランティア活動をしている人は増加しており、中間目標を達成しています。また、女性では地域の集まりに参加している人も増加しており、地域での交流については良好だと思われます。

## ■公助

## 《A：十分評価できる取組》

◎201：気軽に立ち寄り話ができるような地域のサロンの数

## 《B：まあ評価できる取組》

○202：シニア世代のボランティア人材バンクの設置数

公助の取組みは、「気軽に立ち寄り話ができるような地域のサロンの数」と「シニア世代のボランティア人材バンクの設置数」ですが、両者ともに評価できる取組となっています。

中目標②については、自助・共助でも中間目標が達成されており、順調な取組となっています。

## 【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①お互いに助け合い、 元気に笑顔で暮らそう	001	悩み等を気軽に相談できる相手や支援してくれる人がいる人の割合の増加	男性	%	60.0	56.0	E	65.0
			女性	%	74.6	69.6	E	80.0
	002	日頃からあいさつを心がけている人の割合の増加		%	今後把握	75.7	－	78.0
	003	積極的に周りの人と交流することを心がけている人の割合の増加		%	今後把握	32.7	－	35.0
	004	気の合う仲間と食事会やお茶飲みなどを楽しんでいる人の割合の増加		%	今後把握	32.7	－	35.0
②地域へ積極的に出かけて、 頼りにされる人になろう	001	ボランティア活動をしている人の増加	男性	%	41.3	53.6	A	46.0
			女性	%	36.2	56.5	A	41.0
	002	自分の得意なこと、関心のあることを通して周りの人と交流している人の割合の増加		%	今後把握	37.4	－	40.0

## 【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①お互いに助け合い、元 気に笑顔で暮らそう	101	自分や周りの人の心の健康を気に掛けている人の割合の増加	男性	%	61.3	57.1	E	66.0
			女性	%	73.2	69.6	E	78.0
	102		男性	%	61.3	57.1	E	66.0
			女性	%	73.2	69.6	E	78.0
②地域へ積極的に出かけて、 頼りにされる人になろう	101	地域の集まりに参加している人の増加	男性	%	29.4	32.1	C	40.0
			女性	%	20.7	34.8	A	30.0
	102	同じ趣味を持つ人たちとの交流をしている人の割合の増加		%	今後把握	37.4	－	40.0

【高齢期の健康づくり（65歳以上）】

【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①お互いに助け合い、 元気に笑顔で暮らそう	201	相談機関等の市民への周知	随時	年12回	B	継続
	202	気軽に立ち寄り話ができるような地域のサロンの数	実施無	8カ所	B	40カ所
	203	心の健康講座開催数	年1回	実施無	E	現状より増加
	204	心の健康相談実施回数	年12回	3回開催/年12回実施	B	継続
	204	閉じこもり予防講座開催数	190回	192回	A	現状より増加
	205	サロンに従事するスタッフ数	今後把握	18名	B	現状より増加
②地域へ積極的に出かけ、 頼りにされる人になる	201	気軽に立ち寄り話ができるような地域のサロンの数	実施無	84カ所	A	40カ所
	202	シニア世代のボランティア人材バンクの設置数	今後把握	個人62名 団体6つ	B	現状より増加

【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
①お互いに助け合い、 元気に笑顔で暮らそう	201	相談機関等の市民への周知	年12回広報へ掲載するも壮年期、若年層への浸透が図れない。相談内容によって相談先が変わってくるため、相談窓口の周知が難しい。	相談窓口の整理や周知啓発の強化
	202	気軽に立ち寄り話ができるような地域のサロンの数	補助事業は3年間の交付期限付き。交付終了したサロンの継続運営(補助交付時点で、3年後を見据えたサロン運営の助言は行っている。また、補助事業であるが故の事務手続きの煩雑さが課題。	介護予防に重点を置いた育成型サロンへの試行的補助事業の開始。(制度化の検討)
	203	心の健康講座開催数	介護では認知症対策を実施。心の健康という内容での積極的な取組みはなかった。	家族介護教室への取り入れ等を検討していく。 介護予防、認知症予防の取組みの中で心の健康についても加味していく。
	204	心の健康相談実施回数	心の健康相談開催の周知を行っているが、相談者がいない場合もある。心の健康相談以外の相談先が充足していたり、医療機関への受診がスムーズに出来ているためか、それとも周知が足りないのかの評価ができていない。	単発の相談で、新規の相談もあることから、専門職の相談機会として継続していく
	204	閉じこもり予防講座開催数	新規利用者、男性参加者数が少ない	男性限定の教室の設置などを検討。運動以外の介護予防(認知症、口腔、栄養)について、市の事業とのコラボを積極的に取り入れていく。
	205	サロンに従事するスタッフ数	生活支援コーディネーターによる地域課題と資源の発掘、多様なサービスの検討、創設	生活支援コーディネーター(4包括に各1名配置)による地域課題と資源の発掘、多様なサービスの検討、創設
②	201	気軽に立ち寄り話ができるような地域のサロンの数	ボランティアの育成等	コーディネーターと市民活動サポートセンターとのネットワーク構築(地域づくり)。地域づくり担当課や社会福祉課との連携。
②	202	シニア世代のボランティア人材バンクの設置数	ボランティア活動者が固定されている。登録せずに個人でボランティア活動をしているという人もいる	母子に対するボランティアが募集されている。りんりんクラブの受付や小物づくりなど。そのようなボランティアも今後増やしていきたい。



④循環器疾患・糖尿病

中目標『①自分の体は自分で守ろう』

■自助・共助

《A：中間目標達成》

- ◎002：定期健康診査受診率の増加
- ◎003：かかりつけ医をもつ人の増加

《B：改善》

- 〇〇〇1：体調の自己管理をしている人の割合の増加

循環器疾患・糖尿病については、設定されている3つの評価指標ともにB以上となっており、取組は良好だと思われます。

■公助

《A：十分評価できる取組》

- ◎204：後期高齢者健康診査の夜間・休日開催回数
- ◎207：生活習慣病予防料理教室の開催数
- ◎209：生活習慣病予防講演会開催数
- ◎210：気楽に利用できる相談窓口の設置数・回数

《B：まあ評価できる取組》

- 〇202：健診受診勧奨の機会の確保
- 〇203：住民主催の健康づくりサークル等の育成支援回数
- 〇205：特定保健指導実施率

《C：あまり評価できない取組》

- 208：成人保健相談利用者数

《E：実施無》

- ▼206：有所見者に対する訪問指導件数

公助の取組については、「有所見者に対する訪問指導件数」以外は評価できる取組になっています。十分評価できる取組も4項目あり、取組は良好だと思われます。

【高齢期の健康づくり（65歳以上）】

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①自分の体は自分で守ろう	001	体調の自己管理をしている人の割合の増加		%	82.9	87.9	B	93.0
	002	定期健康診査受診率の増加		%	79.6	88.8	A	85.0
	003	かかりつけ医をもつ人の増加		%	81.2	92.5	A	86.0
	004	設定なし			削除			
	005	和食を中心とした食事をしている人の割合の増加		%	今後把握	90.7	—	93.0
	006	よく噛んで食べるよう心がけている人の割合の増加		%	今後把握	72.0	—	75.0

【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①自分の体は自分で守ろう	101	近隣の人々の健康を気にかけている人の割合の増加		%	今後把握	43.9	—	45.0
	102	健診を受けるように声がけし合っている人の増加		%	今後把握	35.5	—	38.0

【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①自分の体は自分で守ろう	202	健診受診勧奨の機会の確保	年27回	年26回	B	継続
	203	住民主催の健康づくりサークル等の育成支援回数	年61回 表の会 10回 食生活改善推進協議会 28回 運動普及リーダー 23回	年46回	B	継続
	204	後期高齢者健康診査の夜間・休日開催回数	年6回	継続（年6回）	A	継続
	205	特定保健指導実施率	29.5%	32.3%	B	60%（H29）
	206	有所見者に対する訪問指導件数	年97件	無（65歳以下にしているため）	E	現状より増加
	207	生活習慣病予防料理教室の開催数	年2回	年3回	A	現状より増加
	208	成人保健相談利用者数	年39名	年6人	C	現状より増加
	209	生活習慣病予防講演会開催数	年2回	年3回	A	現状より増加
	210	気楽に利用できる相談窓口の設置数・回数	成人保健相談回数：年11回 健康相談回数：年179回 高齢者相談窓口：5カ所	成人健康相談年7回 高齢者相談窓口15カ所	A	現状より増加

## 【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
①自分の体は自分で守ろう	202	健診受診勧奨の機会の確保	受診率が減少傾向なので、受診勧奨方法を見直す必要がある	健診の必要性、受診を促すようなPRを実施する
	203	住民主催の健康づくりサークル等の育成支援回数	なし	継続
	204	後期高齢者健康診査の夜間・休日開催回数	なし	継続
	205	特定保健指導実施率	H28年度は実施率が上昇したが、年々下降傾向である	健診会場にて対象者に面談し、初回面談の予約を取るなど、実施率アップに向けた取り組みを実施する
	206	有所見者に対する訪問指導件数	—	—
	207	生活習慣病予防料理教室の開催数	なし	継続
	208	成人保健相談利用者数	利用者が減少傾向にある。広報や各事業・健診などで周知は行っているが、認知度は低い	現行どおり継続
	209	生活習慣病予防講演会開催数	なし	継続
	210	気楽に利用できる相談窓口の設置数・回数	利用者が減少傾向にある。広報や各事業・健診などで周知は行っているが、認知度は低い	現在の相談窓口を継続

⑤がん

中目標『①がんを早期に発見しよう』

■自助・共助

《B：改善》

- 〇〇〇1：がん検診（肺がん健診）を受けた人の割合の増加
- 〇〇〇1：がん検診（胃がん検診）を受けた人の割合の増加

がん検診については、肺がんと胃がんは改善していますが、大腸がん、乳がん、子宮がんについては、ほぼ横ばいで推移しているため、これらのがん検診についての受診勧奨の工夫が必要です。

■公助

《A：十分評価できる取組》

- ◎201：広報、ホームページ等によるがん予防の普及啓発回数
- ◎202：各種がん検診の種類の数
- ◎203：夜間、土日のがん検診実施
- ◎206：精検対象者への受診勧奨

《B：まあ評価できる取組》

- 〇204：胃がん・乳がん検診における保健指導実施率
- 〇205：成人保健相談実施回数

公助の取組みについては、すべての取組が評価できる取組となっており、特に、A：十分評価できる取組が6項目中4項目と充実した取組となっています。

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①がんを早期に発見しよう	〇〇1	がん検診を受けた人の割合の増加	肺がん検診	%	63.0	66.4	B	70.0
			大腸がん検診	%	54.7	54.2	D	70.0
			胃がん検診	%	54.2	59.8	B	70.0
			乳がん検診	%	36.6	43.5	C	70.0
			子宮がん検診	%	31.9	34.8	D	70.0
	〇〇2	がんを予防する生活を心がけている人の割合の増加			削除			

## 【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①がんを早期に発見しよう	101	家族や友人同士で、がんについての情報を共有している人の割合の増加		%	今後把握	29.9	—	33.0
	102	検診の大切さを話し合う機会を持つよう心がけている人の割合の増加		%	今後把握	35.5	—	38.0
	103	誘い合って検診に行くよう心がけている人の割合の増加		%	今後把握	35.5	—	38.0

## 【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①がんを早期に発見しよう	201	広報、ホームページ等によるがん予防の普及啓発回数	年 16 回	年 16 回以上実施	A	現状より増加
	202	各種がん検診の種類の数	6 種類	継続（6 種類）	A	継続
	203	夜間、土日のがん検診実施	実施	継続	A	継続
	204	胃がん・乳がん検診における保健指導実施率	胃がん検診：100% 乳がん検診：100%	継続（100%）	B	継続
	205	成人保健相談実施回数	年 11 回	年 27 回	B	継続
	206	精検対象者への受診勧奨	実施	継続	A	継続

## 【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
①がんを早期に発見しよう	201	広報、ホームページ等によるがん予防の普及啓発回数	各種媒体を使用することで、市民からの受診希望の問い合わせが多くなっている	継続
	202	各種がん検診の種類の数	がんの早期発見につながっている	継続
	203	夜間、土日のがん検診実施	夜間の実施は、がん検診の特性上難しい	継続
	204	胃がん・乳がん検診における保健指導実施率	待ち時間に保健指導をすることができ有意義である	継続
	205	成人保健相談実施回数	相談内容によっては、成人保健相談ではむずかしい	対がん協会の相談窓口の紹介も行っていく
	206	精検対象者への受診勧奨	通知等で精検受診の意思表示のない対象者に対しては、担当保健師が電話で受診勧奨し、受診につながっている	継続

⑥たばこ

中目標『①たばこをやめよう』

■自助・共助

《B：改善》

〇〇〇1：たばこが健康に及ぼす影響（気管支炎）を正しく知っている人の割合の増加

《E：悪化傾向》

●〇〇1：たばこが健康に及ぼす影響（妊婦による胎児への影響）を正しく知っている人の割合の増加

たばこが健康に及ぼす影響を正しく知っている人の割合については、やや改善がみられるものの、計画の最終年度の目標達成のためには、より一層の取組強化が必要だと思われます。喫煙率についても減少しているものの、平成35年の目標値到達は厳しいと考えられるため、喫煙率の減少についても、今後の取組強化が必要だと思われます。

■公助

《A：十分評価できる取組》

〇201：喫煙、受動喫煙の健康影響についての普及啓発回数

《E：実施無》

▼202：成人保健相談での禁煙相談件数

公助の取組については、「成人保健相談での禁煙相談件数」の実績がありませんでした。事業の周知が課題となっています。

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①たばこをやめよう	〇〇1	たばこが健康に及ぼす影響を正しく知っている人の割合の増加	肺がん	%	86.3	89.7	C	100.0
			ぜんそく	%	72.1	74.8	D	100.0
			気管支炎	%	71.6	82.2	B	100.0
			心臓病	%	48.5	54.2	D	100.0
			脳卒中	%	39.9	50.5	C	100.0
			胃潰瘍	%	24.9	25.2	D	100.0
			妊娠による胎児への影響	%	48.5	39.3	E	100.0
			歯周病	%	22.3	32.7	D	100.0
			COPD（慢性閉塞性肺疾患）	%	33.2	24.3	D	100.0
	〇〇2	喫煙率の減少		%	28.7	22.9	C	7.0

## 【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
やめたい煙草の消費量を減らす	101	周りの人とたばこの健康への影響についての情報を話し合う機会がある人の割合の増加		%	今後把握	15.0	—	17.0
	102	禁煙中の人を支える意識を持つ人の増加		%	今後把握	15.0	—	17.0

## 【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
やめたい煙草の消費量を減らす	201	喫煙、受動喫煙の健康影響についての普及啓発回数	年28回 (肺がん検診26回、 ポスター1回)	年26回 ポスター1回	A	現状より増加
	202	成人保健相談での禁煙相談件数	0件	0件	E	現状より増加

## 【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
やめたい煙草の消費量を減らす	201	喫煙、受動喫煙の健康影響についての普及啓発回数	なし	継続
	202	成人保健相談での禁煙相談件数	周知不足。相談者が来た時に対応できる禁煙指導のスキルアップが必要	周知を強化していく

⑦歯と口腔の健康

中目標『①歯と口はいつも健康でいよう』

■自助・共助

《A：中間目標達成》

◎001：食後（朝食後）の歯みがきを心がけている人の割合の増加

《B：改善》

〇002：過去1年間に歯科健診を受けた人の割合の増加

《E：悪化傾向》

●001：食後（昼食後）の歯みがきを心がけている人の割合の増加

●001：食後（夕食後）の歯みがきを心がけている人の割合の増加

朝食後の歯磨きについては、中間目標を達成していますが、昼食後と夕食後の歯磨きが悪化傾向にあるため、昼食後と夕食後の歯磨きの効果等の啓発活動が課題となっています。

■公助

《A：十分評価できる取組》

◎204：歯科健診を受けることのできる歯科医院の数

《B：まあ評価できる取組》

〇201：高齢者の歯や口の健康の大切さについての普及啓発

〇202：口腔ケア講座の開催数

〇203：誤嚥性肺炎について普及啓発回数

公助の取組みについては、すべての取組が評価できる取組となっており、良好な取組状況となっていますが、自助で昼食後と夕食後の歯磨きの割合が減少していることから、食後の歯みがきの啓発を強化していくことが考えられます。

【私ができること（自助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①歯と口はいつも健康	001	食後の歯みがきを心がけている人の割合の増加	朝食後	%	73.7	80.4	A	79.0
			夕食後	%	24.9	21.5	E	30.0
			夕食後	%	79.1	54.2	E	85.0
	002	過去一年間の歯科健診受診率の増加		%	60.6	63.6	B	70.0
	003	正しい姿勢でよく噛んで食べている人の割合の増加		%	今後把握	72.0	—	75.0
004	誤嚥性肺炎の予防について正しい知識をもつ人の割合の増加		%	今後把握	57.9	—	60.0	



## 【みんなで支え合えばできること（共助）】

目標・取組		評価指標等						
中目標	取組	評価指標	対象	単位	現状値 H25年度	中間値 H30年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①歯と口はいつも健康でいよう	101	しっかり噛んで食べるよう声を掛けあっている人の割合の増加		%	今後把握	28.0	—	30.0
	101	会話を楽しんでいる人の割合の増加		%	今後把握	90.7	—	94.0
	102	家族や周りの人の歯の健康について気にかけている人の増加		%	今後把握	21.5	—	24.0
	103	誤嚥性肺炎について周りの人と話をする人の割合の増加		%	今後把握	10.3	—	12.0
	104	周りの人に歯科健診を勧めている人の割合の増加		%	今後把握	16.8	—	20.0

## 【まわりの支え・仕組み（公助）】

目標・取組		評価指標等				
中目標	取組	評価指標	現状値 H25年度	中間値 H29年度	進捗 状況	目標値 H35年度
①歯と口はいつも健康でいよう	201	高齢者の歯や口の健康の大切さについての普及啓発	年3回	健康増進課：年2回 (104人)	B	現状より増加
	202	口腔ケア講座の開催数	年2回	年1回	B	現状より増加
	203	誤嚥性肺炎について普及啓発回数	年2回	健康増進課：年2回 (104人)	B	現状より増加
	204	歯科健診を受けることのできる歯科医院の数	17カ所	19カ所	A	継続

## 【公助の問題点・課題と今後の取組】

目標・取組		問題点・課題と今後の取組		
中目標	取組	評価指標	問題点・課題	H31～H35年度の取組
①歯と口はいつも健康でいよう	201	高齢者の歯や口の健康の大切さについての普及啓発	介護予防の視点として、歯と口にあまり積極的な取り組みがなかった	市および地域包括支援センターにおける各種介護予防事業において、歯科・口腔分野について積極的な取り組みを検討していく
	202	口腔ケア講座の開催数	介護予防の視点として、歯と口にあまり積極的な取り組みがなかった	市および地域包括支援センターにおける各種介護予防事業において、歯科・口腔分野について積極的な取り組みを検討していく
	203	誤嚥性肺炎について普及啓発回数	なし	継続
	204	歯科健診を受けることのできる歯科医院の数	なし	継続

## IV 健康意識調査結果概要

### 1. 調査の概要

#### (1) 調査の目的

「第2次岩沼市健康づくり市民計画～すこやか・しあわせ 岩沼プラン～」(計画期間：平成26年度～平成35年度)において、前期5年間を経過する平成30年度に中間評価を目的として実施するもので、市民の健康に関する意識や行動について実態を把握し、現計画の推進状況を確認するとともに、後期5年間の目標の見直し等を行う基礎資料を得ることを目的としています。

#### (2) 調査の設計

##### ①調査対象

---

■20歳以上の一般市民	2,000人
■市内中学2年生	} 903人
■市内小学5年生	
■3歳6か月健診	106人

##### ②調査時期

---

■20歳以上の一般市民	平成30年10～11月
■市内中学2年生	平成30年10～11月
■市内小学5年生	平成30年10～11月
■3歳6か月健診	平成30年7月、8月、9月

#### (3) 回収結果

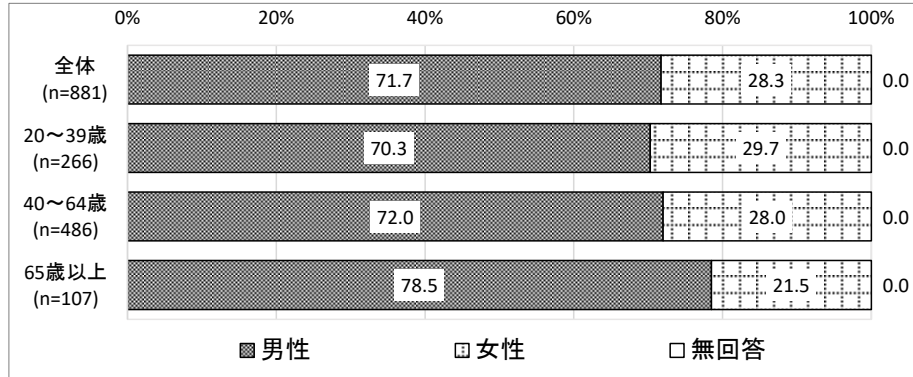
調査種別	配布数	有効回収数	回収率
20歳以上の一般市民	2,000	881票	44.1%
市内中学2年生	435	213票	49.0%
市内小学5年生	468	257票	54.9%
3歳6か月健診	106	106票	100.0%

## 2. 一般市民調査結果

### (1) 回答者および対象者の属性

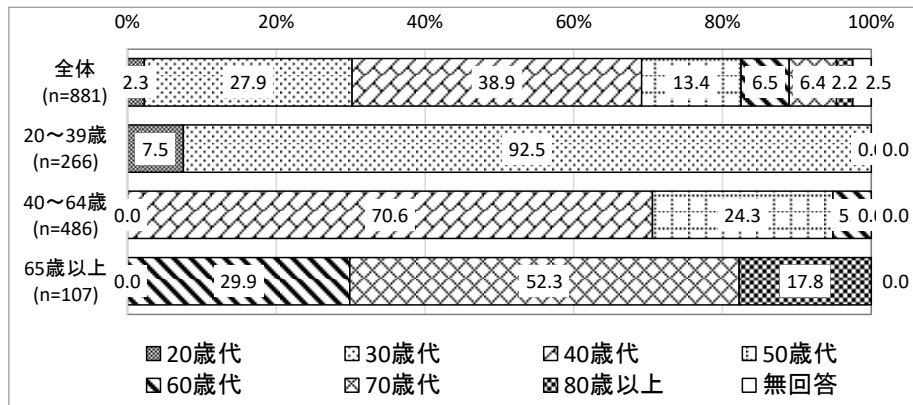
#### ①性別

問1 性別を教えてください。



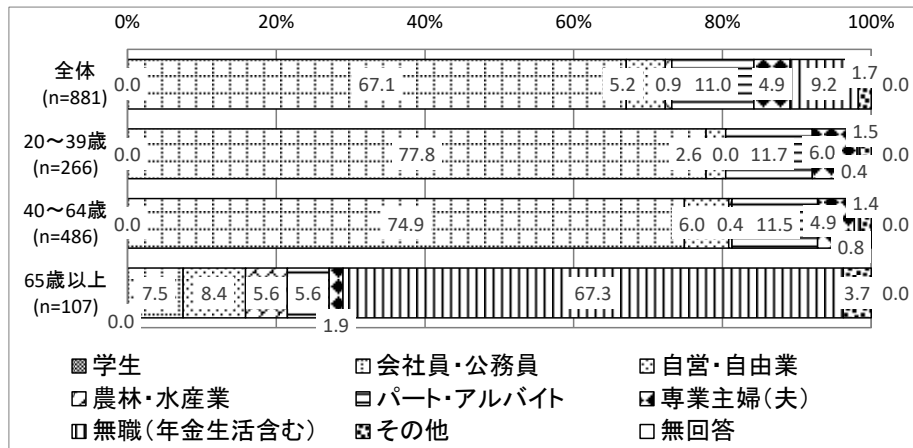
#### ②年齢

問2 現在の年齢を教えてください。



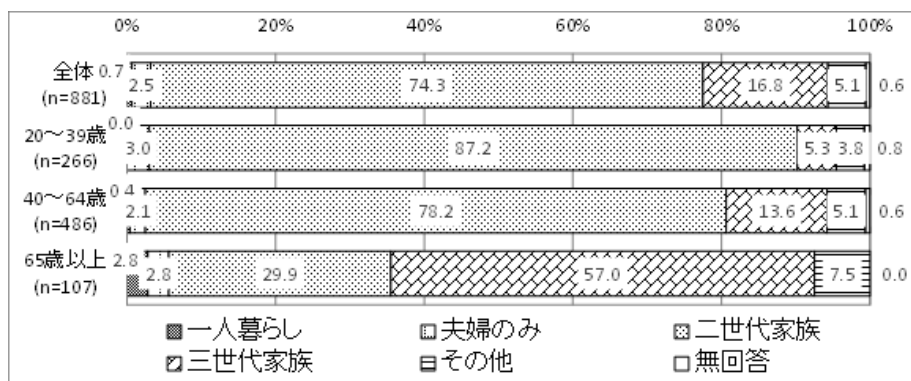
#### ③職業

問3 ご職業を教えてください。



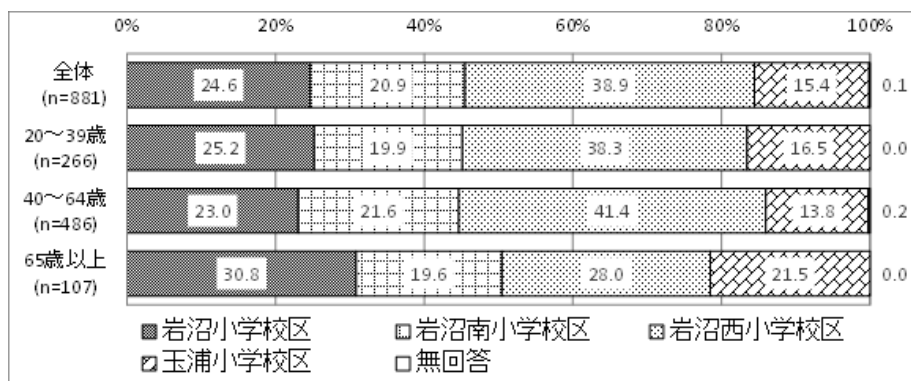
#### ④世帯構成

問4 世帯構成を教えてください。



#### ⑤小学校区

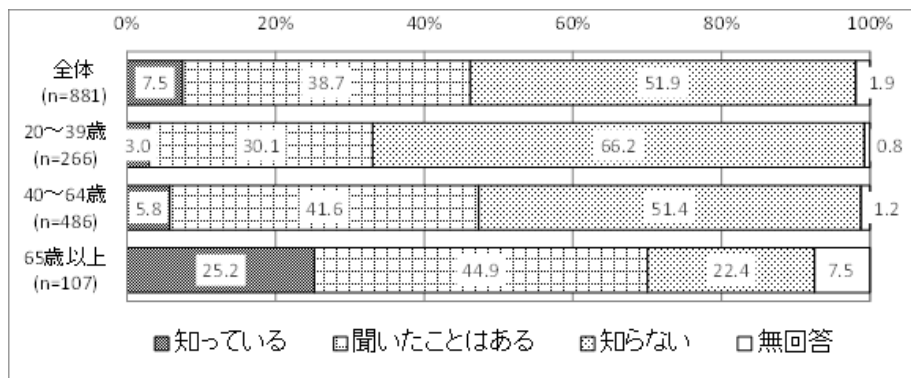
問5 あなたの住んでいる地区の小学校学区を教えてください。



### (2)「岩沼市健康づくり市民計画」について

#### ①計画の認知度

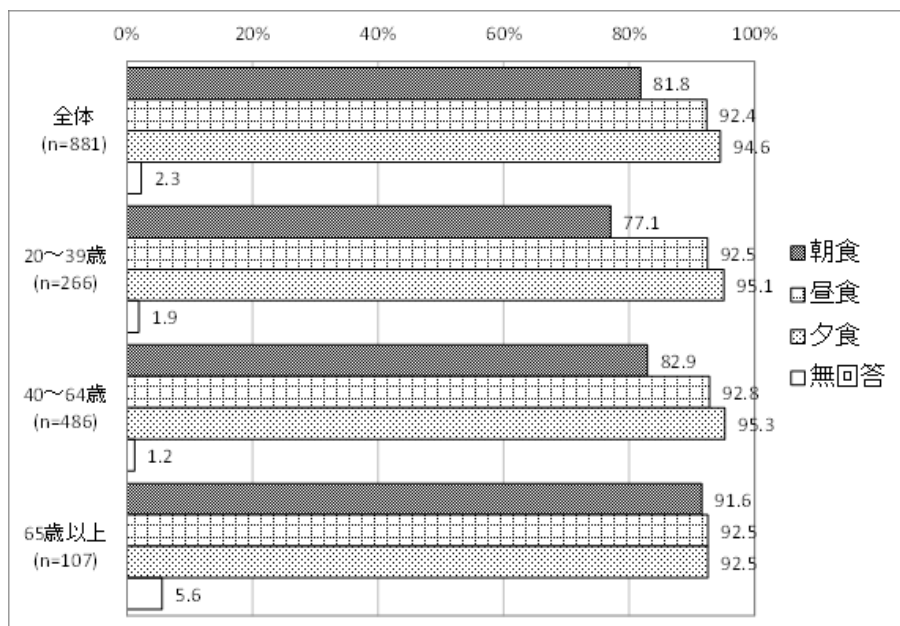
問1 「岩沼市健康づくり市民計画」を知っていますか。



### (3) 栄養と食生活について

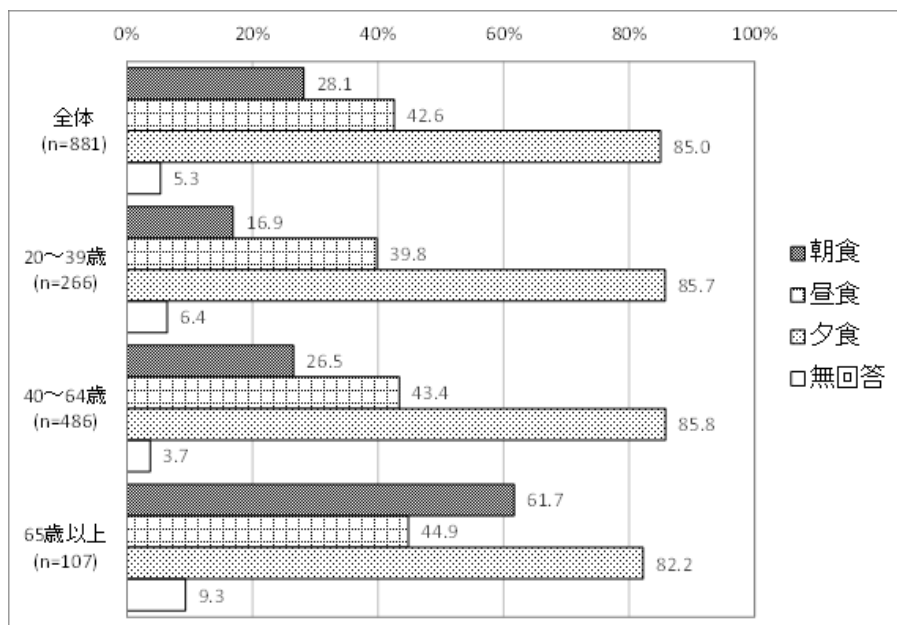
#### ① 食事の摂取状況

問1 朝食・昼食・夕食を毎日食べますか。



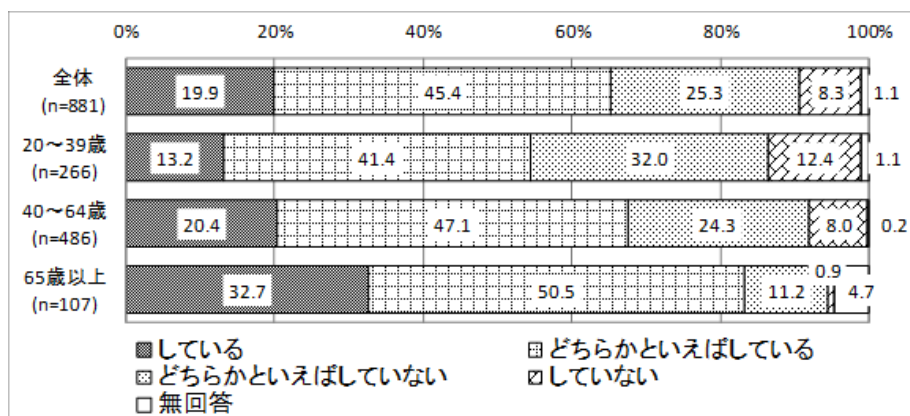
#### ② 主食・主菜・副菜について

問2 主食・主菜・副菜を揃えて食べるのはどの食事の時ですか。



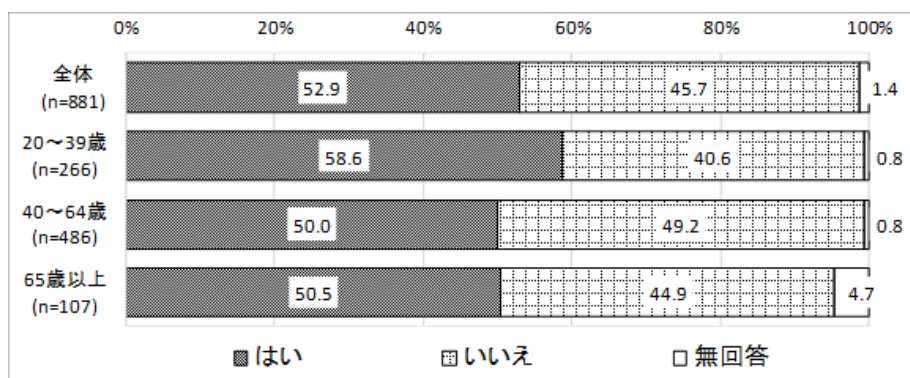
### ③適量摂取について

問3 食べすぎないように(適量摂取)にしていますか。



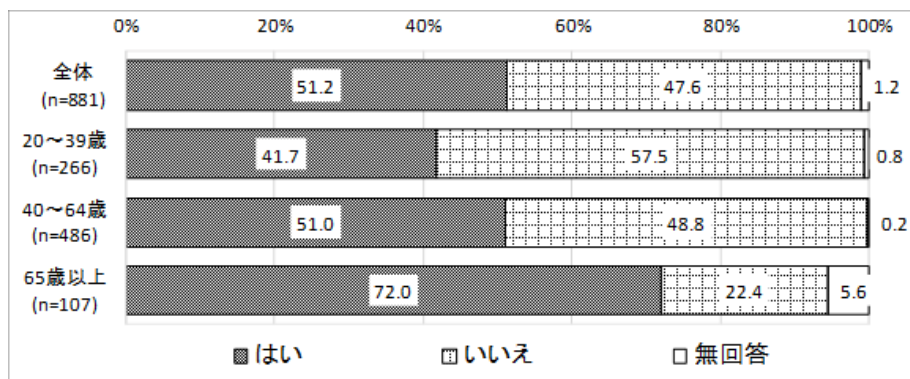
### ④間食について

問4 食事と食事の間に間食をとりますか。



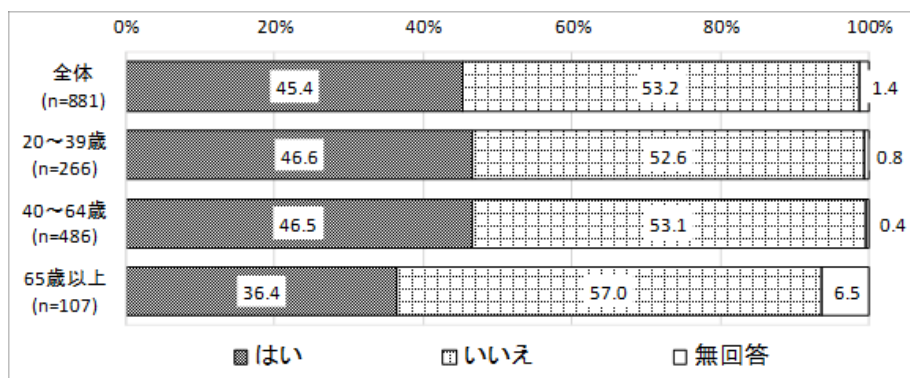
### ⑤咀嚼について

問5 よく噛んで食べるように心がけていますか。

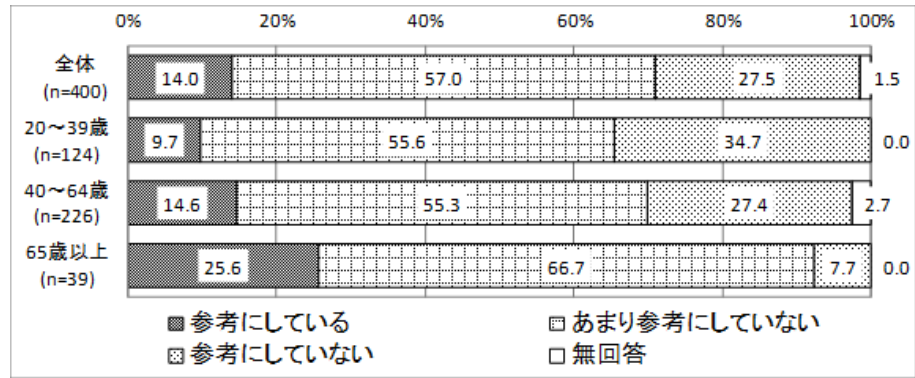


### ⑥食事バランスガイドについて

問6 「食事バランスガイド」を知っていますか。

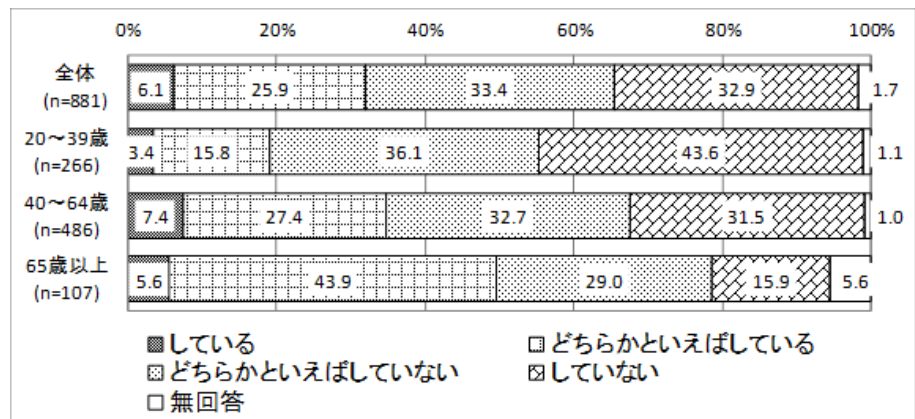


問6-1 「食事バランスガイド」等を参考にして食生活を送っていますか。



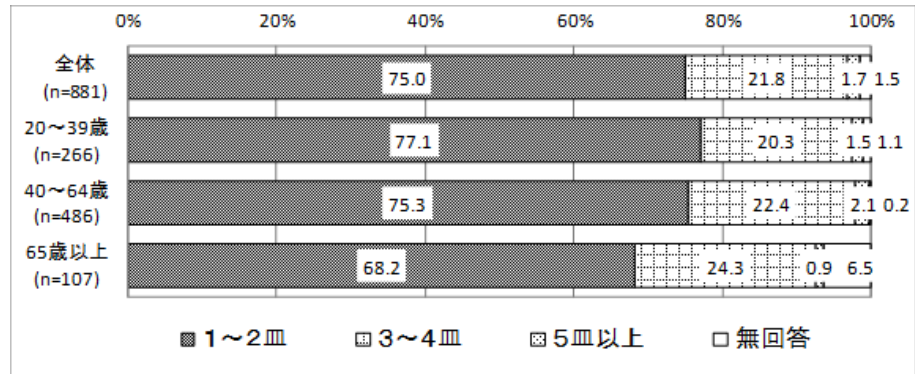
⑦栄養成分表示について

問7 エネルギー、食塩相当量などの栄養成分の表示を参考にして食事したり、食品を購入していますか。

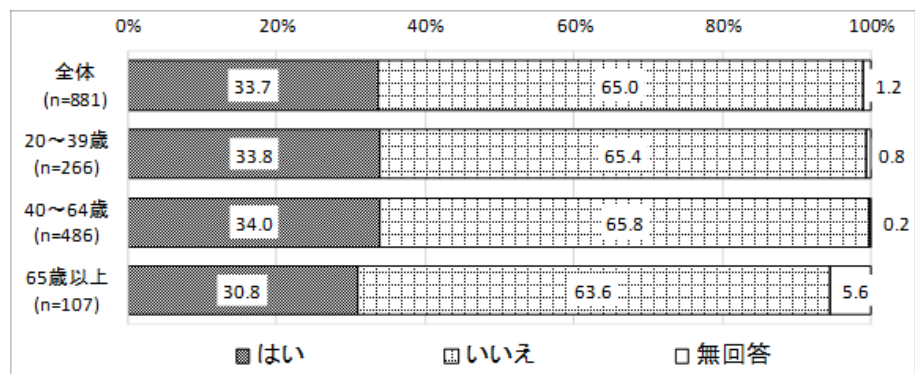


⑧野菜料理について

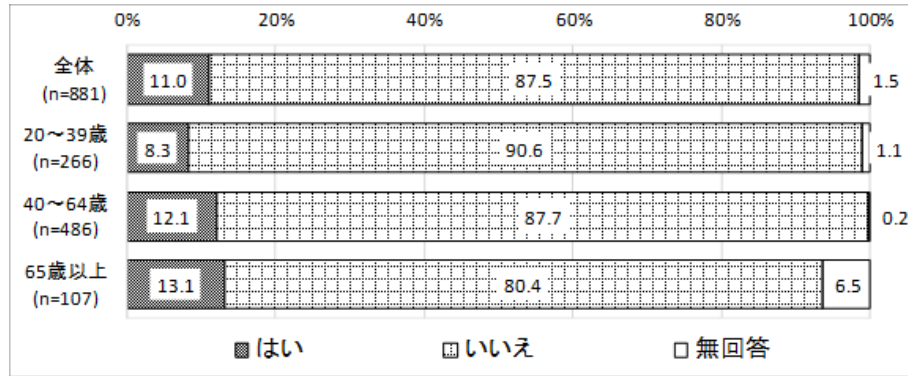
問8 野菜料理は、1日に何皿位食べていますか。



問9 成人1日あたりの野菜の必要量は 350g以上(5皿の野菜料理)であることを知っていますか。

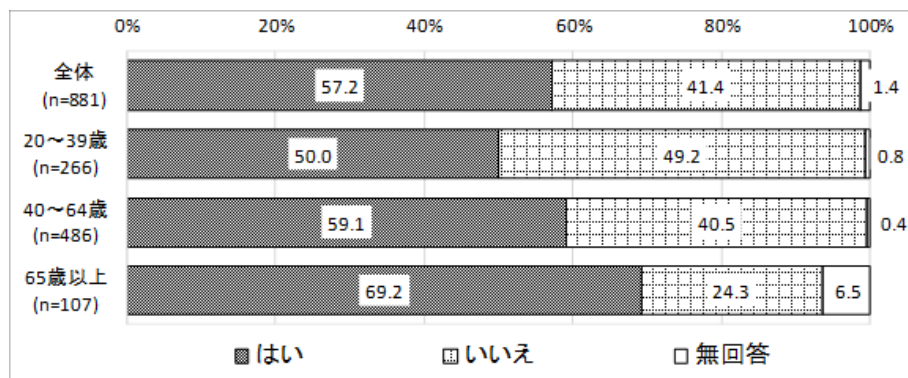


問10 講習会に参加したり、本・雑誌やインターネット等で野菜料理に関する情報を積極的に得ていますか。



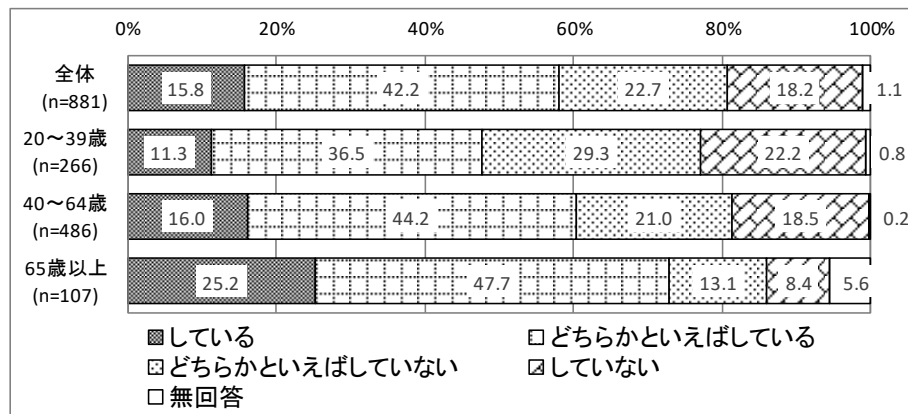
⑨カルシウムの摂取について

問11 牛乳・乳製品、小魚、海藻など、毎日の食事でカルシウムをとるようにしていますか。



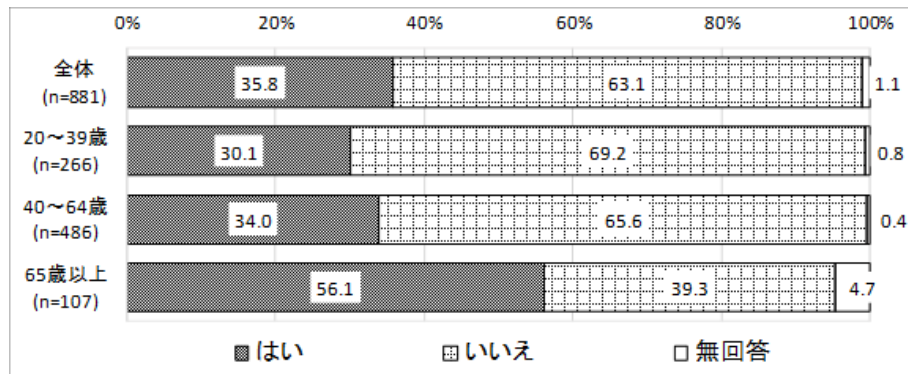
⑩地元の農産物について

問12 地元でとれた農産物(宮城県内産)を使用するようにしていますか。



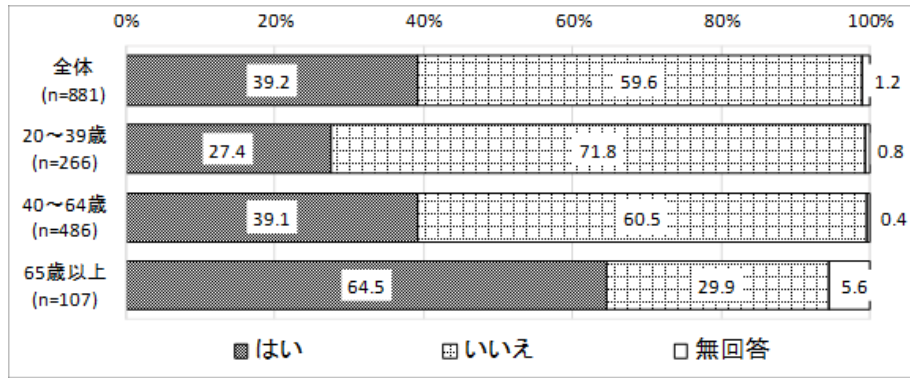
⑪適正塩分量について

問13 1日の適正塩分量が1日男性9g、女性8g以下であることを知っていますか。(宮城県の目標値です)



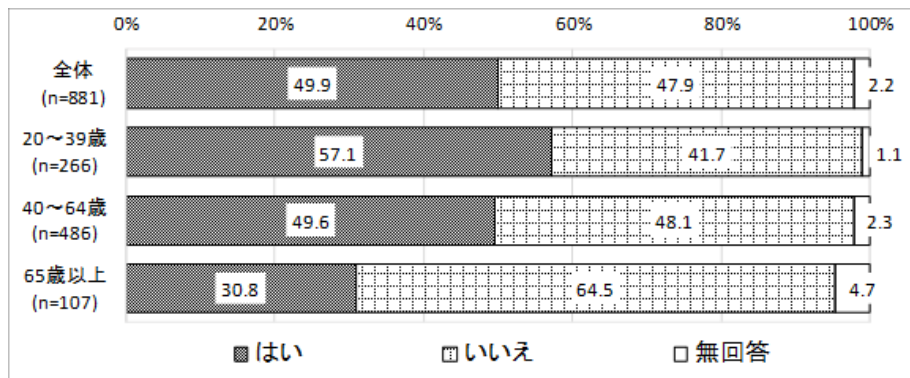


問14 あなたは、塩分を控えた食事をとっていますか。

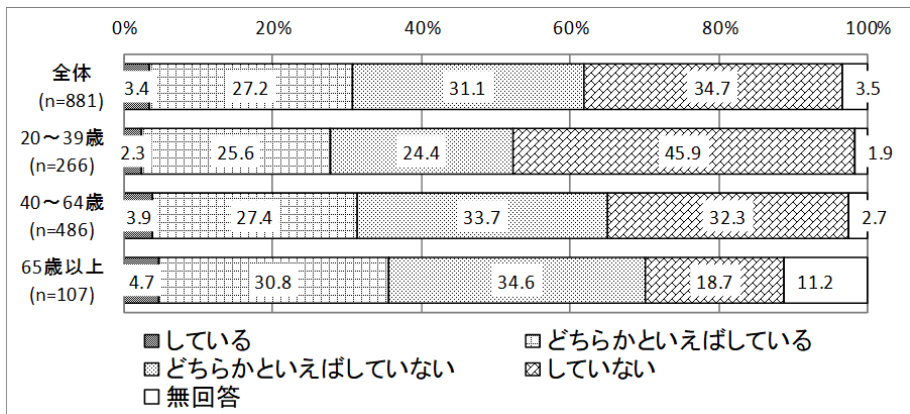


⑫料理について

問15 自分や家族の料理をつくっていますか。

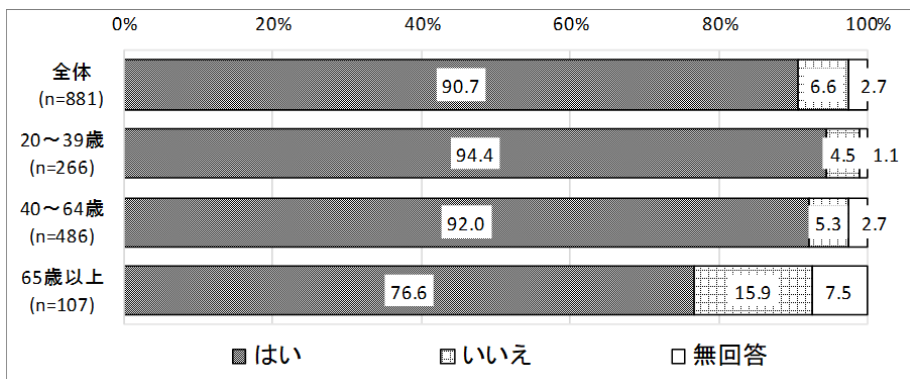


問16 地球にやさしいエコクッキングを実践していますか。

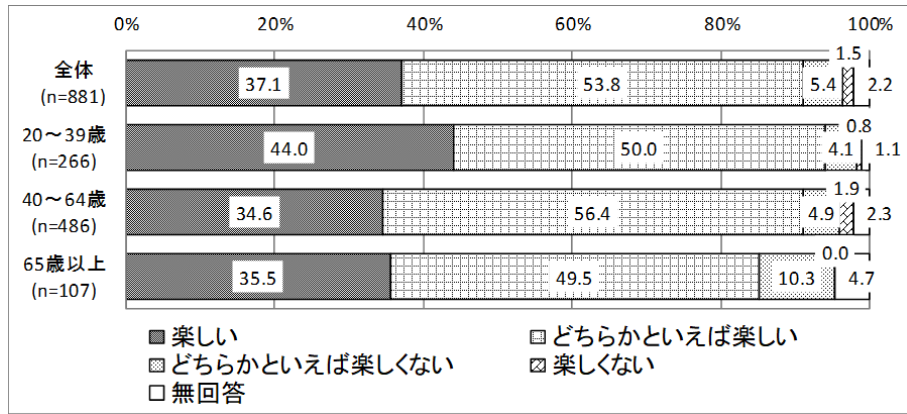


⑬食事について

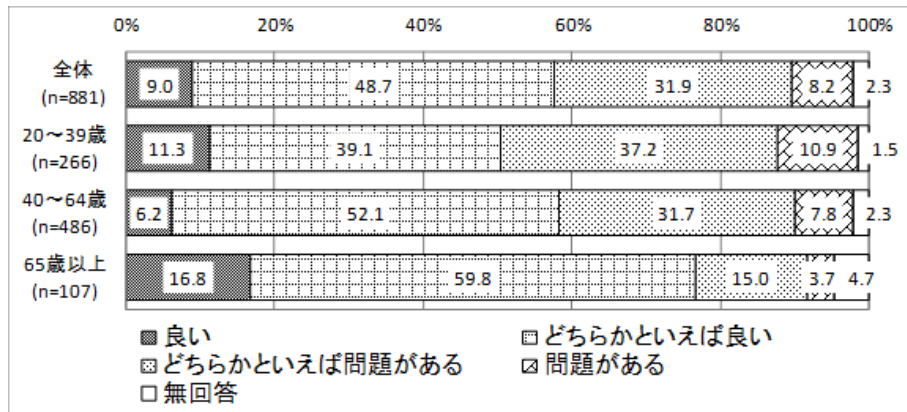
問17 1日1回以上誰かと食事をとりますか。



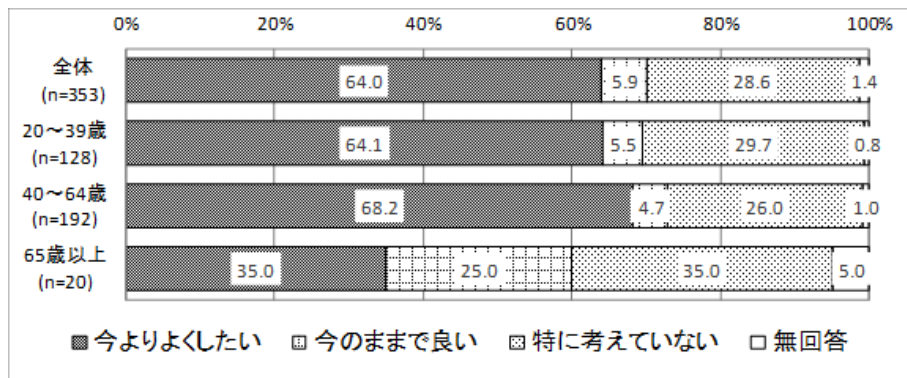
問18 食事の時間が楽しいと感じますか。



問19 今の自分の食生活をどう思いますか。

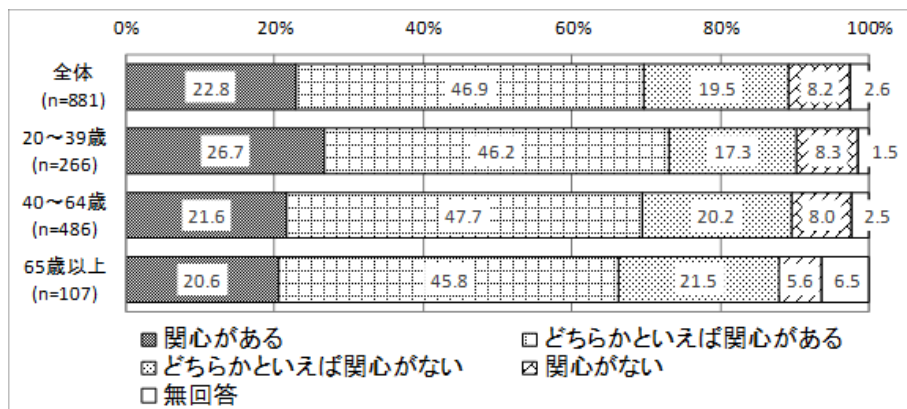


問19-1 自分の食生活について、今後どうしたいと思いますか。



⑭食育について

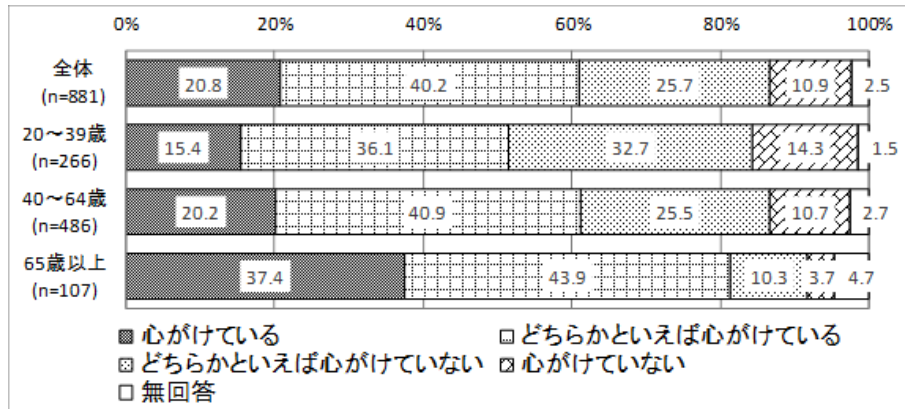
問20 「食育」に関心がありますか。



## (4) 運動と身体活動について

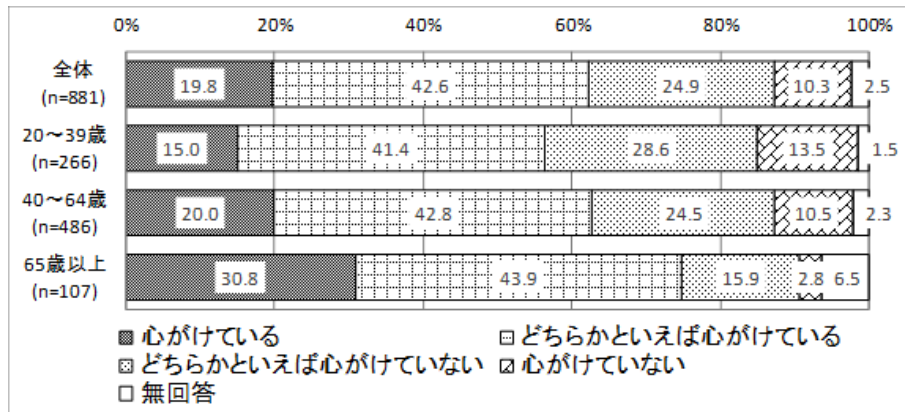
### ①健康意識

問1 日常生活の中で、健康のために意識的に体を動かすように心がけていますか。

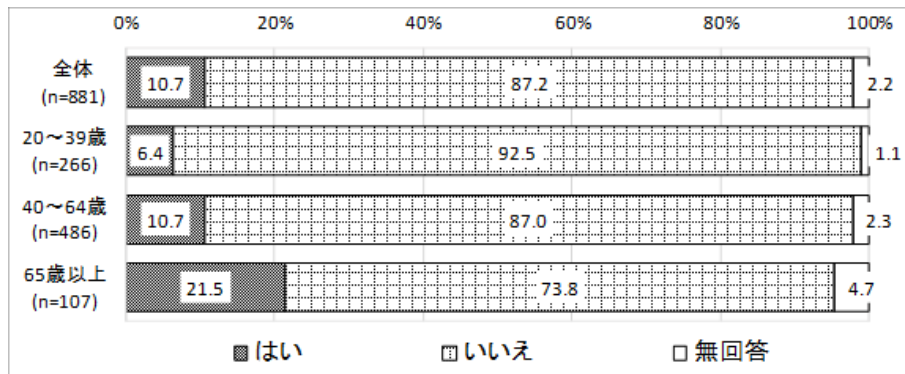


### ②歩行意識

問2 日常生活の中で、歩くように心がけていますか。

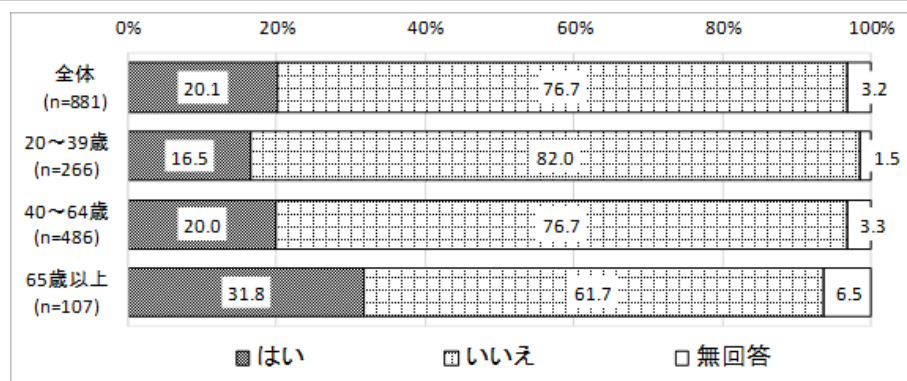


問3 毎日、歩数の目標や時間を決めて、歩いていますか。

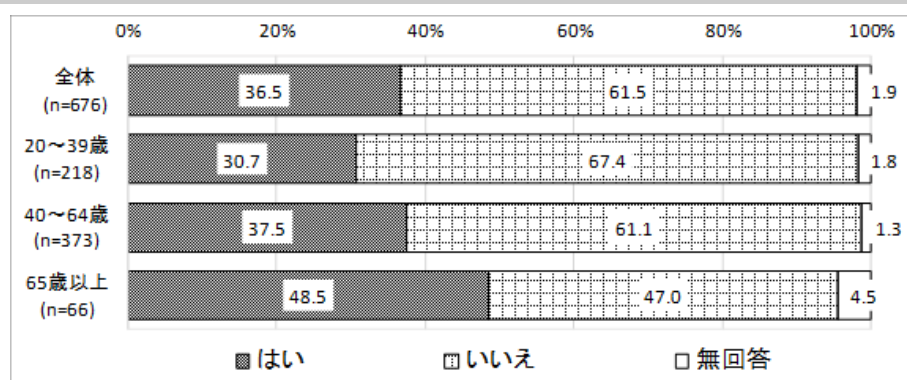


### ③日常生活での運動

問4 1回30分以上の運動を週に2回以上、1年間継続していますか。

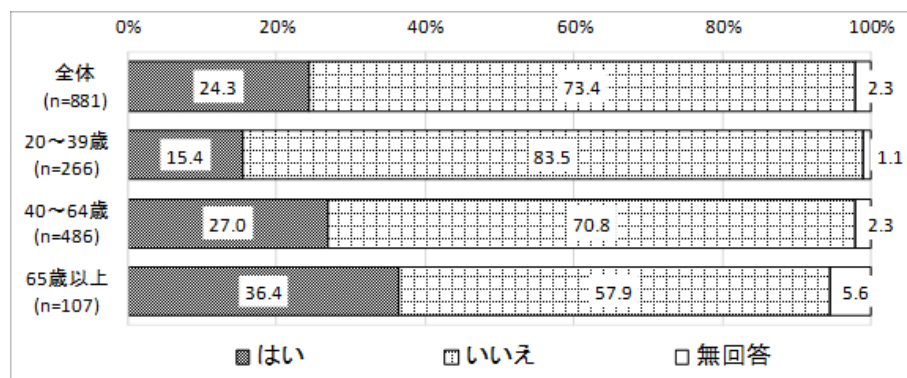


問4-2) (「いいえ」の方に伺います。)日常生活の中で何らかの運動をしていますか。

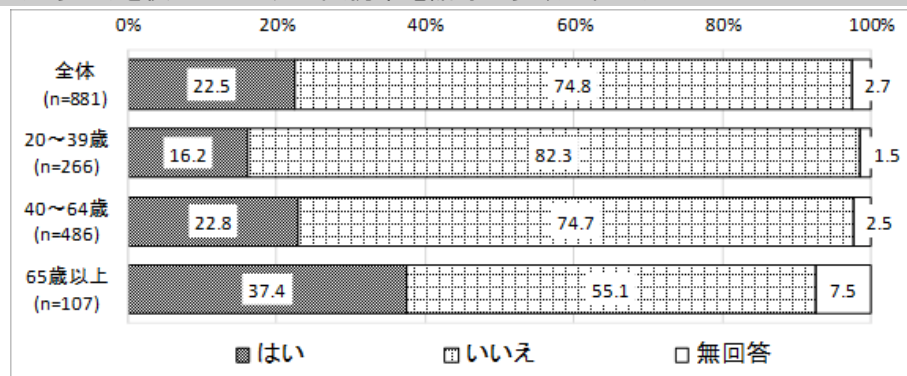


### ④歩数

問5 自分の1日の歩数を知っていますか。

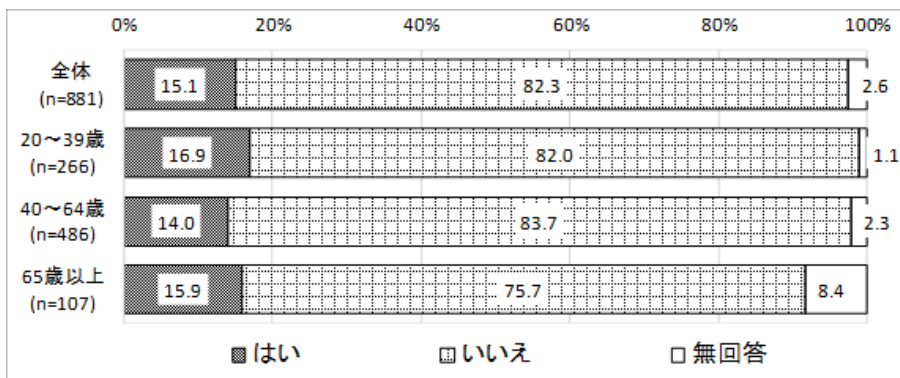


問6 歩数計(万歩計)を使っていますか。(携帯電話等の歩数計含む)



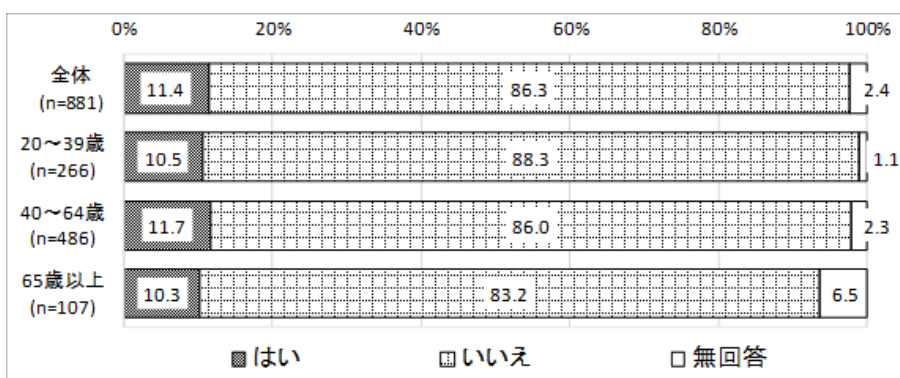
### ⑤体力測定

問7 過去1年以内に、何らかの体力測定をしたことがありますか。



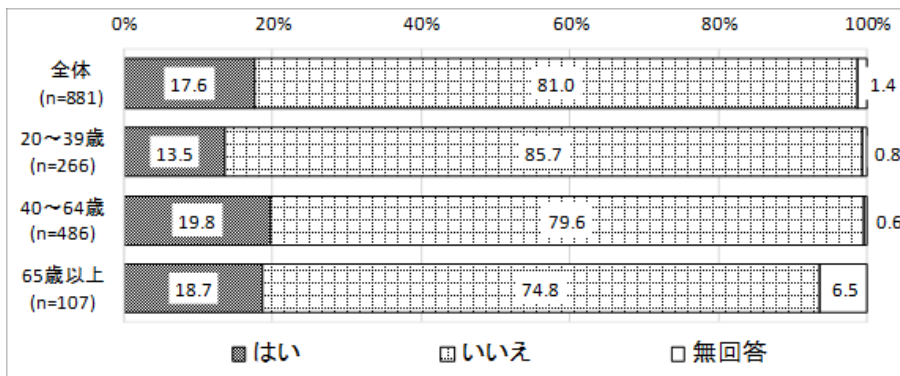
### ⑥運動講座やレッスン等への参加

問8 過去1年以内に、何らかの運動講座、レッスン等に参加したことはありますか。



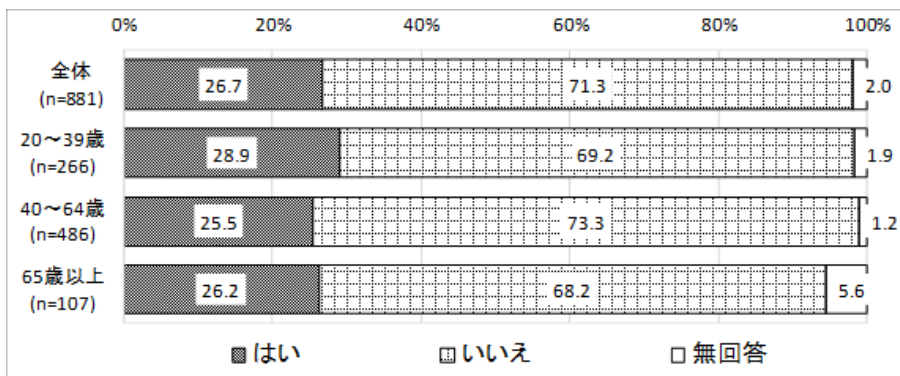
### ⑦意識的な運動の取り入れ

問9 運動を目的としていない集まり等で、体をほぐす体操やラジオ体操など、意識的に運動を取り入れていますか。

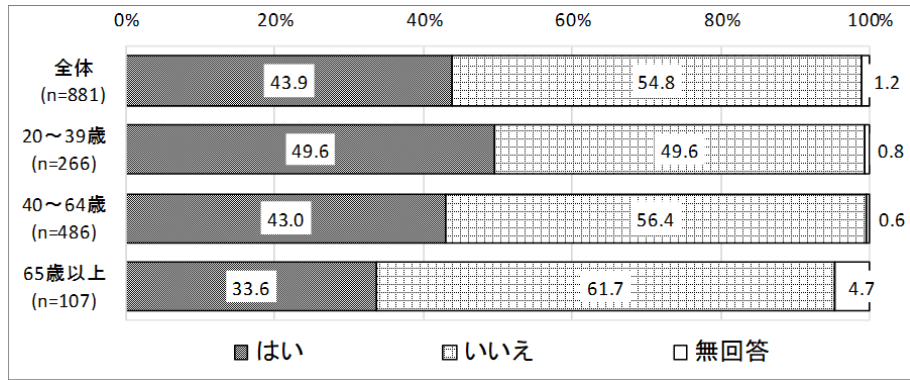


### ⑧運動の相手

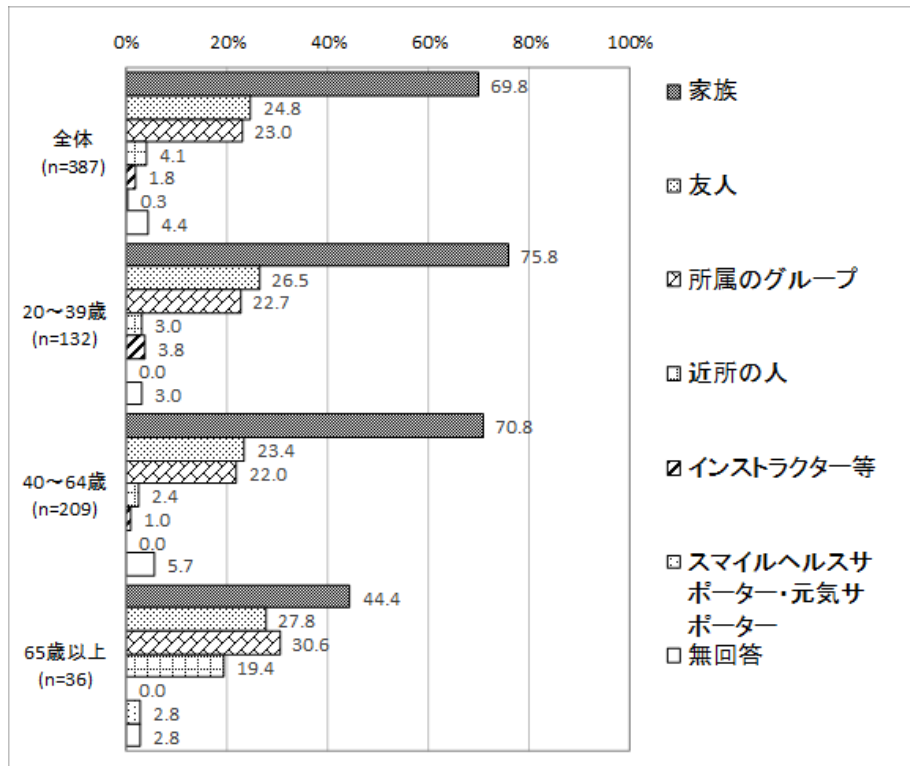
問10 運動を中心としたグループや集まりに参加したことがありますか。



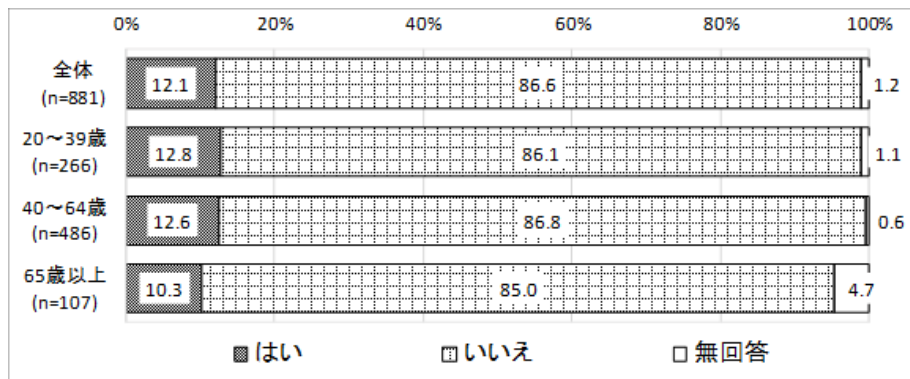
問11 一緒に運動できる相手はいますか。



問11-1) (「はい」の方に伺います。)一緒に運動(ウォーキングを含む)している相手について

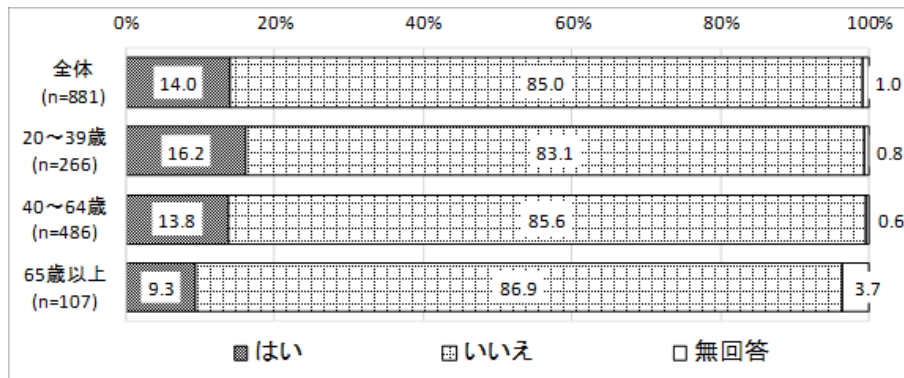


問12 正しい運動方法を紹介してくれる人が身近にいますか。

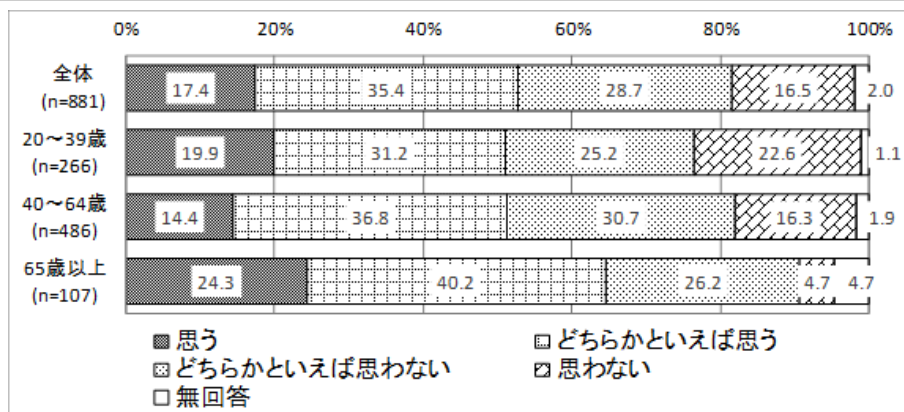


⑨岩沼市での運動

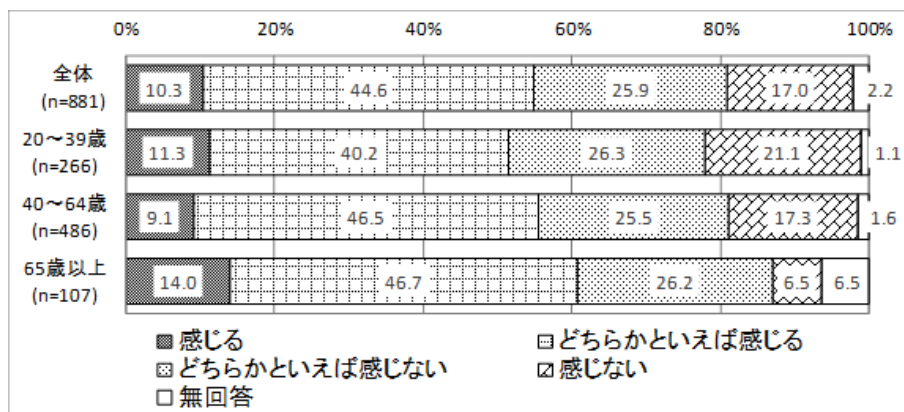
問13 スポーツジムや運動施設を利用していますか。



問14 岩沼市には利用しやすい運動施設や運動講座・教室があると思いますか。

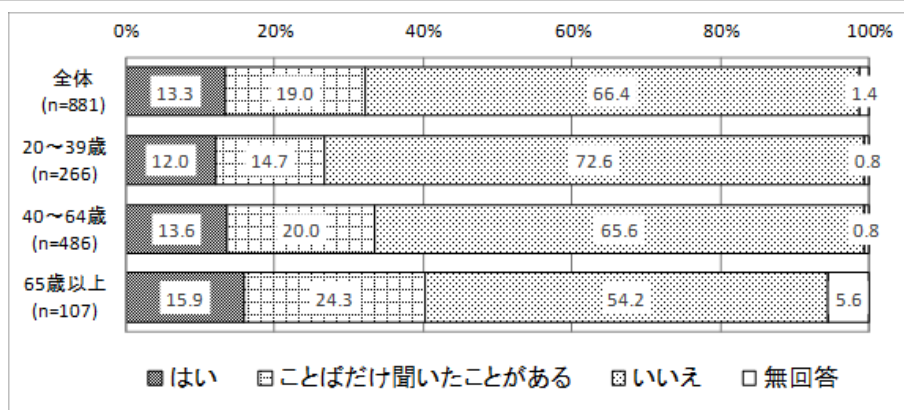


問15 岩沼市は「運動しやすいまち」だと感じますか。



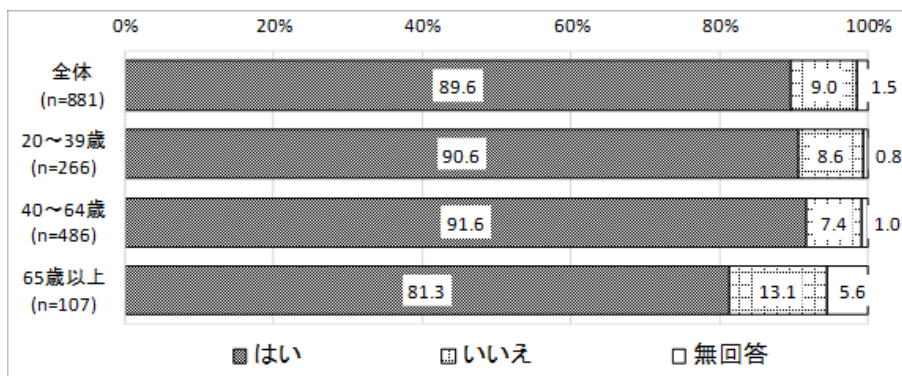
⑩ロコモティブシンドローム

問16 ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を知っていますか。



⑪筋肉を鍛えることの大切さ

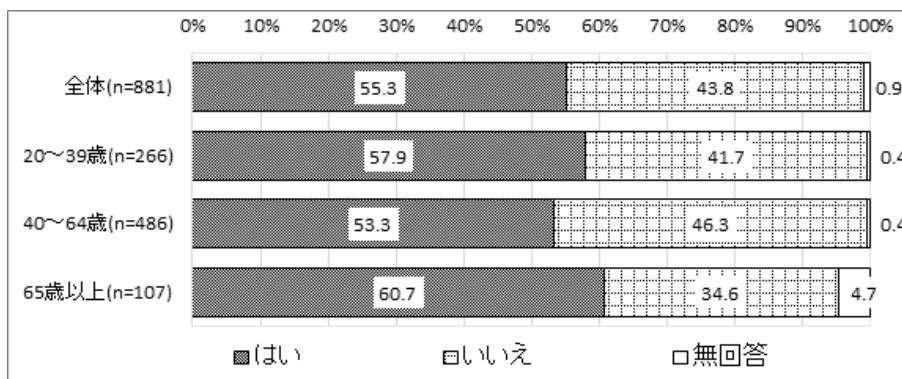
問17 健康のためには、ウォーキングなどの有酸素運動とともに、筋肉を鍛えることが大切なことを知っていますか。



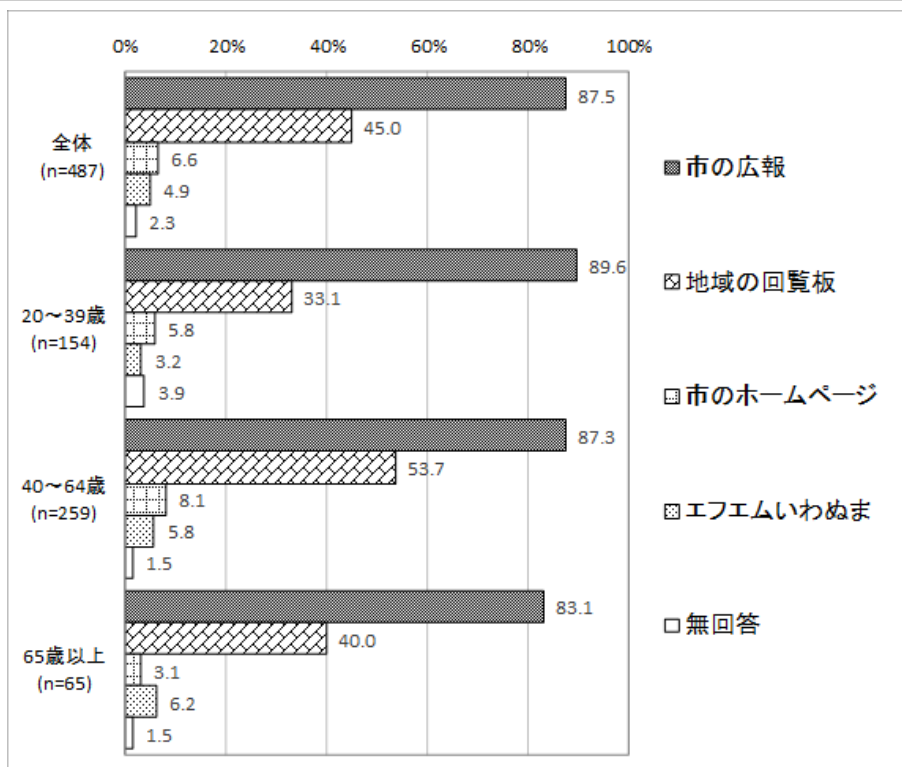
(5) こころの健康とつながりについて

①地域の活動

問1 地域の活動についての情報を得られていますか。

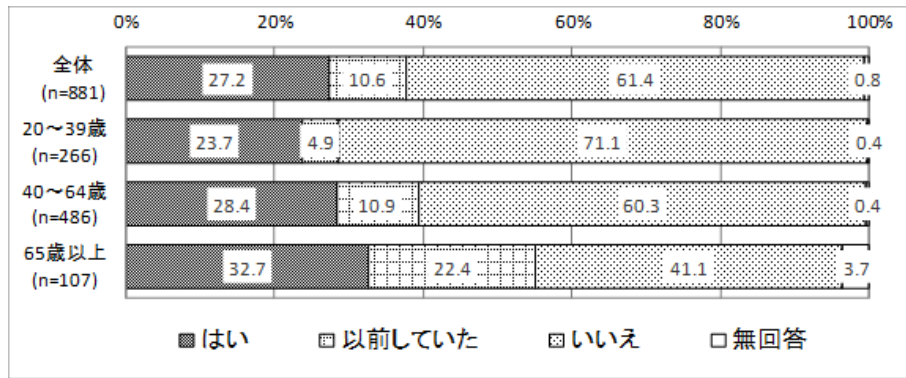


問1-1) (「はい」の方に伺います。) その情報は何で得ていますか。



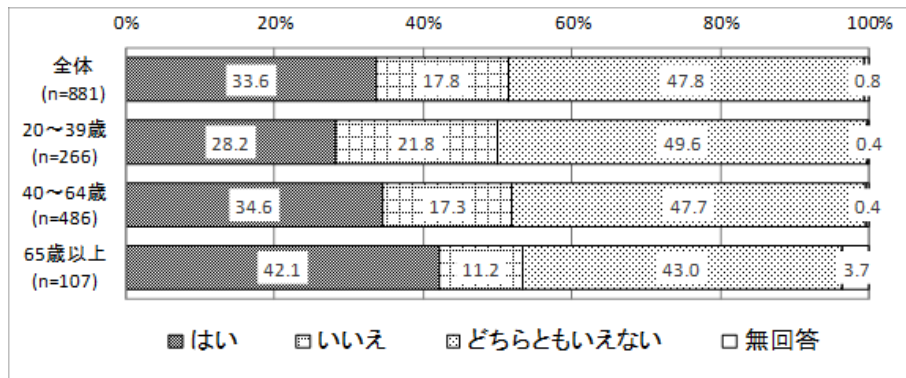


問2 地域の活動に参加していますか。



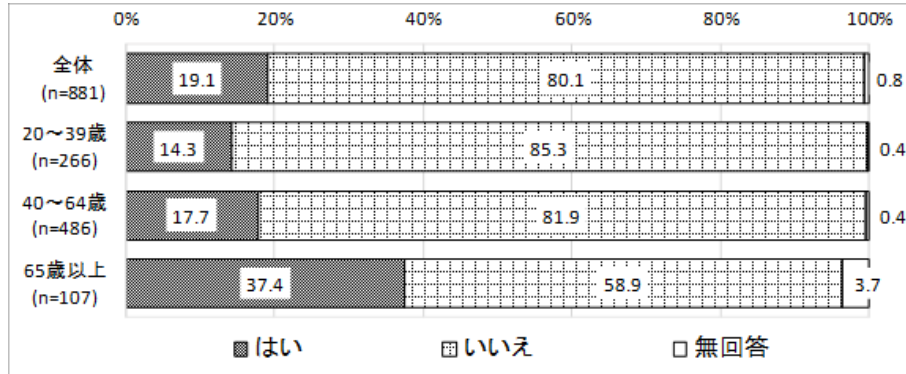
②地域での助け合い

問3 今住んでいる地域でお互いに助け合って生活していると思いますか。



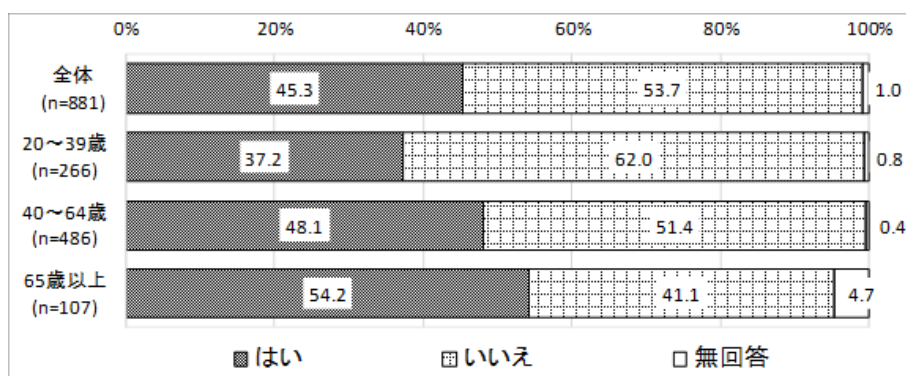
③趣味やスポーツ団体の活動

問4 過去半年以内に趣味やスポーツのサークルや団体の活動に参加しましたか。



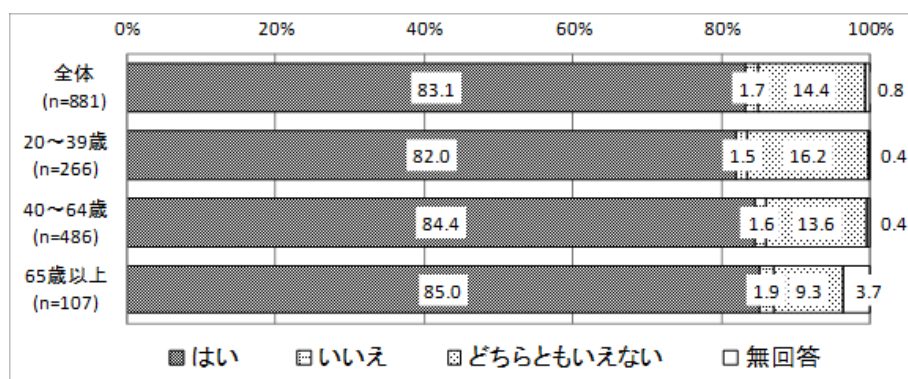
④ボランティア活動

問5 過去半年以内にボランティア活動をしましたか。(町内会の役員や早朝クリーン運動への参加等も含みます)

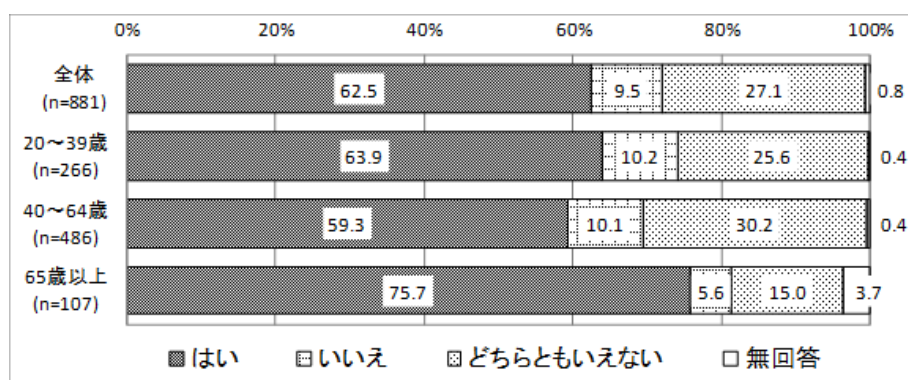


## ⑤コミュニケーション

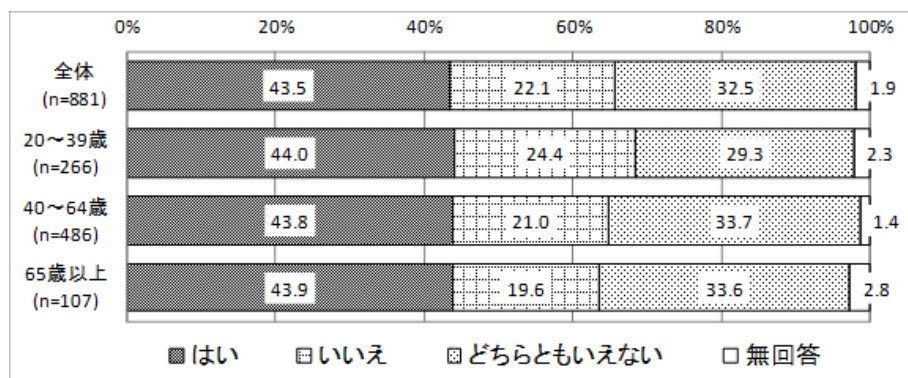
問6 生活の中で人とのつながりは必要だと思いますか。



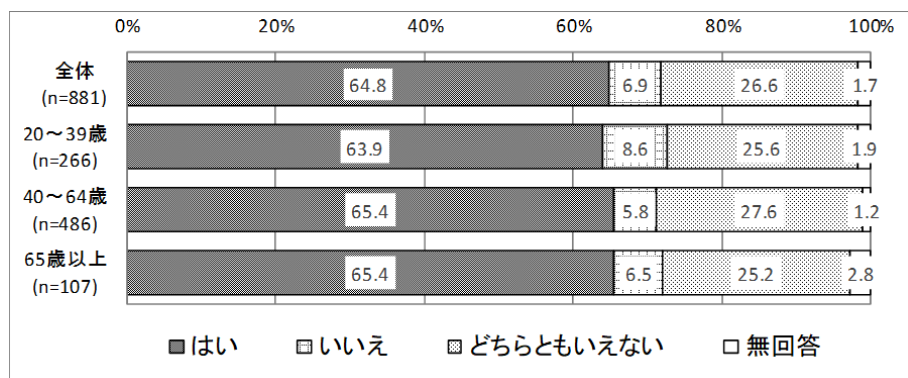
問7 人と気軽に会話していますか。



問8 人とうまくコミュニケーションをとる方法を知りたいと思いますか。

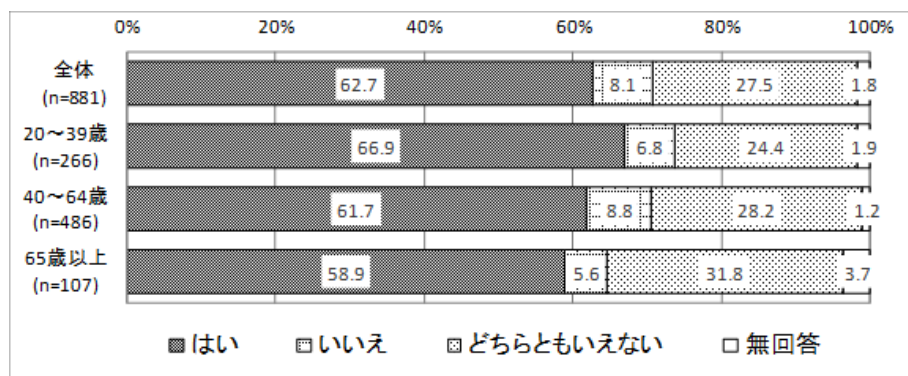


問9 誰かの役に立ちたいと思いますか。



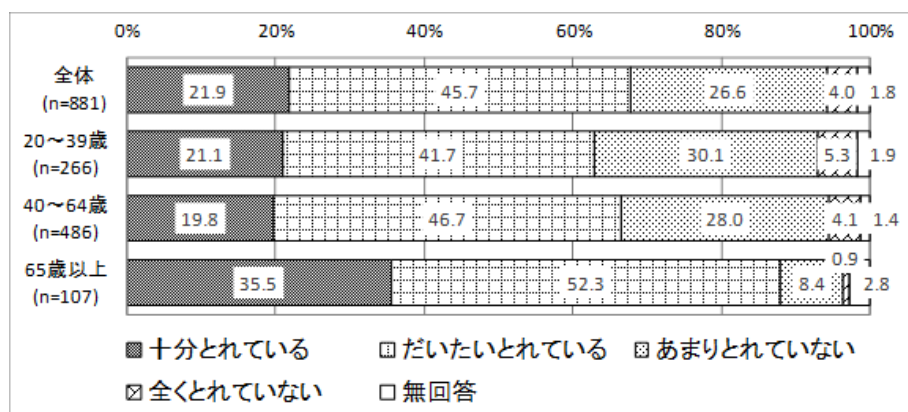
## ⑥生きがい

問10 生きがいを持って生活していますか。



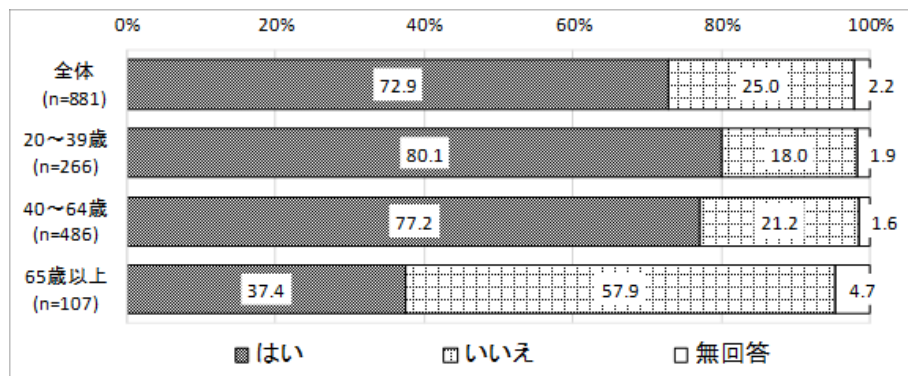
## ⑦休養

問11 この1ヶ月間、睡眠で休養が十分とれていますか。

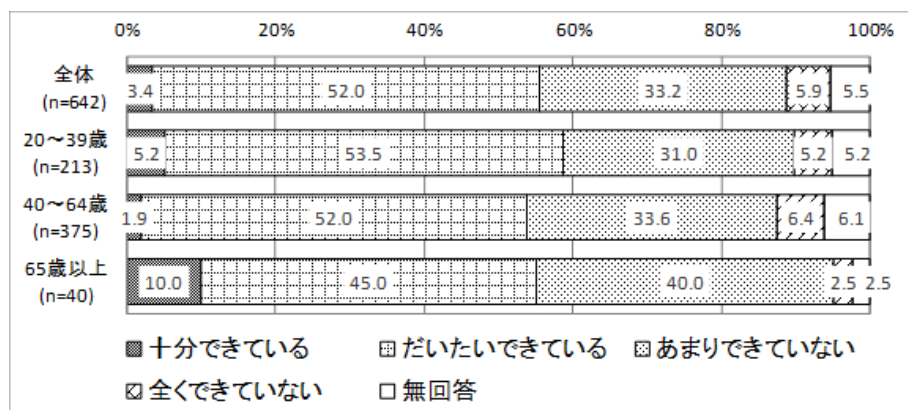


## ⑧ストレスや悩み

問12 この1ヶ月間にストレスや悩み、疲労感を感じることはありませんか。

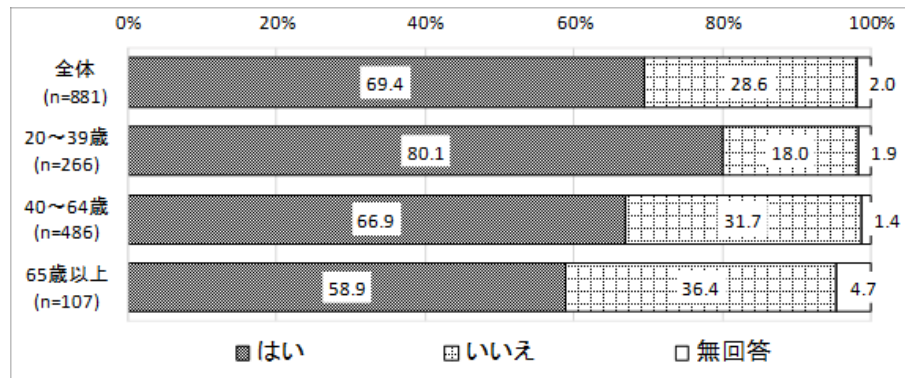


問12-2) (「はい」の方に伺います。) ストレスや悩み、疲労感を自分なりに解消できていると思いますか。

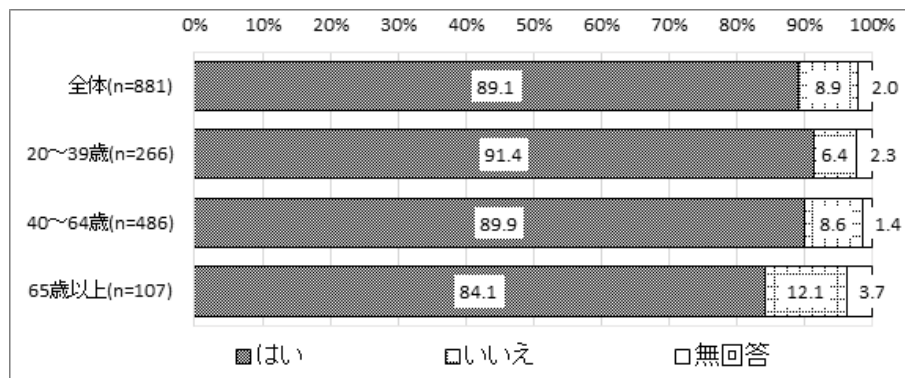


⑨相談できる相手

問13 悩み等を気軽に相談できる相手や支援してくれる人がいますか。

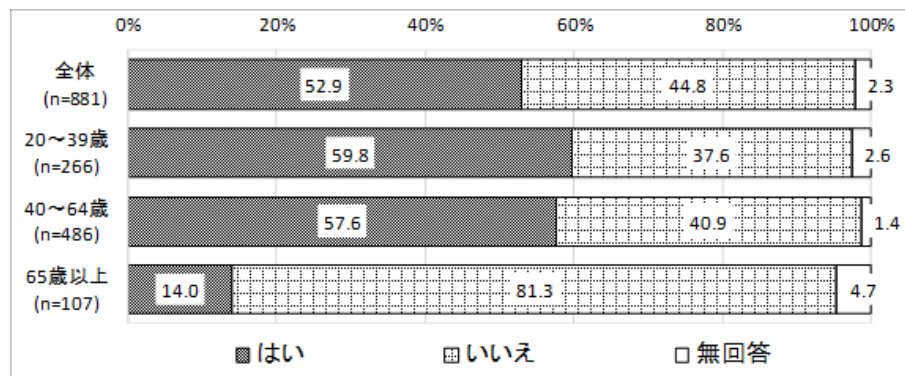


問14 相手に配慮した会話を心がけていますか。

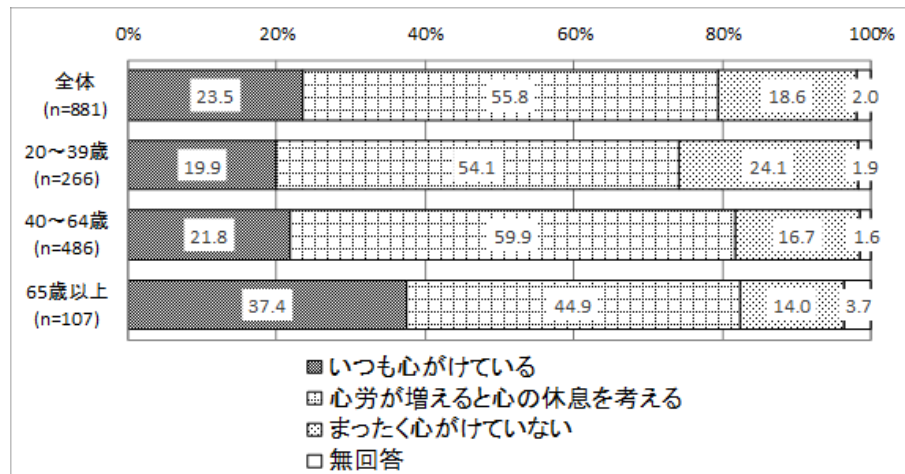


⑩こころの健康

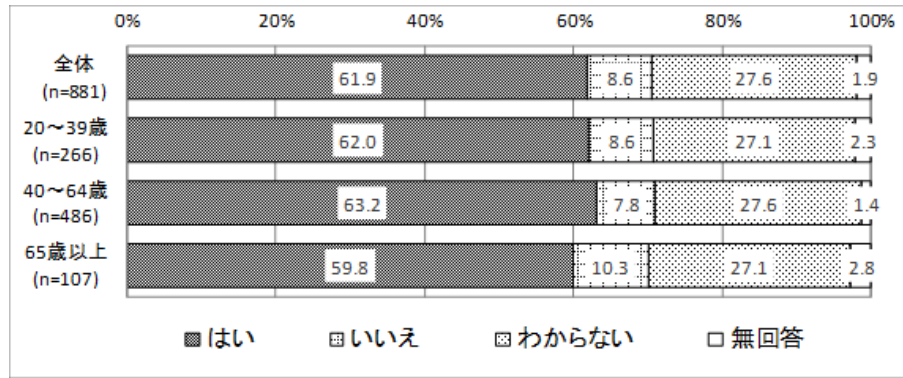
問15 何らかのストレスチェックをしたことがありますか。



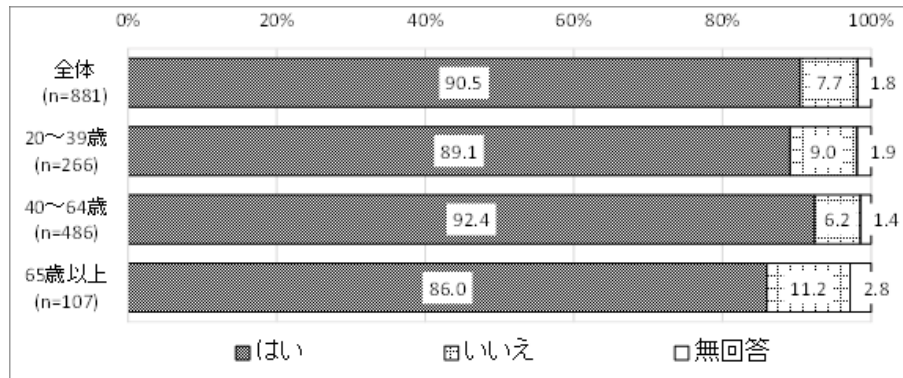
問16 自分の心の休息をとることを心がけていますか。



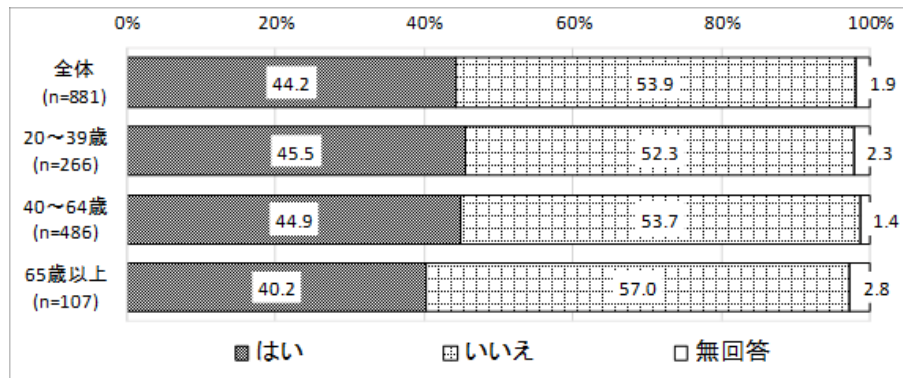
問17 自分や周りの人のこころの健康を気にかけていますか。



問18 心の病気(うつ病など)や認知症について知っていますか。



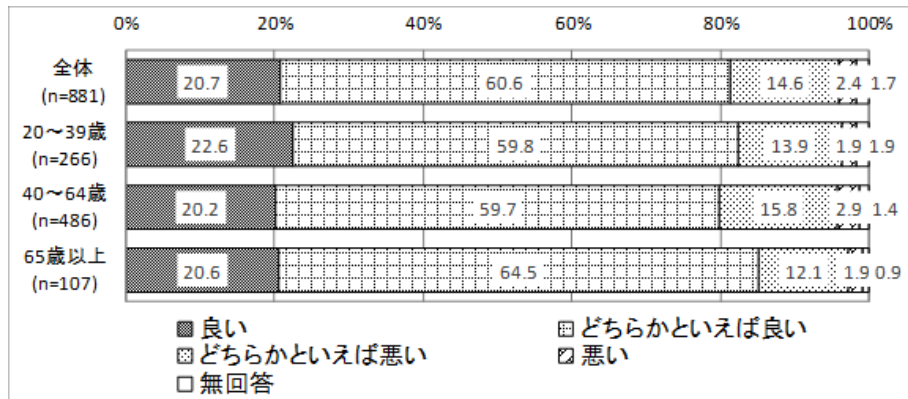
問19 心の相談窓口を知っていますか。



## (6) 生活習慣について

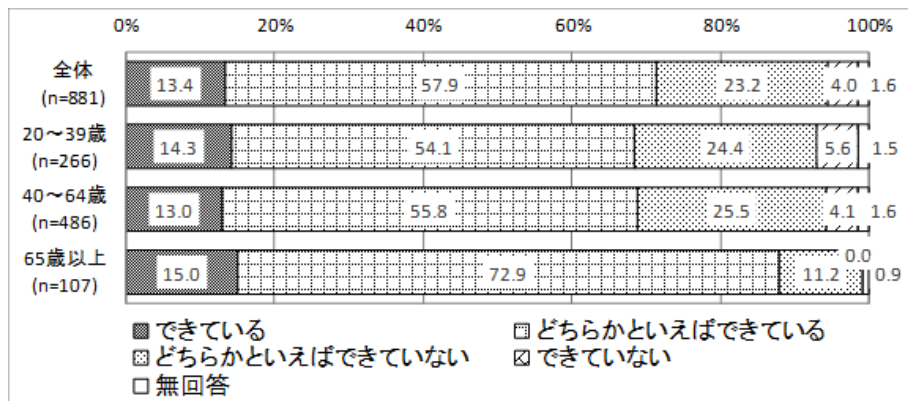
### ①日頃の健康状態

問1 日頃の健康状態は良いですか。



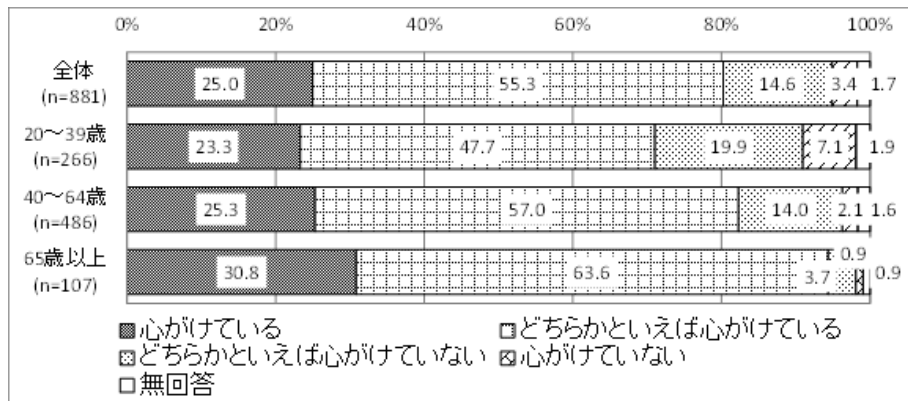
### ②健康管理

問2 自分の健康管理はできていますか。



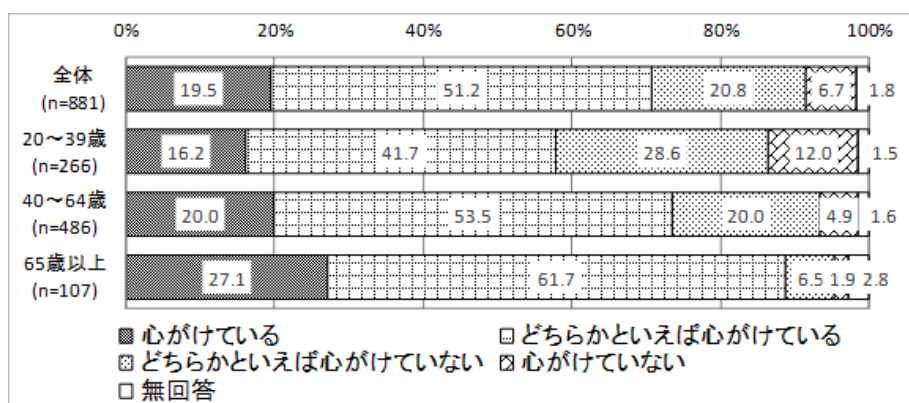
### ③規則正しい生活

問3 規則正しい生活を送るよう心がけていますか。



#### ④健康の知識

問4 健康の知識を得るように心がけていますか。

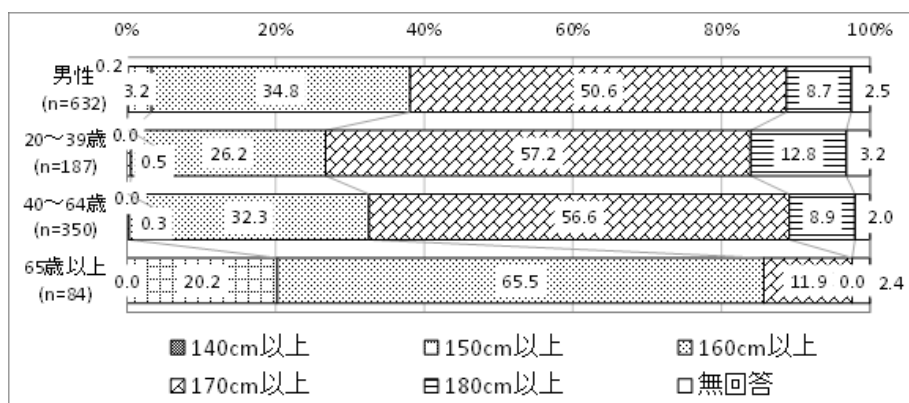


#### ⑤身長と体重

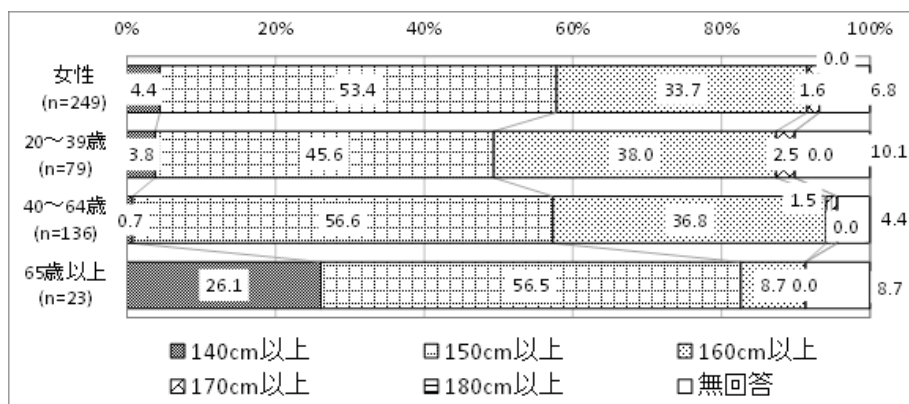
問5 現在の身長、体重をご記入下さい。

【身長】

■男性

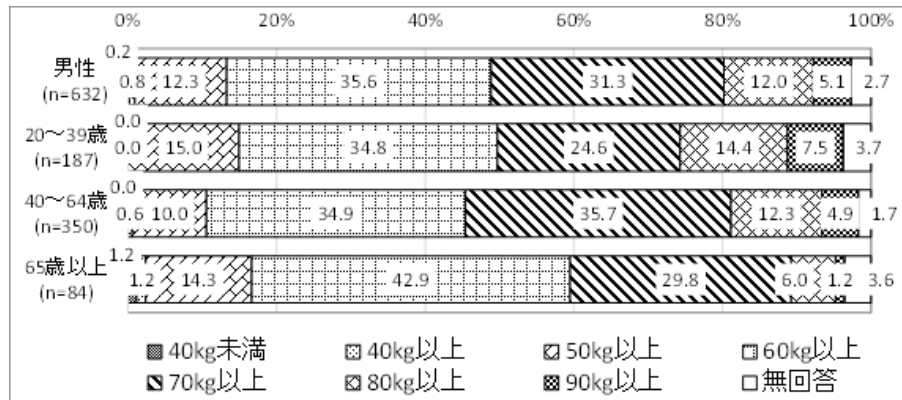


■女性

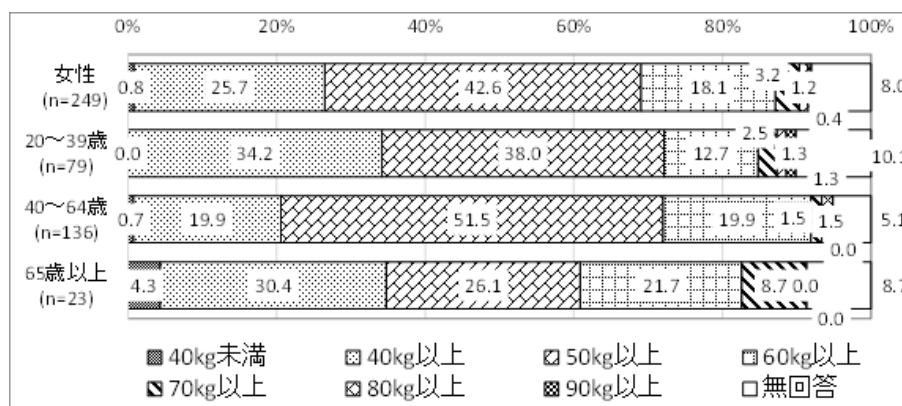


【体重】

■男性

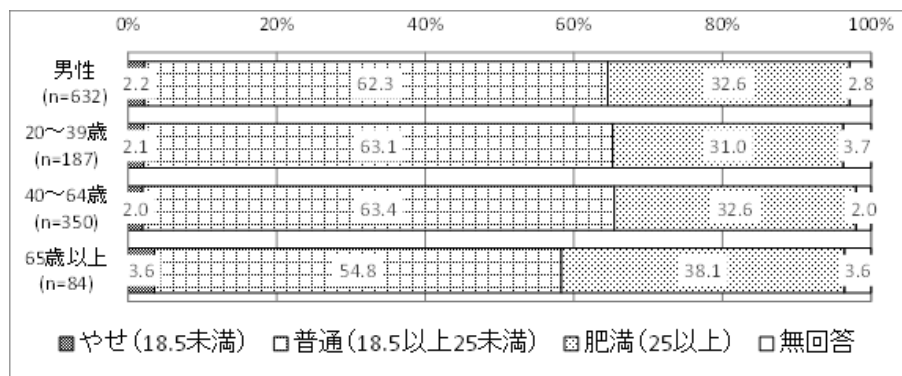


■女性

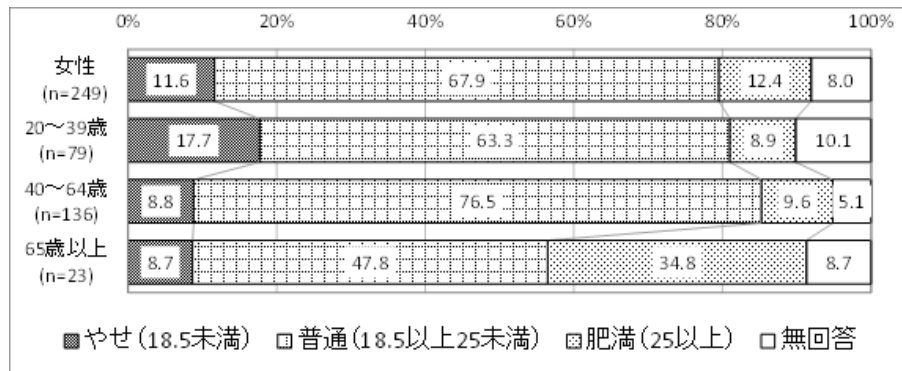


【BMIによる分類】

■男性

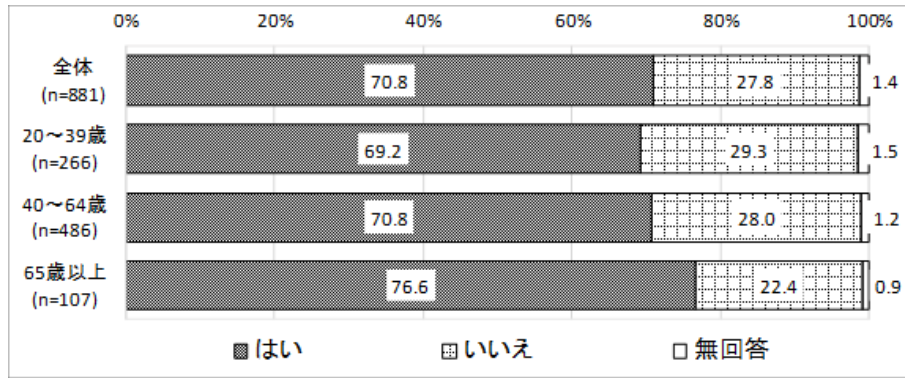


■女性

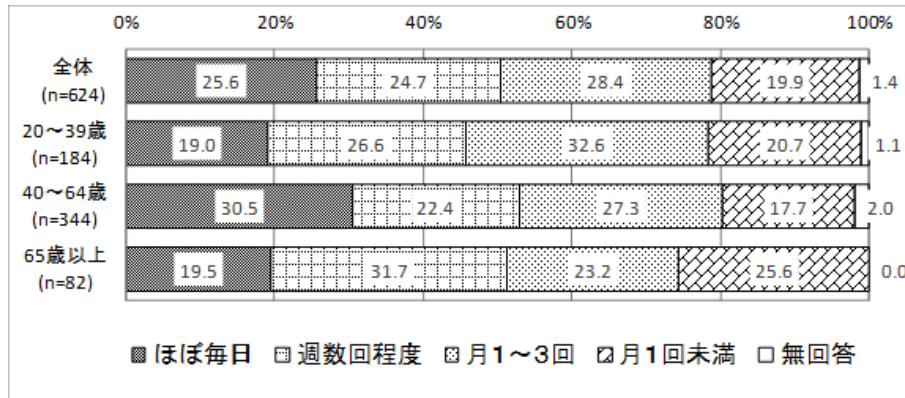




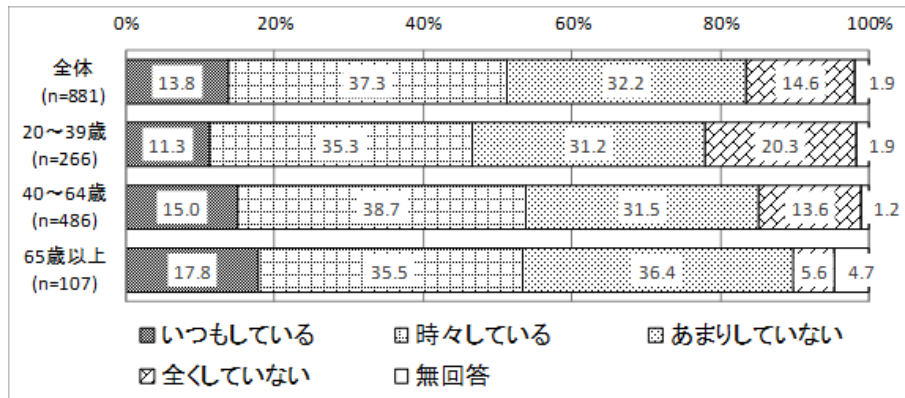
問6 体重を計っていますか。



問6-1) (「はい」の方に伺います。) どの位の頻度で測定していますか。

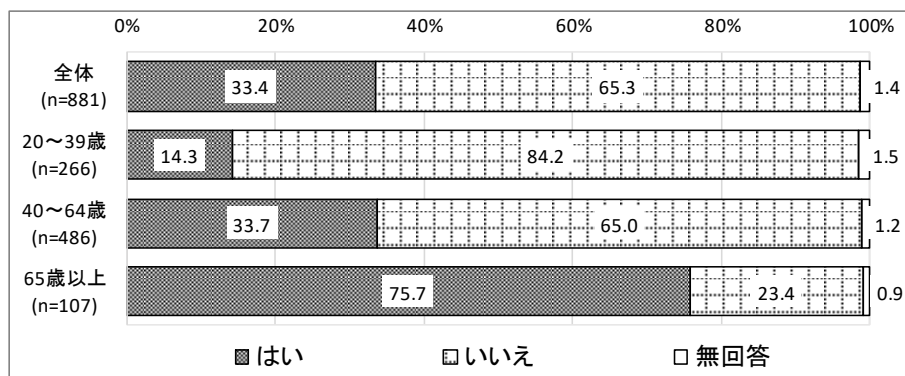


問7 自分がちょうどよいと思っている体重に近づく(維持する)為に、何か実践していますか。

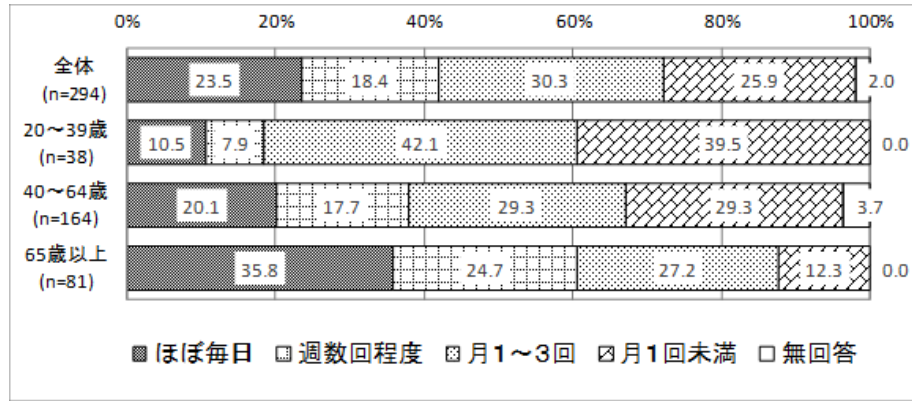


⑥血圧値

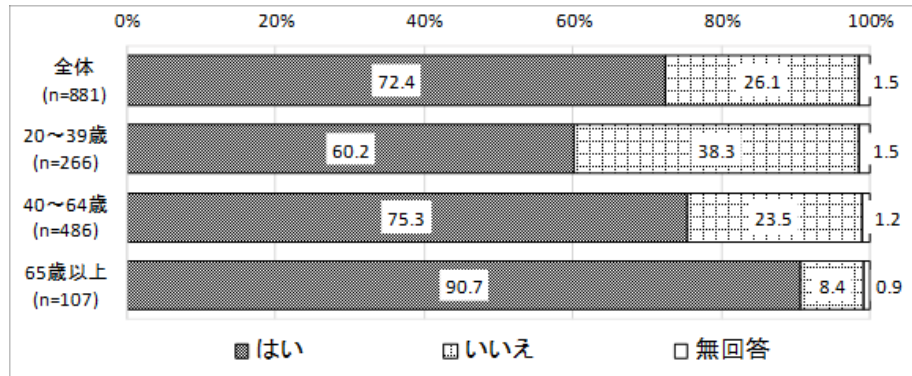
問8 血圧を計っていますか。



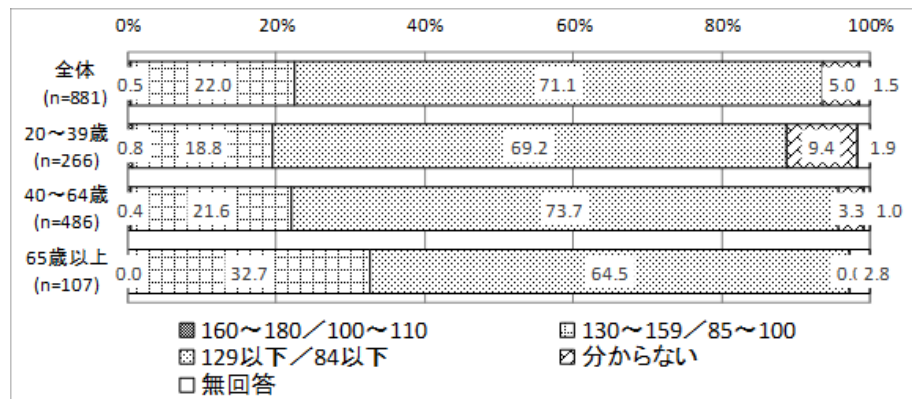
問8-1) (「はい」の方に伺います。) どの位の頻度で測定していますか。



問9 自分の血圧値を知っていますか。



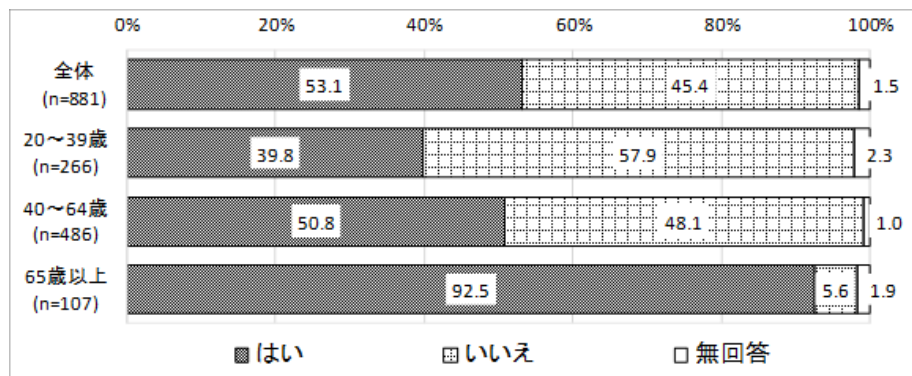
問10 正常な血圧値はどの値だと思いますか。



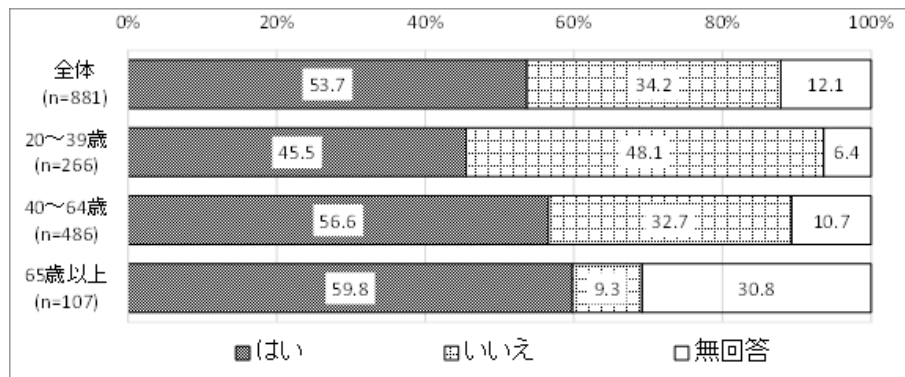
⑦かかりつけ医

問11 かかりつけ医はいますか。

【内科医】

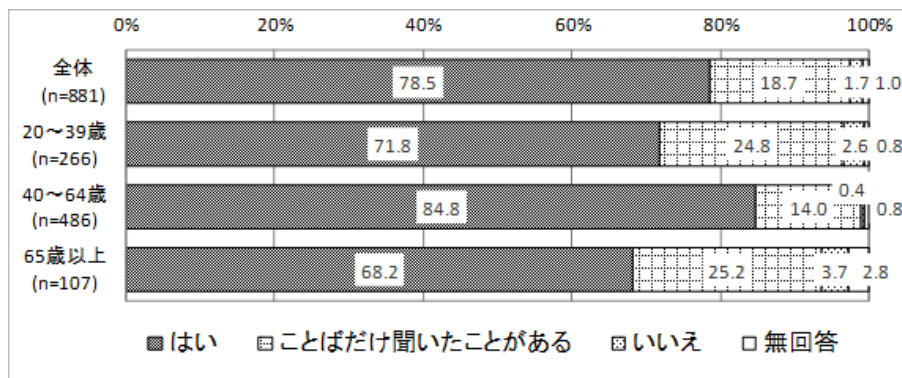


【歯科医】



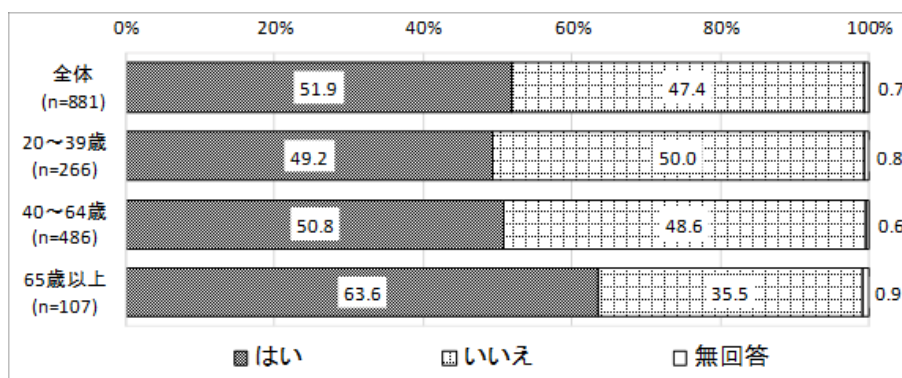
⑧メタボリックシンドローム

問12 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を知っていますか。

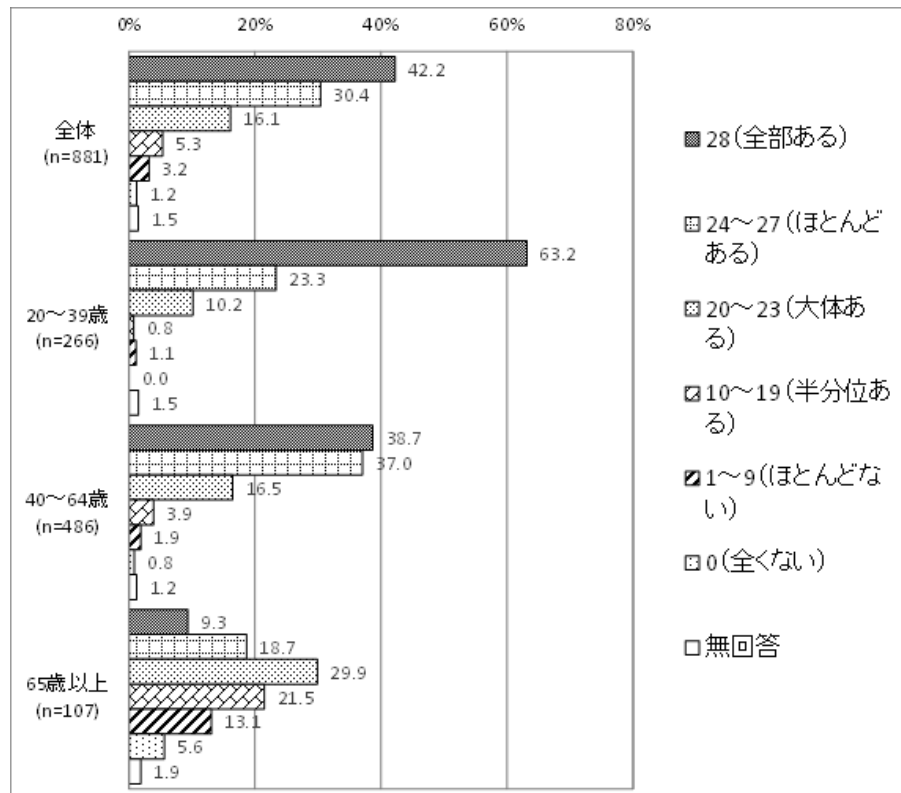


⑨歯の健康

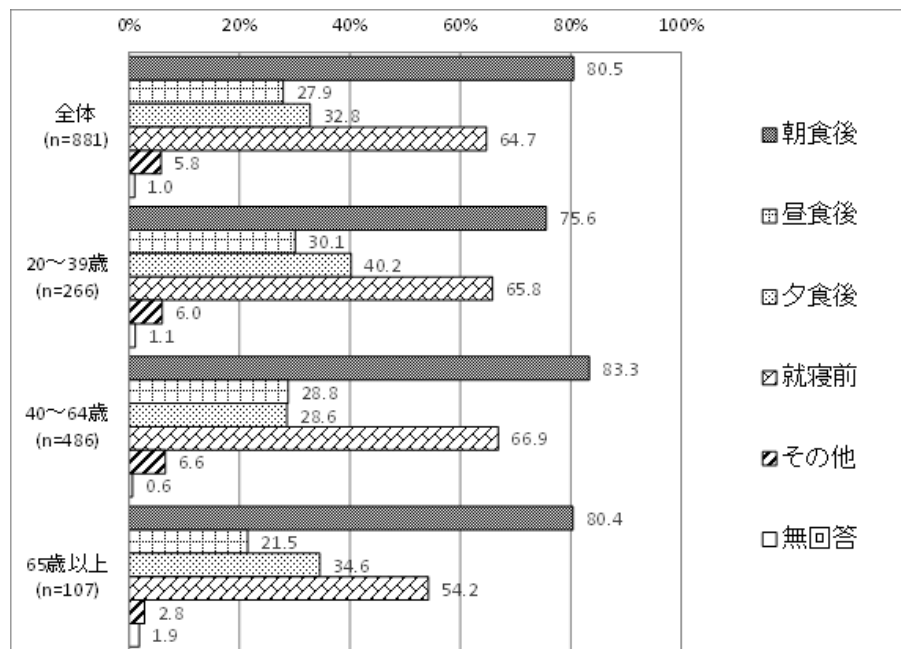
問13 過去1年間に歯科検診を受けましたか。



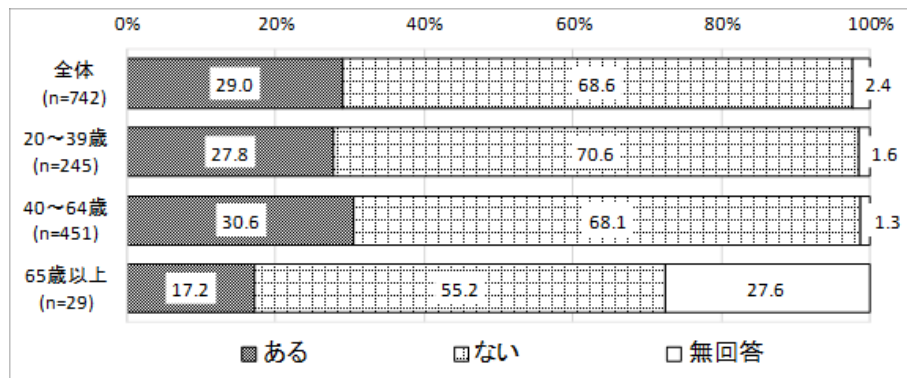
問14 あなたの歯の状況(歯の本数)を数え



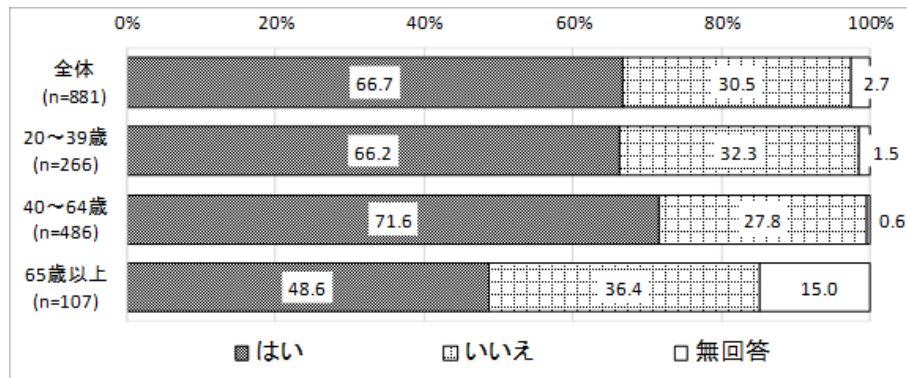
問15 歯みがきや入れ歯の清掃をいつしていますか。



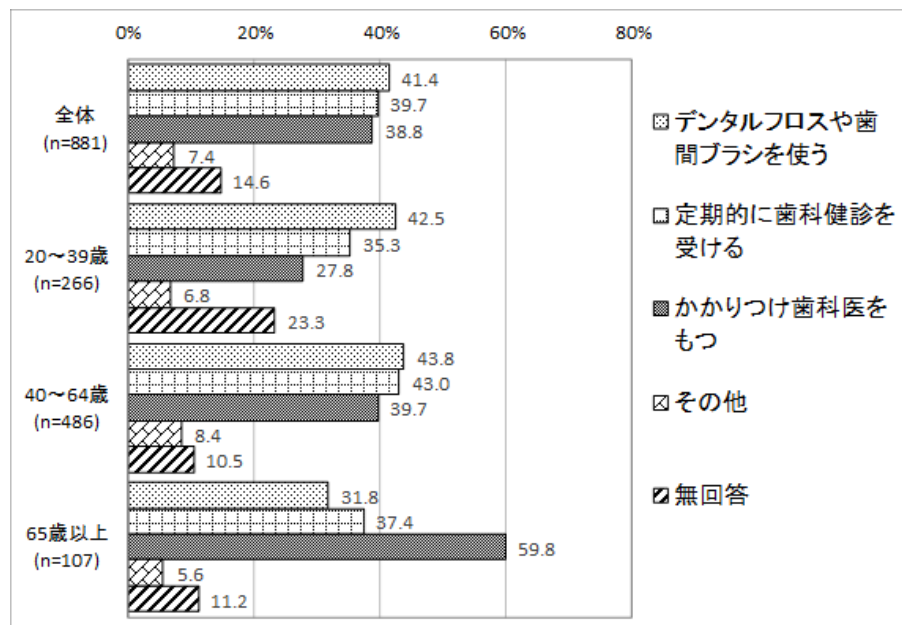
問16 (就労している方にお伺いします。) 職場で食後に歯みがきをする習慣がありますか。



問17 正しいブラッシング方法について学んだことがありますか。

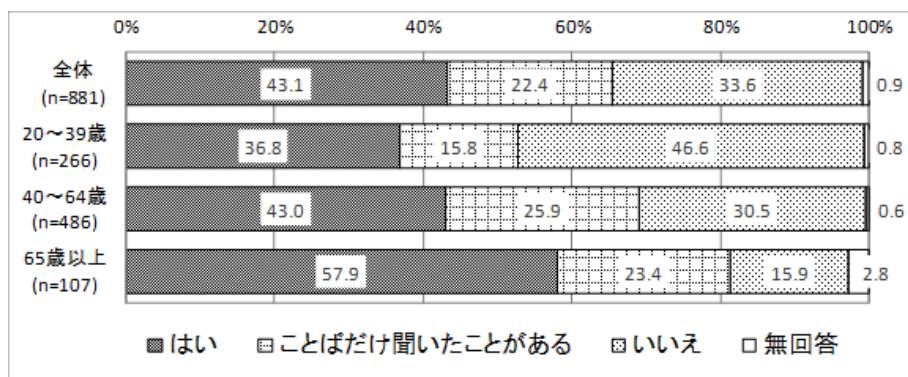


問18 歯の健康のために気を付けていることはありますか。



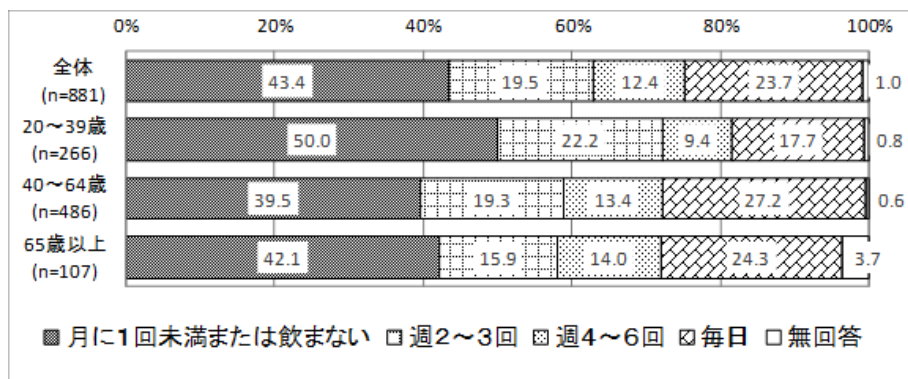
## ⑩誤嚥性肺炎

問19 誤嚥性肺炎を知っていますか。

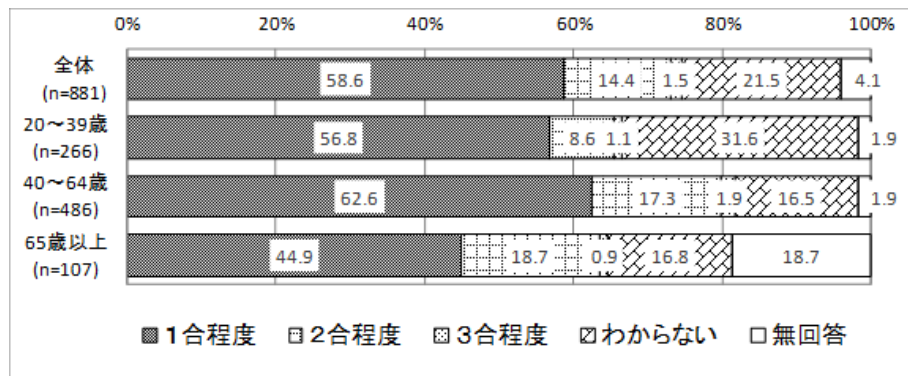


## ⑪飲酒

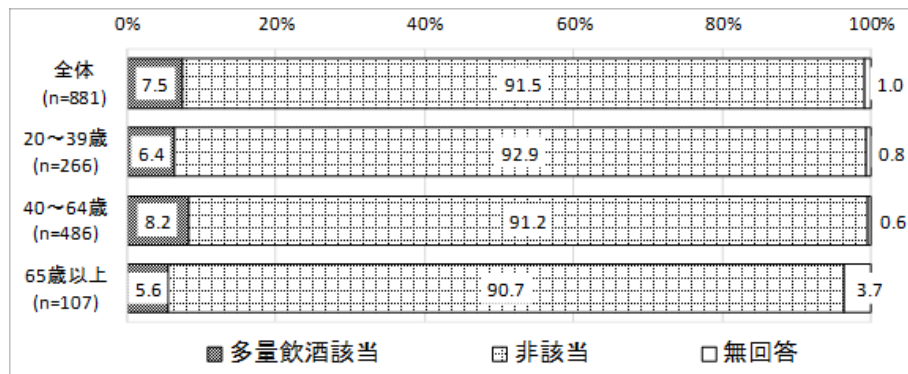
問20 お酒をどのぐらいの頻度で飲みますか。



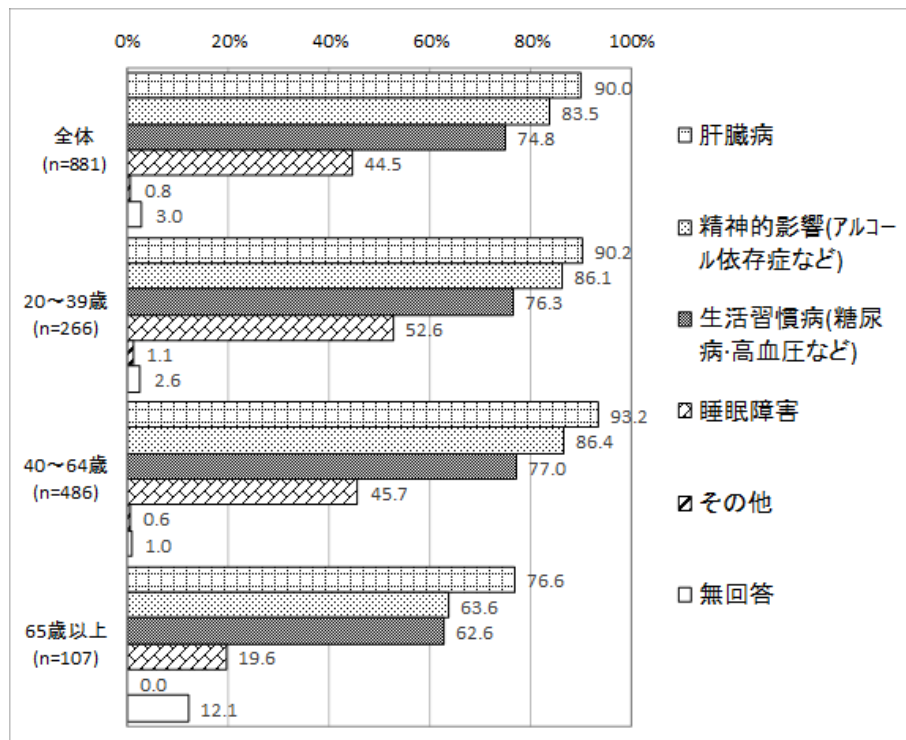
問21 「節度ある適度な飲酒」の量は、日本酒に換算して1日何合程度だと思いますか。



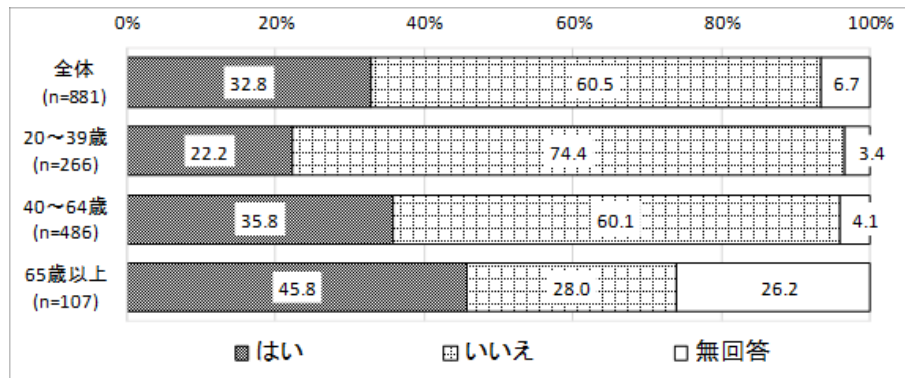
## 【飲酒量】



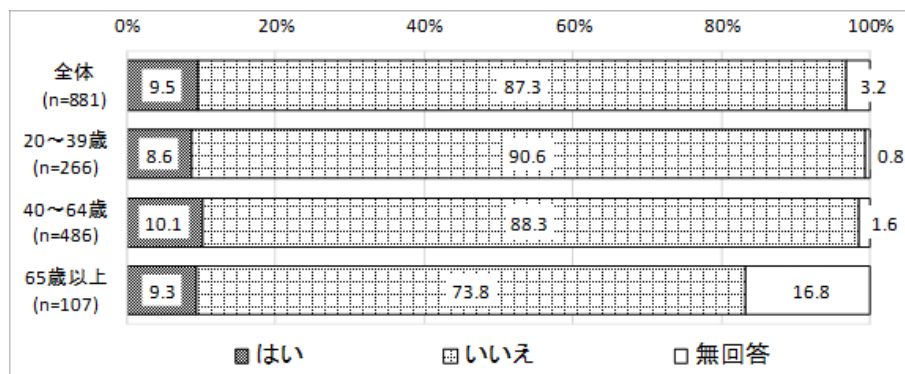
問22 多量の飲酒が健康に及ぼす影響を知っていますか？



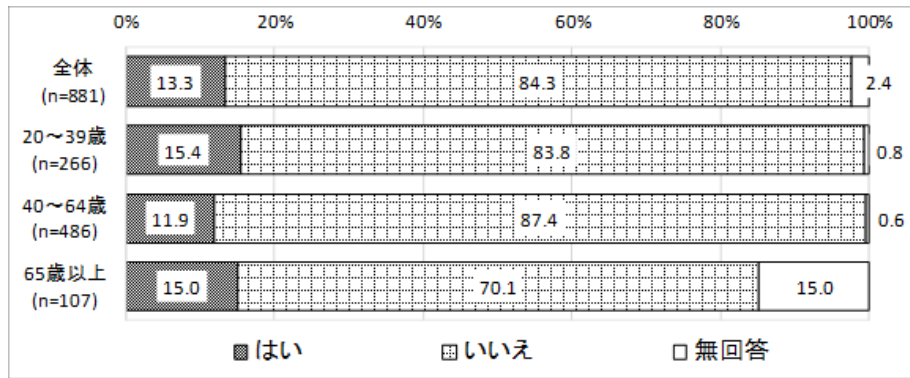
問23 お酒を飲む時に、健康に配慮したおつまみを選ぶように心がけていますか。



問24 節酒に関する相談窓口を知っていますか。

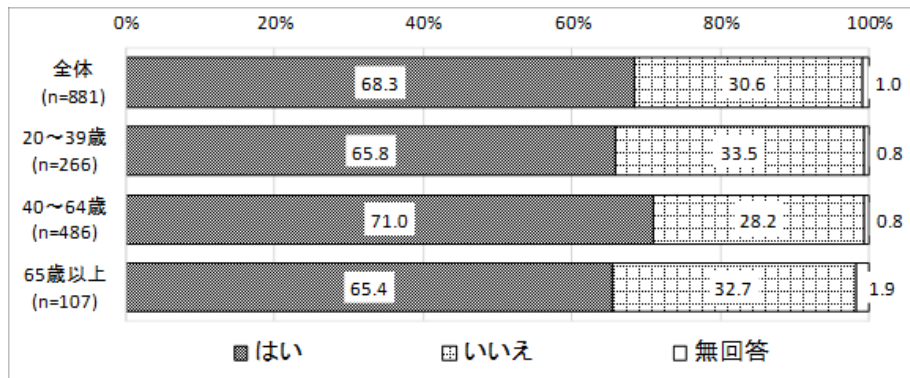


問25 職場や家庭で無理に飲酒を勧められたことはありますか。

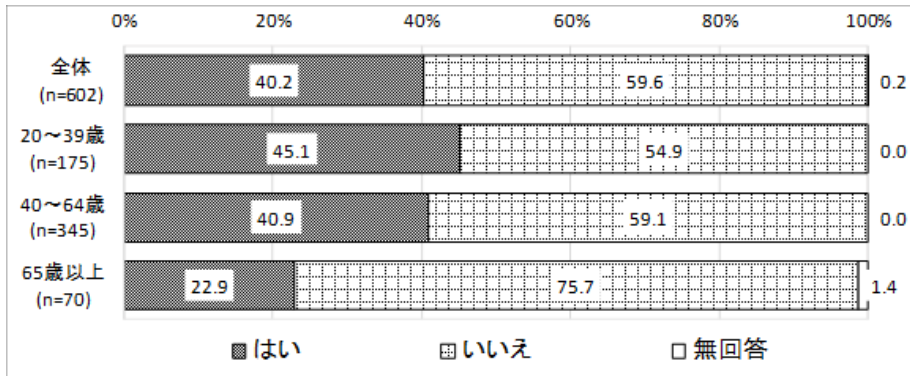


⑫喫煙

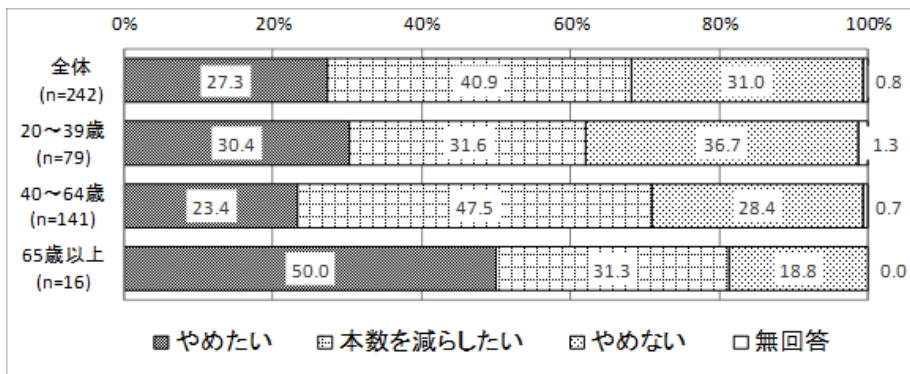
問26 これまでにたばこを吸ったことがありますか。



問26-1) (「はい」の方に伺います。) 現在もたばこを吸っていますか。

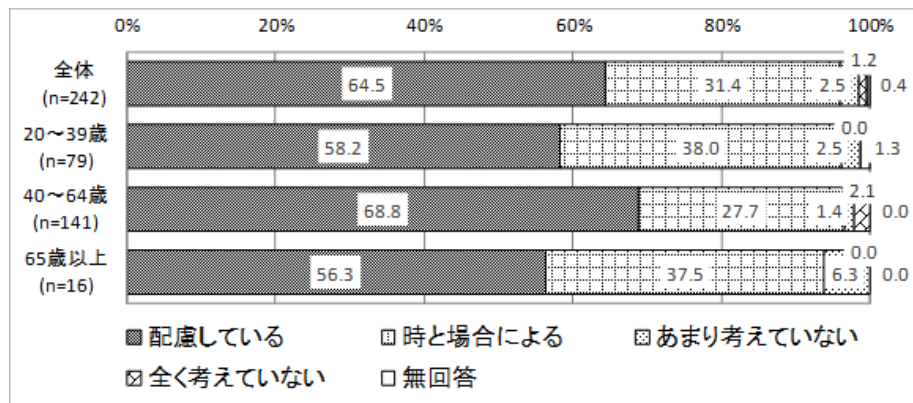


問26-2) (上記で「はい」の方に伺います。) 今後どのようにしたいと思っていますか。

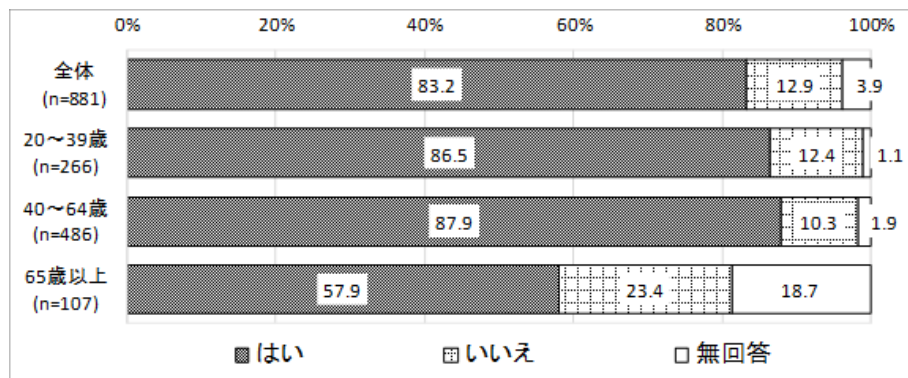




問26-3) (上記で「はい」の方に伺います。) 周りの人に配慮して吸っていますか。

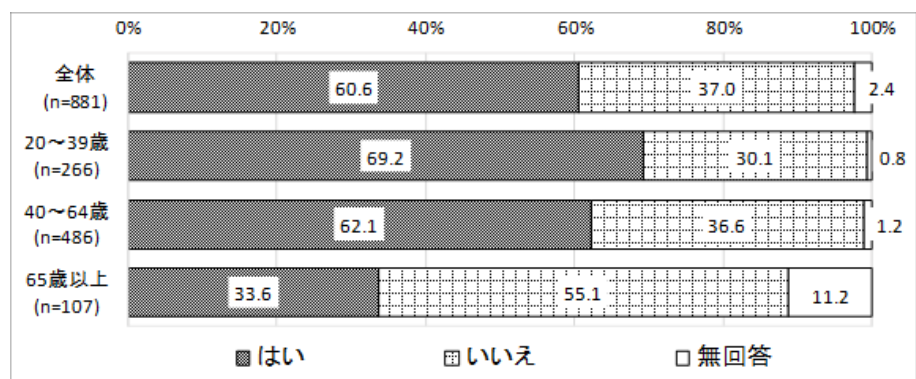


問27 禁煙補助用品(ガムやパッチなど)や禁煙外来を知っていますか。

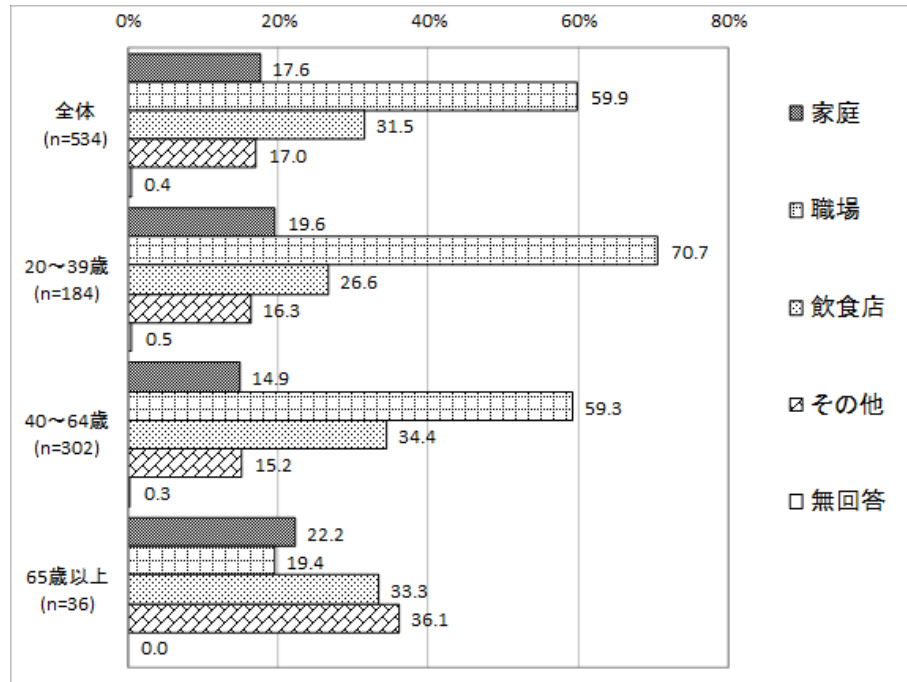


⑬受動喫煙

問28 この1週間に自分以外の人のたばこの煙を吸う機会(受動喫煙)がありましたか。

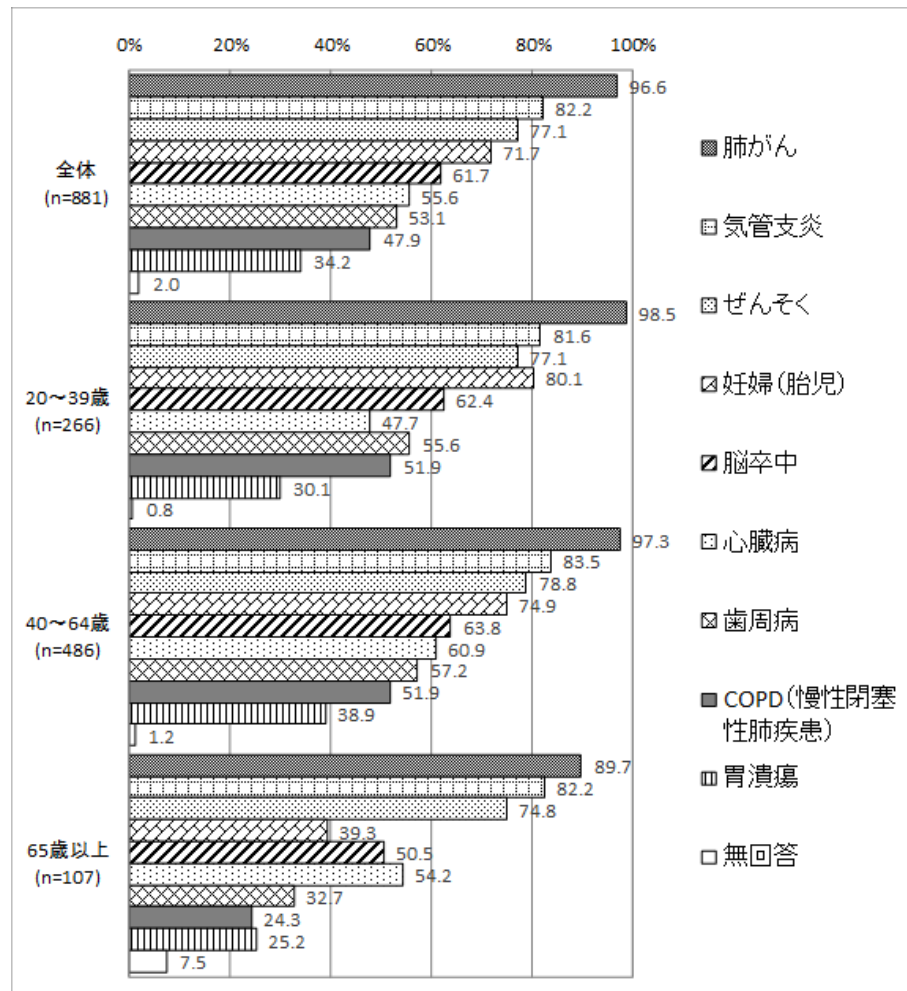


問28-1) (「はい」の方に伺います。) それはどの場所でしたか。



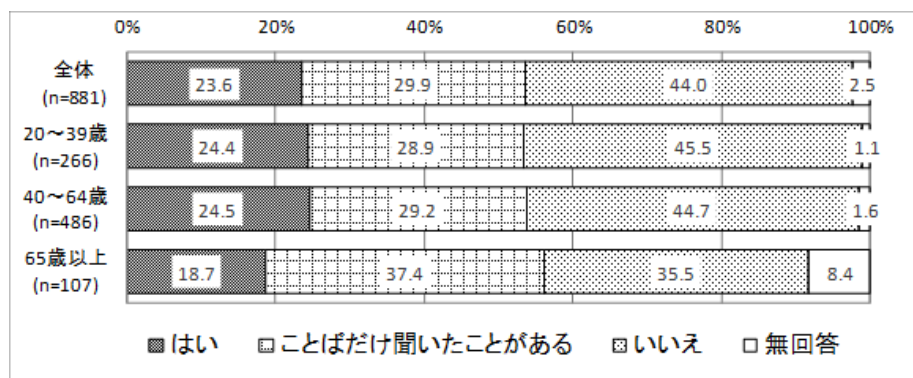
⑭たばこの影響

問29 たばこが影響を与えると思うもの



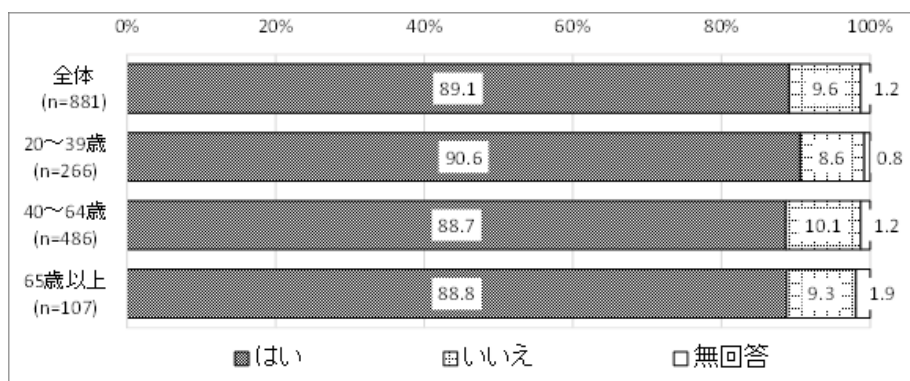
### ⑮ COPDの認知度

問30 COPD(慢性閉塞性肺疾患)を知っていますか。

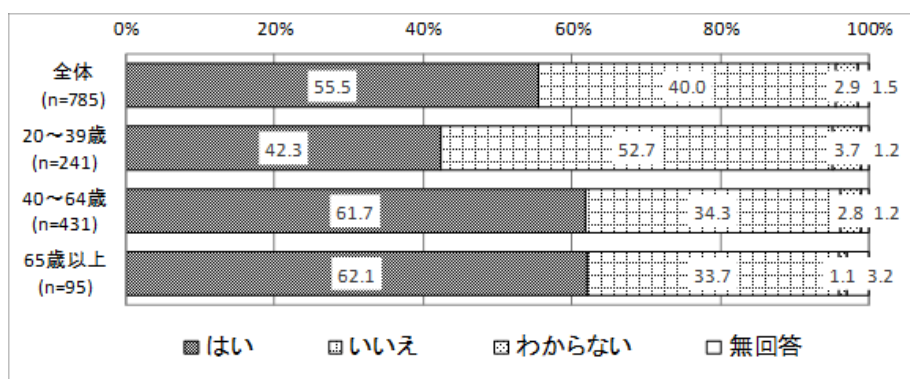


### ⑯健康診断

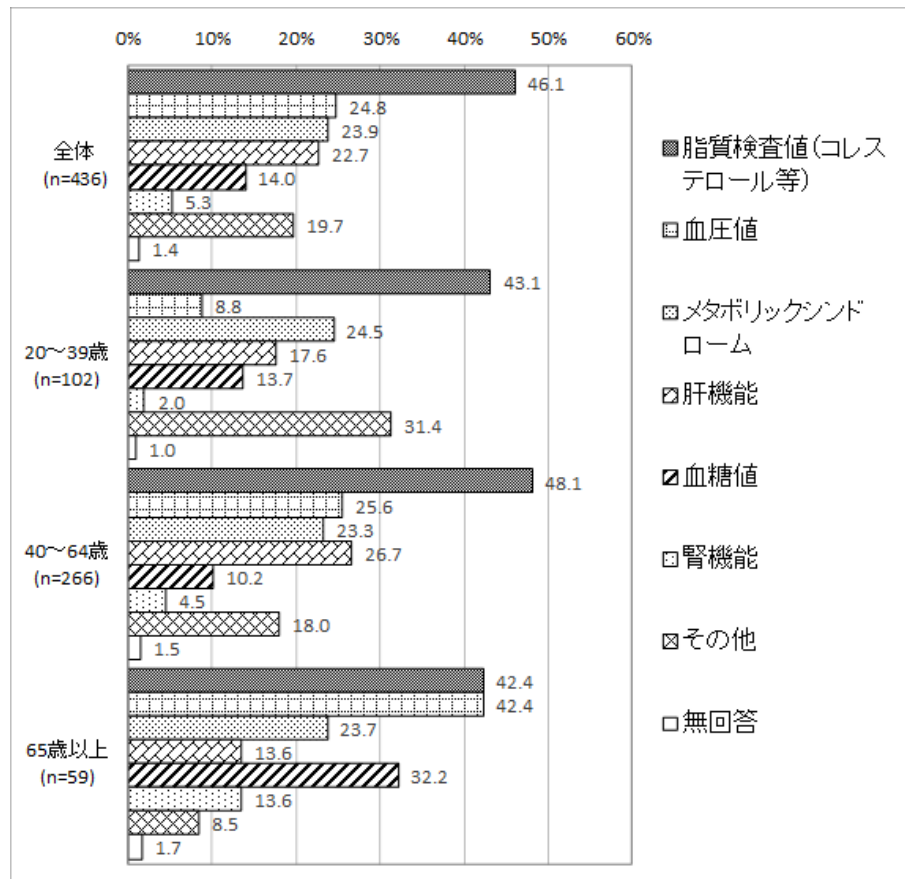
問31 過去1年間に、健康診断(査)を受けましたか。(がん検診を除く)



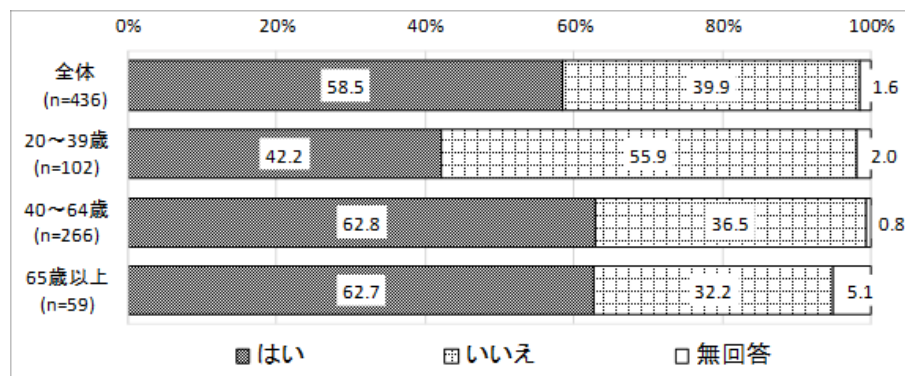
問31-1) (「はい」の方に伺います。) 健診の結果で指摘された検査項目はありますか。



問31-2) (「はい」の方に伺います。) 指摘された項目についてあてはまるもの

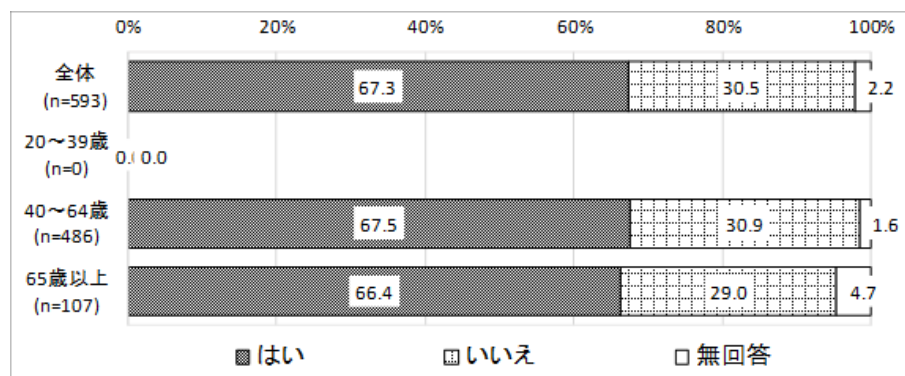


問31-3) (「はい」の方に伺います。) 必要な受診や保健指導を受けましたか。

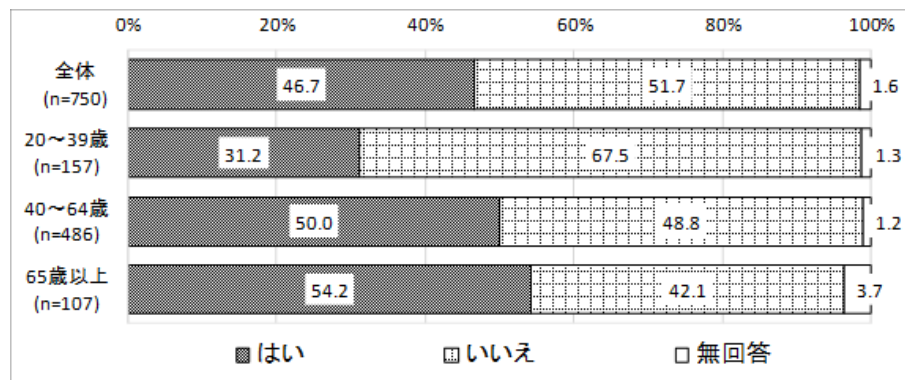


⑰がん検診

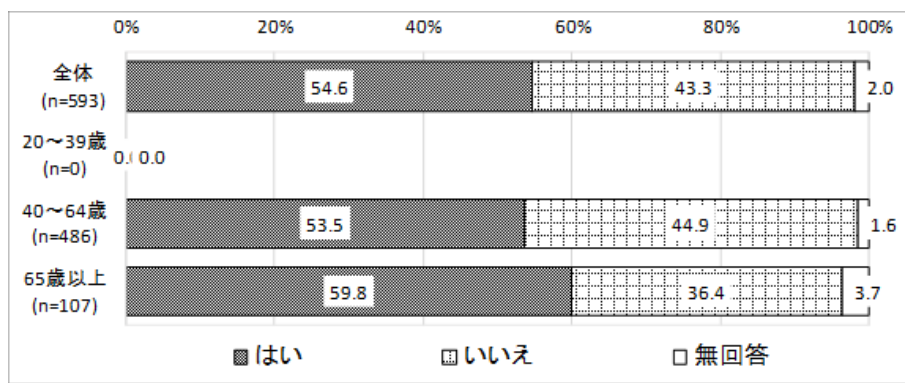
問32-1) 肺がん検診(胸部レントゲン・喀痰検査)を受けましたか。



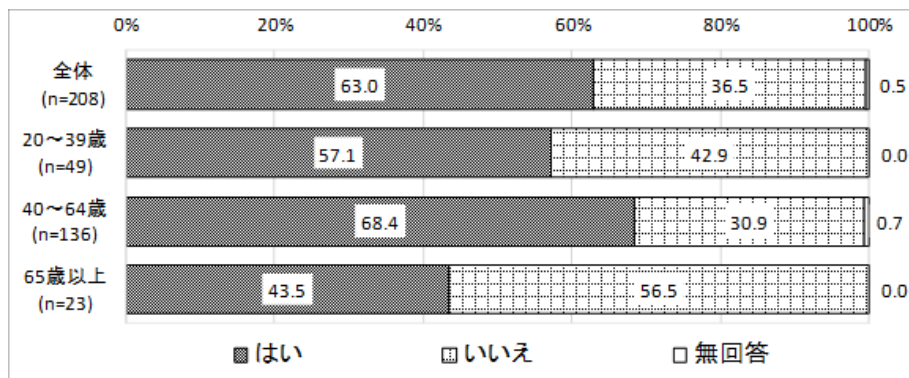
問32-2) 大腸がん検診を受けましたか。



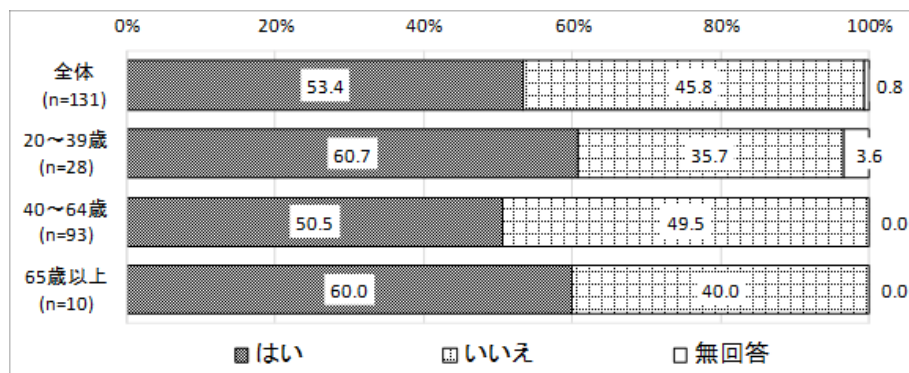
問32-3) 胃がん検診を受けましたか。



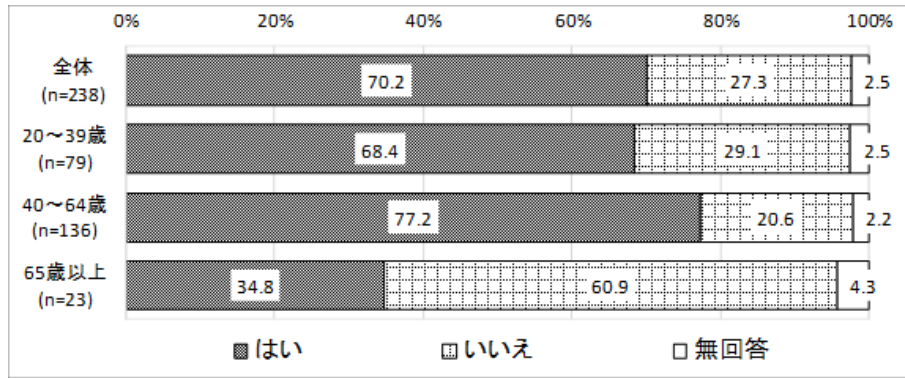
問32-4) 乳がん検診を受けましたか。



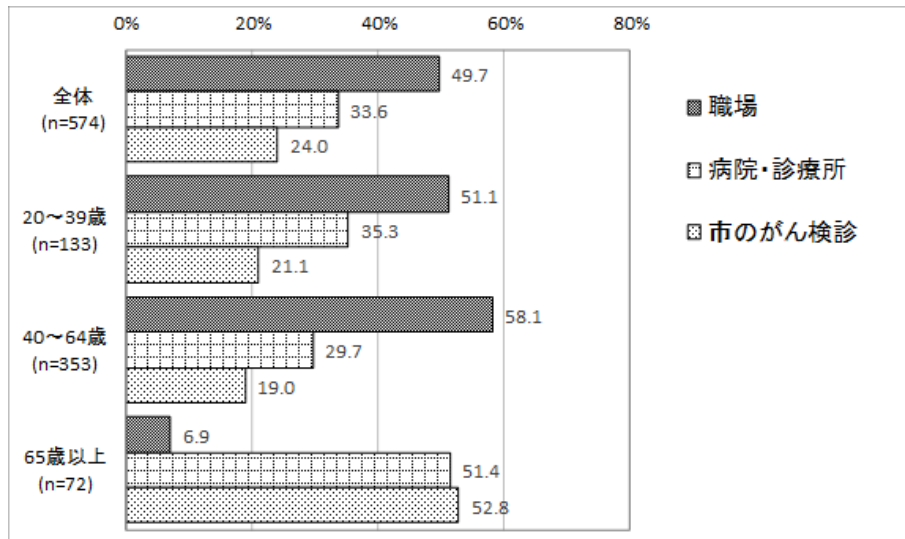
問32-5) (乳がん検診を受けた方に)自己検診をしていますか。



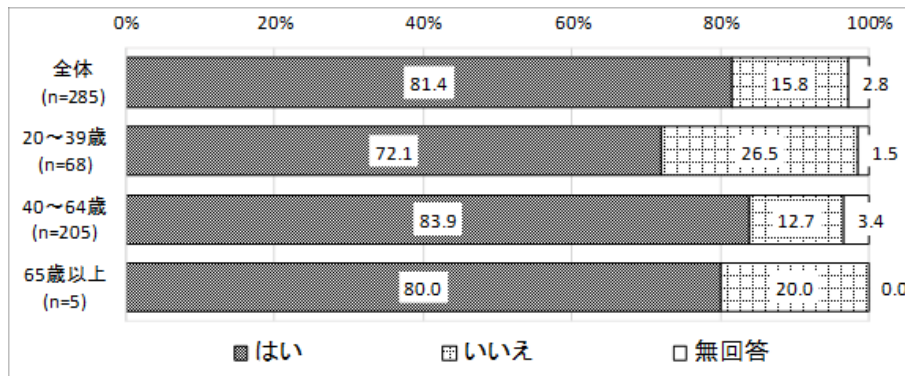
問32-6) 子宮がん検診を受けましたか。



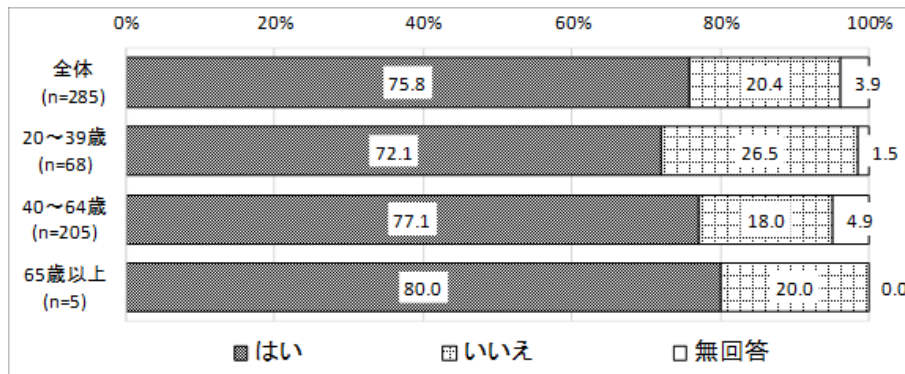
問33 どこでがん検診を受けましたか。



問33-1) (「職場」の方に伺います。) 職場ではがん検診の受診をすすめていますか。



問33-2) (「職場」の方に伺います。) 検診のために休暇がとりやすい職場だと感じますか。

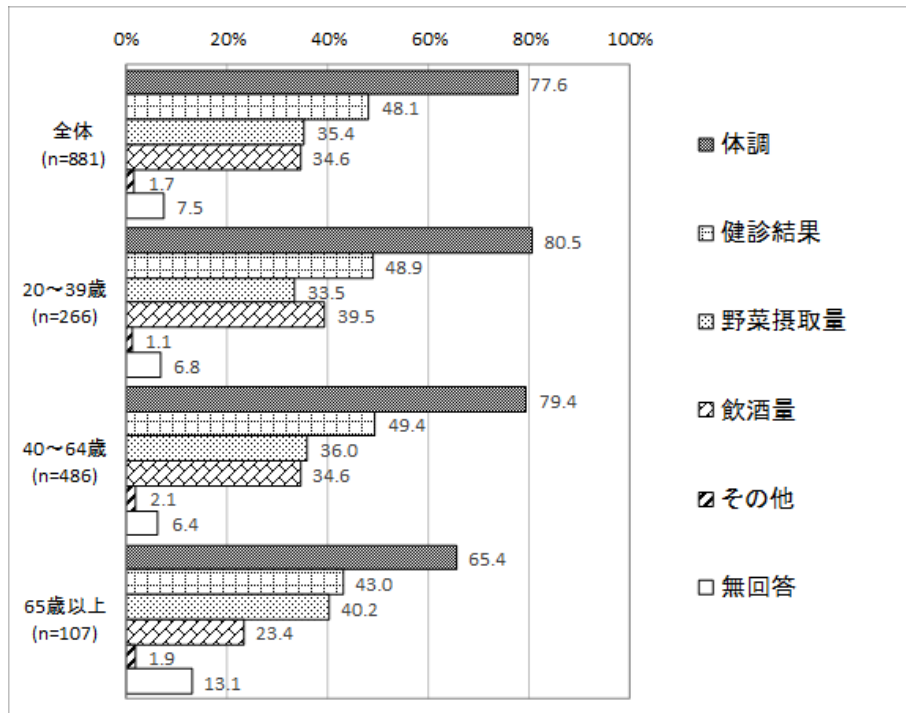


## (7) 健康についての話題

問34 家族や友人など周りの人と話題にすることのある項目を選んでください。

全体 (n=881)	1	2	3	4	5	6	7
	体調	食生活	健康維持の方法	健康診断(査)	野菜料理や野菜の摂り方	歯みがき	がん検診
	69.0	51.9	30.5	27.8	24.5	18.6	16.6
	8	9	10	11	12	13	14
	禁煙	たばこの健康への影響	よく噛むこと	歯科健診	誤嚥性肺炎	義歯の手入れ	その他
14.4	14.1	12.1	9.6	2.8	1.7	2.3	
20～39歳 (n=266)	1	2	3	4	5	6	7
	体調	食生活	健康維持の方法	健康診断(査)	野菜料理や野菜の摂り方	歯みがき	禁煙
	65.0	53.4	27.4	22.2	21.4	20.3	14.7
	8	9	10	11	12	13	14
	がん検診	たばこの健康への影響	よく噛むこと	歯科健診	誤嚥性肺炎	義歯の手入れ	その他
12.4	11.7	10.9	9.0	2.3	1.9	3.0	
40～64歳 (n=486)	1	2	3	4	5	6	7
	体調	食生活	健康維持の方法	健康診断(査)	野菜料理や野菜の摂り方	歯みがき	がん検診
	72.8	53.1	31.5	29.4	23.5	17.7	16.3
	8	9	10	11	12	13	14
	たばこの健康への影響	禁煙	よく噛むこと	歯科健診	誤嚥性肺炎	義歯の手入れ	その他
15.4	14.4	9.3	8.4	1.4	0.8	2.1	
65歳以上 (n=107)	1	2	3	4	5	6	7
	体調	食生活	野菜料理や野菜の摂り方	健康維持の方法	健康診断(査)	がん検診	よく噛むこと
	61.7	46.7	38.3	35.5	35.5	29.9	28.0
	8	9	10	11	12	13	14
	歯みがき	歯科健診	たばこの健康への影響	禁煙	誤嚥性肺炎	義歯の手入れ	その他
19.6	16.8	15.0	15.0	10.3	3.7	1.9	

問35 家族の健康状態について把握している項目を選んでください。



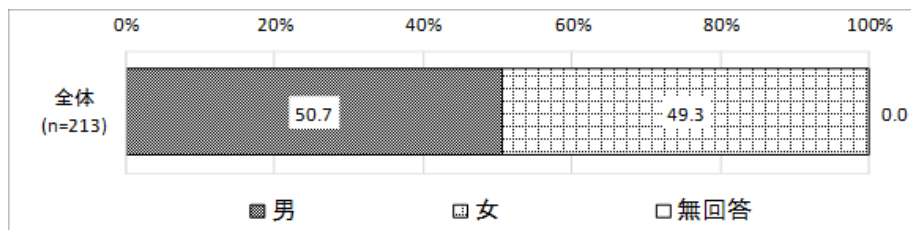


### 3. 中学2年生の保護者調査結果

#### (1) 回答者および対象者の属性

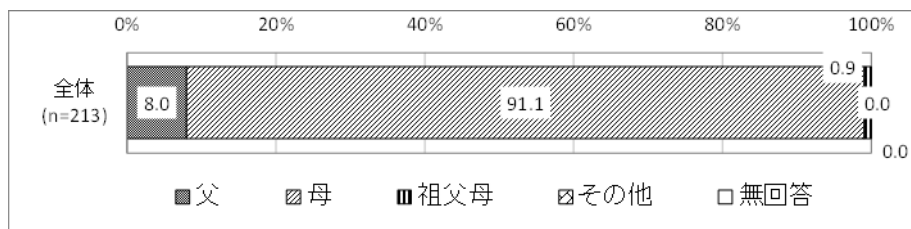
##### ①性別

お子さんの性別を教えてください。



##### ②記入者

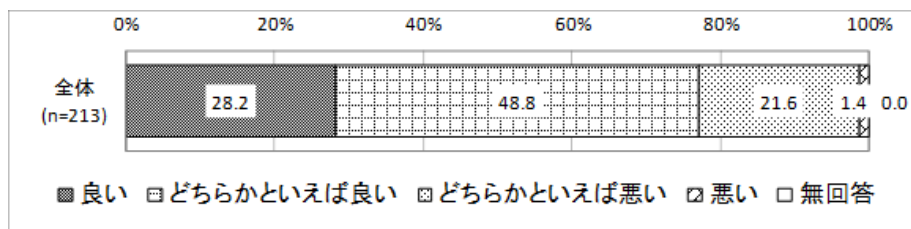
記入した方はどなたですか。



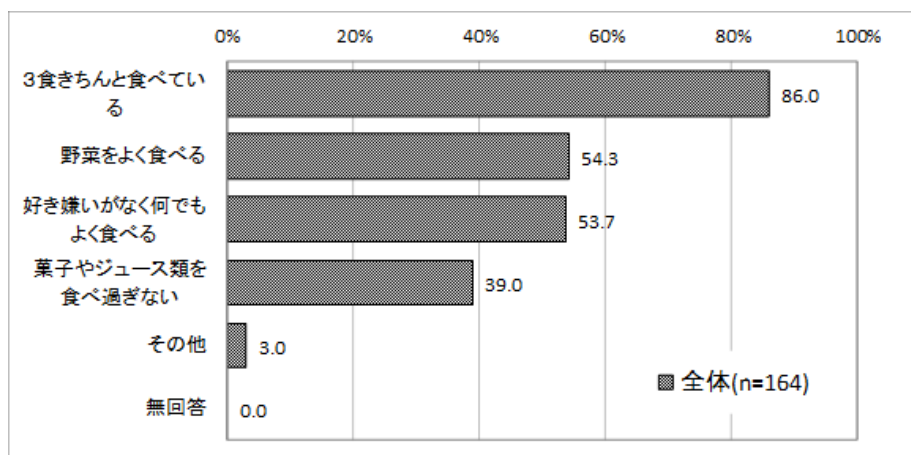
#### (2) 食生活について

##### ①子どもの食生活

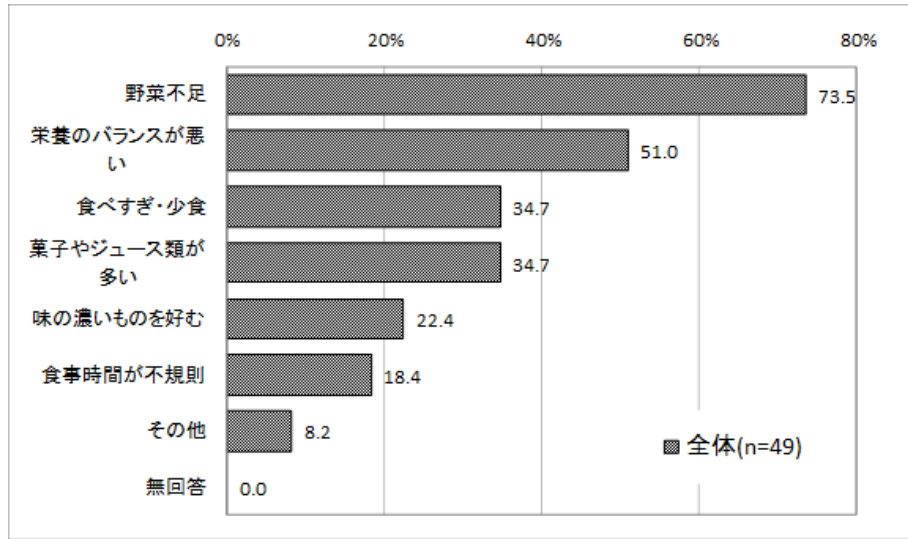
問1(1) あなたは、お子さんの食生活についてどのように感じていますか。



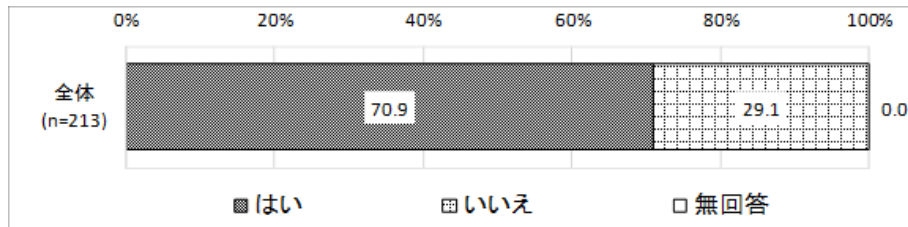
問1(2) ((1)で「1 良い 2 どちらかといえば良い」と答えた方に伺います。) お子さんの食生活で良いと思うものすべてに○をつけてください。



問1(3) ((1)で「3 どちらかといえば悪い、4 悪い」と答えた方に伺います。)お子さんの食生活で問題があると思うものすべてに○をつけてください。

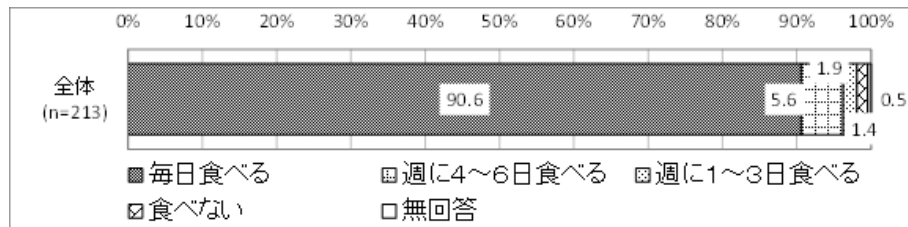


問2 お子さんは、食事をよく噛んでゆっくり食べていますか。

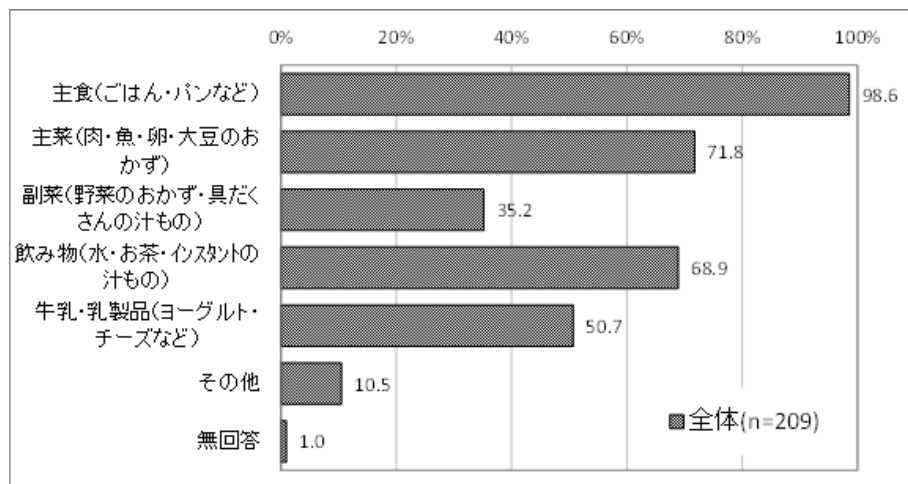


## ②子どもの朝食

問3(1) お子さんは、朝食を食べていますか。

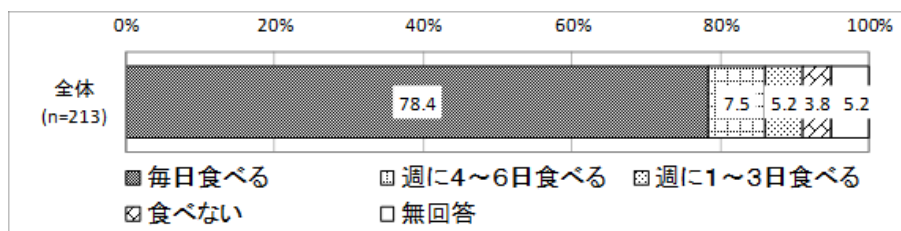


問3(2) (「1・2・3」と答えた方に伺います。) お子さんがいつも朝食で食べているものすべてに○をつけてください。



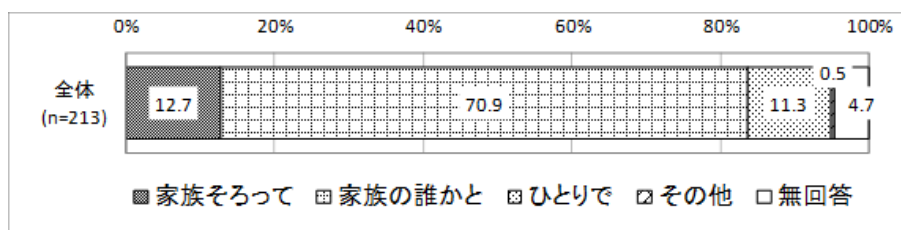
### ③保護者の朝食

問4 あなたは、朝食を食べていますか。



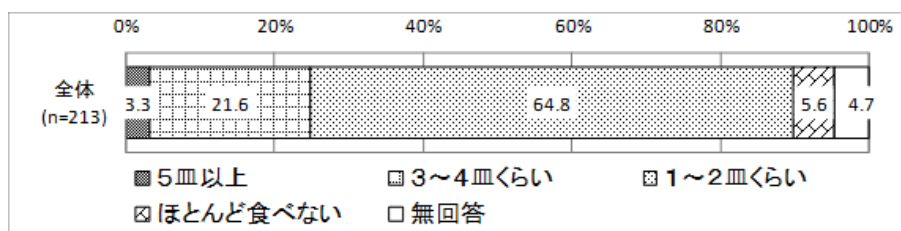
### ④子どもと一緒に朝食を食べている人

問5 お子さんは、いつもだれと朝食を食べていますか。



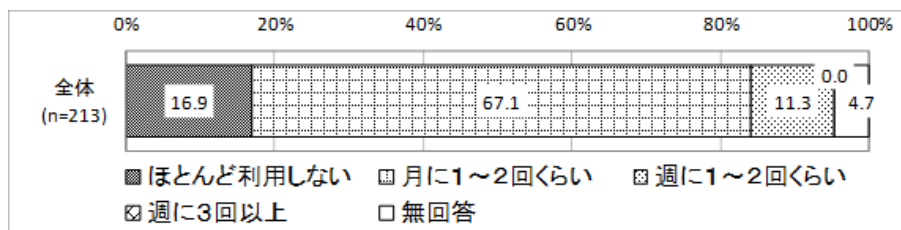
### ⑤野菜料理

問6 お子さんは、野菜や野菜料理を一日で、何皿くらい食べていますか。



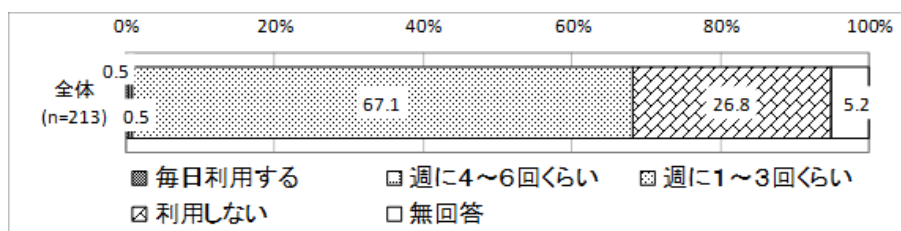
### ⑥ファストフード

問7 お子さんは、ハンバーガーやピザ、ポテトフライ、ドーナツなどのファストフードを食事として利用することがどれくらいありますか。



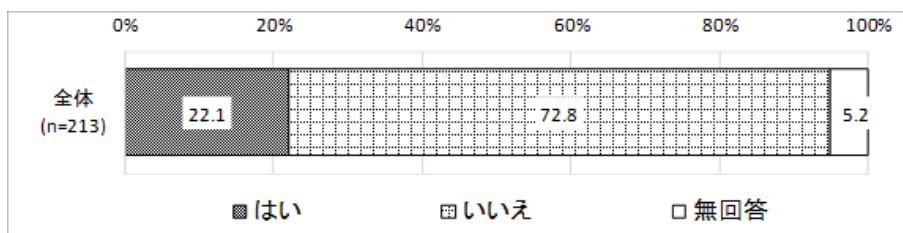
### ⑦外食やレトルト食品

問8 お子さんの食事で、外食やレトルト食品を利用することが週にどれくらいありますか。



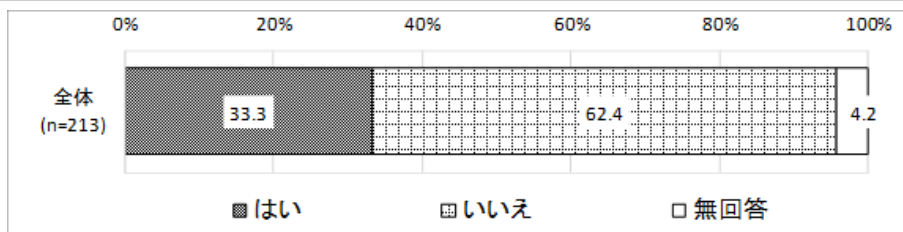
### ⑧子どものおやつ

問9 あなたは、お子さんのおやつを歯の健康に配慮して選んでいますか。

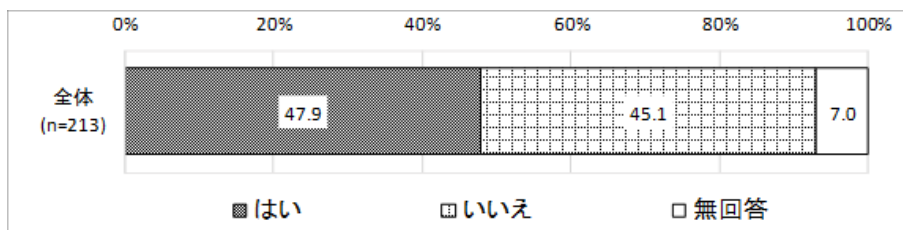


### ⑨家庭の料理

問10(1) (家庭で食事を作る方に伺います。) あなたは、お子さんのかむ力がつくように、食材を大きく切ったり、硬い食材を取り入れた食事を作っていますか。

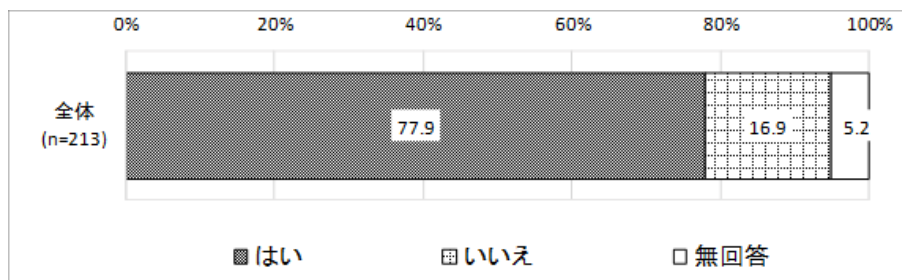


問10(2) あなたは、減塩を意識した食事づくりをしていますか。



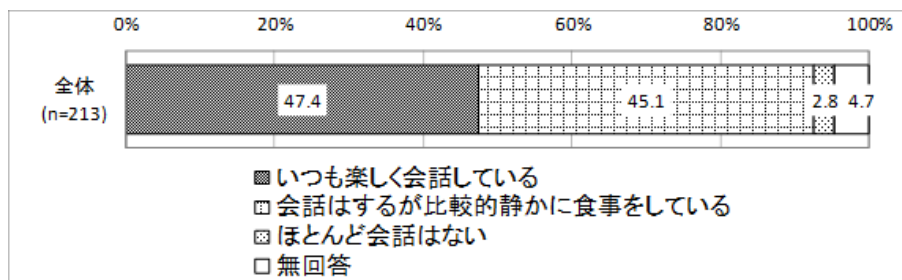
### ⑩正しい食生活への配慮

問11 あなたは、お子さんが正しい食生活を送れるように声をかけるなど、気を配っていますか。



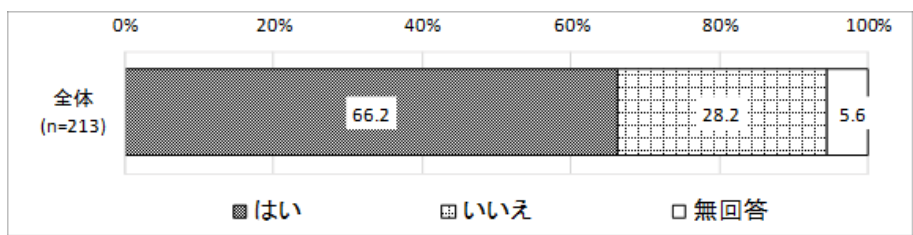
### ⑪食事中的会話

問12 あなたは、お子さんと会話をしながら食事をしていますか。



⑫食べ物の栄養素について

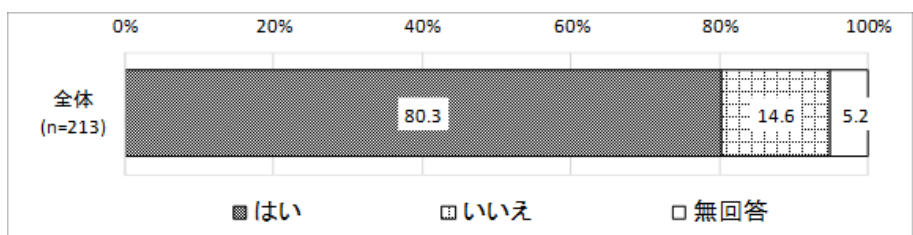
問13 お子さんは、食べ物の栄養素が体にとってどんな役割があるのかを知っていますか。



(3) 運動について

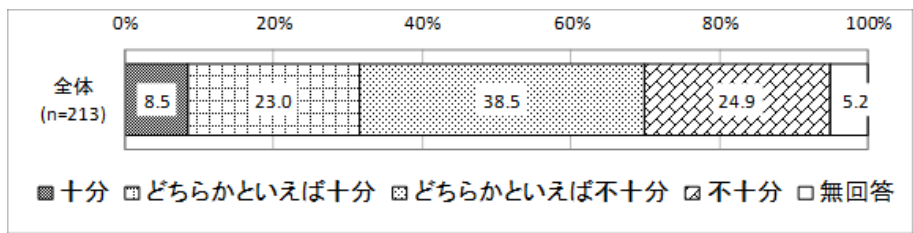
①学校以外での運動

問1(1) お子さんは、学校の授業以外で運動をしていますか。



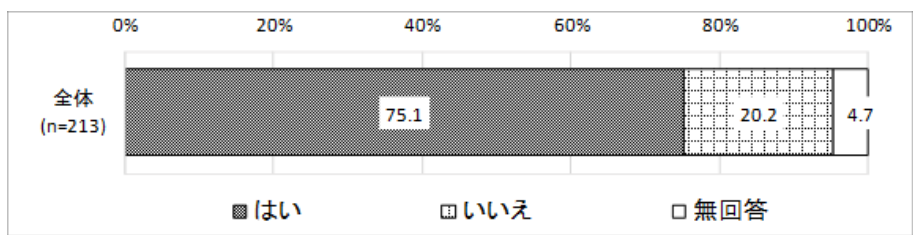
②保護者の運動

問2 あなたの運動量(活動量)についてどう思いますか。



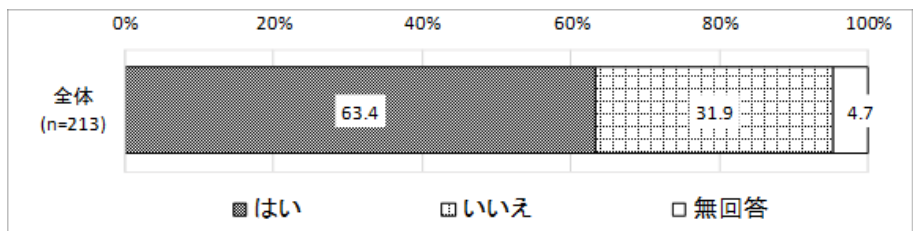
③友達や家族との運動

問3 お子さんは、友達や家族と体を動かしていますか。

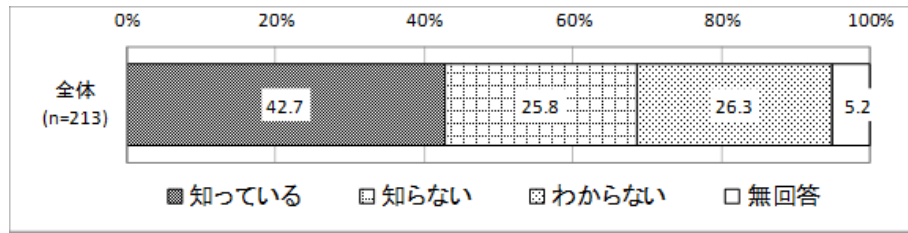


④子どもの体重

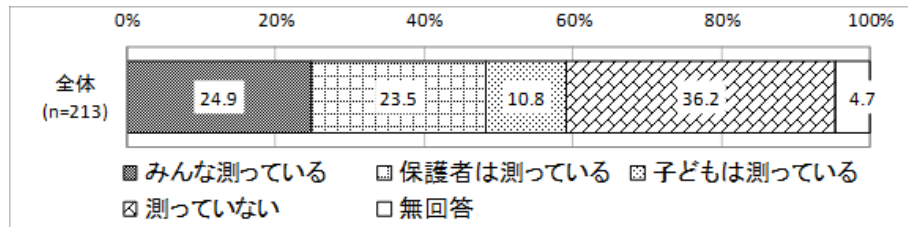
問4 お子さんは、自分の体重の増減に関心がありますか。



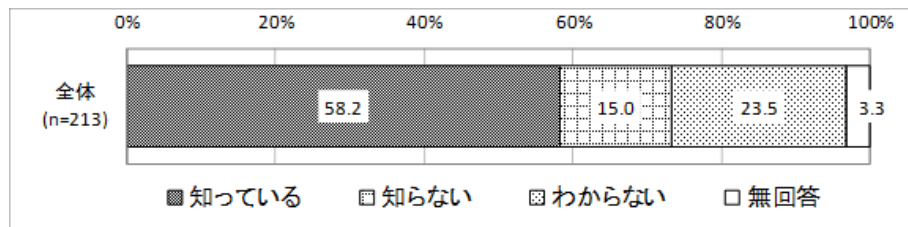
問5 お子さんは、自分の標準体重を知っていますか。



問6 お子さんやご家族の皆さんは、週に1回以上体重を測っていますか。

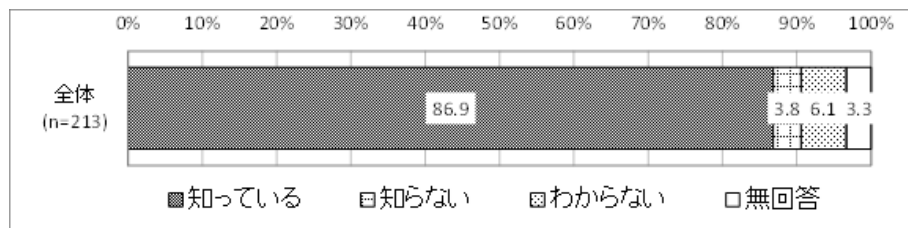


問7 お子さんは、肥満ややせによる健康への影響について知っていますか。



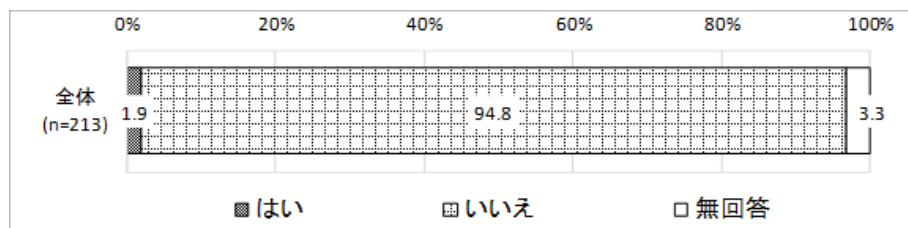
### ⑤体作りのための運動

問8 お子さんは、健康な体作りのために運動が大切なことを知っていますか。



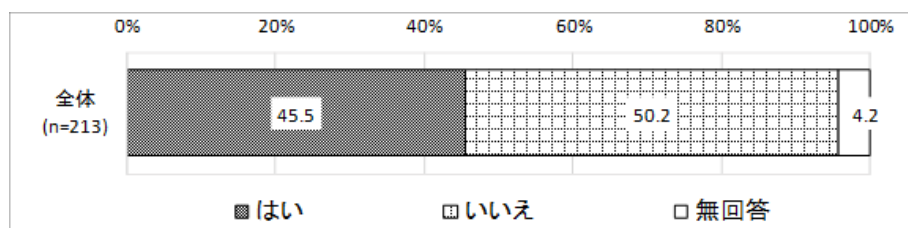
### ⑥子どもの一日の歩数

問9 あなたは、お子さんの一日の歩数を知っていますか。



### ⑦子どもとの運動

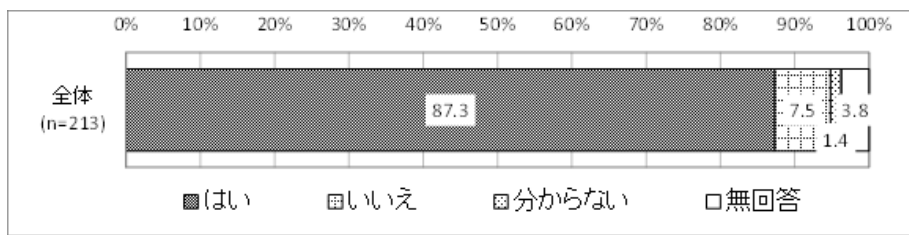
問10 あなたは、子ども会や学校行事で行われる運動の機会があれば、お子さんと一緒に参加していますか。



## (4) 生活について

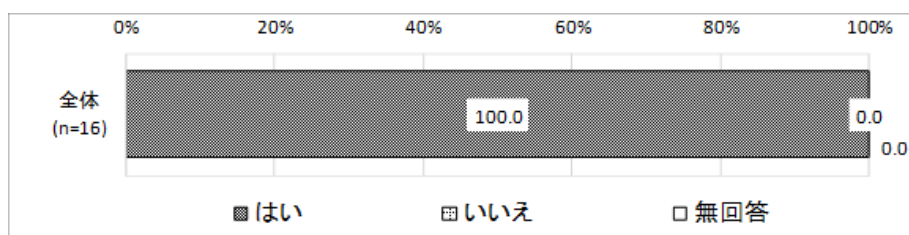
### ① 基本的な生活習慣

問1(1) お子さんは、洗面や歯磨きなどの基本的な生活習慣が身についていますか。



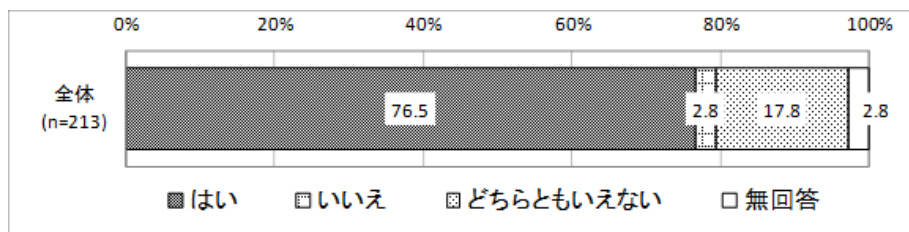
### ② 洗面や歯みがき

問1(2) (「2 いいえ」と答えた方に伺います。) あなたは、お子さんが洗面や歯磨きをするように、声をかけていますか。

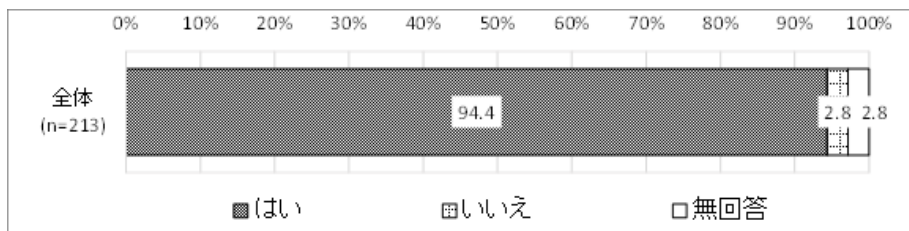


### ③ 保護者の生活

問2 あなたは、規則正しい生活を送るように心がけていますか。

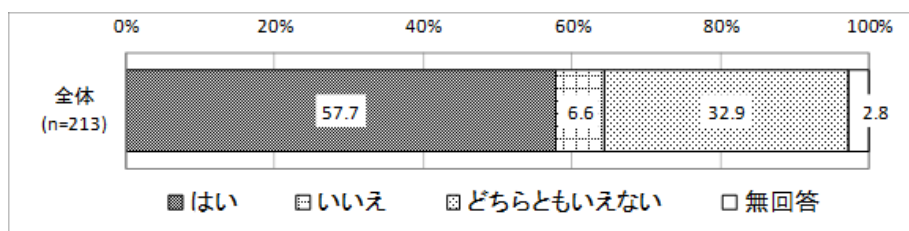


問3 あなたは、お子さんの生活リズムを把握し、正しい生活が送れるように声をかけていますか。



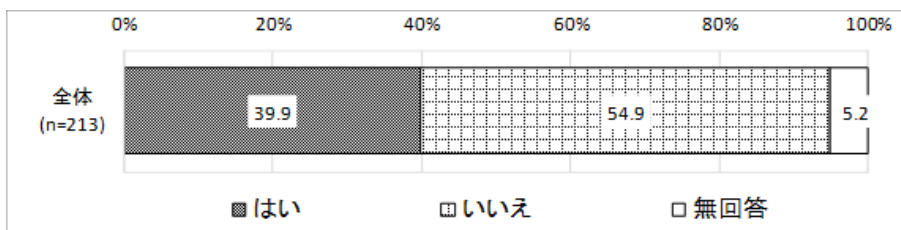
### ④ 健康の把握

問4 あなたは、お子さんや家族の健診結果を確認したり、日頃から体重を測るなど、健康を把握するよう心がけていますか。



⑤料理について

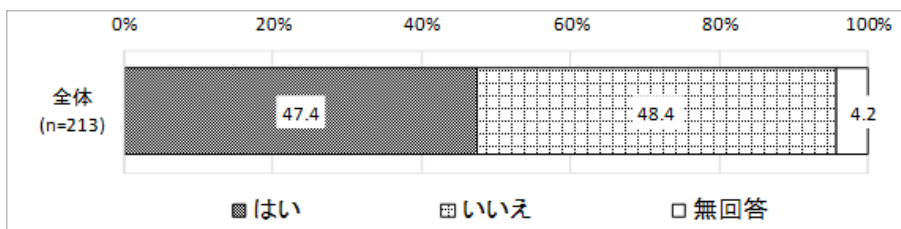
問5(1) お子さんは、料理の手伝いをしていますか。



問5(2) (「1 はい」と答えた方に伺います。) あなたは、お子さんに手作りの良さを伝えてありますか。

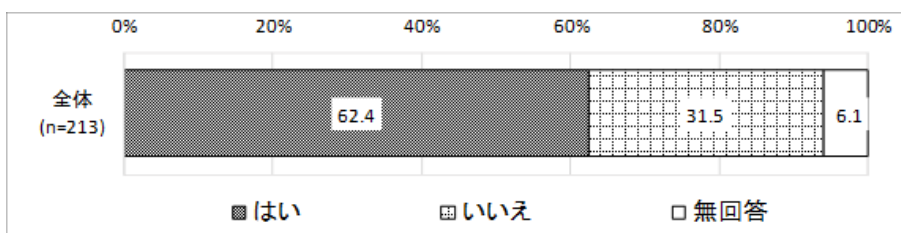


問6 あなたは、買い物や料理をする中で、体に安心安全な食品について子どもと一緒に考える機会がありますか。

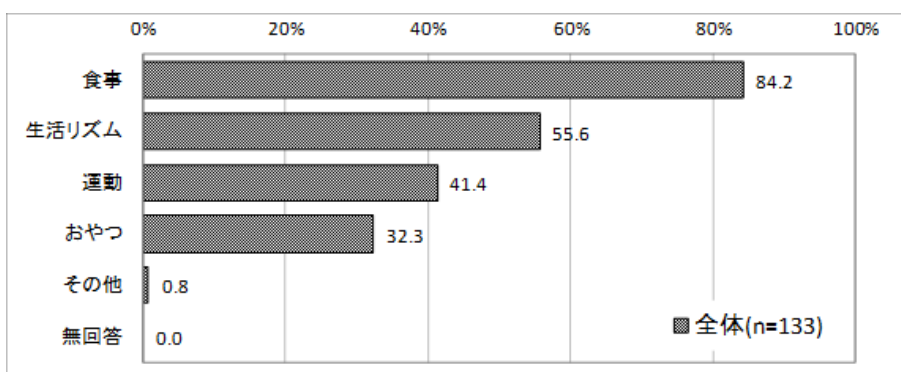


⑥食事や運動などの改善

問7(1) あなたは、お子さんのやせ・肥満などの体の変化を把握し、食事や運動など改善を心がけていますか。



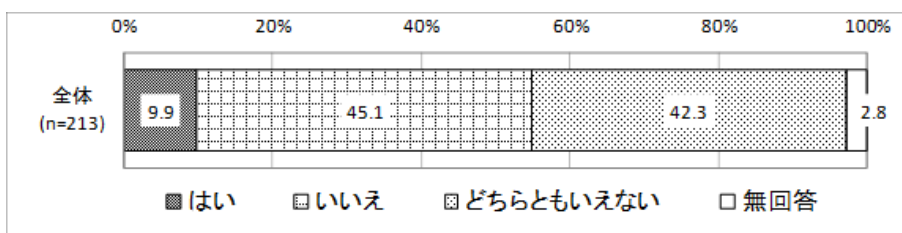
問7(2) (「1 はい」と答えた方に伺います。) 改善を心がけているものに○をつけてください。





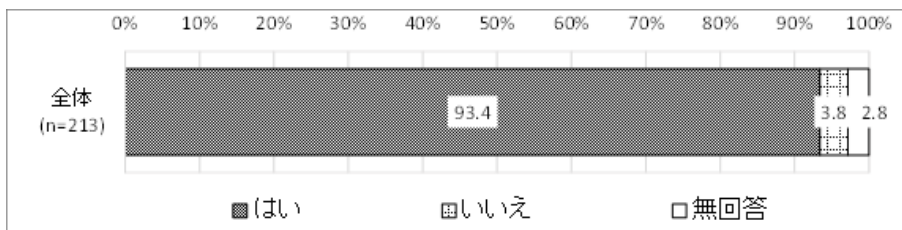
⑦外出時の歩行

問8 ご家族で出かける際は、健康を考えてなるべく歩くよう心がけていますか。



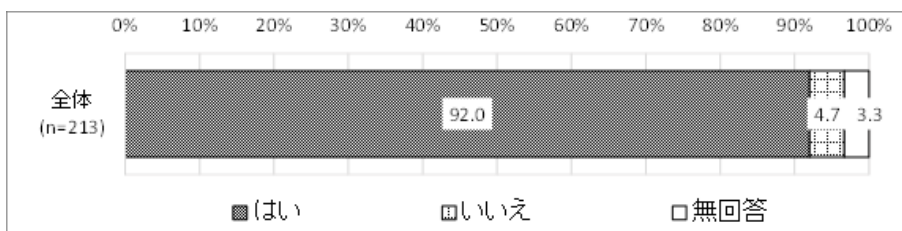
⑧あいさつ

問9 お子さんは、家族やまわりの人とあいさつを交わしますか。

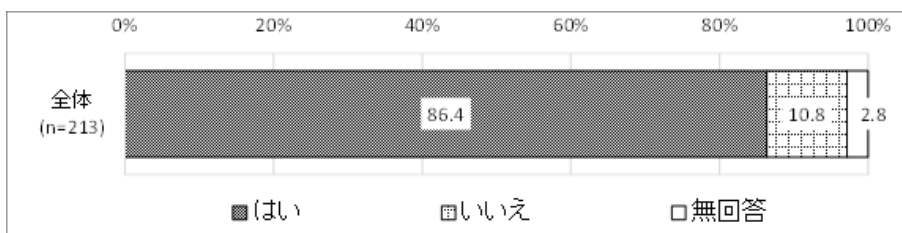


⑨困った時

問10 お子さんは、家族やまわりの人が困っていたら助けようとしますか。

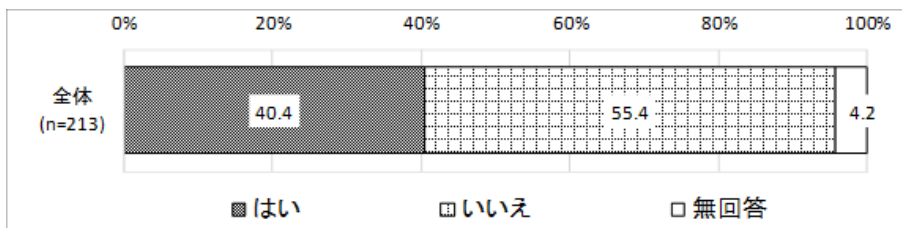


問11 お子さんは、自分が困った時は家族や友達、先生などに相談しますか。



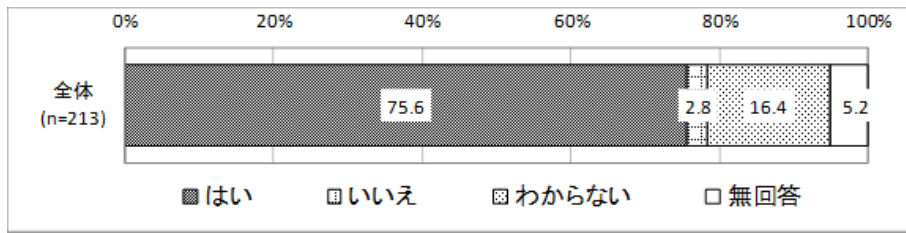
⑩がんについての会話

問12 あなたは、がんについて、お子さんと話し合う機会がありますか。

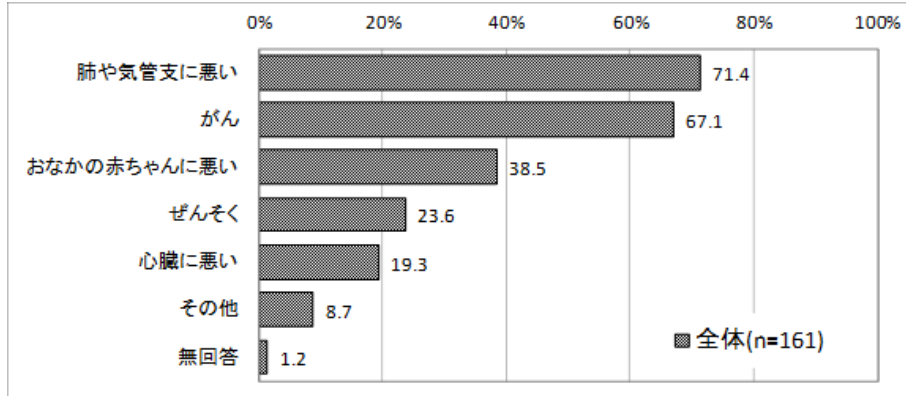


⑪たばこについて

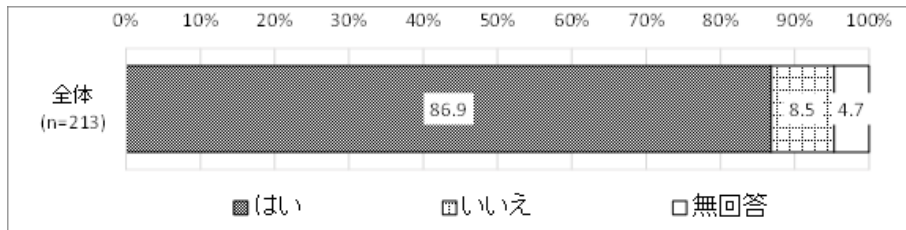
問13(1) お子さんは、たばこの健康への影響について知っていますか。



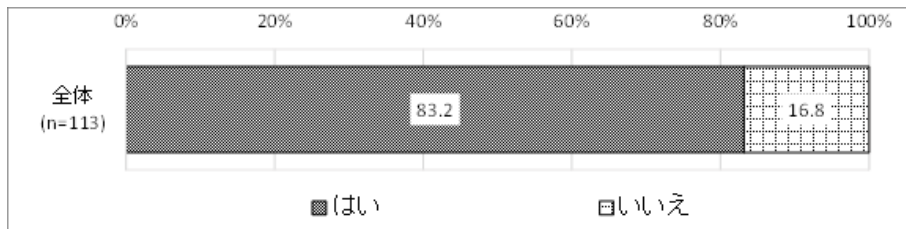
問13(2) (「1 はい」と答えた方に伺います。) それはどんなことですか。



問13(3) お子さんは、たばこに近づかないように心がけていますか。

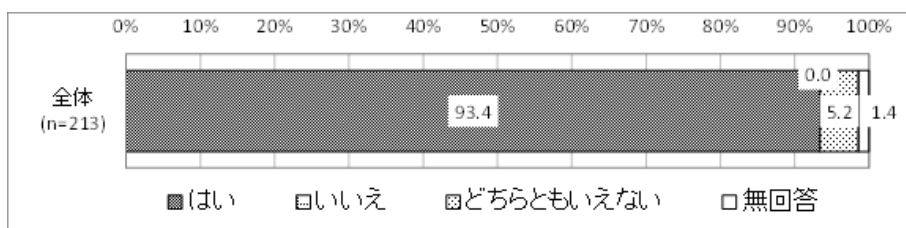


問14 たばこを吸うご家族がいる方にお聞きします。子どもがいる場所ではたばこを吸わないようにしていますか。

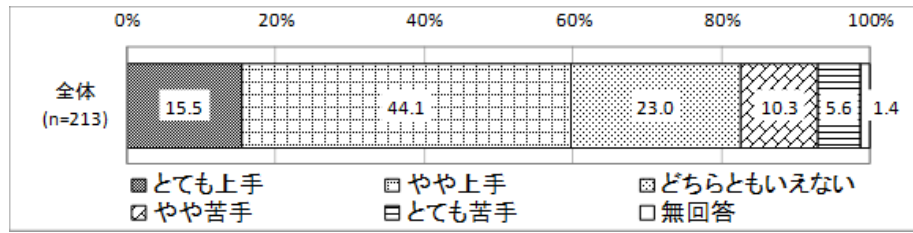


⑫会話

問15 あなたは、日頃からお子さんと会話をするように心がけていますか。



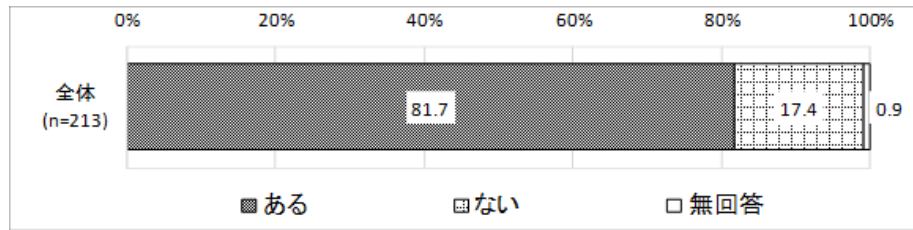
問16 お子さんは、会話の中で自分の考えや気持ちを言葉で伝えることができますか。



⑬かかりつけ医院

問17 お子さんのかかりつけ医院はありますか。

【内科医】



【歯科医】

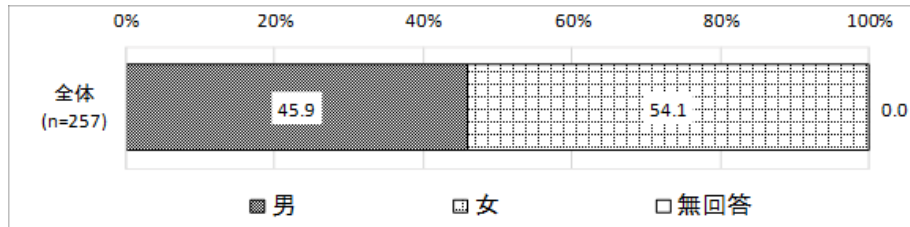


## 4. 小学5年生の保護者調査結果

### (1) 回答者および対象者の属性

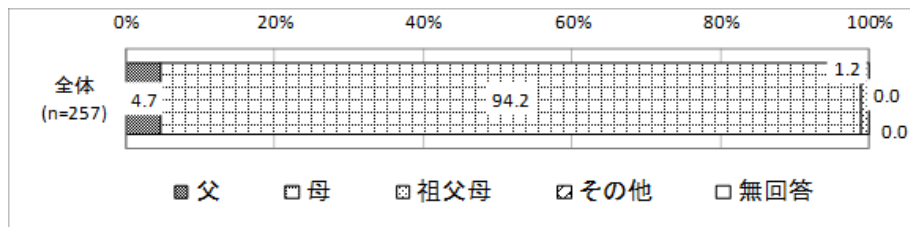
#### ①性別

お子さんの性別を教えてください。



#### ②記入者

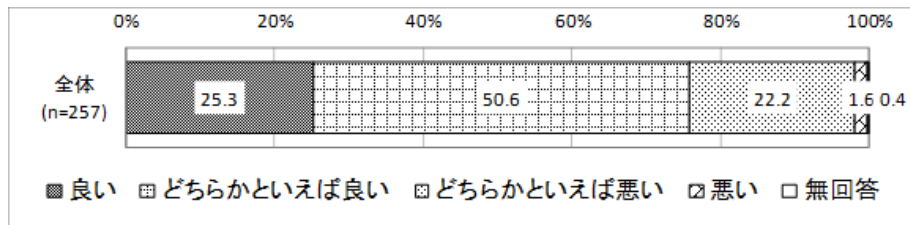
記入した方はどなたですか。



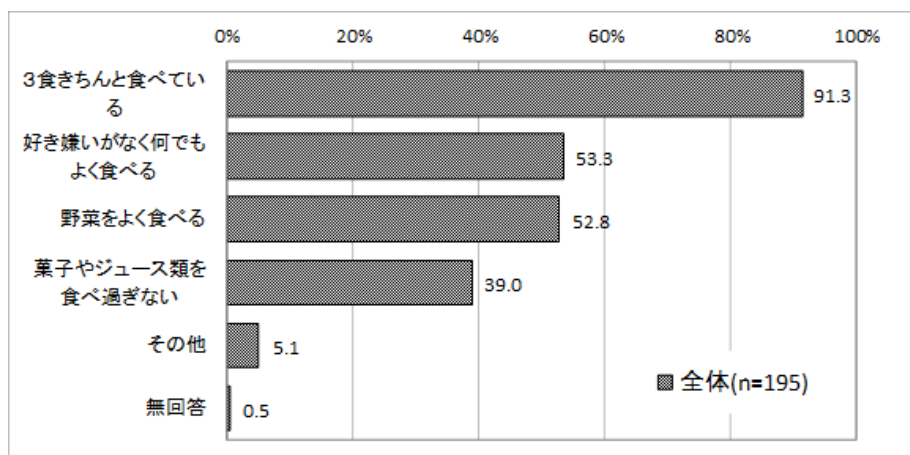
### (2) 食生活について

#### ①子どもの食生活

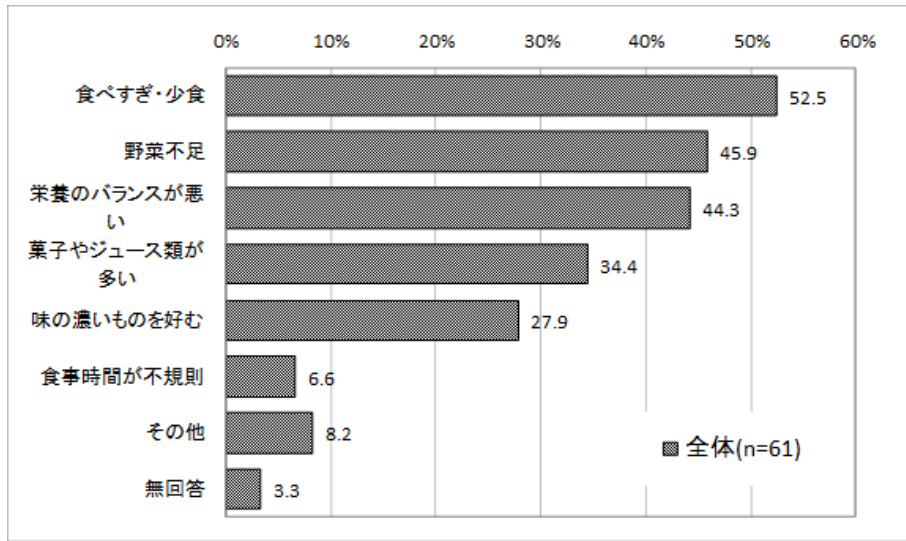
問1(1) あなたは、お子さんの食生活についてどのように感じていますか。



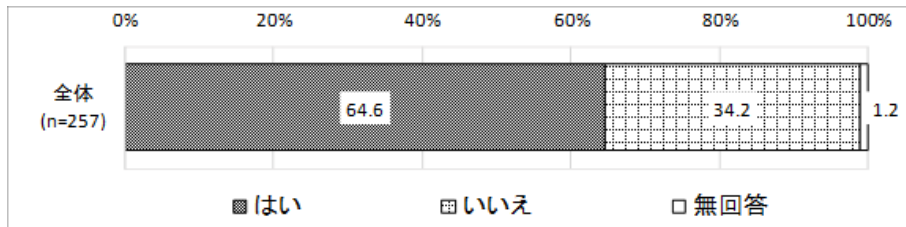
問1(2) ((1)で「1 良い 2 どちらかといえば良い」と答えた方に伺います。) お子さんの食生活で良いと思うものすべてに○をつけてください。



問1(3) ((1)で「3 どちらかといえば悪い、4 悪い」と答えた方に伺います。)お子さんの食生活で問題があると思うものすべてに○をつけてください。

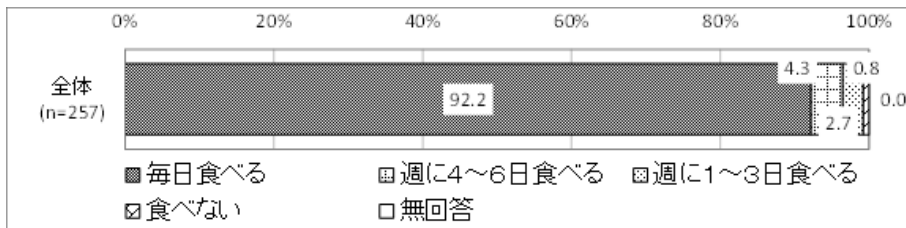


問2 お子さんは、食事をよく噛んでゆっくり食べていますか。

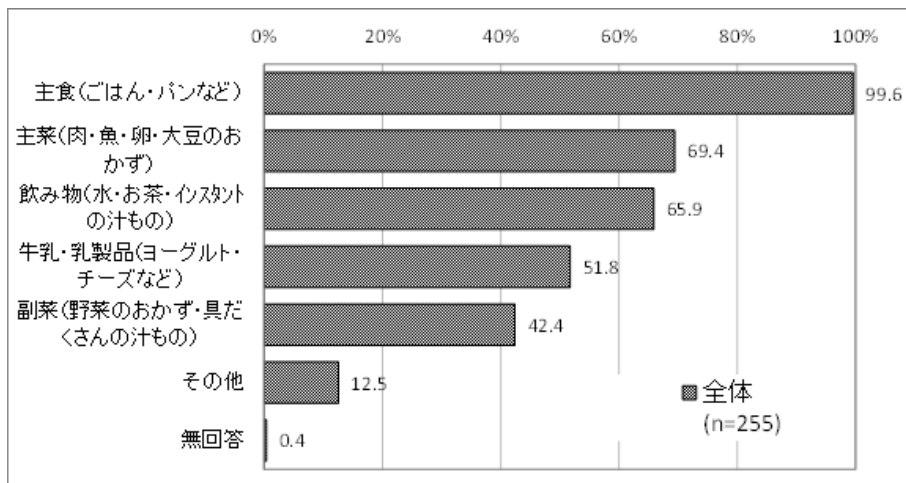


## ②子どもの朝食

問3(1) お子さんは、朝食を食べていますか。

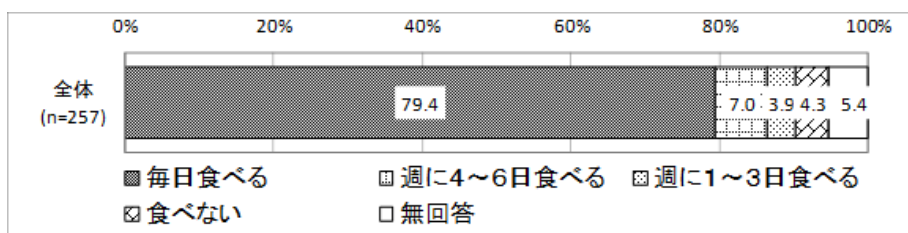


問3(2) (「1・2・3」と答えた方に伺います。) お子さんがいつも朝食で食べているものすべてに○をつけてください。



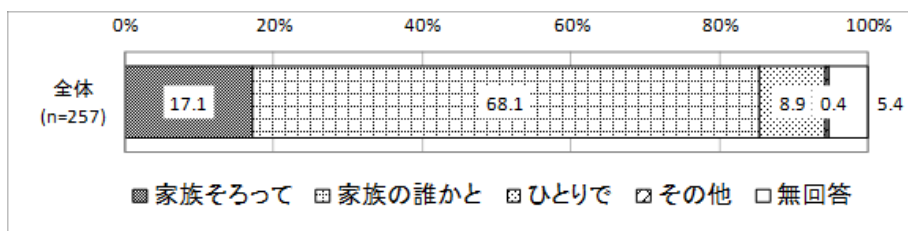
### ③保護者の朝食

問4 あなたは、朝食を食べていますか。



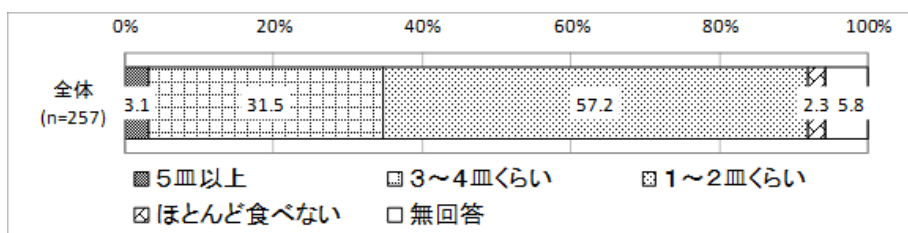
### ④子どもと一緒に朝食を食べている人

問5 お子さんは、いつもだれと朝食を食べていますか。



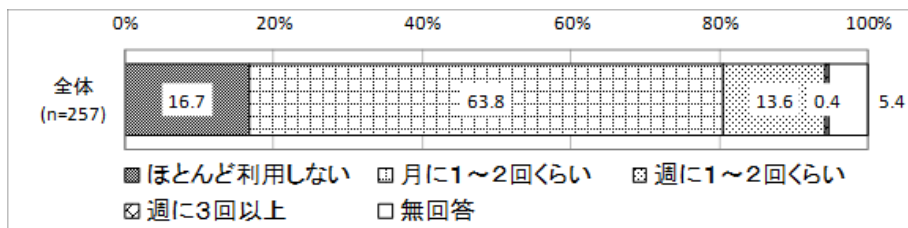
### ⑤野菜料理

問6 お子さんは、野菜や野菜料理を一日で、何皿くらい食べていますか。



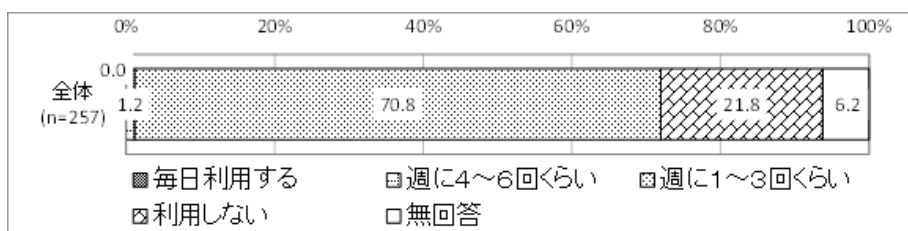
### ⑥ファストフード

問7 お子さんは、ハンバーガーやピザ、ポテトフライ、ドーナツなどのファストフードを食事として利用することがどれくらいありますか。



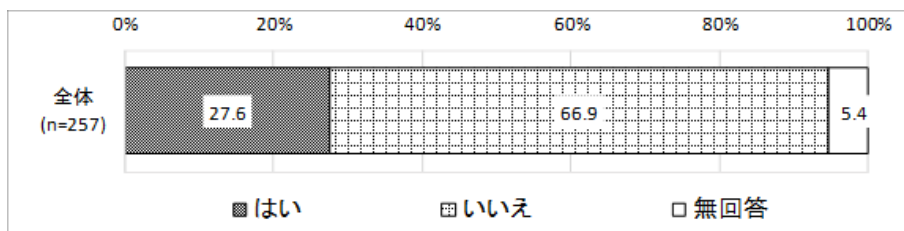
### ⑦外食やレトルト食品

問8 お子さんの食事で、外食やレトルト食品を利用することが週にどれくらいありますか。



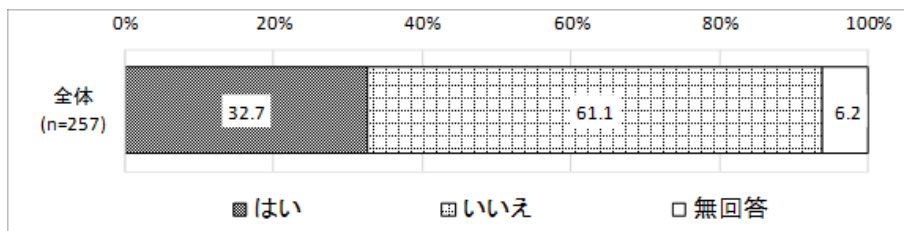
⑧子どものおやつ

問9 あなたは、お子さんのおやつを歯の健康に配慮して選んでいますか。

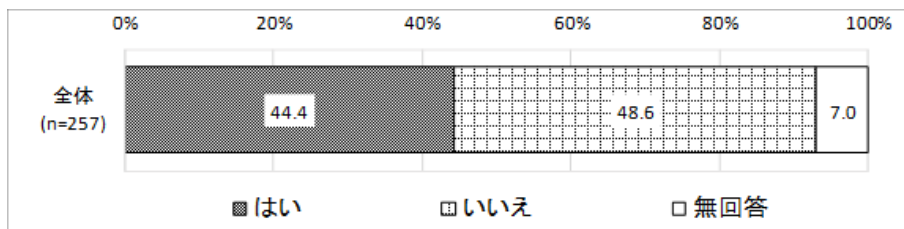


⑨家庭の料理

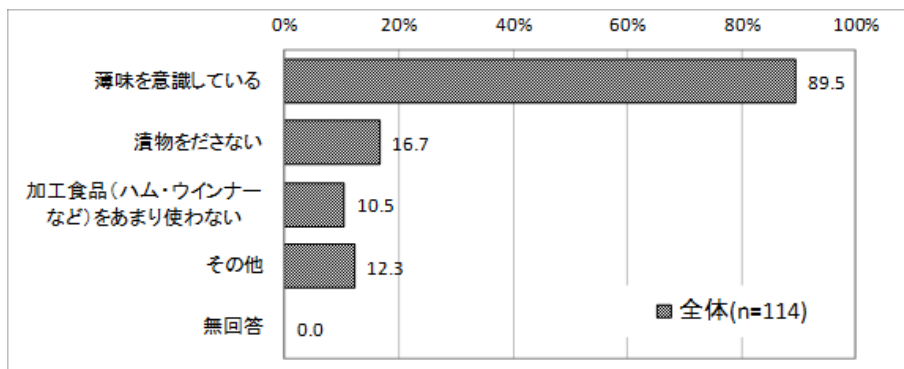
問10(1) (家庭で食事を作る方に伺います。) あなたは、お子さんのかむ力がつくように、食材を大きく切ったり、硬い食材を取り入れた食事を作っていますか。



問10(2) あなたは、減塩を意識した食事づくりをしていますか。

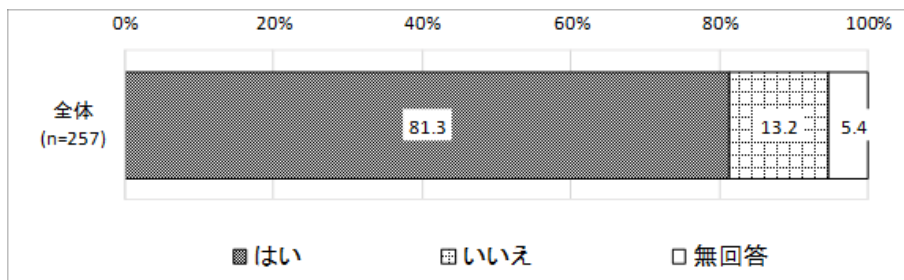


問10(3) ((2)で「はい」と答えた方に伺います。) それはどんなことですか。



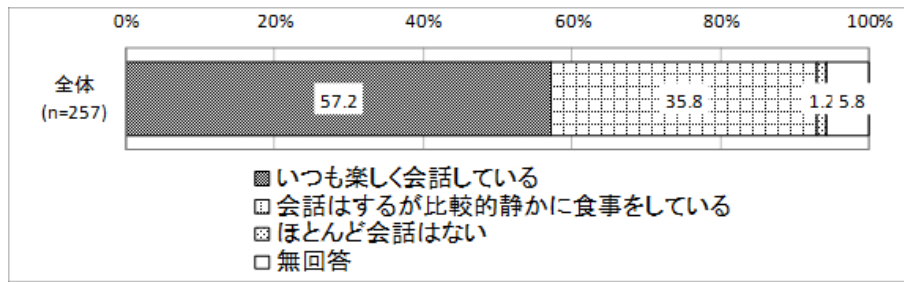
⑩正しい食生活への配慮

問11 あなたは、お子さんが正しい食生活を送れるように声をかけるなど、気を配っていますか。



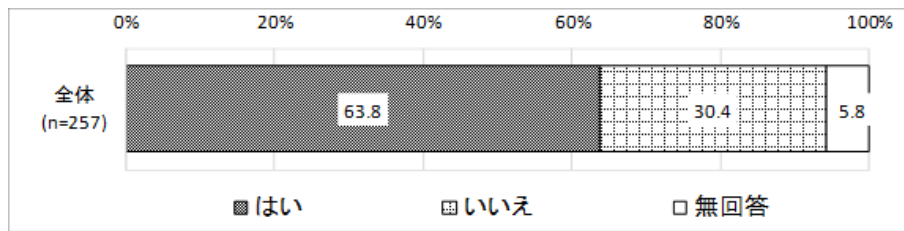
⑪食事中の会話

問12 あなたは、お子さんと会話をしながら食事をしていませんか。



⑫食べ物の栄養素について

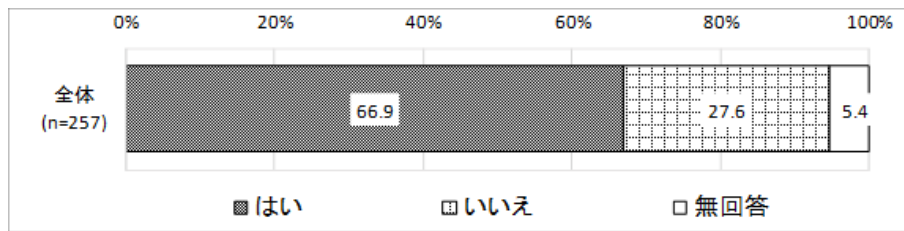
問13 お子さんは、食べ物の栄養素が体にとってどんな役割があるのかを知っていますか。



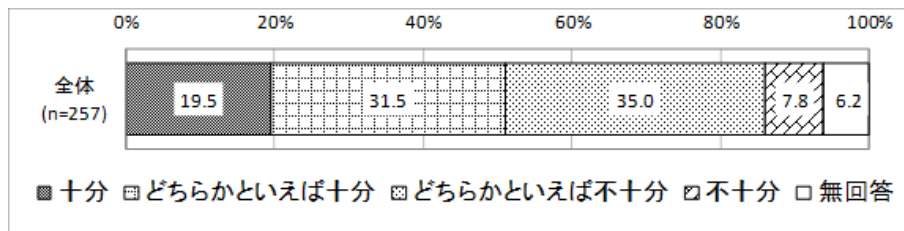
(3) 運動について

①運動量

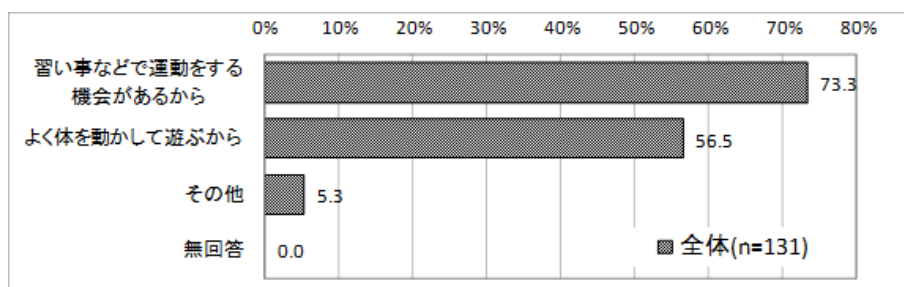
問1 お子さんは、学校の授業以外で運動をしていますか。



問2(1) あなたは、お子さんの運動量(活動量)についてどう感じていますか。

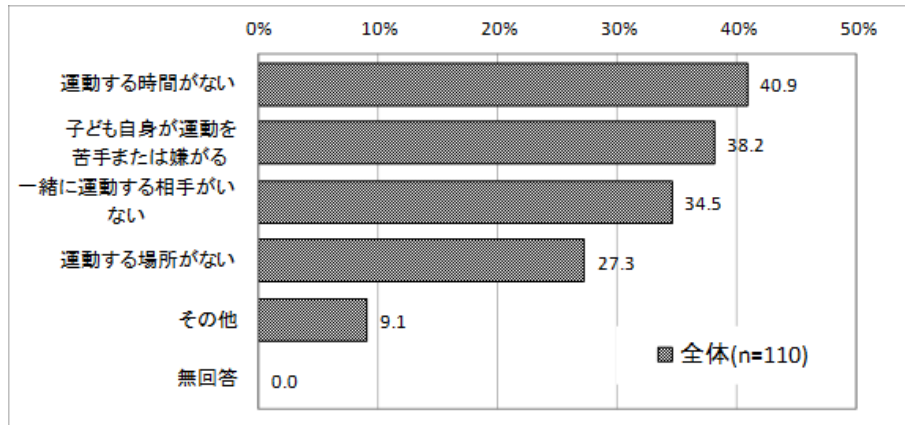


問2(2) (「1 十分 2 どちらかといえば十分」と答えた方に伺います。) その理由のすべてに○をつけてください。



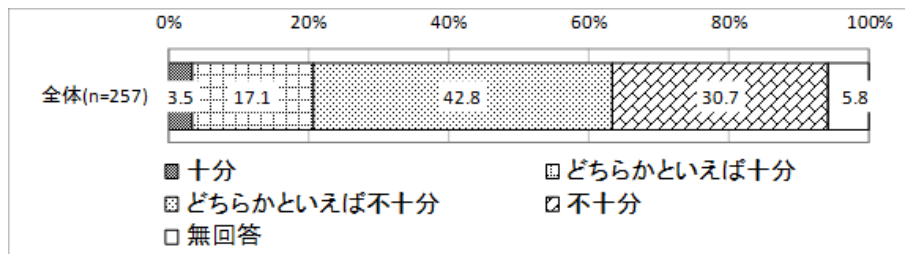


問2(3)「3 どちらかといえば不十分 4 不十分」と答えた方に伺います。) その理由のすべてに○をつけてください。



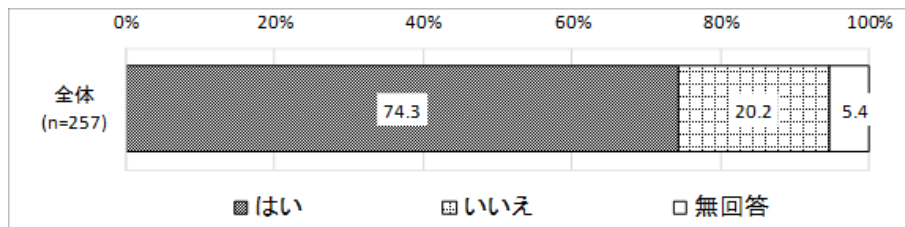
## ②保護者の運動

問3 あなたの運動量(活動量)についてどう思いますか。



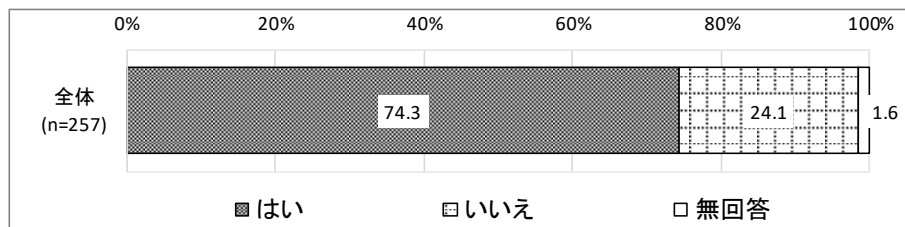
## ③友達や家族との運動

問4 お子さんは、友達や家族と体を動かしていますか。

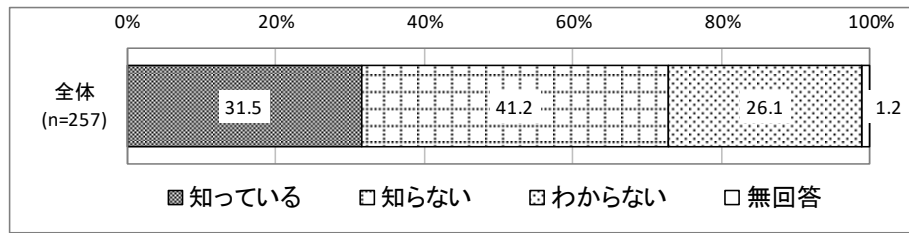


## ④子どもの体重

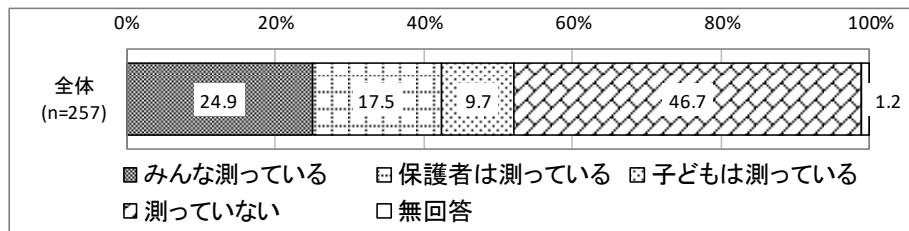
問5 お子さんは、自分の体重の増減に関心がありますか。



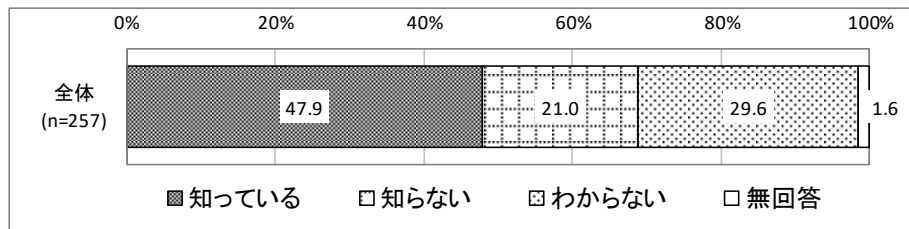
問6 お子さんは、自分の標準体重を知っていますか。



問7 お子さんやご家族の皆さんは、週に1回以上体重を測っていますか。

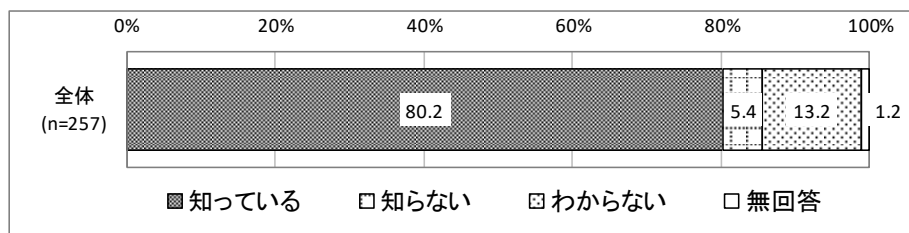


問8 お子さんは、肥満ややせによる健康への影響について知っていますか。



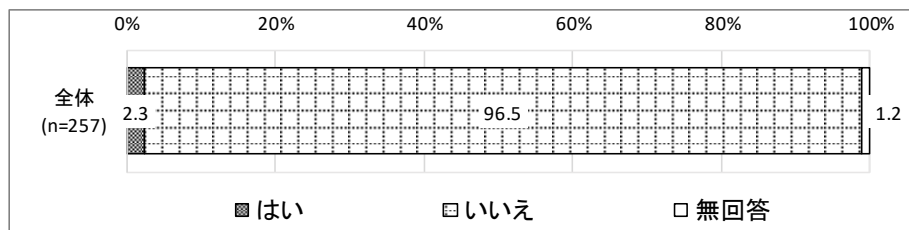
### ⑤体作りのための運動

問9 お子さんは、健康な体作りのために運動が大切なことを知っていますか。



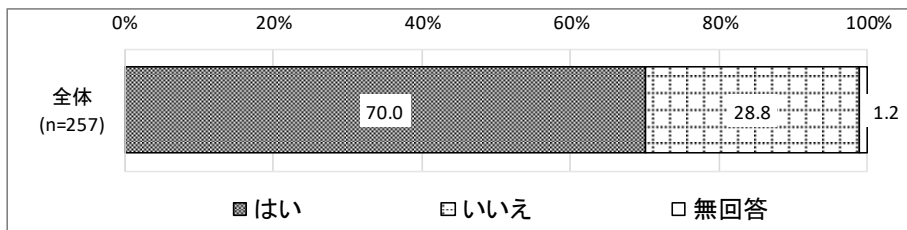
### ⑥子どもの一日の歩数

問10 あなたは、お子さんの一日の歩数を知っていますか。



## ⑦子どもとの運動

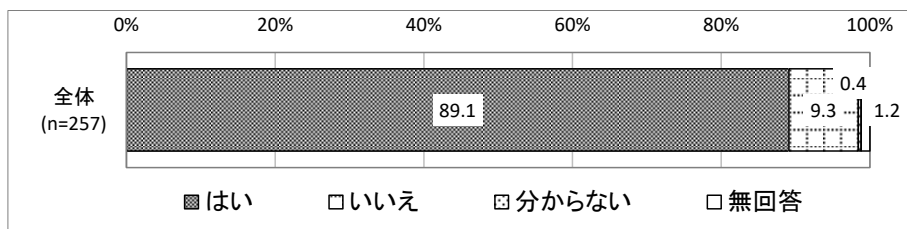
問11 あなたは、子ども会や学校行事で行われる運動の機会があれば、お子さんと一緒に参加していますか。



## (4) 生活について

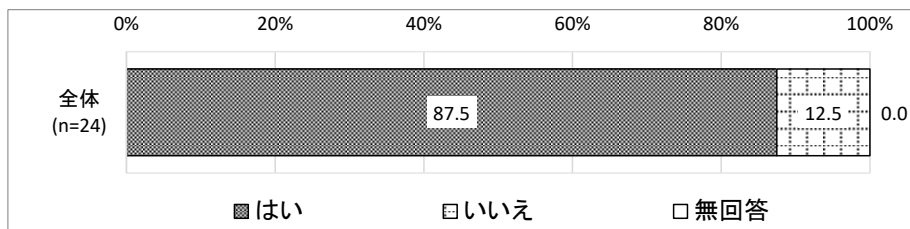
### ①基本的生活習慣

問1(1) お子さんは、洗面や歯磨きなどの基本的な生活習慣が身についていますか。



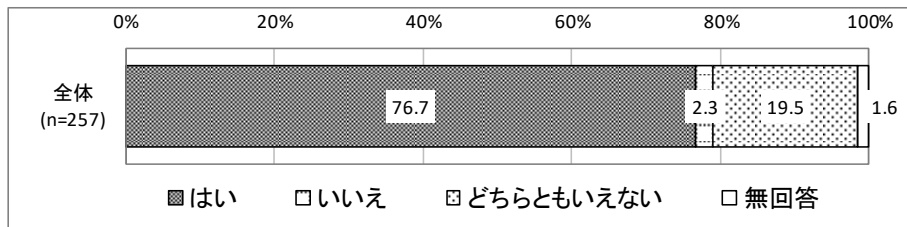
### ②洗面や歯みがき

問1(2) (「2 いいえ」と答えた方に伺います。) あなたは、お子さんが洗面や歯磨きをするように、声をかけていますか。

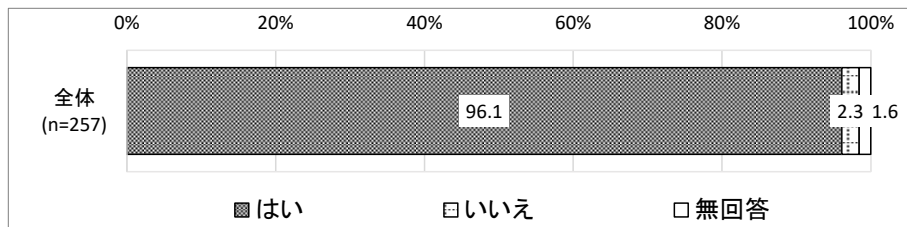


### ③保護者の生活

問2 あなたは、規則正しい生活を送るように心がけていますか。

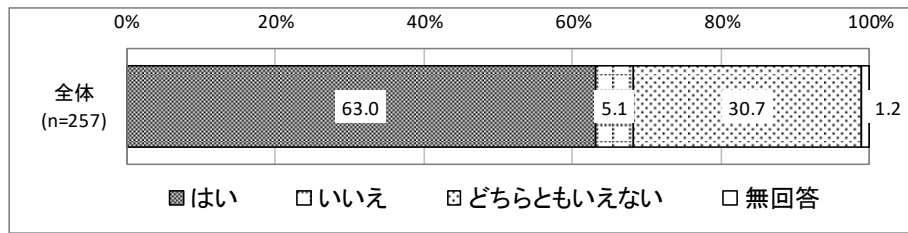


問3 あなたは、お子さんの生活リズムを把握し、正しい生活が送れるように声をかけていますか。



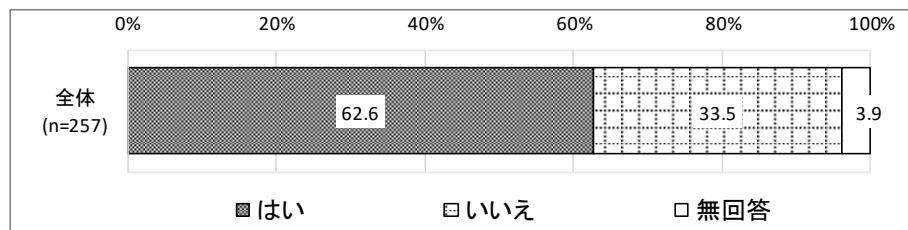
#### ④健康の把握

問4 あなたは、お子さんや家族の健診結果を確認したり、日頃から体重を測るなど、健康を把握するよう心がけていますか。

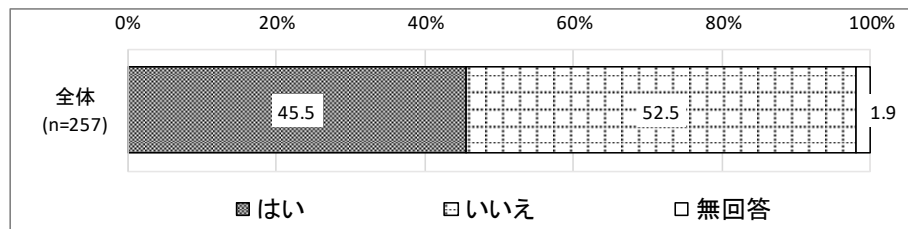


#### ⑤料理について

問5(1) お子さんは、料理の手伝いをしていますか。

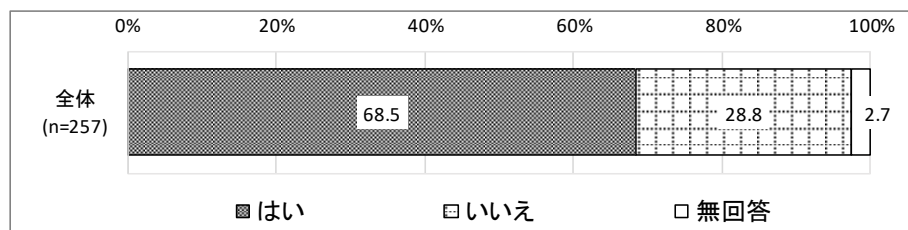


問6 あなたは、買い物や料理をする中で、体に安心安全な食品について子どもと一緒に考える機会がありますか。

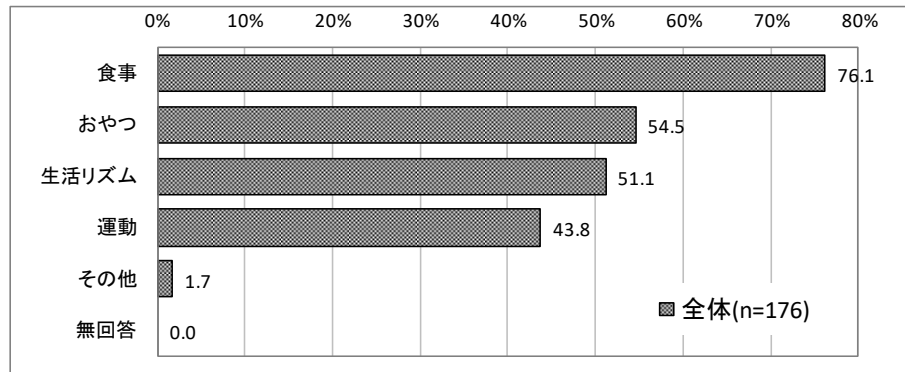


#### ⑥食事や運動などの改善

問7(1) あなたは、お子さんのやせ・肥満などの体の変化を把握し、食事や運動など改善を心がけていますか。

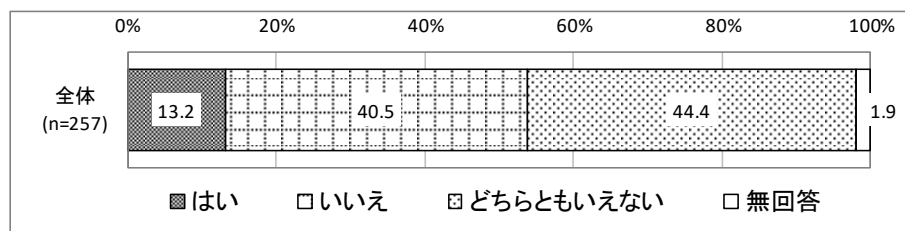


問7(2) (「1 はい」と答えた方に伺います。) 改善を心がけているものに○をつけてください。



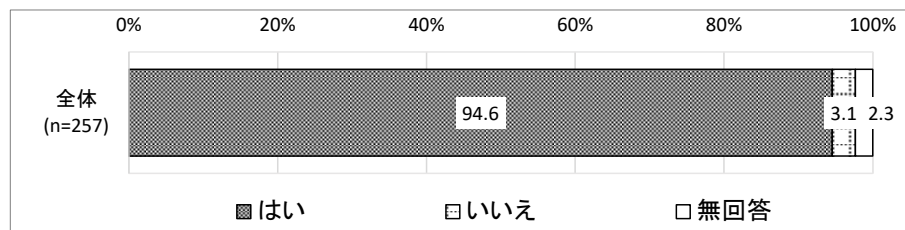
### ⑦外出時の歩行

問8 ご家族で出かける際は、健康を考えてなるべく歩くよう心がけていますか。



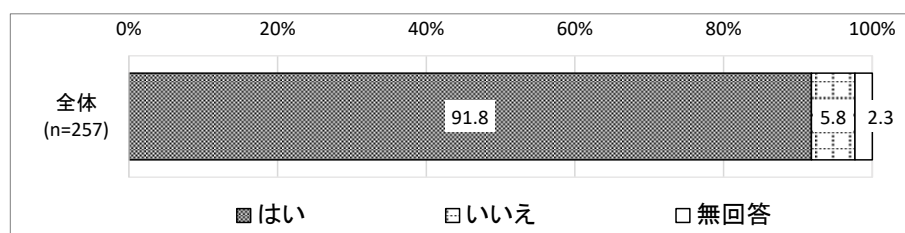
### ⑧あいさつ

問9 お子さんは、家族やまわりの人とあいさつを交わしますか。

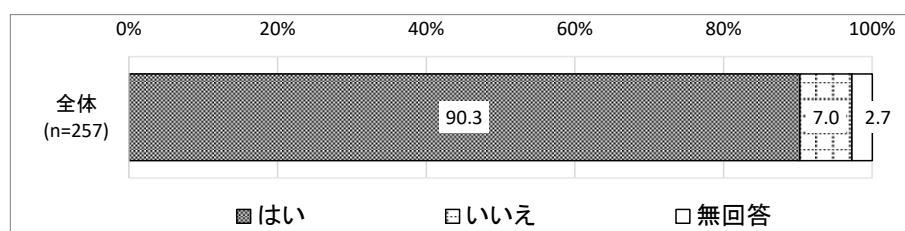


### ⑨困った時

問10 お子さんは、家族やまわりの人が困っていたら助けようとしますか。

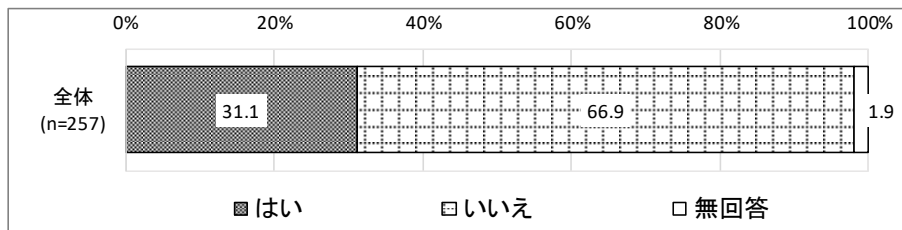


問11 お子さんは、自分が困った時は家族や友達、先生などに相談しますか。



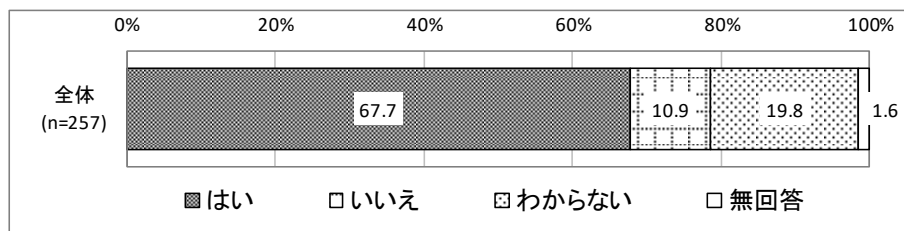
⑩がんについての会話

問12 あなたは、がんについて、お子さんと話し合う機会がありますか。

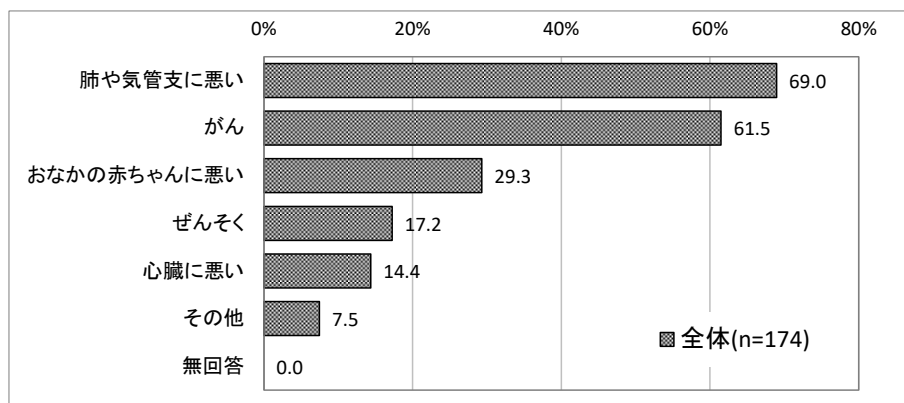


⑪たばこについて

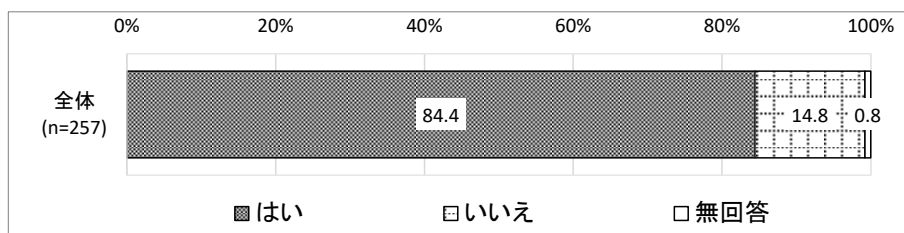
問13(1) お子さんは、たばこの健康への影響について知っていますか。



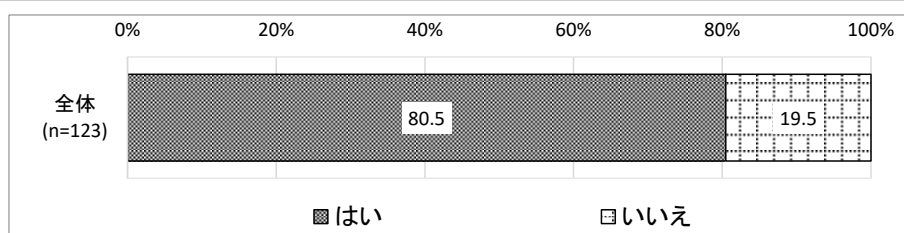
問13(2) (「1 はい」と答えた方に伺います。) それはどんなことですか。



問13(3) お子さんは、たばこに近づかないように心がけていますか。

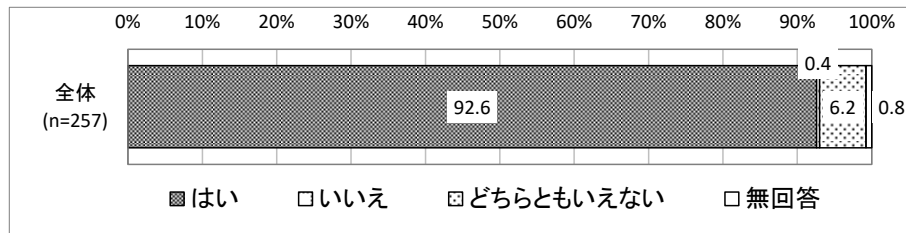


問14 たばこを吸うご家族がいる方にお聞きます。子どもがいる場所ではたばこを吸わないようにしていますか。

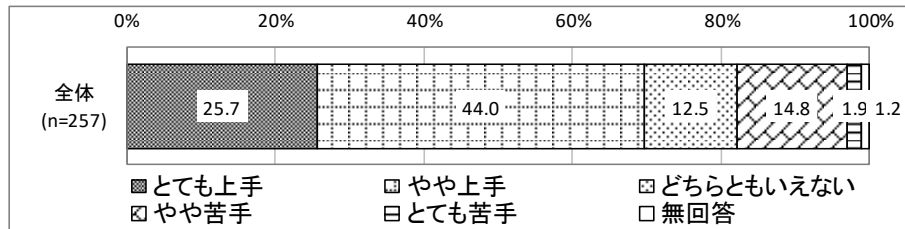


⑫会話

問15 あなたは、日頃からお子さんと会話をするように心がけていますか。



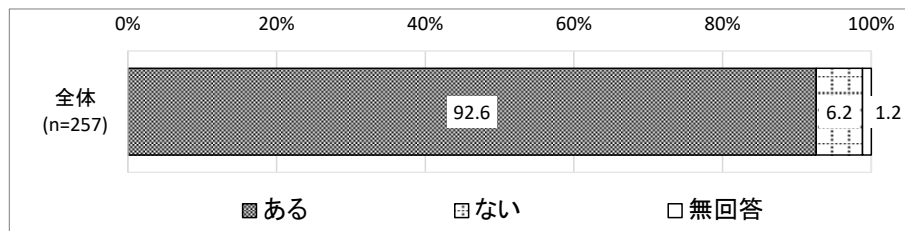
問16 お子さんは、会話の中で自分の考えや気持ちを言葉で伝えることができますか。



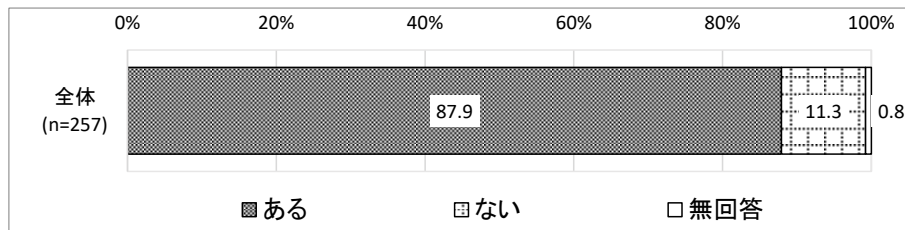
⑬かかりつけ医院

問17 お子さんのかかりつけ医院はありますか。

【内科医】



【歯科医】

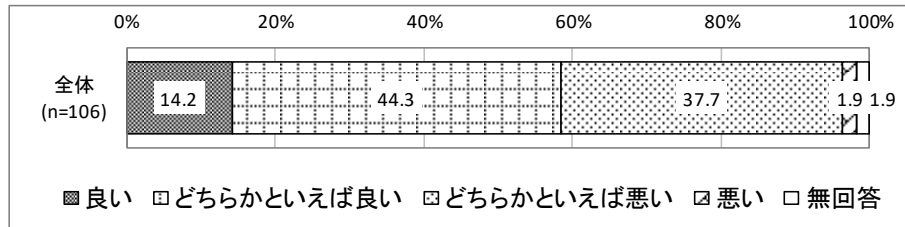


## 5. 3歳6か月児の保護者調査結果

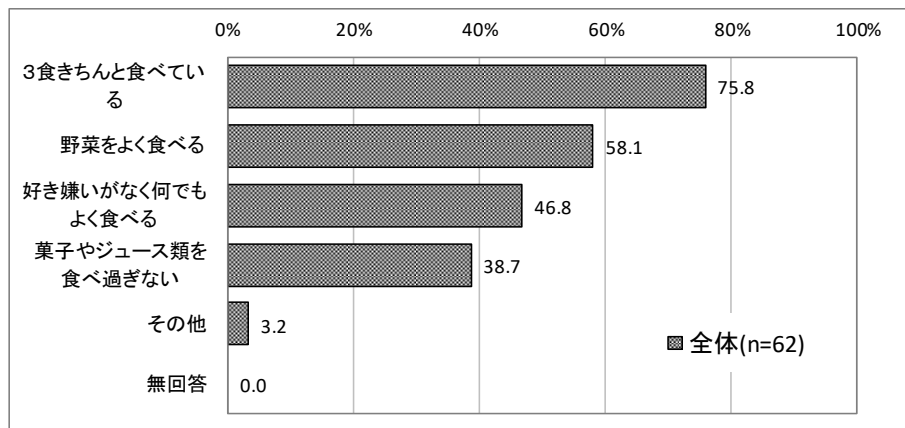
### (1) 食生活について

#### ①子どもの食生活

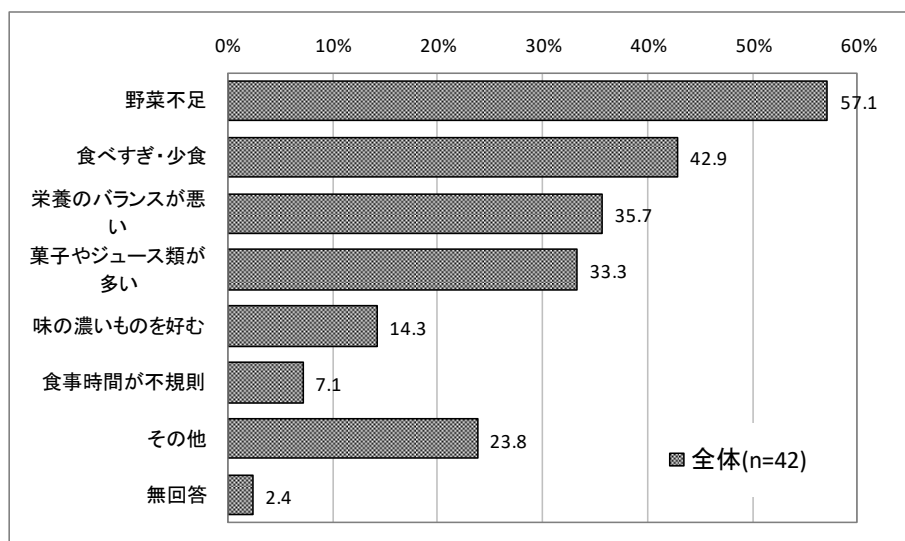
問1(1) あなたは、お子さんの食生活についてどのように感じていますか。



問1(2) ((1)で「1 良い 2 どちらかといえば良い」と答えた方に伺います。) お子さんの食生活で良いと思うものすべてに○をつけてください。

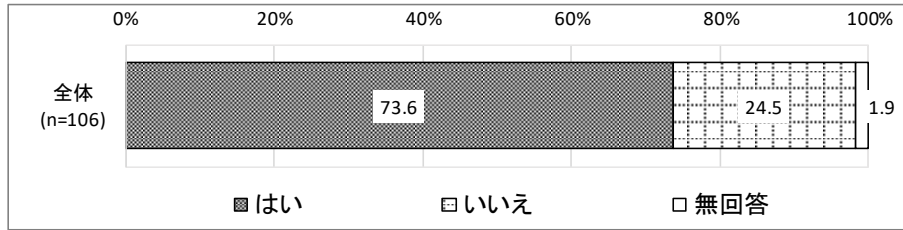


問1(3) ((1)で「3 どちらかといえば悪い、4 悪い」と答えた方に伺います。) お子さんの食生活で問題があると思うものすべてに○をつけてください。



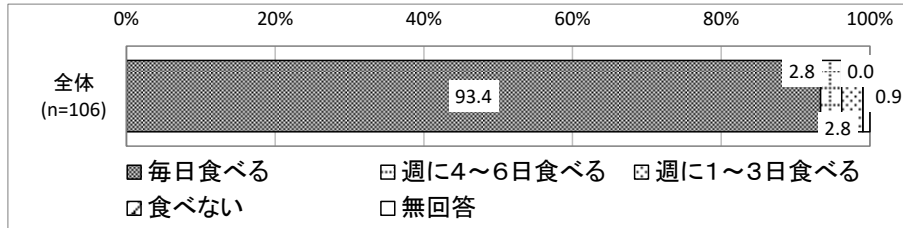


問2 お子さんは、食事をよく噛んでゆっくり食べていますか。

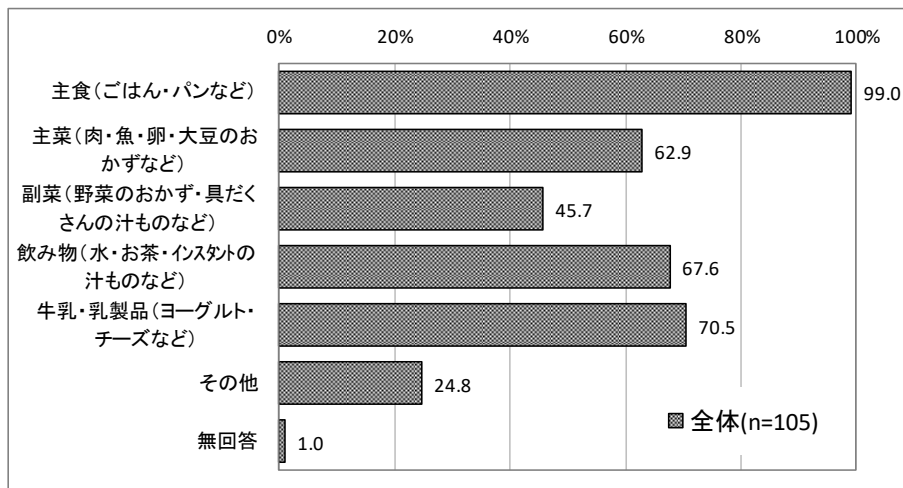


## ②子どもの朝食

問3(1) お子さんは、朝食を食べていますか。

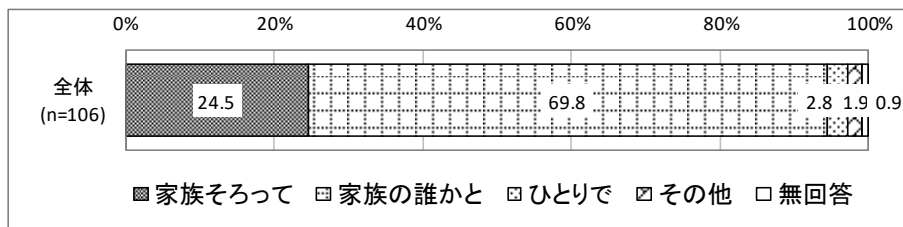


問3(2) (「1・2・3」と答えた方に伺います。) お子さんがいつも朝食で食べているものすべてに○をつけてください。



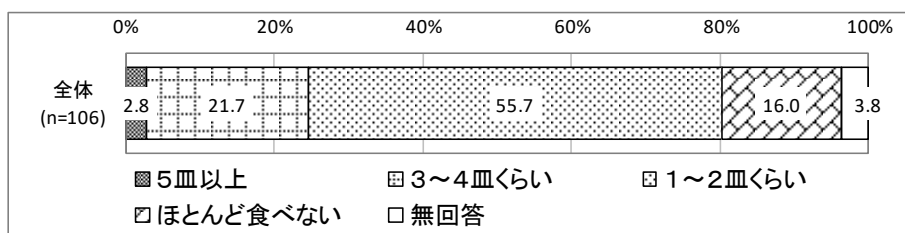
## ③子どもと一緒に朝食を食べている人

問4 お子さんは、いつもだれと朝食を食べていますか。



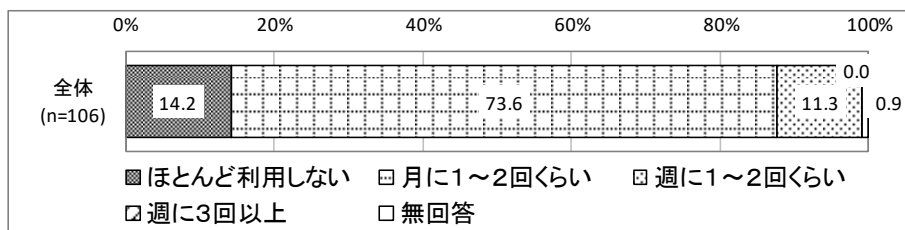
#### ④野菜料理

問5 お子さんは、野菜や野菜料理を一日で、何皿くらい食べていますか。



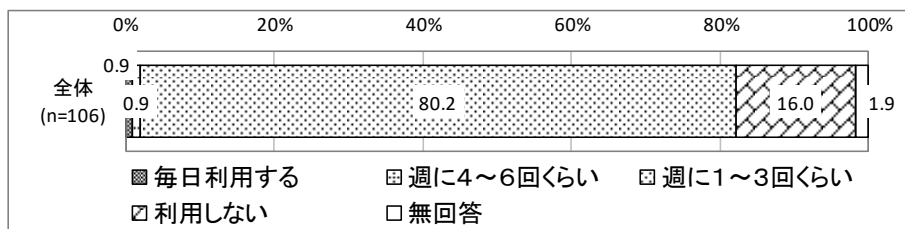
#### ⑤ファストフード

問6 お子さんは、ハンバーガーやピザ、ポテトフライ、ドーナツなどのファストフードを食事として利用することがどれくらいありますか。



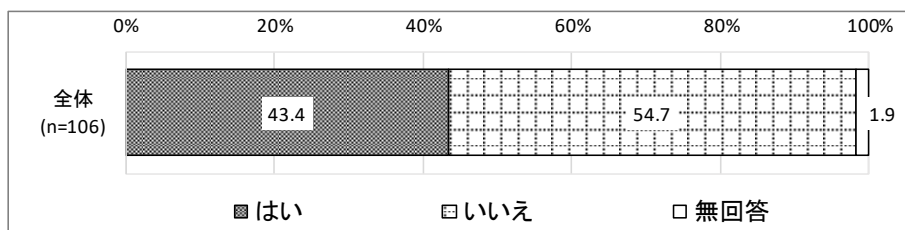
#### ⑥外食やレトルト食品

問7 お子さんは、外食やレトルト食品を利用することが週にどれくらいありますか。



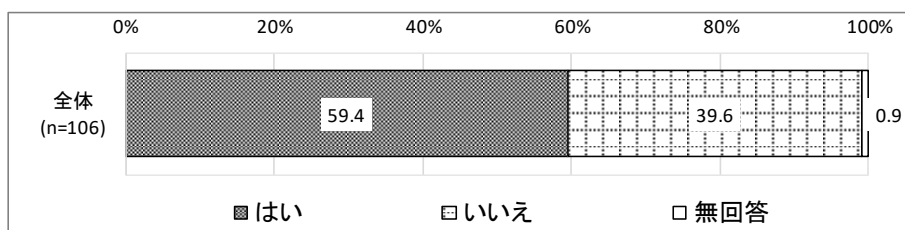
#### ⑦子どものおやつ

問8 あなたは、お子さんのおやつを、歯の健康に配慮して選んでいますか。

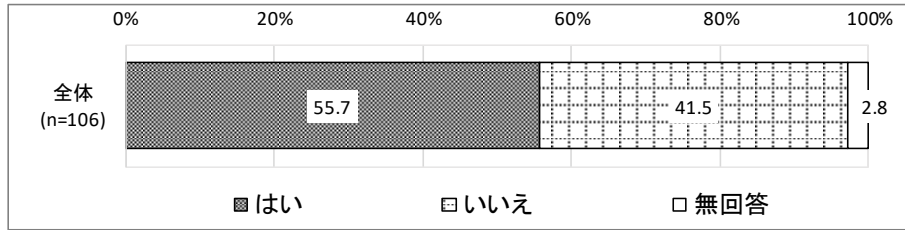


#### ⑧家庭の料理

問9(1) (家庭で食事を作る方に伺います。) あなたは、お子さんのかむ力がつくように、食材を大きく切ったり、硬い食材を取り入れた食事を作っていますか。

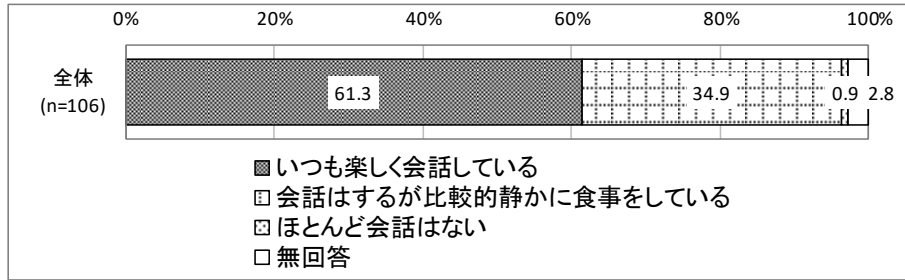


問9(2) あなたは、減塩を意識した食事づくりをしていますか。



## ⑨ 食事中の会話

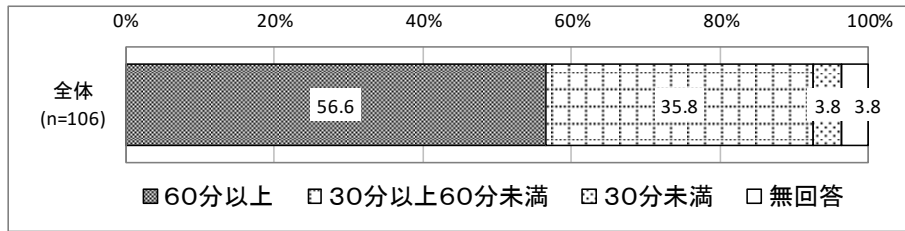
問10 あなたは、お子さんと会話をしながら食事をしていますか。



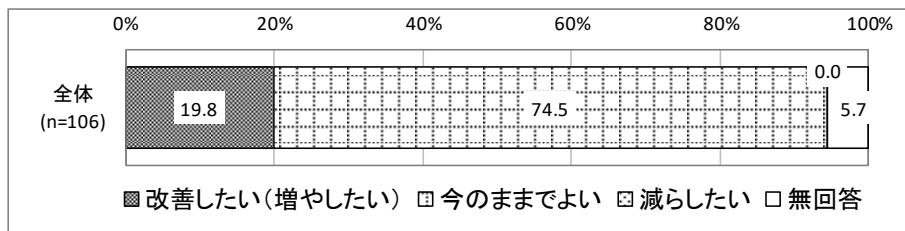
## (2) 子どもの活動や遊びについて

### ① 外遊びや散歩

問1(1) お子さんは、1日に外遊びや散歩をどの程度しますか。

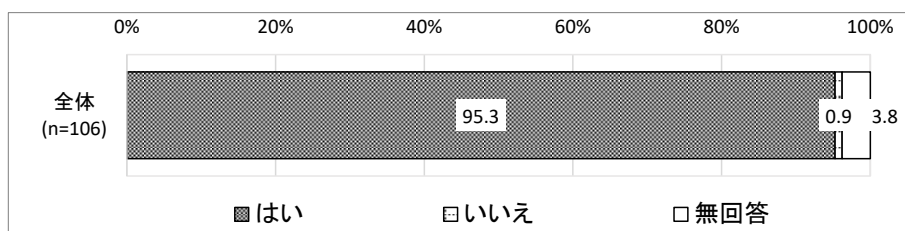


問2 お子さんの外遊びや散歩の時間についてどう思いますか。



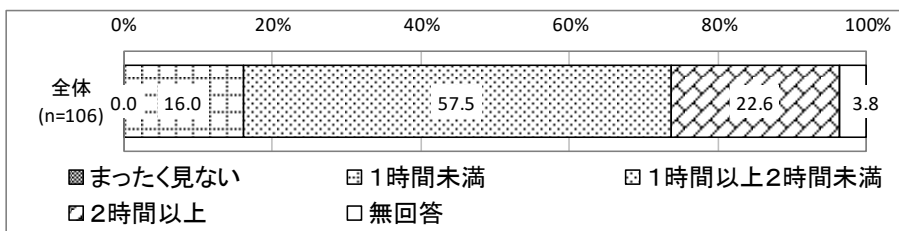
### ② 友達や家族との運動

問3 お子さんは、友達や家族と体を動かしていますか。



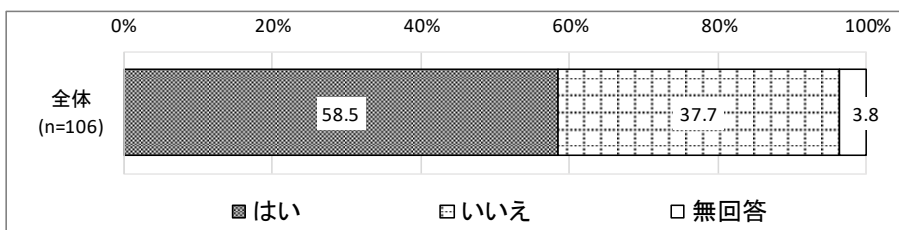
### ③テレビやDVD

問4 お子さんは、テレビやDVDを一日にどの程度見ますか。



### ④ゲーム

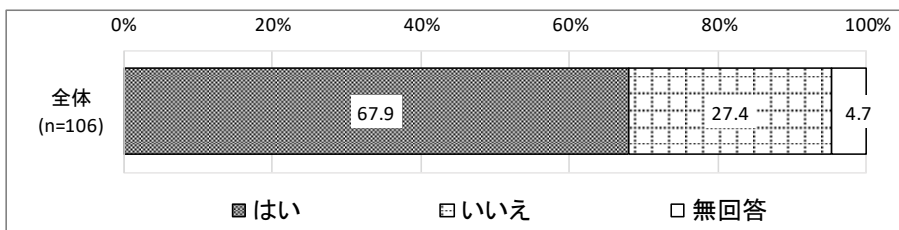
問5 お子さんは、ゲームやスマートフォン(動画やゲーム)で遊びますか。



## (3) 保護者について

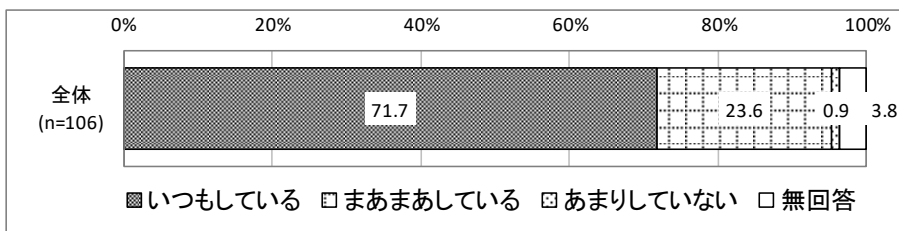
### ①絵本の読み聞かせ

問1 お子さんに、普段、絵本を読み聞かせていますか。



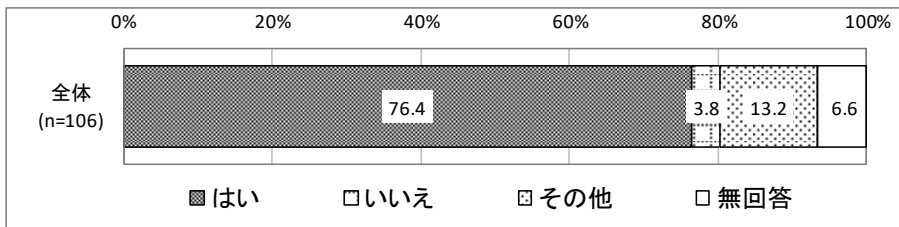
### ②料理の状況

問2 あなたは、料理をしていますか。



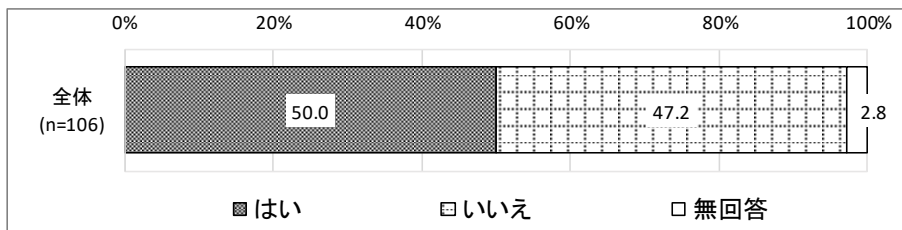
### ③食事の時間

問3 あなたは、食事の時間が楽しいと感じていますか。



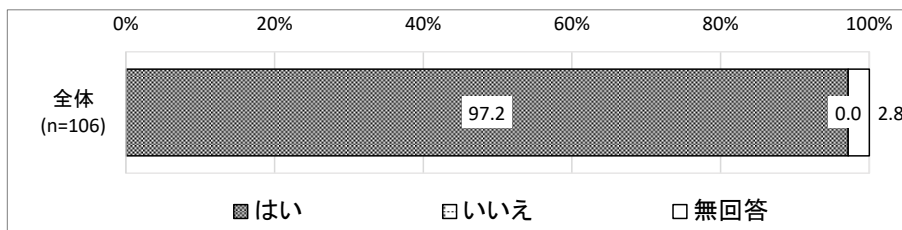
④食品について子どもと一緒に考える機会

問4 あなたは、買い物や料理をする中で、体に安心安全な食品について子どもと一緒に考える機会がありますか。



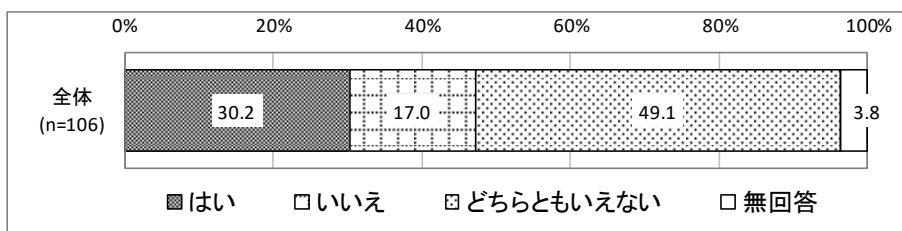
⑤生活リズムのための気配り

問5 あなたは、お子さんの生活リズムを把握し、正しい生活が送れるように声をかけるなど気を配っていますか。



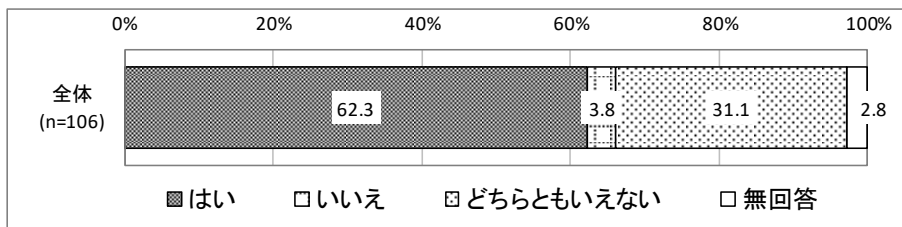
⑥外出時の歩行

問6 ご家族で出かける際は、健康を考えてなるべく歩くよう心がけていますか。

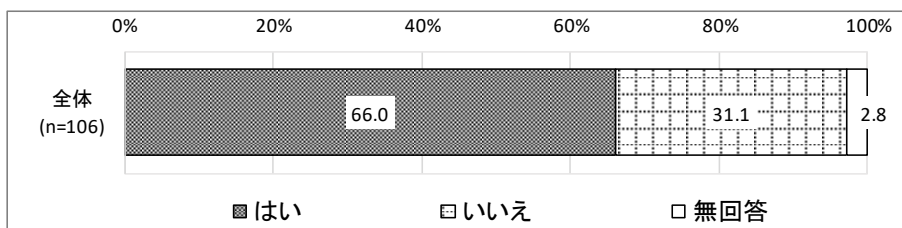


⑦健康の把握

問7 あなたは、お子さんや家族の健診結果を確認したり、日頃から体重を測るなど、健康を把握するよう心がけていますか。

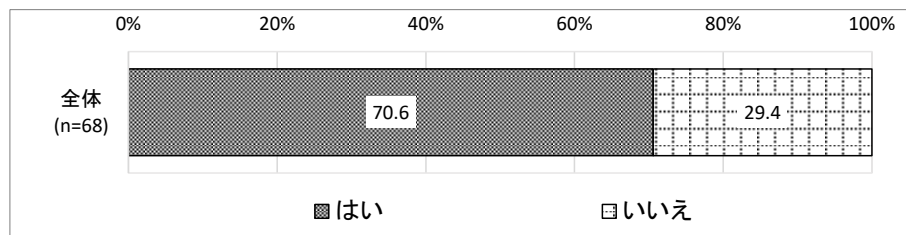


問8(1) あなたは、お子さんのやせ・肥満などの体の変化を把握し、食事や運動など改善を心がけていますか。



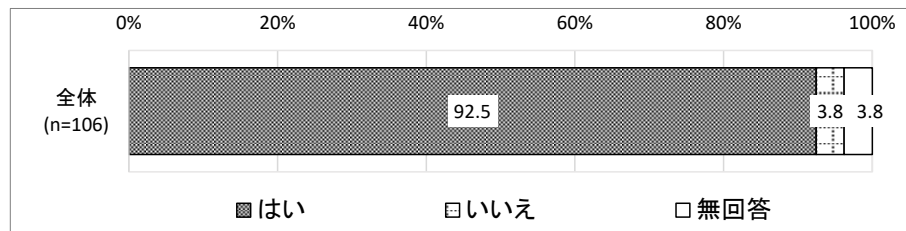
### ⑧たばこについて

問9 ご家族にたばこを吸う人がいる方にお聞きます。子どもがいる場所ではたばこを吸わないようにしていますか。



### ⑨あいさつ

問10 お子さんは、家族やまわりの人とあいさつを交わしますか。





第2次岩沼市健康づくり市民計画  
中間評価報告書

平成31年3月

---

発行

岩沼市健康福祉部健康増進課

〒989-2480

岩沼市桜一丁目6番20号

TEL0223-22-1111（内線347～349）





第2次 岩沼市  
健康づくり市民計画  
～すこやか・しあわせ 岩沼プラン～